2024年度

履修のてびき

京都光華女子大学

履修のてびきは、学生が卒業するために必要な教学的事項を記載したものです。毎年変更があり、改訂されますが、卒業するまで、大切に保管してください。

光華naviにはたくさんの情報が集まっています

★ https://navi.koka.ac.jp/ ★

大学のホームページ「在学生の方へ」からもリンクしています

•学生呼出　•休講･補講･教室変更情報　•各部門からのお知らせ　•時間割紹介　•スケジュール管理
•シラバス紹介　•履修登録　•出欠状況確認　•成績照会　•面談予約　•クラスプロファイル
•就職支援情報　•アンケート回答　•e-ポートフォリオetc.　•学内システムへのアクセス
（e-ラーニング, 教職履修カルテ, マイライブラリ, メール）etc.

【光華naviアプリ】

休補講や試験情報、奨学金等、大学からの大切なお知らせが光華naviに届きます。アプリをダウンロードすると通知が届きますので、必ずプッシュ通知をONにして、大学からのお知らせをご確認ください。

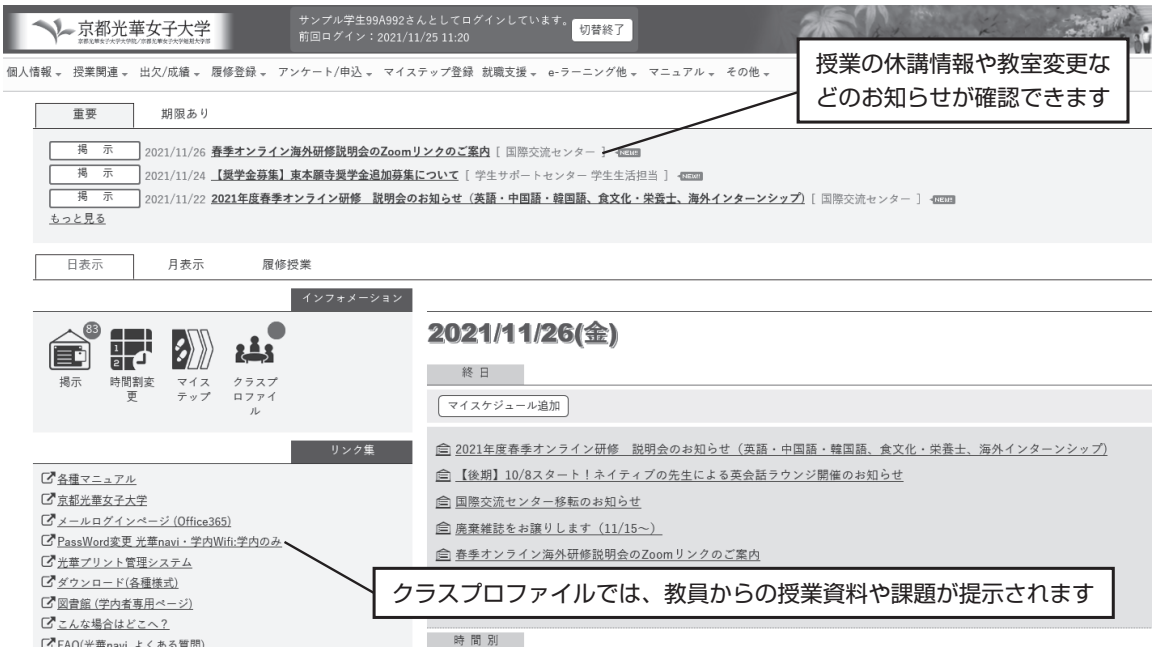
iPhone　　Android

手順

QRコードからアプリをダウンロード
（読み取れない場合はiPhone：App Store／Android：Play ストアにて “UNIPA アプリ”で検索）

アプリ起動後に以下のURLを入力（初回のみ）
navi.koka.ac.jp/uprx/
（https://まで自動入力されているので、その後に上記を入力）

ユーザIDとパスワードを入力
（時間割画面が表示されれば完了）



2024 年 度

履 修 の て び き

学　年　暦

（2024 年 4 月～2025 年 3 月）

4

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	㉙	30				

5

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	④
5	⑥	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

7

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	㉛			

8

日	月	火	水	木	金	土
				❶	❷	3
4	❺	❻	❼	❽	❾	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	⓴	㉑	㉒	㉓	24
25	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛

9

日	月	火	水	木	金	土
1	❷	❸	❹	❺	❻	❼
8	9	❿	⓫	⓬	⓭	14
15	⑯	17	⓲	⓳	⓴	㉑
22	㉓	㉔	㉕	㉖	27	28
29	30					

4 月	1 日(月)	入学式・前期履修登録開始
	2 日(火)～3 日(水)	オリエンテーション
	4 日(木)	前期授業開講
	11 日(木)	前期履修登録締切・オリエンテーション
	12 日(金)～13 日(土)	新入生研修
	13 日(土)	前期履修登録取消開始
	14 日(日)	前期履修登録取消締切
	19 日(金)	学園花まつり（2 講時）
	20 日(土)	金曜授業日（2 講時）
	20 日(土)	本山参拝（午後）
	27 日(土)	月曜授業日
5 月	11 日(土)	金曜授業日
	31 日(金)	宗教講座（5 講時）
6 月	28 日(金)	宗教講座（5 講時）
7 月	3 日(水)	前期末定期試験時間割発表
	15 日(月)	祝日授業日
	22 日(月)	前期授業終了
	23 日(火)	補講日
	24 日(水)～30 日(火)	前期末定期試験
	31 日(水)～8 月 2 日(金)	集中講義期間
	5 日(月)～6 日(火)	追試験
	5 日(月)～9 日(金)	集中講義期間
	10 日(土)～16 日(金)	学園休業日
	19 日(月)	振替休日（7/15 祝日授業分）
	20 日(火)～21 日(水)	卒業再試験（前期卒業者対象）
	20 日(火)～21 日(水)	再試験（看護学科 2・3 年）
	20 日(火)～23 日(金)	集中講義期間
	26 日(月)～31 日(土)	集中講義期間
9 月	2 日(月)～3 日(火)	再試験（健康栄養学科 1～3 年・看護学科 1 年・言語聴覚専攻 1～3 年・作業療法専攻1年）
	2 日(月)～7 日(土)	集中講義期間
	9 日(月)	前期卒業式
	10 日(火)～13 日(金)	集中講義期間
	15 日(日)	学園創立記念日（学園休業日）
	18 日(水)～21 日(土)	集中講義期間
	24 日(火)～26 日(木)	集中講義期間
	23 日(月)	後期履修登録開始
	27 日(金)	後期授業開講

□…授業日　■…調整日（補講等のある日）　■…定期試験

●…集中講義　□…学園休業日　○…祝日

10

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	❹	❺	❻	❼	❽
9	❿	11	⓬	⓭	⓮	⓯
16	17	⓲	⓳	⓴	㉑	㉒
23	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	

3

日	月	火	水	木	金	土
						❶
2	❸	❹	❺	❻	❼	8
9	❿	⓫	⓬	⓭	⓮	⓯
16	⓱	⓲	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

10 月	3 日㈭	後期履修登録締切
	5 日㈯	後期履修登録取消開始
	6 日㈰	後期履修登録取消締切
	14 日㈪	祝日授業日
	25 日㈮	宗教講座（5 講時）
11 月	4 日㈪	祝日授業日
	8 日㈮	本山参拝（午前）　大学祭準備（午後）
	9 日㈯	大学祭
	10 日㈰	大学祭
	11 日㈪	11月10日（日）大学祭の振替休日・大学祭後片付け
	12 日㈫	振替休日（10/14 祝日授業分）
	15 日㈮	人権講演会
	22 日㈮	卒論提出締切（看護学科）15 時まで
	29 日㈮	宗教講座（5 講時）
12 月	7 日㈯	月曜授業日
	13 日㈮	宗教講座（5 講時）
	18 日㈬	卒論・卒研提出締切（心理学科）15 時まで
	18 日㈬	卒研提出締切（こども教育学科）15 時まで
	20 日㈮	卒研提出締切（キャリア形成学科）15 時まで
	20 日㈮	卒研提出締切（医療福祉学科社会福祉専攻）15 時まで
	20 日㈮	卒研提出締切（医療福祉学科言語聴覚専攻）15 時まで
	25 日㈬	振替休日（11/4 祝日授業分）
	26 日㈭	冬季休暇開始（1 月 3 日まで）
1 月	4 日㈯	後期授業再開
	7 日㈫	学年末・後期末定期試験時間割発表
	8 日㈬	卒研提出締切（健康栄養学科管理栄養士専攻）15 時まで
	22 日㈬	卒研提出締切（健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻）15 時まで
	24 日㈮	後期授業終了
	27 日㈪ ～ 1 日㈯	学年末・後期末定期試験
2 月	6 日㈭ ～ 7 日㈮	追試験
	14 日㈮	卒業予定者発表（午前 10 時）
	18 日㈫ ～ 19 日㈬	再試験（卒業学年）
	18 日㈫ ～ 19 日㈬	再試験（健康栄養学科 1～3 年・看護学科 1～3 年・言語聴覚専攻 1～3 年・作業療法専攻 1 年）
	28 日㈮	卒業予定者追加発表（午前 10 時）
3 月	19 日㈬	卒業証書・学位記授与式

（注）日程は都合により変更することがあります。集中講義・補講の日程については、光華 navi の掲示で確認すること。
土曜授業日は１．２講時：授業　３．４．５講時：補講が実施されます。

Ⅰ．履修要項

Ⅱ．カリキュラム

Ⅲ．認定制度

Ⅳ．資格の取得

Ⅴ．教員

目　　次

Ⅰ　履修要項

1．履修規程
（1）単　位　制 …… 1
（2）卒業の要件 …… 2
（3）留　　年 …… 3
（4）コース所属 …… 4
（5）教育方針 …… 4
2．履修登録
（1）登 録 手 続 …… 6
（2）履修登録単位の上限 …… 7
（3）履修登録上限単位の緩和 …… 7
（4）リベラルアーツ教育科目
「インターンシップ」と「キャリア実習」の
履修登録および単位認定について … 7
（5）リベラルアーツ教育科目への
学科提供科目の履修について …… 8
（6）光華 EDUAL 対象科目の
履修と認定について …… 9
（7）聴　　講 …… 9
（8）単位認定制度について …… 9
3．授 業 等
（1）授　　業 …… 12
（2）授 業 時 間 …… 12
（3）休講について …… 12
（4）気象条件の悪化、交通機関の運休に
よる授業の休講及び試験の延期措置
について …… 12
（5）授業の休講・定期試験の延期措置の
周知方法・通知時刻 …… 13
（6）授業の出席について …… 13
4．試　　験
（1）受 験 資 格 …… 14
（2）気象条件の悪化、交通機関の運休
による試験の延期措置について …… 14
（3）定 期 試 験 …… 15
（4）追　試　験 …… 15
（5）再　試　験 …… 16
（6）不正行為について …… 18
（7）卒業研究・卒業論文 …… 18
5．転学部・転学科・転専攻
（1）転学部・転学科 …… 20
（2）転　専　攻 …… 21

Ⅱ　カリキュラム

A．キャリア形成学部キャリア形成学科…… 22
B．健康科学部健康栄養学科…… 34
C．健康科学部看護学科
（看護福祉リハビリテーション学部看護学科）… 73
D．健康科学部医療福祉学科
（看護福祉リハビリテーション学部福祉リハビリテーション学科）… 91
E．健康科学部心理学科……117
F．こども教育学部こども教育学科……141
G．人間健康学群……166

Ⅲ　認定制度

1．光華 EDUAL……175

Ⅳ　資格の取得

1．教育職員免許状……178
2．管理栄養士……225
3．栄養士……227
4．看護学科取得可能資格一覧……230
5．社会福祉士……232
6．精神保健福祉士……233
7．言語聴覚士……235
8．作業療法士……244
9．保育士（こども教育学科）……247
10．保育士（心理学科）……254
11．上級情報処理士……261
12．情報処理士……263
13．上級ビジネス実務士……267
14．ビジネス実務士……273
15．食品衛生監視員・管理者……275
16．フードスペシャリスト……276
17．健康運動実践指導者……278
18．健康運動指導士……280
19．初級パラスポーツ指導員……283
20．日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 …285
21．認定心理士……287
22．保育心理士……290
23．社会調査士……291
24．公認心理師……293
25．小学校英語指導者……296
26．認定絵本士……297
27．初級地域公共政策士……298

Ⅴ　教員

教員一覧……302

Ⅵ　施設

校舎建物・教室等配置図……305

Ⅰ 履 修 要 項

1．履 修 規 程

（1）単 位 制

単位制とは、それぞれの授業科目に与えられている単位を、一定の規定に従って履修、修得し、卒業の要件を充たす単位数に達することにより、卒業の資格が与えられる制度である。

単位の計算

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じて、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する。（90分の授業を2時間相当の学修時間とする）

講義・演習科目

15時間または30時間の授業をもって1単位とする。

実験・実習・実技科目

30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

なお卒業論文、卒業研究等については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

単位の認定・GPA制度

履修科目について、試験等の結果、合格と判定された場合に単位が認定される。成績は100点満点の60点以上を合格とし、以下の成績評価区分のとおり表示される。

また、本学では、履修計画・学習計画を立てるために、GPA（Grade Point Average：学業平均値）制度を導入している。GPA制度は、一人ひとりの成績を総合的にあらわすものであり、履修登録された授業科目（対象外となる科目も有）を成績算出の対象とする。GPA値は、4点を最高点とし、以下0点までの数値で表示される。

〈成績・GP（Grade Point）の基準について〉

合格／不合格	成績評価	成績評価基準	成績内容	GP
合　格	秀	90点以上	特に優れた成績	4.0
	優	80点以上90点未満	優れた成績	3.0
	良	70点以上80点未満	妥当と認められる成績	2.0
	可	60点以上70点未満	合格と認められる最低限の成績	1.0
不合格	不可	60点未満	合格と認められる最低限の成績に達していない場合	0.0
	欠	―	試験欠席	
その他	認		コンソーシアム京都の単位互換・編入・留学・高大連携等による単位認定科目 科目等履修科目	GPA対象外

＊自由科目（非要卒科目）はGPA対象外。

＊GPA値については、光華naviの成績照会画面より確認することができる。

＊ただし、納付金未納の場合、当該期間履修中の単位は認定されない。

＊成績評価は、素点では公開されない。

◆ GPA（Grade Point Average）の算出方法

$$GPA=\frac{\{(4.0\times 90点以上相当の修得単位数)+(3.0\times 80点以上90点未満相当の修得単位数)+(2.0\times 70点以上80点未満相当の修得単位数)+(1.0\times 60点以上70点未満相当の修得単位数)\}}{総履修登録単位数（注1）}$$

（注 1）2024 年度より「不可」「欠」となった科目を再履修の上、単位修得した場合は最終評価にて GPA を算出します。
（注 2）GPA は、小数点第 4 位を四捨五入し、小数点第 3 位までの数値で、表示します。
（注 3）「非要卒科目」、履修中止された科目は、計算式に含みません。

（2）卒業の要件（卒業所要単位数）

卒業の要件を充たすためには、4 年以上在学し、下表に示す単位数以上を修得しなければならない。ただし、在学年限は 8 年を超えることができない。

〈キャリア形成学部〉

学科	区分／対象	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	専門科目 必修	選択	計	合計
キャリア形成学科	2021・2022 年度入学生	10	26 ※1	36	25	67 ※2	92	128
	2021・2022 年度入学留学生	16	20 ※1	36	25	67 ※2	92	128
	2023 年度以降入学生	11	25 ※1	36	20	72	92	128
	2023 年度以降入学留学生	17	19 ※1	36	20	72	92	128

※1　選択必修 4 単位を含む　※2　選択必修 16 単位を含む

〈健康科学部　※ 2023 年度以前入学生対象〉

学科	区分／対象	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	専門科目 必修	選択	計	合計
健康栄養学科	2021・2022年度管理栄養士専攻	10	11 ※1	21	59	48	107	128
	2023・2024年度管理栄養士専攻	11	10 ※1	21	59	48	107	128
	2024年度管理栄養士専攻留学生	17	4 ※1	21	59	48	107	128
	2021年度健康スポーツ栄養専攻	10	20 ※1	30	63	35	98	128
	2022年度健康スポーツ栄養専攻	10	20 ※1	30	62	36	98	128
	2023年度健康スポーツ栄養専攻	11	19 ※1	30	50	48	98	128
	2024年度健康スポーツ栄養専攻	11	19 ※1	30	52	46	98	128
	2024年度健康スポーツ栄養専攻留学生	17	13 ※1	30	52	46	98	128

※1　選択必修 4 単位を含む

学科	区分／対象	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	専門基礎・専門 必修	選択	計	合計
看護学科	2021・2022 年度入学生	10	10 ※1	20	98	10	108	128
	2023 年度入学生	11	9 ※1	20	98	10	108	128

※1　選択必修 4 単位を含む

学科	区分／対象	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	共通専門・専門基礎・専門科目 必修	選択	計	合計
医療福祉学科	2021・2022年度社会福祉専攻入学生	10	18 ※1	28	24	76	100	128
	2021・2022年度社会福祉専攻入学留学生	16	12 ※1	28	24	76	100	128
	2023年度社会福祉専攻入学生	11	17 ※1	28	24	76	100	128
	2023年度社会福祉専攻入学留学生	17	11 ※1	28	24	76	100	128
	2021・2022年度言語聴覚専攻入学生	13 ※2	12 ※3	25	95	8	103	128
	2023年度言語聴覚専攻入学生	14 ※2	11 ※3	25	95	8	103	128

※1　選択必修 4 単位を含む　※2　専攻所定の必修 3 単位を含む　※3　選択必修 5 単位を含む

学科	対象 ＼ 区分	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	専門科目 必修	選択	計	合計
心理学科	2021・2022年度入学生	10	20※1	30	38(40)※2	60(58)※2	98	128
	2021・2022年度入学留学生	16	14※1	30	38(40)※2	60(58)※2	98	128
	2023年度以降入学生	11	19※1	30	38(40)※2	60(58)※2	98	128
	2023年度以降入学留学生	17	13※1	30	38(40)※2	60(58)※2	98	128

※1　選択必修4単位を含む　※2（　）内は卒業論文を選択した場合の単位数

〈こども教育学部〉

学科	コース	対象 ＼ 区分	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	専門科目 必修	選択	計	合計
こども教育学科	幼児教育コース	2021・2022年度入学生	10	12※1	22	40	66	106	128
		2021・2022年度入学留学生	16	6※1	22	40	66	106	128
		2023年度以降入学生	11	11※1	22	40	66	106	128
		2023年度以降入学留学生	17	5※1	22	40	66	106	128
	学校教育コース	2021・2022年度入学生	10	12※1	22	74	32	106	128
		2021・2022年度入学留学生	16	6※1	22	74	32	106	128
		2023年度以降入学生	11	11※1	22	72	34	106	128
		2023年度以降入学留学生	17	5※1	22	72	34	106	128

※1　選択必修科目を含む

〈人間健康学群〉

学科	対象 ＼ 区分	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	専門科目 必修	選択	計	合計
人間健康学群	２０２２年度入学生	10	22※	32	38	58	96	128
	２０２３年度以降入学生	11	21※	32	38	58	96	128
	２０２４年度入学留学生	17	15※	32	38	58	96	128

※　選択必修4単位を含む

〈看護福祉リハビリテーション学部※ 2024年度以降入学生対象〉

学科	対象 ＼ 区分	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	専門基礎・専門 必修	選択	計	合計
看護学科	２０２４年度入学生	11	9※1	20	98	10	108	128

※1　選択必修4単位を含む

学科	対象 ＼ 区分	リベラルアーツ教育科目 必修	選択	計	共通専門・専門基礎・専門 必修	選択	計	合計
福祉リハビリテーション学科	2024年度作業療法専攻入学生	12	8※1	20	106	2	108	128
	2024年度言語聴覚専攻入学生	12	5※2	17	103	8	111	128
	2024年度社会福祉専攻入学生	11	17※1	28	24	76	100	128
	2024年度社会福祉専攻入学留学生	17	11※1	28	24	76	100	128

※1　選択必修4単位を含む
※2　選択必修5単位を含む

（3）留　　年

4年次において、卒業の要件を充たさない場合は留年とする。

留年学生については、卒業要件を充たせば前期末の卒業を認める。

※　**卒業予定者は掲示等により発表するので、各自の責任において、必ず確認すること。**卒業予定者

の中に学生証番号が載っていない者は、卒業の要件が充たされず現時点では卒業できないと判定された者であるので、必ず学生サポートセンター修学担当へ来て事後の指示を受けること。

（4）コース所属

こども教育学部こども教育学科に次の２コースを設ける。コースの所属は、学生の希望に基づき、こども教育学科で決定する。

① 幼児教育コース　幼児教育コースは、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格取得を目的とする。

② 学校教育コース　学校教育コースは、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状の取得を目的とする。

（5）教育方針

●「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」

知識・理解	幅広い視野	DP1	人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している
		DP2	［専門分野］について適切な知識や理解、そして技術を有している
		DP3	幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる
汎用的能力	基本的能力	DP4	適切な日本語運用力を修得し、活用することができる
		DP5	母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる
		DP6	基礎的 ICT の知識・スキルを修得し、適切に活用することができる
		DP7	数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる
態度・志向性	豊かな人間性	DP8	仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている
		DP9	多様性の尊重と共生の精神を有している
		DP10	日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる
	態度・志向性	DP11	高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる
		DP12	［専門分野］の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる
		DP13	［専門分野］の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している
統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	DP14	自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成をする力を備えている
		DP15	現代社会の諸問題を解決するために、［専門的］知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる

●カリキュラム・マップ

各教育課程における授業科目に「到達目標」を３つ設定し、ディプロマ・ポリシー（DP１～DP15）との関連を示している。

例）リベラルアーツ教育科目

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号 ○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
仏教の人間観Ⅰ	仏教の人間観の学びを通じて自他の理解を深める	1. 人間観なるものに触れる	○								○						
		2. 仏教をはじめとする複数の人間観を学び、他者や共同体のあり方に自分がかかわっていることを自覚できる			○								○				
		3. 自分自身の他者に対する向き合い方を振り返ることができる									○		○				
仏教の人間観Ⅱ	仏教の人間観の学びを通じて校訓を理解し、実践できる	1. 仏教をはじめとする複数の人間観を通して、社会のありようを考察できる	○							○	○						
		2. 仏教の人間観にもとづく他者への思いやりを理解できる								○	○		○				
		3. 真実に即した心のコントロールの必要性を十分理解できる								○	○		○				
京都光華の学び	本学建学の理念と特色を理解し、それらを基盤としながら、自立した"市民"に必要な批判的思考力（情報を集め、それらを批判的に評価し、責任ある判断を下す力）を身に付ける	1. 自校史、および建学の精神のよって立つところを理解し、大学生活の中に活かそうとする								○	○		○				
		2. 社会的・政治的論争のある問題について、関連情報を集め批判的に評価し、自らの意見を述べることができる			○						○					○	
		3. 身近な地域コミュニティの課題に対して、関連情報を集め批判的に評価し、自らの意見を述べることができる			○				○		○						
アカデミックスキル入門	大学での学修の基盤となる学修行動を理解し、基本的な技術を身につける	1. 大学生として学修に対し適切にして自覚的振舞いができる			○	○											
		2. 大学で求められる情報検索や処理の基本を理解し実践できる						○	○								
		3. レポートの基本的な形式を理解し、実践できる			○	○											
アカデミック・ライティング	文章や口頭での適切かつ効果的な表現方法の習得と活用	1. 目的に応じて適切な語彙と表現を選択することできる				○							○				
		2. 自分の意見を論理的かつ効果的に組み立て発表できる			○				○								
		3. 他者の文章や口頭表現を適切に批評、添削することができる			○	○											
データサイエンス入門	データやAIを生活や仕事等の場で使いこなすための基礎的素養を身につける	1. データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ・AIを活用する価値とデータ・AIを扱う上での留意事項を説明できる		○				○	○								
		2. Excelなどの表計算ソフトウェアを用いてデータを適切に整理・分析することができる		○				○	○								
		3. 整理したデータや分析結果を正しく読み解き、適切な図表を用いて表現し、他者に分かりやすく伝えることができる		○				○	○								

●ナンバリング

全ての授業科目を「学問分野」・「レベル」等で分類の上、各教育課程での学修の段階や順序を表すため、科目ナンバーを付番している。ナンバリングは、以下のように活用することができる。

・当該授業の学問分類・難易度等からその科目のカリキュラムにおける位置づけを理解することで、学修したい分野について、どのように学修を進めていけば良いか等が明確になり、体系的な学修を進めることが可能となる。

・カリキュラムに分野の偏りがないか等の点検が容易となり、体系的な教育プログラムの実現に向けた改善を始めるきっかけとなる。

例）R①R②1③1④2⑤－AH⑥01⑦　（リベラル・リベラル・1年次・講義・選択・○○分野・01）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
学部	学科・専攻等	水準 （配当年次）	授業形態	必修／選択	分野	整理番号
R：リベラル A：キャリア B：健康科学 C：看護福祉 　リハビリテーション D：こども教育 E：短期大学部 F：人間健康学群	R：リベラル G：キャリア W：管理栄養 A：健スポ M：看護 F：社福 S：言語 O：作業 P：心理 C：こども B：人間健康学群 L：ライフ D：歯科衛生	1：1年次 2：2年次 3：3年次 4：4年次	1：講義 2：演習 3：実験 4：実習	1：必修 2：選択 3：選択必修 4：自由	各学科専攻による（アルファベット2文字）	01～99

●カリキュラム・チャート

各教育課程におけるディプロマ・ポリシーに基づき、各学科・専攻が配置する科目の位置付け等、カリキュラム全体の構造を俯瞰できるように図式化したものを指す。

＊上記については、大学 HP に掲載している。 https://www.koka.ac.jp/introduction/publish.html

2. 履　修　登　録

（1）登録手続

① 履修登録については、所定の期日までに、その学年で履修しようとする授業科目の登録をしなければならない。履修登録をしていない授業科目には、試験等に合格しても単位は与えられない。登録は、光華 navi により行うが、手続・方法については、学年始めのオリエンテーション（履修説明）で説明する。本年度の履修登録期間は、**前期 4 月 1 日（月）13:00～4 月 11 日（木）、後期 9 月 23 日（月）～10 月 3 日（木）**とする。

＊後期履修登録期間で、科目の追加・変更が可能であるが、後期に受講を考えている科目は前期履修登録期間中に全て登録しておくこと。

② 登録科目を取り消す場合は、指定した期限内に必ず光華 navi により手続きすること。本年度の取消期間は、**前期 4 月 13 日（土）～4 月 14 日（日）、後期 10 月 5 日（土）～10 月 6 日（日）**とする。

③ 不合格になった必修科目は、原則として次年度において必ず再履修しなければならない。
不合格になった選択科目は、同一年度に履修はできない。

④ 合格した授業科目の取り消し、および再履修はできない。

⑤ 授業科目は、カリキュラム上、下記の通りに分けられている。

〈2021～2023 年度入学生対象〉

キャリア形成学部	キャリア形成学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
健康科学部	健康栄養学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
	看護学科	リベラルアーツ教育科目、専門基礎科目、専門科目、自由科目
	医療福祉学科	リベラルアーツ教育科目、共通専門科目、社会福祉専攻専門科目、言語聴覚専攻専門科目
	心理学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
こども教育学部	こども教育学科	リベラルアーツ教育科目、専門基幹科目、専門発展科目、自由科目
人間健康学群		リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目

〈2024 年度入学生対象〉

キャリア形成学部	キャリア形成学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
健康科学部	健康栄養学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
	心理学科	リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目
看護福祉リハビリテーション学部	看護学科	リベラルアーツ教育科目、専門基礎科目、専門科目、自由科目
	福祉リハビリテーション学科	リベラルアーツ教育科目、共通専門科目、作業療法専攻専門科目、社会福祉専攻専門科目、言語聴覚専攻専門科目
こども教育学部	こども教育学科	リベラルアーツ教育科目、専門基幹科目、専門発展科目、自由科目
人間健康学群		リベラルアーツ教育科目、専門科目、自由科目

⑥　授業科目は⑤の区分とは別に、必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目に分けられている。

⑦　それぞれの授業科目は、原則として、カリキュラム表に記載されている配当年次に従って履修すること。

⑧　授業科目名は、入学年度により異なるので、カリキュラム表および開講科目表の備考欄を充分に参照して履修すること。

⑨　履修登録者数が10名未満の講義・演習・実習科目は、原則として開講を取り止める。ただし、必修科目、一部の資格科目を除く。
最終確定は履修登録者の状況を踏まえ、教務委員会にて審議のうえ決定するものとする。
※少数不開講科目の教科書・参考書については、定められた期日までに手続を行うことで、返本・返金の対象となる。手続の際には購入時のレシートと書籍が必要となるため開講学期中はかならず保管しておくこと。

⑩　授業科目は教員、教室等の都合により、登録者の人数・資格等について制限を設けることがある。

（2）履修登録単位の上限

各年次にわたって、無理なく効果的に授業科目を学習するために、各学科ごとに、1年間に履修登録できる卒業要件に関する科目について、単位数の上限を定める。詳細はカリキュラム表の下の〈履修登録の上限〉を確認すること。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

（3）履修登録上限単位の緩和

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目の中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。

今年度前期3.3以上→今年度後期に4単位増（今年度後期開講科目より履修）
今年度後期3.3以上→翌年度前期に4単位増（翌年度前期開講科目より履修）
※緩和された4単位分を、翌々学期に持ち越すことはできない。

①GPAは、履修登録期間直前の成績公表時の学期GPAの数値を用いる。履修登録時に、成績評価が間に合わない科目のGPは含めない。

②履修単位数の緩和を希望する学生は、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

（4）リベラルアーツ教育科目「インターンシップ」と「キャリア実習」の履修登録および単位認定について

所定の要件を満たす就業体験を行う場合、事前学習および事後学習に参加し、リベラルアーツ教育科目「インターンシップ」（2単位、配当年次3－4年）、あるいは「キャリア実習」（1単位、配当年次1－2年）の履修登録を行うことによって単位を修得することができる。春期休暇中に就業体験を行う場合は、事前学習と翌年度の事後学習に参加し、翌年度に履修登録および単位認定を行う。参加予定の就業体験が単位認定できる内容かどうかについては、科目担当者または就職支援センターに申し出て事前に必ず確認すること。事前学習と事後学習のおよそのスケジュールは下記の通りである。

科目名	就業体験の時期	事前学習（ガイダンス、ビジネスマナーなど）	事後学習	
			ディスカッション	成果報告会
「インターンシップｂ」（通年集中科目）	3年次あるいは4年次の夏期休暇中	3年次あるいは4年次の4月～7月	3年次あるいは4年次の10月	3年次あるいは4年次の1月
「インターンシップａ」（翌年度前期集中科目）	3年次の春期休暇中	3年次の1月～2月	4年次の4月	4年次の7月
「キャリア実習ｂ」（通年集中科目）	夏期休暇中	4月～7月	10月	1月
「キャリア実習ａ」（翌年度前期集中科目）	春期休暇中	1月～2月	翌年度の4月	翌年度の7月

なお、海外の実習先を対象とした「海外インターンシップ」も「キャリア実習」として単位認定が可能となる場合がある。詳細は国際交流センターで確認すること。

（5）リベラルアーツ教育科目への学科提供科目の履修について

本学では、所属学科以外の専門科目の一部を、リベラルアーツ教育科目として履修することができる（以下、「学科提供科目」）。

ただし、科目ごとに定員を設けているため、定員数を超えた場合は、抽選とする。

学科提供科目の修得単位は、リベラルアーツ教育科目の選択科目として認定される。

なお、卒業要件となる為、各学期における履修登録の上限単位数に含まれる（上記(2)、(3)参照）。

リベラルアーツ教育科目への学科提供科目他

〈2021～2024年度入学生対象〉

提供学科	専攻	提供科目	配当年次	授業期間	定員
キャリア形成学科	—	ビジネスマナー	1・2	後期	5
		TOEIC Ⅰ	2～4	前期	10
		TOEIC Ⅱ	2～4	後期	10
		女性のキャリア形成	3	前期	10
		実践ビジネス英語	3・4	前期	10
		実践ビジネス英会話	3・4	後期	10
健康栄養学科	管理栄養士専攻	食マーケティング論	4	前期	10
	健康スポーツ栄養専攻	スポーツマネジメント論	3・4	前期	10
看護学科	—	女性と健康	1・2	前期	-
		ホリスティックヘルスⅠ	2～4	前期	10
		中医学の基礎	2～4	前期	10

提供学科	専攻	提供科目	配当年次	授業期間	定員
医療福祉学科 福祉リハビリテーション学科	社会福祉専攻	仏教と社会福祉	2〜4	後期	10
		発達障害と制度	2〜4	後期	10
		心の健康と社会福祉	2〜4	後期	10
	言語聴覚専攻	言語聴覚障害学概論	3・4	前期	10
心理学科	—	発達心理学入門（保育の心理学）	2〜4	後期	10
		環境心理学	2〜4	後期	10
こども教育学科	—	第二言語習得論	3・4	後期	10
ライフデザイン学科		京の伝統文化を創る	1・2	後期	10

（6）光華 EDUAL 対象科目の履修と認定について

光華 EDUAL 対象科目を履修し所定の単位を取得することで、文部科学省が推進する数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの「リテラシーレベル」「応用基礎レベル」に認定される。単位取得後に認定証と認定バッジを光華ナビ経由で該当者に対して配布する。対象科目については P.175 を確認すること。

（7）聴　　講

聴講とは、履修登録をしていない授業科目を受講することである。聴講を希望する者は、担当教員の許可を得たうえ、学生サポートセンター修学担当に「聴講届」を届け出ること。ただし、単位としては認められない。

（注）　受講者数などの都合により許可されないことがある。また、欠席が多い場合は許可を取り消すことがある。

（8）単位認定制度について

京都地域の大学・短期大学が加盟する大学コンソーシアム京都の単位互換制度や本学短期大学部提供科目、協定校留学制度を利用し単位を修得した科目を、「他大学単位修得科目」として本学の卒業に必要な単位として含めることができる。

卒業に必要な単位に含めることができる単位数の上限は下記のとおりである。

＜単位認定条件＞

①大学コンソーシアム京都単位互換制度

キャリア形成学部

リベラルアーツ教育科目・専門科目の要卒単位（選択）として、10 単位まで認定する。

上記単位を超えた場合は、非要卒単位として認定する。

どの分野の単位として認定をするかは学科の教務委員の教員に確認すること。

健康科学部／看護福祉リハビリテーション学部／こども教育学部

リベラルアーツ教育科目の要卒単位（選択）として 6 単位まで認定する。

上記単位を超えた場合は、非要卒単位として認定する。

人間健康学群

リベラルアーツ教育科目・専門科目の要卒単位（選択）として、10 単位まで認定する。
上記単位を超えた場合は、非要卒単位として認定する。
どの分野の単位として認定をするかは学群の教務委員の教員に確認すること。

②科目等履修生制度

卒業要件となる科目については、履修登録の上限単位数に含まれ、上限を超えた場合の履修は認められない。

③協定校留学制度

対象学科：キャリア形成学科、心理学科、医療福祉学科（社会福祉専攻）、こども教育学科、
人間健康学群

・長期留学（年間）：30 単位（上限）
　＊キャリア形成学科「長期（1 年）留学（12 単位）」も本上限単位に含む
・セメスター留学（半期）：16 単位（上限）
　＊キャリア形成学科「セメスター留学（6 単位）」も本上限単位に含む
＊具体的な単位認定については、学科教務委員の教員に確認すること。

＜出願方法＞

①大学コンソーシアム京都単位互換制度

4 月 1 日以降新学年のオリエンテーション期間に大学コンソーシアム京都ホームページの単位互換制度特設 Web サイトで、シラバス・講義日程等を確認すること。
出願する場合は、本学の履修登録を優先し、通学時間など十分考慮して履修計画をたて、大学コンソーシアム京都ホームページ（単位互換・京カレッジポータルサイト）より利用者登録および科目出願を行い、「出願票作成」画面から出願票を印刷の上、期日までに大学提出用・本人用を学生サポートセンター修学担当へ提出すること（詳細は大学コンソーシアム京都単位互換制度特設 Web サイトを参照）。

・出願期日　前期：2024 年 4 月 5 日（金）正午 12 時迄
後期：2024 年 9 月 13 日（金）正午 12 時迄

②科目等履修生制度

他大学で開講されている科目をその学校の在学生と共に履修し、試験等で合格点に達した場合に単位を修得することができる制度である。
出願を希望する場合は、本学の科目等履修規程に則り、学生サポートセンター修学担当に申し出て、「科目等履修生出願票・履修希望理由書」を受取り、指定の期限までに学生サポートセンター修学担当へ提出すること。

・在学生出願期限　前期：2024 年 4 月 5 日（金）正午 12 時迄
後期：2024 年 9 月 13 日（金）正午 12 時迄

※科目等履修科目の卒業要件・成績区分については、学科によって異なるので、事前に所属している学科の教務委員の教員に確認すること。
※本学在学生が他学部・他学科の科目を履修する場合は選考料・履修料は免除となる。

本学開講の指定対象科目は以下のとおりである。

a．短期大学部

履修を希望する者は、「他学科科目等履修出願票」に必要事項を記入し、学生サポートセンター修学担当に提出すること。

提出期限：前期：2024 年 4 月 11 日（木）午後 4 時 30 分
　　後期：2024 年 10 月 3 日（木）午後 4 時 30 分

〈短期大学部科目等履修〉

科目名	担当者名	対象学科	受入人数	備考
カウンセリング理論	臼井卓也	キャリア形成学科 心理学科	制限なし	
カウンセリングスキル	森際孝司 猪澤　歩	キャリア形成学科 心理学科	制限なし	
臨床心理学	猪澤　歩	キャリア形成学科 心理学科	制限なし	
女性の心と身体	上　英俊	キャリア形成学科	制限なし	
世界の服飾史	青木正明	キャリア形成学科	制限なし	
住居プランニング演習	郭　雅　雯	キャリア形成学科	制限なし	
インテリアパース演習	郭　雅　雯	キャリア形成学科	制限なし	
インテリア設計士資格検定特講	郭　雅　雯	キャリア形成学科	制限なし	
居住福祉論	今井俊夫	キャリア形成学科	制限なし	
色彩の応用	青木正明	キャリア形成学科	制限なし	
ブライダル検定アドバンス	小山理子	キャリア形成学科	制限なし	
食生活概論	横井智恵子	人間健康学群	10 名	
商品企画論	羽深太郎	全学科	10 名	
京の伝統文化を創る	相場浩和 鹿島　我 久世奈欧	リベラルアーツ	10 名	

b．大学（他学科・非要卒単位）

履修を希望する者は、履修登録期間中に自身で光華 navi より履修登録を行うこと。

〈キャリア形成学部キャリア形成学科科目等履修〉

科目名	対象学科	受入人数	備考
公務員特別演習基礎	全学科	−	
公務員特別演習発展	全学科	−	
公務員特別演習応用	全学科	−	

③協定校留学制度

協定校留学制度「長期留学」…

本学の協定校に1年間（30週以上）留学する制度。原則として、2年次もしくは3年次に実施し、ESL（English as a Second Language）科目及び類似科目または専門科目を履修する。

「セメスター留学」……

本学の協定校に6ヵ月間（15週以上）留学する制度。原則として、2年次から3年次に実施し、ESL（English as a Second Language）科目及び特別コースを履修する。

＊具体的な留学制度については、国際交流センターに確認すること。

3．授　業　等

（1）授　　業

・授業の形態には、時間割表に基づいて行う通常の授業と、特定期間に集中的に行う集中講義とがある。なお、授業の都合により補講を行うこともある。

・集中講義は、原則として休暇期間中に行う（授業科目によっては他の時期に設定される場合もある）。

・補講及び集中講義に該当する授業科目は、光華 navi により通知する。

（2）授業時間

授業時間は、次のとおりである。

講　　時	第1講時	第2講時	第3講時	第4講時	第5講時
授業時間	8：50〜10：20	10：30〜12：00	12：50〜14：20	14：30〜16：00	16：10〜17：40

（3）休講について

大学の行事または各授業科目の担当者のやむを得ない事由により、授業を休講することがある。その場合は光華 navi により通知する。

休講の掲示がなく、始業開始時刻を30分以上経過しても授業が始まらない場合は、学生サポートセンター修学担当に問い合わせ指示を受けること。

（4）気象条件の悪化、交通機関の運休による授業の休講及び試験の延期措置について

気象条件の悪化等の影響により、以下に掲げる交通機関が運転を休止している場合あるいは休止が予想される場合には、授業の休講・定期試験の延期措置を行うことがある。

＜措置の基準＞

交通機関の不通・特別警報（種類を問わない）の発令、暴風警報の発令による臨時休講・授業の取り扱いは次のとおりとする。

＜１＞下記のいずれかの交通機関が不通の場合

① ＪＲ（米原～大阪）

② 阪急電車（京都線）

③ 京都市バス・京都市営地下鉄のいずれかが全面不通

＜２＞京都府南部に特別警報（種類を問わない）または暴風警報が発令された場合

京都府南部

京都市	宇治市	亀岡市	城陽市	向日市	長岡京市	八幡市
京田辺市	南丹市	木津川市	大山崎町	久御山町	井手町	
宇治田原町	笠置町	和束町	精華町	南山城村	京丹波町	

＜１＞＜２＞による授業開始は以下のとおりとする。

交通機関の開通時刻および警報解除時刻	授業開始講時
午前７時までに開通・解除	１講時から平常通り実施
午前 10 時までに開通・解除	３講時から実施
午前 10 時以降開通・解除	終日休講

（備考）

・上記の交通機関または地域以外で、不通・気象警報発令等の影響により通学が困難な場合は、届け出により考慮する。

・上記の取り扱いにかかわらず、自然災害等の状況によって別途の措置を講ずる場合がある。

・看護学科における臨地実習については、別途の基準による（臨地実習要項参照）。

（5）授業の休講・定期試験の延期措置等の周知方法・通知時刻

原則として、光華 navi で配信するため、必ず確認すること。

1．午前の授業の休講、定期試験の延期措置等については、当日午前７時の判断により通知する。

2．午後の授業の休講、定期試験等の延期措置等については、当日午前 10 時の判断により通知する。なお、気象・交通機関の状況の急変により、上記時刻を過ぎて休講または試験の延期を決定する場合がある。

（6）授業の出席について

授業の履修者は、すべての授業回に出席すること。

原則、所定授業回数の 2/3 以上出席しなければ、評価の対象とならない。

遅刻３回をもって欠席１回とする。

ただし、以下の場合は公欠とし、出席日数から省かれるため、欠席回数として算定されない。

ア．学外実習等

対象となる実習等は、以下の①と②に該当するもののみである。

①教育実習、介護等体験、相談援助実習Ａ、同Ｂ、精神保健福祉援助実習Ａ、同Ｂ、言語聴覚

士臨床実習、保育実習Ⅰ、同Ⅱ、同Ⅲ、栄養士・管理栄養士臨地実習、作業療法専攻臨床実習および看護学科臨地実習の実習期間の授業および試験に関して学生本人から科目担当者に公欠の届出のあった場合。

※こども教育学科の実習時期等についてはP.161 参照のこと

②大学、学部または学科主催の行事や研修等のため、それぞれ学長、学部長、学科長から科目担当者に公欠扱いの依頼があった場合。

イ．忌引

両親	7日
兄弟姉妹・祖父母	3日
同居の親族	1日

（ただし、遠隔地の場合は往復の時間を考慮する。なお、上記日数は休日等を含む）

ウ．学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症を発症した場合。ただし、医師の診断書により出席停止を必要とされた時期に限る（出席停止の措置がとられた場合、医師において感染のおそれがないと認められ登校を許可されれば、出校停止期間が明記された診断書もしくは、本学所定「感染症治癒・登校許可書」を提出のこと）。

〈学校保健安全法施行規則第18条に規定される感染症は次のとおり〉

第１種…エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウィルス属SARSコロナウィルスであるものに限る）及び鳥インフルエンザ（H5NI、H7N9）、中東呼吸器症候群

第２種…インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5NI、H7N9）を除く）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎、新型コロナウイルス感染症

第３種…コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症。

４．試　　験

（1）受験資格

次の各項の一に該当する場合は受験資格がない。

① 当該授業科目の履修登録を行っていない場合。

② 当該授業科目の欠席回数が、所定授業回数の1/３を超えた場合（例えば、15回授業の科目の場合、6回以上欠席した科目を指す）。なお遅刻３回をもって欠席１回とする。

なお、（6）授業の出席について（P. 13）に定めるア～ウに該当する場合は、欠席日数には算定されない。

③ 学生証（有効であること）を携帯していない場合。

（2）気象条件の悪化、交通機関の運休による試験の延期措置について

P. 12を参照すること。

（3）定期試験

定期試験は、前期末（7月下旬～8月上旬）に行うものを「前期末試験」、後期末（1月下旬～2月上旬）に行うものを「学年末試験」とする。履修した授業科目については、原則として試験が行われ、筆記・口述・レポート・論文・実習・製作物などによって行われる。特に、レポート・筆記試験の場合は、次の注意をよく守ること。

①レポート

定期試験期間中に提出を指示されたレポートについては、**用紙はＡ４サイズを使用し、指定の表紙を付ける**。

提出に関しての注意

ア．指定の表紙に必要事項をペン（鉛筆は不可）で記入し、ホッチキスで綴じること（止め金の後ろにセロテープまたは紙を貼る）。

イ．提出時にレポート受領票を受取り、成績を確認するまで各自保管すること。

ウ．不正行為はしないこと。盗用を含むレポートの提出はこれを認めない。

エ．一旦提出した後の追加・訂正・差し替え等はできないので注意すること。

オ．提出日・受付時間を厳守すること。**時間に遅れた場合は受付けない**（郵送は原則不可）。

② 筆記試験

ア．学生証は、必ず机上の通路側に、写真が見えるように置くこと。試験当日、学生証を忘れた者は、試験開始前に、学生サポートセンター学生生活担当で「仮学生証（試験受験用）」（当日限り有効）の交付を受けること。

イ．不正行為をしないよう厳正な態度で受験すること。

ウ．解答用紙は、持ち帰ったり廃棄したりしないこと。

エ．試験場には、許可されたもの以外は持ち込まないこと。

オ．前記のほか、試験場ではすべて監督者の指示に従うこと。もし従わない場合は、退場を命じられることがある。

カ．定期試験に欠席した者は、試験期間終了後３日以内に、所定の「試験欠席届・追試験願」を学生サポートセンター修学担当へ提出すること。

③ その他

ア．試験時間割の見間違いによって受験できなかった場合は、追試験には該当しないため、十分注意すること。

イ．試験開始後20分以上遅刻した者は試験を受けることはできない。また、試験開始後30分を経過しなければ試験場から退出できない。一旦退出した者は再入場できない。

ウ．定期試験時間は、授業時間と同じ。（P. 12参照）

（4）追　試　験

やむを得ぬ事由で定期試験に欠席した者の願い出に対して行われるのが追試験である。追試験を受けようとする者は**原則、試験期間終了後３日以内**（年度によって申請締切日時が異なるため、大学からの連絡を確認すること）に、所定の「試験欠席届・追試験願」に次のものを添付し、学生サポートセンター修学担当へ提出しなければならない。

① 病気の場合は、医療機関による診断書（欠席した期間が明記されているもの）

② 就職試験の場合は、就職支援センター長、公式試合などの場合は、学生部長の具申書

③ 公欠・忌引・出席停止の感染症（P. 13参照）および交通機関の事故など、不可抗力による欠

席の場合は、それを証明するもの

最終成績は100点を最高点とし、追試験料は１科目につき500円とする。ただし、③の場合の追試験料は徴収しない。

（注）無届欠席者および上の条件を充たさない者に対しては、追試験を行わない。

（5）再　試　験

再試験を受験する場合は、光華 navi にて配信される連絡事項をよく確認すること。

〈キャリア形成学科・福祉リハビリテーション学科（医療福祉学科）社会福祉専攻・人間健康学群〉

４年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。

40点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している３科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合。（ただし、「卒業研究」は除く）

※　再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。

再試験料は１科目につき1,000円とする。

〈心理学科〉

４年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。

40点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している３科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合。

※　再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。

再試験料は１科目につき1,000円とする。

〈健康栄養学科〉

健康栄養学科１～３年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。栄養士及び管理栄養士免許証の取得に必要な専門科目（管理栄養士については国家試験受験資格の要件）の講義科目のうち、40点以上の成績で不合格となった科目。

健康栄養学科４年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。40点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している３科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合（ただし、「卒業研究」は除く）。ただし、卒業要件にかかわりなく、栄養士および管理栄養士免許証の取得要件が充たせる場合も含むが、この場合も含めて在籍最終年度に履修している科目のうち３科目以内に限る。

※　再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。

再試験料は１科目につき1,000円とする。

〈看護学科〉

看護学科１～３年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。専門基礎、専門科目の必修科目のうち、60点未満の成績で不可となった科目（ただし、臨地実習は除く）。

看護学科４年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。40 点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している３科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合（ただし、「卒業論文」（「卒論ゼミ」）は除く）。

※　再試験の成績評価は可（60 点）・不可のいずれかとする。
　　再試験料は１科目につき 1,000 円とする。

〈福祉リハビリテーション学科（医療福祉学科）言語聴覚専攻〉

【2021～2023 年度入学生対象】

・言語聴覚専攻 1～3 年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。専門基礎、専門科目の必修科目のうち、40 点以上の成績で不合格になった科目（ただし、「臨床実習（見学実習）1 週間」「臨床実習（評価実習）4 週間」は除く）。

【2024 年度入学生対象】

言語聴覚専攻１～３年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。

専門基礎、専門科目の必修科目のうち、60 点未満の成績で不合格となった科目（ただし、「臨床実習（見学実習）１週間」「臨床実習（評価実習）４週間」「臨床実習（総合実習）８週間」は除く）

※　成績評価「欠」は除く

【４年次生】

・言語聴覚専攻４年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。40 点以上の成績で不合格になった科目のうち、在籍最終年度に履修している３科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合。（ただし、「臨床実習（総合実習）8 週間」「卒業研究」は除く）

※　再試験の評価は可（60 点）・不可のいずれかとする。
　　再試験料は１科目につき 1,000 円とする。

〈福祉リハビリテーション学科作業療法専攻〉

作業療法専攻の 1～3 年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。

作業療法士国家試験受験資格取得に必要な必修科目（リベラルアーツ教育科目除く）のうち、60 点未満の成績で不可となった科目（ただし、臨床実習は除く）。

作業療法専攻の４年次学生は、次の場合に限り再試験を申し出ることができる。

再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。40 点以上の成績で不合格となった科目のうち、在籍最終年度に履修している３科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合（ただし、「卒業研究」および「臨床実習」は除く）。

※再試験の成績評価は可（60 点）・不可のいずれかとする。
　再試験料は１科目につき 1,000 円とする。

〈こども教育学科〉

・40 点以上で不合格になった科目のうち、在籍最終年度に履修している３科目以内の科目の単位を取得すれば、卒業の要件を成立させることができる場合（ただし、「卒業研究」は除く）。ただし、卒業要件にかかわりなく、小学校教諭１種免許状・幼稚園教諭１種免許状・保育士資格の取得要

件が充たせる場合も含むが、この場合も含めて在籍最終年度に履修している科目のうち３科目以内に限る（「幼稚園教育実習」、「小学校教育実習Ⅰ」、「小学校教育実習Ⅱ」、「教育実習（幼・小）」「保育実習Ⅰ（保育所）」、「保育実習Ⅰ（施設）」、「保育実習Ⅱ」、「保育実習Ⅲ」は再試の対象とならない）。

※再試験の成績評価は可（60 点）・不可のいずれかとする。

再試験料は１科目につき 1,000 円とする。

（6）不正行為について

不正行為をしないよう厳正な態度で受験すること。

試験における不正行為とは、次のことをいう。

① レポート・論文・実習・製作物において盗用する行為。

※盗用の疑いがあるときは、厳正に調査の上、盗用の有無を確認する。

② 筆記試験において、他の学生の答案をのぞき見て写しとったり、他の学生に写させたりする行為。

③ その他不正な手段を用いて受験すること。

不正行為をした者は、次のとおり処分する。

ア．定期試験期間開始時にさかのぼって、試験期間中は停学処分とする。

イ．定期試験期間（追試験、再試験期間を含む）における一切の単位の修得を認めず、評価については０点とする。

ウ．卒業学年の再試験における不正行為については、当該科目のみ単位の修得を認めず、評価については０点とする。

※その他、不正行為の内容により、本学が定める

「学生懲戒委員会規定」に則って処分される場合がある。

（7）卒業研究・卒業論文

キャリア形成学科〔卒業研究〕

① 提出期間

2024 年度の卒業研究の提出期間は次のとおりである。

2024 年 12 月 2 日（月）～12 月 20 日（金）午後 3 時

（期間中の土曜日は除く）

期限を厳守して提出すること。**期限に遅れた場合は、どのような理由があっても受け付けない。**

② 提出先

学生サポートセンター修学担当

③ 枚数・書式等

枚数・形式・書式等の詳細については、指示に従うこと。

健康栄養学科〔卒業研究〕

① 提出期限

2024 年度の卒業研究の提出期限は次のとおりである。

管理栄養士専攻：2025 年 1 月 8 日（水）午後 3 時

健康スポーツ栄養専攻：2025 年 1 月 22 日（水）午後 3 時

期限を厳守して提出すること。**期限に遅れた場合は、どのような理由があっても受け付けない。**

② 提出先

学生サポートセンター修学担当（変更になる場合がある。学科からの指示に従うこと）

③　枚数・書式等

枚数・形式・書式等の詳細については、指示に従うこと。

看護学科〔卒業論文〕

①　提出期間

2024 年度の卒業論文の提出期間は次のとおりである。

2024 年 11 月 1 日（金）～11 月 22 日（金）午後 3 時

（期間中の土曜日は除く）

期限を厳守して提出すること。**期限に遅れた場合は、どのような理由があっても受け付けない。**

②　提出先

学生サポートセンター修学担当

③　枚数・書式等

形式・書式・枚数等の詳細については、指示に従うこと。

医療福祉学科〔卒業研究〕

①　提出期間

2024 年度の卒業研究の提出期間は次のとおりである。

［社会福祉専攻］

2024 年 12 月 2 日（月）～12 月 20 日（金）午後 3 時

（期間中の土曜日は除く）

期限を厳守して提出すること。**期限に遅れた場合は、どのような理由があっても受け付けない。**

［言語聴覚専攻］

2024 年 12 月 2 日（月）～12 月 20 日（金）午後 3 時

（期間中の土曜日は除く）

期限を厳守して提出すること。**期限に遅れた場合は、どのような理由があっても受け付けない。**

②　提出先

学生サポートセンター修学担当

③　枚数・書式等

枚数・形式・書式等の詳細については、指示に従うこと。

心理学科〔卒業論文・卒業研究〕

①　提出期間

2024 年度の卒業論文・卒業研究の提出期間は次のとおりである。

2024 年 12 月 2 日（月）～12 月 18 日（水）午後 3 時

（期間中の土曜日は除く）

期限を厳守して提出すること。**期限に遅れた場合は、どのような理由があっても受け付けない。**

②　提出先

学生サポートセンター修学担当

③　枚数・書式等

枚数・形式・書式等の詳細については、指示に従うこと。

④　再審査

次の場合、指定期間中の願い出により、大学運営会議の承認を得て再審査を受けることができる。

不合格となった卒業研究・卒業論文が 40 点以上のとき。

提出期限　2025 年 2 月 5 日（水）　午後 3 時

※詳細については、指示に従うこと。

再審査料は 1,000 円とする。

こども教育学科〔卒業研究〕

①　提出期間

2024 年度の卒業研究の提出期間は次のとおりである。

2024 年 12 月 2 日（月）～12 月 18 日（水）午後 3 時

（期間中の土曜日は除く）

期限を厳守して提出すること。**期限に遅れた場合は、どのような理由があっても受け付けない。**

②　提出先

学生サポートセンター修学担当

③　枚数・書式等

枚数・形式・書式等の詳細については、指示に従うこと。

5．転学部・転学科・転専攻

（1）転学部・転学科

転学部・転学科を希望する者（原則、１年次または２年次）については、大学運営会議の議を経て２年次または３年次からの転学部・転学科を許可することがある。詳細は、学生サポートセンター修学担当へ問い合わせること。

出願期間は、**2025 年 2 月 3 日（月）～2 月 28 日（金）**とする。

なお、転学部・転学科については、①入学後の履修状況、②希望学科の収容定員超過率が考慮される。

※転学部・転学科を希望する場合は、必ずクラスアドバイザーに相談すること。希望学科によっては、卒業要件や資格要件を満たすために、在学期間５年以上を要する場合がある。

※転学群については、転学部と同様に扱うものとする。

転学部・転学科受入学部・学科一覧

≪ 2023 年度入学生対象≫

学部	学科・専攻
キャリア形成学部	キャリア形成学科
健康科学部	医療福祉学科　社会福祉専攻
	心理学科
人間健康学群	

≪ 2024 年度入学生対象≫

学部	学科・専攻
キャリア形成学部	キャリア形成学科
健康科学部	心理学科
看護福祉リハビリテーション学部	医療福祉学科　社会福祉専攻
	医療福祉学科　言語聴覚専攻
	医療福祉学科　作業療法専攻
人間健康学群	

（2）転専攻

所属学科内において転専攻を希望する１年次または２年次に在籍する者については、下記の条件を充たした場合に、大学運営会議の議を経て２年次または３年次からの転専攻を許可することがある。詳細は、学生サポートセンター修学担当へ問い合わせること。

出願期間は、**2025 年 2 月 3 日（月）～2 月 28 日（金）**とする。

なお、転専攻については、以下の点が考慮される。

①希望者の成績が優良であること。

②転専攻を希望する目的が明瞭であること。

③異動を希望する専攻に学生受入数の余裕があること。

※転専攻を希望する場合は､必ず学科教員（クラスアドバイザー）に相談すること。希望専攻によっては、卒業要件や資格要件を満たすために、在学期間５年以上を要する場合がある。

転専攻受入学科・専攻一覧

≪ 2023 年度入学生対象≫

学部・学科	専攻	備考
健康科学部　健康栄養学科	管理栄養士専攻	
	健康スポーツ栄養専攻	
健康科学部　医療福祉学科	社会福祉専攻	言語聴覚専攻対象

≪ 2024 年度入学生対象≫

学部・学科	専攻	備考
健康科学部　健康栄養学科	管理栄養士専攻	
	健康スポーツ栄養専攻	
看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科	社会福祉専攻	
	言語聴覚専攻	
	作業療法専攻	

Ⅱ カリキュラム

A．キャリア形成学部　キャリア形成学科

〈2021・2022 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					
			京都光華の学び	演習	30	1				1					
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			○	○	
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					
			伝統文化	演習	30		1			1					
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1	必修				
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択				
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1					
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1					
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1					
			医療英語	演習	30	1				1					
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1					
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1					
			ハングルⅠ	演習	30	1				1					
			ハングルⅡ	演習	30	1				1					
			海外での語学研修	実習	30	2				2					
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2	選択				
			食生活と健康	講義	15	2				2					
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2					
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			仏教文化	講義	15	2				2					
			文化人類学	講義	15	2				2					
			言語と文学	講義	15	2				2					
			日本文化の理解	講義	15	2				2					
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					
			芸術文化論	講義	15	2				2					
			サブカルチャー論	講義	15	2				2					
			現代アジア事情	講義	15	2				2					
			現代欧米事情	講義	15	2				2					
			国際社会の理解	講義	15	2				2					
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			社会学	講義	15	2				2					
			日本国憲法	講義	15	2				2					
			現代社会と法	講義	15	2				2					
			現代社会と政治	講義	15	2				2					
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2					
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2					
			生命の科学	講義	15	2				2					
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					
			地域と環境	講義	15	2				2					
			生活と防災	講義	15	2				2					
			ボランティア論	講義	15	2				2					
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択		○		
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1			○		
			数的処理の基礎	演習	30	1				1					
			日本語表現の技法	演習	30	1				1					
			読解と思考の技法	演習	30	1				1					
			Webデザイン	演習	15		2			2					
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2					
			プログラミング入門	演習	15		2			2					
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2					
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2					
			データサイエンスPBL	演習	15		2			2					
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2					
			キャリア実習	実習	30	1				1					
			インターンシップ	実習	30			2		2					
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修				
			日本語FⅡ	演習	30	1				1					
			日本語SⅠ	演習	30		1			1					
			日本語SⅡ	演習	30		1			1					
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1					
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1					
専門科目	女性エンパワーメント		女性の生き方・働き方	講義	15	2				2	必修		○	○	
			女性と現代社会	講義	15	2				2			○		
			女性とビジネス	講義	15		2			2	選択	選択必修4単位	○	○	
			女性と経済	講義	15		2			2			○		
			女性のキャリア形成	演習	30			1		1					
			キャリアサポート	演習	30			1		1					
			女性のアントレプレナーシップ	講義	15			2		2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
専門科目	汎用スキル	日本語リテラシー	ロジカルシンキング	演習	30		1			1	選択	選択必修２単位			
			プレゼンテーション	演習	30		1			1				○	
			ロジカルライティング	演習	30		1			1					
		ＩＣＴ	情報社会の理解	講義	15	2				2	選択	選択必修６単位	○	○	
			情報技術の理解	講義	15	2				2			○		
			数と社会	演習	30	1				1					
			コンピュータ活用Ａ	演習	30		1			1			○		
			コンピュータ活用Ｂ	演習	30		1			1			○		
			コンピュータ活用Ｃ	演習	30		1			1			○	○	○
		外国語	ＴＯＥＩＣⅠ	演習	30		1			1	選択				
			ＴＯＥＩＣⅡ	演習	30		1			1					
			実践英語ⅠＡ	演習	30		1			1					
			実践英語ⅠＢ	演習	30		1			1					
			実践英語ⅡＡ	演習	30		1			1					
			実践英語ⅡＢ	演習	30		1			1					
			実践ビジネス英語	演習	30			1		1					
			実践ビジネス英会話	演習	30			1		1					
			セメスター留学	実習	45		6			6					
			長期（１年）留学	実習	45		12			12					
			実践中国語Ⅰ	演習	30		1			1					
			実践中国語Ⅱ	演習	30		1			1					
			実践ハングルⅠ	演習	30		1			1					
			実践ハングルⅡ	演習	30		1			1					
		プロジェクト・インターンシップ	プロジェクト入門Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	
			プロジェクト入門Ⅱ	演習	30	2				2			○	○	
			プロジェクト実践	演習	30		2			2	必修		○	○	
			プロジェクト評価	演習	30		1			1			○	○	
			専門実習（長期インターンシップ）	実習	45			2		2	選択				
	ゼミ		基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1					
			発展ゼミⅠ	演習	30		1			1					
			発展ゼミⅡ	演習	30		1			1					
			応用ゼミⅠ	演習	15			2		2					
			応用ゼミⅡ	演習	15			2		2					
			応用ゼミⅢ	演習	15				2	2					
			応用ゼミⅣ	演習	15				2	2					
			卒業研究	演習	—				2	2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
専門科目	専門・応用	マネジメント基幹	ビジネス・マネジメント原論	講義	15		2			2	選択	選択必修4単位		○	
			サービス・マネジメント原論	講義	15		2			2					
			ソーシャル・マネジメント原論	講義	15		2			2					
		ビジネス	広報企画デザイン	演習	30	1				1	選択				
			経営学	講義	15		2			2				○	
			会計学	講義	15		2			2					
			経済学	講義	15			2		2					
			マーケティング	講義	15		2			2					
			経営情報	講義	15		2			2					
			消費者心理学	講義	15		2			2					
			産業・組織心理学	講義	15		2			2					
			金融ビジネス	講義	15		2			2					
			ロジスティクス	講義	15			2		2					
			経営法務	講義	15			2		2					
			組織とヒューマンリソース	講義	15			2		2					
		サービス	サービスプランニング	演習	30	1				1	選択				
			アパレルプランニング	演習	30	1				1					
			化粧心理	演習	30	1				1					
			観光ビジネス	講義	15		2			2					
			観光リソース	講義	15		2			2					
			食文化・フードビジネス	講義	15		2			2					
			食空間コーディネート	講義	15			2		2					
			食文化演習	演習	30		2			2					
			食マーケティング論	講義	15				2	2					
			ブライダルビジネス	講義	15		2			2					
			ブライダル企画演習	演習	15		2			2					
			ファッションビジネス	講義	15		2			2					
			アパレル販売	講義	15		2			2					
			ブランドデザイン	講義	15			2		2					
			インテリア計画	講義	15		2			2					
			住空間コーディネート	講義	15		2			2					
			ショップデザイン	講義	15		2			2					
			インテリアビジネス	講義	15			2		2					
		ソーシャル	地域公共政策	講義	15		2			2	選択				
			社会政策	講義	15		2			2					
			ソーシャルビジネス	講義	15		2			2					
			企業の社会的責任	講義	15		2			2					
			現代社会のリスクとまちづくり	講義	15		2			2					
			多文化共生社会	講義	15		2			2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
専門科目	専門応用	ソーシャル	社会とジェンダー	講義	15		2			2	選択				
			地方自治	講義	15			2		2					
			まちづくりデザイン	講義	15			2		2					
			現代社会と福祉Ⅰ	講義	15			2		2					
			現代社会と福祉Ⅱ	講義	15			2		2					
	専門関連科目	秘書	ビジネスマナー	演習	30	1				1	選択			○	
			ビジネス実務	演習	15		2			2				○	
		簿記・金融	簿記・会計実務基礎	講義	15		2			2	選択			○	
			簿記・会計実務応用	講義	15		2			2				○	
			ファイナンシャル・プランニング入門	講義	15		2			2					
			ファイナンシャル・プランニング応用	講義	15		2			2					
		婚礼	ブライダル実務	講義	15		2			2	選択				
			ブライダルコーディネート	講義	15		2			2					
		観光	観光地理（国内）	講義	15		2			2	選択				
			観光地理（海外）	講義	15		2			2					
			国内旅行の取扱管理Ⅰ	講義	15		2			2					
			国内旅行の取扱管理Ⅱ	講義	15		2			2					
			総合旅行取扱管理	講義	15			2		2					
			観光英語Ⅰ	演習	30			1		1					
			観光英語Ⅱ	演習	30			1		1					
		調査	社会と統計	講義	15	2				2	選択				○
			データ解析入門	演習	30		1			1			○		○
			データ解析応用	演習	30			1		1					○
			社会調査法	講義	15			2		2					○
			社会調査実習Ⅰ	演習	30			1		1					○
			社会調査実習Ⅱ	演習	30			1		1					○
自由科目		医療事務	メディカルクラークⅠ	講義	15		2			2	自由				
			メディカルクラークⅡ	講義	15		2			2					
			メディカルクラーク応用	講義	15		1			1					
			ドクターズクラークⅠ	講義	15		2			2					
			ドクターズクラークⅡ	講義	15		2			2					
			ケアクラーク	講義	15		2			2					
			調剤報酬請求事務	講義	15		2			2					
		公務員	公務員特別演習基礎	演習	30		1			1					
			公務員特別演習応用	演習	30			1		1					
			公務員特別演習発展	演習	30			1		1					
			公務員特別演習（総合）	演習	30				1	1					

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は36単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択22単位）。

専門科目は92単位以上修得すること（女性エンパワーメント区分必修4単位・選択必修4単位、汎用スキル区分必修7単位・選択必修8単位、ゼミ区分必修14単位、専門応用区分選択必修4単位、選択51単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

キャリア形成学部　キャリア形成学科

〈2023 年度以降入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	関連資格 上級ビジネス実務士	関連資格 社会調査士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					
			京都光華の学び	演習	30	1				1			○		
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			○	○	
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					
			データサイエンス入門	演習	30	1				1			○		
			伝統文化	演習	30		1			1					
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					
			English in Use A	演習	30	1				1	選択				
			English in Use B	演習	30	1				1					
			English in Use C	演習	30	1				1					
			English in Use D	演習	30	1				1					
			English in Use E	演習	30	1				1					
			English in Use F	演習	30	1				1					
			医療英語	演習	30	1				1					
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1					
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1					
			ハングルⅠ	演習	30	1				1					
			ハングルⅡ	演習	30	1				1					
			海外での語学研修	実習	30	2				2					
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2	選択				
			食生活と健康	講義	15	2				2					
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2					
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1					
			マインドフルネス	実習	30	1				1					
			教養囲碁入門	実習	30	1				1					
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2					
			仏教文化	講義	15	2				2					
			文化人類学	講義	15	2				2					
			言語と文学	講義	15	2				2					
			日本文化の理解	講義	15	2				2					
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					
			芸術文化論	講義	15	2				2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	サブカルチャー論	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			現代アジア事情	講義	15	2				2					
			現代欧米事情	講義	15	2				2					
			国際社会の理解	講義	15	2				2					
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			社会学	講義	15	2				2					
			日本国憲法	講義	15	2				2					
			現代社会と法	講義	15	2				2					
			現代社会と政治	講義	15	2				2					
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2					
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2					
			情報社会の理解	講義	15	2				2			○	○	
			生命の科学	講義	15	2				2					
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					
			地域と環境	講義	15	2				2					
			生活と防災	講義	15	2				2					
			ボランティア論	講義	15	2				2					
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択		○		
			情報技術の理解	講義	15	2				2			○		
			数的処理の基礎	演習	30	1				1					
			読解と思考の技法	演習	30	1				1					
			Webデザイン	演習	15		2			2			○		
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2					
			キャリア実習	実習	30	1				1					
			インターンシップ	実習	30			2		2					
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択		○		
			プログラミング入門	演習	15	2				2			○		
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2			○		
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2			○		
			データサイエンスPBL	演習	15		2			2			○		
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修				
			日本語FⅡ	演習	30	1				1					
			日本語SⅠ	演習	30		1			1					
			日本語SⅡ	演習	30		1			1					
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1					
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
専門科目	女性エンパワーメント		女性の生き方・働き方	講義	15	2				2	必修		○	○	
			女性と経済	講義	15		2			2	選択			○	
			女性と現代社会	講義	15		2			2			○		
			女性とメディカル	講義	15		2			2					
			女性のキャリア形成	演習	30			1		1					
			女性のアントレプレナーシップ	講義	15			2		2				○	
	ゼミ		基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1					
			発展ゼミⅠ	演習	30		1			1					
			発展ゼミⅡ	演習	30		1			1					
			応用ゼミⅠ	演習	15			2		2					
			応用ゼミⅡ	演習	15			2		2					
			卒業研究Ⅰ	演習	15				2	2					
			卒業研究Ⅱ	演習	15				2	2					
	専門基盤	ロジック	経営学のための数学基礎	演習	30	1				1	選択				
			ロジカルシンキング	演習	30		1			1					
		経営基礎	現代社会と経営	講義	15	2				2	選択				
			経営入門	講義	15	2				2					
			ビジネス・マネジメント原論	講義	15		2			2				○	
			サービス・マネジメント原論	講義	15		2			2					
			ソーシャル・マネジメント原論	講義	15		2			2					
		プロジェクト・インターンシップ	地域参加	演習	30	1				1	必修		○		
			プロジェクト入門	演習	30	2				2			○	○	
			プロジェクト実践	演習	30			2		2			○	○	
			プロジェクト評価	演習	30			1		1			○	○	
			専門実習（長期インターンシップ）	実習	45			2		2	選択			○	
	専門応用	経営	経営学	講義	15		2			2	選択			○	
			会計学	講義	15		2			2				○	
			経済学	講義	15			2		2				○	
			マーケティング	講義	15		2			2				○	
			経営戦略	講義	15		2			2				○	
			組織とヒューマンリソース	講義	15		2			2					
			経営情報	講義	15		2			2					
			消費者心理学	講義	15		2			2					
			経営法務	講義	15		2			2					
			金融ビジネス	講義	15			2		2				○	
			流通ビジネス	講義	15			2		2				○	
			ロジスティクス	講義	15			2		2					
			スモールビジネス演習	演習	15			2		2				○	

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
専門科目	専門応用	経営関連	ビジネスマナー	演習	30	1				1	選択			○	
			簿記・会計実務（決算と財務諸表）	講義	15		2			2					
			簿記・会計実務（財務諸表の分析）	講義	15		2			2					
			ファイナンシャル・プランニング（将来設計）	講義	15		2			2					
			ファイナンシャル・プランニング（資産運用）	講義	15		2			2					
		データサイエンス	ビジネスデータ分析基礎	演習	15		2			2	選択		○	○	○
			ビジネスデータ分析応用	演習	15			2		2				○	
			テキストマイニング	演習	15		2			2					
			データサイエンス実践	演習	15		2			2			○		○
			データサイエンス発展	演習	15			2		2					○
		クリエーション	広報企画デザイン	演習	30	1				1	選択				
			色彩とデザイン	講義	15	2				2					
			グラフィックデザイン	演習	30		1			1			○		
			ビジュアルデザイン	演習	30		1			1			○		
			ユニバーサルデザイン	講義	15		2			2					
			デジタルメディア	演習	15			2		2					
	専門応用	ファッション	アパレルプランニング	演習	30	1				1	選択				
			ファッションビジネス	講義	15		2			2					
			ファッション企画演習	演習	15		2			2					
			ショップデザイン	講義	15		2			2					
			ブランドデザイン	講義	15			2		2					
		ブライダル	ブライダルビジネス	講義	15		2			2	選択				
			ブライダル実務	講義	15		2			2					
			ブライダル企画演習	演習	15		2			2					
			ブライダルコーディネート	講義	15		2			2					
		インテリア・住空間	インテリアプランニング	演習	30	1				1	選択				
			インテリアビジネス	講義	15		2			2					
			インテリア企画演習	演習	15		2			2					
			インテリア計画	講義	15		2			2					
			住空間コーディネート	講義	15		2			2					
			宅地と建物	講義	15			2		2					
		観光・食文化	サービスプランニング	演習	30	1				1	選択				
			観光ビジネス	講義	15		2			2					
			観光資源	講義	15		2			2					
			観光地理	講義	15		2			2					
			国内旅行の取扱管理（法務・約款）	講義	15		2			2					
			国内旅行の取扱管理（旅行実務）	講義	15		2			2					
			食文化・フードビジネス	講義	15		2			2					
			食文化演習	演習	30		1			1					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
専門科目	専門応用	観光・食文化	食空間コーディネート	講義	15			2		2	選択				
			食マーケティング論	講義	15				2	2					
		美と健康	化粧と心理	演習	30	1				1	選択				
			化粧の科学	講義	15		2			2					
			医薬品管理	講義	15		2			2					
			販売登録者実務	講義	15		2			2					
		現代社会	フィールドスタディ	演習	30		1			1	選択				
			ソーシャルビジネス	講義	15		2			2					
			企業の社会的責任	講義	15		2			2					
			現代社会とリスク管理	講義	15		2			2					
			社会と環境	講義	15		2			2					
			多文化共生社会	講義	15		2			2					
			社会とジェンダー	講義	15		2			2					
		公共政策	地方自治	講義	15		2			2	選択				
			地域公共政策	講義	15			2		2					
			まちづくりデザイン	講義	15			2		2					
			現代社会と福祉	講義	15			2		2					
			コミュニティ心理学	講義	15			2		2					
		社会調査	社会調査入門	講義	15	2				2	選択				○
			社会調査法	講義	15		2			2					○
			社会調査実習Ⅰ	演習	30			1		1					○
			社会調査実習Ⅱ	演習	30			1		1					○
		外国語	TOEICⅠ	演習	30		1			1	選択				
			TOEICⅡ	演習	30		1			1					
			実践英語Ⅰ	演習	30		1								
			実践英語Ⅱ	演習	30		1								
			実践ビジネス英語	演習	30			1		1					
			実践ビジネス英会話	演習	30			1		1					
			セメスター留学	実習	45		6			6					
			長期（1年）留学	実習	45		12			12					
			実践中国語Ⅰ	演習	30		1			1					
			実践中国語Ⅱ	演習	30		1			1					
			実践ハングルⅠ	演習	30		1			1					
			実践ハングルⅡ	演習	30		1			1					
自由科目		医療事務など	メディカルクラークⅠ	講義	15		2			2	自由				
			メディカルクラークⅡ	講義	15		2			2					
			メディカルクラーク応用	講義	15		1			1					
			ドクターズクラークⅠ	講義	15		2			2					
			ドクターズクラークⅡ	講義	15		2			2					

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 上級情報処理士	上級ビジネス実務士	社会調査士
自由科目	医療事務など	ケアクラーク	講義	15		2			2	自由				
		調剤報酬請求事務	講義	15		2			2					
	公務員	公務員特別演習基礎	演習	30		1			1					
		公務員特別演習応用	演習	30			1		1					
		公務員特別演習発展	演習	30			1		1					
		公務員特別演習（総合）	演習	30				1	1					

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目は36単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択21単位）。
専門科目は92単位以上修得すること（必修20単位、選択72単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

B．健康科学部　健康栄養学科・管理栄養士専攻

〈2021・2022 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修							
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2								
			京都光華の学び	演習	30	1				1								
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1								
			アカデミックライティング	演習	30	1				1								
			伝統文化	演習	30		1			1								
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1								○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1								○
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択							
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1								
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1								
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1								
			医療英語	演習	30	1				1								
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1								
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1								
			ハングルⅠ	演習	30	1				1								
			ハングルⅡ	演習	30	1				1								
			海外での語学研修	実習	30		2			2								
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2								
			食生活と健康	講義	15	2				2								
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2								
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1								○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1								○
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位							
			仏教文化	講義	15	2				2								
			文化人類学	講義	15	2				2								
			言語と文学	講義	15	2				2								
			日本文化の理解	講義	15	2				2								
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2								
			芸術文化論	講義	15	2				2								
			サブカルチャー論	講義	15	2				2								
			現代アジア事情	講義	15	2				2								
			現代欧米事情	講義	15	2				2								
			国際社会の理解	講義	15	2				2								
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2								

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位							
			社会学	講義	15	2				2								
			日本国憲法	講義	15	2				2								○
			現代社会と法	講義	15	2				2								
			現代社会と政治	講義	15	2				2								
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2								
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2								
			生命の科学	講義	15	2				2								
			生活と物理・化学	講義	15	2				2								
			地域と環境	講義	15	2				2								
			生活と防災	講義	15	2				2								
			ボランティア論	講義	15	2				2								
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択							○
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1								○
			数的処理の基礎	演習	30	1				1								
			日本語表現の技法	演習	30	1				1								
			読解と思考の技法	演習	30	1				1								
			Ｗｅｂデザイン	演習	15		2			2								
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2								
			プログラミング入門	演習	15		2			2								
			ＡＩへのアプローチ	講義	15		2			2								
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2								
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15		2			2								
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2								
			キャリア実習	実習	30	1												
			インターンシップ	実習	30			2		2								
専門科目	基礎		基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修							
			生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修							
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修							
			専門職の連携（応用）	演習	30				1	1	選択							
	社会・環境と健康		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
			公衆衛生学Ⅱ	講義	15			2		2	必修		○	○		○		
			健康管理論	講義	15	2				2	選択			○		○	○	
			健康評価実習	実習	45		1			1	必修		○	○			○	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち		人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○		○	○	
			人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○	○	
			人体の構造と生理Ⅲ	講義	15		2			2	選択			○		○		
			生化学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○		○		
			生化学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
専門科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	運動生理学	講義	15		2			2	選択			○			○	
		臨床検査・病理	講義	15			2		2	選択			○		○		
		人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	必修		○	○		○		
		生化学実験Ⅰ	実験	45	1				1	必修		○	○		○		
		生化学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○		○		
専門科目	食べ物と健康	食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○		
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○	○	○		
		食品加工学	講義	15		2			2	選択			○		○		
		食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○	○	○		
		調理学	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○		
		食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1	必修		○	○	○	○		
		食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○	○	○		
		食品衛生学実験	実験	45			1		1	選択			○		○		
		調理実習基礎	実習	45	1				1	必修		○	○	○			
		調理実習応用	実習	45	1				1	必修		○	○	○			
		食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択			○				
	基礎栄養学	基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○	○	
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		栄養学実験	実験	45		1			1	必修		○	○		○		
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		応用栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	選択			○				
		応用栄養学Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		応用栄養学実習	実習	45			1		1	必修		○	○				
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		栄養教育論Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		栄養教育論Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		栄養教育論実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○				
		栄養教育論実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		臨床栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養学Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養管理	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養学実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○				
		臨床栄養学実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	必修		○	○				
		公衆栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○				
		栄養疫学	講義	15		2			2	選択					○		
		公衆栄養学実習	実習	45			1		1	必修		○	○				

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
専門科目	給食経営管理論	給食マネジメント論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		給食マネジメント論Ⅱ	講義	15		2			2	選択			○				
		給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45		1			1	必修		○	○		○		
		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1	必修		○	○		○		
	総合演習	総合演習Ⅰ	演習	15			2		2	選択			○				
		総合演習Ⅱ	演習	15				2	2	選択			○				
		総合演習Ⅲ	演習	15				2	2	選択							
	臨地実習	臨地実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修	臨地実習の履修年次、期間は実習先により異なる。実習先の定員等の関係により希望する実習先を選択できないことがある。	○	○				
		臨地実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				
		臨地実習Ⅲ	実習	45			1		1	選択			○				
		臨地実習Ⅳ	実習	45				1	1	選択			○				
	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択							
		健康プロジェクトⅡA	演習	30		1			1	選択							
		健康プロジェクトⅡB	演習	30			1		1	選択							
		卒業研究	—	—				4	4	必修							
	関連科目	フードスペシャリスト論	講義	15			2		2	選択				○			
		フードコーディネート論	講義	15				2	2	選択				○			
		食マーケティング論	講義	15				2	2	選択				○			
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択				○	○		
		分析化学	講義	15			2		2	選択					○		
		健康スポーツ指導Ⅰ	実習	30	1				1	選択						○	
		健康スポーツ指導Ⅱ	実習	30	1				1	選択						○	
		健康スポーツ指導Ⅲ	実習	30	1				1	選択						○	
		健康スポーツ指導Ⅳ	実習	30			1		1	選択						○	
		スポーツ心理学	講義	15		2			2	選択						○	
		健康づくりと運動	講義	15			2		2	選択						○	
		安全管理と救急処置	講義	15		2			2	選択						○	
		学校栄養教育論	講義	15	2				2	選択							○
		学校栄養教育実践論	講義	15			2		2	選択							○
自由科目		教職論	講義	15	2				2	自由							○
		教育原理	講義	15		2			2								○
		教育心理学	講義	15		2			2								○
		教育行政学	講義	15		2			2								○
		人権教育	講義	15		2			2								○
		特別支援教育	講義	15		2			2								○
		教育課程論	講義	15		2			2								○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2								○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2								○
		教育方法論	講義	15		2			2								○

区分	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	関連資格 管理栄養士	関連資格 フードスペシャリスト	関連資格 食品衛生監視員・管理者	関連資格 健康運動実践指導者	関連資格 栄養教諭一種
自由科目	生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2	自由							○
	教育相談	講義	15		2			2								○
	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2								○
	事前・事後指導	実習	30			1		1								○
	栄養教育実習	実習	45			1		1								○

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目は 21 単位以上修得すること（必修 10 単位、選択必修 4 単位、選択 7 単位）。
専門科目は 107 単位以上修得すること（必修 59 単位、選択 48 単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計 128 単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
2020 年度入学生より、学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
食品衛生監視員および食品衛生管理者の資格取得に必要な必修科目 39 単位及び選択科目 1 単位以上を修得すること。
（詳細は 275 ページ参照）
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　健康栄養学科・管理栄養士専攻

〈2023 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修							
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2								
			京都光華の学び	演習	30	1				1								
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1								
			アカデミックライティング	演習	30	1				1								
			データサイエンス入門	演習	30	1				1								○
			伝統文化	演習	30			1		1								
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1								○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1								○
			English in Use A	演習	30		1			1	選択							
			English in Use B	演習	30		1			1								
			English in Use C	演習	30		1			1								
			English in Use D	演習	30		1			1								
			English in Use E	演習	30		1			1								
			English in Use F	演習	30		1			1								
			医療英語	演習	30		1			1								
			中国語Ⅰ	演習	30		1			1								
			中国語Ⅱ	演習	30		1			1								
			ハングルⅠ	演習	30		1			1								
			ハングルⅡ	演習	30		1			1								
			海外での語学研修	実習	30			2		2								
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15		2			2								
			食生活と健康	講義	15		2			2								
			生涯スポーツ入門	講義	15		2			2								
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1								○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			1								○
			アダプテッドスポーツ	実習	30		1			1								
			マインドフルネス	実習	30		1			1								
			教養囲碁入門	実習	30		1			1								
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位							
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2								
			仏教文化	講義	15	2				2								
			文化人類学	講義	15	2				2								
			言語と文学	講義	15	2				2								
			日本文化の理解	講義	15	2				2								
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2								
			芸術文化論	講義	15	2				2								

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	関連資格 管理栄養士	関連資格 フードスペシャリスト	関連資格 食品衛生監視員・管理者	関連資格 健康運動実践指導者	関連資格 栄養教諭一種
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	サブカルチャー論	講義	15		2			2	選択必修2単位							
			現代アジア事情	講義	15		2			2								
			現代欧米事情	講義	15		2			2								
			国際社会の理解	講義	15		2			2								
			国際社会とジェンダー	講義	15		2			2								
		Ⅱ群	心理学	講義	15		2			2	選択必修2単位							
			社会学	講義	15		2			2								
			日本国憲法	講義	15		2			2								○
			現代社会と法	講義	15		2			2								
			現代社会と政治	講義	15		2			2								
			くらしのなかの経済学	講義	15		2			2								
			くらしのなかの統計学	講義	15		2			2								
			情報社会の理解	講義	15		2			2								
			生命の科学	講義	15		2			2								
			生活と物理・化学	講義	15		2			2								
			地域と環境	講義	15		2			2								
			生活と防災	講義	15		2			2								
			ボランティア論	講義	15		2			2								
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択							○
			情報技術の理解	講義	15		2			2								
			数的処理の基礎	演習	30		1			1								
			読解と思考の技法	演習	30		1			1								
			Ｗｅｂデザイン	演習	15			2		2								
			産官学連携プロジェクト	演習	15		2			2								
			キャリア実習	実習	30		1											
			インターンシップ	実習	30				2	2								
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15		2			2	選択							
			プログラミング入門	演習	15		2			2								
			ＡＩへのアプローチ	講義	15			2		2								
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2								
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15			2		2								
専門科目	基礎		基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修							
			生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修							
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修							
	社会・環境と健康		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
			公衆衛生学Ⅱ	講義	15			2		2	必修		○	○		○		
			健康管理論	講義	15	2				2	選択			○		○	○	
			健康評価実習	実習	45		1			1	必修		○	○			○	

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
専門科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○		○	○	
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○	○	
		人体の構造と生理Ⅲ	講義	15		2			2	選択			○		○		
		生化学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○		○		
		生化学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		運動生理学	講義	15		2			2	選択			○			○	
		臨床検査・病理	講義	15			2		2	選択			○		○		
		人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	必修		○	○		○		
		生化学実験Ⅰ	実験	45	1				1	必修		○	○		○		
		生化学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○		○		
	食べ物と健康	食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○		
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○	○	○		
		食品加工学	講義	15		2			2	選択			○		○		
		食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○	○	○		
		調理学	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○		
		食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1	必修		○	○	○	○		
		食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○	○	○		
		食品衛生学実験	実験	45			1		1	選択			○		○		
		調理実習基礎	実習	45	1				1	必修		○	○	○			
		調理実習応用	実習	45	1				1	必修		○	○	○			
		食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択			○				
	基礎栄養学	基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○	○	
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		栄養学実験	実験	45		1			1	必修		○	○		○		
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		応用栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	選択			○				
		応用栄養学Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		応用栄養学実習	実習	45			1		1	必修		○	○				
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		栄養教育論Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		栄養教育論Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		栄養教育論実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○				
		栄養教育論実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		臨床栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養学Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養管理	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養学実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○				
		臨床栄養学実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
専門科目	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	必修		○	○				
		公衆栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○				
		栄養疫学	講義	15		2			2	選択					○		
		公衆栄養学実習	実習	45			1		1	必修		○	○				
	給食経営管理論	給食マネジメント論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		給食マネジメント論Ⅱ	講義	15		2			2	選択			○				
		給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45		1			1	必修		○	○		○		
		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1	必修		○	○		○		
	総合演習	総合演習Ⅰ	演習	15			2		2	選択			○				
		総合演習Ⅱ	演習	15				2	2	選択			○				
		総合演習Ⅲ	演習	15				2	2	選択							
	臨地実習	臨地実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修	臨地実習の履修年次、期間は実習先により異なる。実習先の定員等の関係により希望する実習先を選択できないことがある。	○	○				
		臨地実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				
		臨地実習Ⅲ	実習	45			1		1	選択			○				
		臨地実習Ⅳ	実習	45				1	1	選択			○				
専門科目	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択							
		健康プロジェクトⅡ	演習	30			1		1	選択							
		病棟栄養管理特論	講義	15			2		2	選択							
		臨床栄養学実践演習Ⅰ	演習	30			1		1	選択							
		臨床栄養学実践演習Ⅱ	演習	30			1		1	選択							
		食品開発論	講義	15		2			2	選択							
		食品プロセス演習	演習	30			1		1	選択							
		食品開発演習	演習	30			1		1	選択							
		卒業研究	—	—				4	4	必修							
	関連科目	専門職の連携（応用）	演習	30				1	1	選択							
		心理学的支援法	講義	15		2			2	選択	メディカル栄養コース選択者（履修推奨）						
		メンタルヘルス論	講義	15			2		2	選択							
		生命倫理	講義	15		1			1	選択							
		中医学の基礎	講義	15		1			1	選択							
		摂食嚥下障害学	講義	15			2		2	選択							
		ターミナルケア	演習	30			1		1	選択							
		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択							
		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択	食創造コース履修者（履修推奨）			○			
		フードコーディネート論	講義	15				2	2	選択				○			
		食マーケティング論	講義	15				2	2	選択				○			
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択				○	○		
		分析化学	講義	15			2		2	選択					○		
		健康スポーツ指導Ⅰ	実習	30	1				1	選択						○	
		健康スポーツ指導Ⅱ	実習	30	1				1	選択						○	

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
専門科目	関連科目	健康スポーツ指導Ⅲ	実習	30	1				1	選択						○	
		健康スポーツ指導Ⅳ	実習	30			1		1	選択						○	
		スポーツ心理学	講義	15		2			2	選択						○	
		健康づくりと運動	講義	15			2		2	選択						○	
		安全管理と救急処置	講義	15		2			2	選択						○	
		学校栄養教育論	講義	15	2				2	選択							○
		学校栄養教育実践論	講義	15			2		2	選択							○
自由科目		教職論	講義	15	2				2	自由							○
		教育原理	講義	15		2			2								○
		教育心理学	講義	15		2			2								○
		教育行政学	講義	15		2			2								○
		人権教育	講義	15		2			2								○
		特別支援教育	講義	15		2			2								○
		教育課程論	講義	15		2			2								○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2								○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2								○
		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			2								○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2								○
		教育相談	講義	15		2			2								○
		教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2								○
		事前・事後指導	実習	30			1		1								○
		栄養教育実習	実習	45			1		1								○

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は21単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択6単位）。
専門科目は107単位以上修得すること（必修59単位、選択48単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　健康栄養学科・管理栄養士専攻

〈2024 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修							
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2								
			京都光華の学び	演習	30	1				1								
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1								
			アカデミックライティング	演習	30	1				1								
			データサイエンス入門	演習	30	1				1								○
			伝統文化	演習	30		1			1								
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1								○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1								○
			English in Use A	演習	30	1				1	選択							
			English in Use B	演習	30	1				1								
			English in Use C	演習	30	1				1								
			English in Use D	演習	30	1				1								
			English in Use E	演習	30	1				1								
			English in Use F	演習	30	1				1								
			医療英語	演習	30	1				1								
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1								
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1								
			ハングルⅠ	演習	30	1				1								
			ハングルⅡ	演習	30	1				1								
			海外での語学研修	実習	30	2				2								
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2								
			食生活と健康	講義	15	2				2								
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2								
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1								○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1								○
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1								
			マインドフルネス	実習	30	1				1								
			教養囲碁入門	実習	30	1				1								
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位							
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2								
			仏教文化	講義	15	2				2								
			文化人類学	講義	15	2				2								
			言語と文学	講義	15	2				2								
			日本文化の理解	講義	15	2				2								
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2								
			芸術文化論	講義	15	2				2								

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	サブカルチャー論	講義	15		2			2	選択必修2単位							
			現代アジア事情	講義	15		2			2								
			現代欧米事情	講義	15		2			2								
			国際社会の理解	講義	15		2			2								
			国際社会とジェンダー	講義	15		2			2								
		Ⅱ群	心理学	講義	15		2			2	選択必修2単位							
			社会学	講義	15		2			2								
			日本国憲法	講義	15		2			2								○
			現代社会と法	講義	15		2			2								
			現代社会と政治	講義	15		2			2								
			くらしのなかの経済学	講義	15		2			2								
			くらしのなかの統計学	講義	15		2			2								
			情報社会の理解	講義	15		2			2								
			生命の科学	講義	15		2			2								
			生活と物理・化学	講義	15		2			2								
			地域と環境	講義	15		2			2								
			生活と防災	講義	15		2			2								
			ボランティア論	講義	15		2			2								
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択							○
			情報技術の理解	講義	15		2			2								
			数的処理の基礎	演習	30		1			1								
			読解と思考の技法	演習	30		1			1								
			Ｗｅｂデザイン	演習	15			2		2								
			産官学連携プロジェクト	演習	15		2			2								
			キャリア実習	実習	30		1			1								
			インターンシップ	実習	30				2	2								
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15		2			2	選択							
			プログラミング入門	演習	15		2			2								
			ＡＩへのアプローチ	講義	15			2		2								
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2								
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15			2		2								
	留学生		日本語ＦⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修							
			日本語ＦⅡ	演習	30	1				1								
			日本語ＳⅠ	演習	30		1			1								
			日本語ＳⅡ	演習	30		1			1								
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1								
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1								

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
専門科目	基礎	基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修							
		生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修							
		専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修							
	社会・環境と健康	公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		公衆衛生学Ⅱ	講義	15			2		2	必修		○	○		○		
		健康管理論	講義	15	2				2	選択			○		○	○	
		健康評価実習	実習	45		1			1	必修		○	○			○	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○		○	○	
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○	○	
		人体の構造と生理Ⅲ	講義	15		2			2	選択			○		○		
		生化学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○		○		
		生化学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		運動生理学	講義	15		2			2	選択			○			○	
		臨床検査・病理	講義	15			2		2	選択			○		○		
		人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	必修		○	○		○		
		生化学実験Ⅰ	実験	45	1				1	必修		○	○		○		
		生化学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○		○		
	食べ物と健康	食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○		
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○	○	○		
		食品加工学	講義	15		2			2	選択			○		○		
		食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○	○	○		
		調理学	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○		
		食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1	必修		○	○	○	○		
		食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○	○	○		
		食品衛生学実験	実験	45			1		1	選択			○		○		
		調理実習基礎	実習	45	1				1	必修		○	○	○			
		調理実習応用	実習	45	1				1	必修		○	○	○			
		食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択			○				
	基礎栄養学	基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○	○	
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		栄養学実験	実験	45		1			1	必修		○	○		○		
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		応用栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	選択			○				
		応用栄養学Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		応用栄養学実習	実習	45			1		1	必修		○	○				
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		栄養教育論Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		栄養教育論Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		栄養教育論実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○				
		栄養教育論実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	管理栄養士	フードスペシャリスト	食品衛生監視員・管理者	健康運動実践指導者	栄養教諭一種
専門科目	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		臨床栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養学Ⅲ	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養管理	講義	15			2		2	選択			○				
		臨床栄養学実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修		○	○				
		臨床栄養学実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	必修		○	○				
		公衆栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	選択			○				
		栄養疫学	講義	15		2			2	選択					○		
		公衆栄養学実習	実習	45			1		1	必修		○	○				
	給食経営管理論	給食マネジメント論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○	○		○		
		給食マネジメント論Ⅱ	講義	15		2			2	選択			○				
		給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45		1			1	必修		○	○		○		
		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1	必修		○	○		○		
	総合演習	総合演習Ⅰ	演習	15			2		2	選択			○				
		総合演習Ⅱ	演習	15				2	2	選択			○				
		総合演習Ⅲ	演習	15				2	2	選択							
	臨地実習	臨地実習Ⅰ	実習	45			1		1	必修	臨地実習の履修年次、期間は実習先により異なる。実習先の定員等の関係により希望する実習先を選択できないことがある。	○	○				
		臨地実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択			○				
		臨地実習Ⅲ	実習	45			1		1	選択			○				
		臨地実習Ⅳ	実習	45			1		1	選択			○				
	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択							
		健康プロジェクトⅡ	演習	30		1			1	選択							
		病棟栄養管理特論	講義	15			2		2	選択							
		臨床栄養学実践演習Ⅰ	演習	30			1		1	選択							
		臨床栄養学実践演習Ⅱ	演習	30			1		1	選択							
		食品開発論	講義	15		2			2	選択							
		食品プロセス演習	演習	30			1		1	選択							
		食品開発演習	演習	30			1		1	選択							
		卒業研究	—	—				4	4	必修							
	関連科目	専門職の連携（応用）	演習	30		1			1	選択							
		心理学的支援法	講義	15		2			2	選択	メディカル栄養コース選択者（履修推奨）						
		メンタルヘルス論	講義	15			2		2	選択							
		生命倫理	講義	15		1			1	選択							
		中医学の基礎	講義	15		1			1	選択							
		摂食嚥下障害学	講義	15			2		2	選択							
		ターミナルケア	演習	30			1		1	選択							
		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択							

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	関連資格 管理栄養士	関連資格 フードスペシャリスト	関連資格 食品衛生監視員・管理者	関連資格 健康運動実践指導者	関連資格 栄養教諭一種
専門科目	関連科目	フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択	食創造コース履修者（履修推奨）			○			
		フードコーディネート論	講義	15				2	2	選択				○			
		食マーケティング論	講義	15				2	2	選択				○			
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択				○	○		
		京都の食文化	演習	30		1			1	選択							
		分析化学	講義	15			2		2	選択					○		
		食の心理と健康	講義	15			2		2	選択							
		健康スポーツ指導Ⅰ	実習	30	1				1	選択						○	
		健康スポーツ指導Ⅱ	実習	30		1			1	選択						○	
		健康スポーツ指導Ⅲ	実習	30	1				1	選択						○	
		健康スポーツ指導Ⅳ	実習	30			1		1	選択						○	
		スポーツ栄養学	講義	15		2			2	選択							
		スポーツ栄養学実習	実習	30			1		1	選択							
		スポーツ心理学	講義	15		2			2	選択						○	
		健康づくりと運動	講義	15			2		2	選択						○	
		安全管理と救急処置	講義	15		2			2	選択						○	
		学校栄養教育論	講義	15	2				2	選択							○
		学校栄養教育実践論	講義	15			2		2	選択							○
自由科目		教職論	講義	15	2				2	自由							○
		教育原理	講義	15		2			2								○
		教育心理学	講義	15		2			2								○
		教育行政学	講義	15		2			2								○
		人権教育	講義	15		2			2								○
		特別支援教育	講義	15		2			2								○
		教育課程論	講義	15		2			2								○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2								○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2								○
		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			2								○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2								○
		教育相談	講義	15		2			2								○
		教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2								○
		事前・事後指導	実習	30			1		1								○
		栄養教育実習	実習	45			1		1								○

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は21単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択6単位。ただし、外国人留学生は、必修17単位、選択必修4単位）。
専門科目は107単位以上修得すること（必修61単位、選択46単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目

については、48 単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
2020 年度入学生より、学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
食品衛生監視員および食品衛生管理者の資格取得に必要な必修科目 39 単位及び選択科目 1 単位以上を修得すること。
（詳細は 275 ページ参照）
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

〈2021 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修							
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2								
			京都光華の学び	演習	30	1				1								
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1								
			アカデミックライティング	演習	30	1				1								
			伝統文化	演習	30		1			1								
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1						○	○	
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						○	○	
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択							
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1								
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1								
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1								
			医療英語	演習	30	1				1								
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1								
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1								
			ハングルⅠ	演習	30	1				1								
			ハングルⅡ	演習	30	1				1								
			海外での語学研修	実習	30	2				2								
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2								
			食生活と健康	講義	15	2				2								
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2								
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1						○	○	
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1						○	○	
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位							
			仏教文化	講義	15	2				2								
			文化人類学	講義	15	2				2								
			言語と文学	講義	15	2				2								
			日本文化の理解	講義	15	2				2								
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2								
			芸術文化論	講義	15	2				2								
			サブカルチャー論	講義	15	2				2								
			現代アジア事情	講義	15	2				2								
			現代欧米事情	講義	15	2				2								
			国際社会の理解	講義	15	2				2								
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2								

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位							
			社会学	講義	15	2				2								
			日本国憲法	講義	15	2				2							○	○
			現代社会と法	講義	15	2				2								
			現代社会と政治	講義	15	2				2								
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2								
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2								
			生命の科学	講義	15	2				2								
			生活と物理・化学	講義	15	2				2								
			地域と環境	講義	15	2				2								
			生活と防災	講義	15	2				2								
			ボランティア論	講義	15	2				2								
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択						○	○
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1							○	○
			数的処理の基礎	演習	30	1				1								
			日本語表現の技法	演習	30	1				1								
			読解と思考の技法	演習	30	1				1								
			Ｗｅｂデザイン	演習	15		2			2								
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2								
			プログラミング入門	演習	15		2			2								
			ＡＩへのアプローチ	講義	15		2			2								
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2								
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15		2			2								
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2								
			キャリア実習	実習	30	1				1								
			インターンシップ	実習	30			2		2								
専門科目	基礎		基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修							
			生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修							
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修							
			専門職の連携（応用）	演習	30				1	1	選択							
	社会生活と健康		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○					○
			公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○					○
			健康管理論	講義	15	2				2	選択				○	○		
			健康評価実習	実習	45		1			1	必修		○		○	○		○
	人体の構造と機能		人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○					○
			人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2	選択		○		○			○
			生活習慣病論	講義	15				2	2	選択					○		
			運動生理学	講義	15	2				2	必修				○	○		○
			バイオメカニクス	講義	15			2		2	選択					○		○

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	人体の構造と機能	生化学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○					
		生化学Ⅱ	講義	15		2			2	選択		○					
		人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	選択		○					
		運動生理学実習	実習	30			1		1	選択							
		生化学実験	実験	45			1		1	選択		○					
	食品と衛生	食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○				
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○				
		食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1	選択		○	○				
		食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○				
		食品衛生学実験	実験	45			1		1	必修							
専門科目	栄養と健康	基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○		○		
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○					
		応用栄養学	講義	15		2			2	必修		○			○		
		臨床栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	選択		○					
		臨床栄養学Ⅱ	講義	15				2	2	選択							
		栄養学実験	実験	45		1			1	選択		○					
		応用栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○					
		臨床栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○					
	栄養の指導	栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○					
		栄養教育論Ⅱ	講義	15			2		2	選択		○					
		公衆栄養学	講義	15			2		2	必修		○					
		栄養教育論実習	実習	45			1		1	選択		○					
		公衆栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○					
	給食の運営	調理学	講義	15	2				2	必修		○	○				
		給食マネジメント論	講義	15			2		2	必修		○					
		調理実習基礎	実習	45	1				1	必修		○	○				
		調理実習応用	実習	45		1			1	選択		○	○				
		食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択							
		給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45			1		1	選択		○					
		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択		○					
		臨地実習	実習	45				1	1	選択		○					
	スポーツと健康	健康スポーツ概論	講義	15	2				2	必修							
		生涯スポーツ論	講義	15	2				2	必修							○
		健康づくりと運動	講義	15		2			2	必修				○	○		
		スポーツ医学	講義	15			2		2	必修							○
		安全管理と救急処置	講義	15			2		2	選択				○	○		○
		スポーツ心理学	講義	15		2			2	必修				○	○		○
		スポーツ社会学	講義	15		2			2	選択							○

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	スポーツと健康	アダプテッドスポーツ論	講義	15			2		2	選択							
		体育・スポーツ原理	講義	15		2			2	選択							○
		体育・スポーツ史	講義	15		2			2	選択							○
		学校保健	講義	15			2		2	選択							○
		トレーニング論	講義	15		2			2	必修							○
		生涯スポーツ実習	実習	30				1	1	選択							
	運動・スポーツ指導	コーチング論	講義	15			2		2	必修							
		スポーツプログラム演習	演習	30				1	1	必修							
		スポーツマネジメント論	講義	15			2		2	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅰ	実習	30	1				1	必修				○	○		
		健康スポーツ指導法Ⅱ	実習	30		1			1	選択				○	○		
		健康スポーツ指導法Ⅲ(体つくり運動・器械運動)	実習	30		1			1	選択				○	○		○
		健康スポーツ指導法Ⅳ(水泳・水中運動)	実習	30		1			1	選択				○	○		○
		健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30		1			1	必修							○
		健康スポーツ指導法Ⅵ(陸上競技)	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅶ(ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅷ(ネット型球技)	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅹ(野外活動)	実習	30		1			1	選択							○
		インストラクター現場実習	実習	30				2	2	選択					○		
		アダプテッドスポーツ指導法	実習	30			1		1	選択							
	スポーツと栄養	スポーツ栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修				○			○
		スポーツ栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	必修							
		スポーツ栄養学実習	実習	30			1		1	選択							
		栄養・運動指導実習	実習	30				1	1	選択					○		
	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択							
		健康プロジェクトⅡA	演習	30		1			1	選択							
		健康プロジェクトⅡB	演習	30			1		1	選択							
		卒業研究	-	-				4	4	必修							
	関連科目	フードコーディネート論	講義	15			2		2	選択			○				
		食マーケティング論	講義	15				2	2	選択			○				
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択			○				
		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択			○				
		製菓実習	実習	45				1	1	選択							
		栄養教諭のための理論と実践	講義	15			2		2	選択						○	
		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			2	選択							○
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2		2	選択							○
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2		2	選択							○
		保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2		2	選択							○

区分	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
自由科目（教職及び資格関連科目）	教職論	講義	15	2				2	自由						○	○
	教育原理	講義	15		2			2	自由						○	○
	教育心理学	講義	15		2			2	自由						○	○
	教育行政学	講義	15		2			2	自由						○	○
	人権教育	講義	15		2			2	自由						○	○
	特別支援教育	講義	15		2			2	自由						○	○
	教育課程論	講義	15		2			2	自由						○	○
	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2	自由						○	○
	特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2	自由						○	○
	教育方法論	講義	15		2			2	自由						○	○
	生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2	自由						○	○
	教育相談	講義	15		2			2	自由						○	○
	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2	自由						○	
	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	2	自由							○
	事前・事後指導	実習	30			1		1	自由						○	○
	栄養教育実習	実習	45			1		1	自由						○	
	教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2	2	自由							○
	教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2	2	自由							○
	健康総合演習A	演習	30			1		1	自由							
	健康総合演習B	演習	30			1		1	自由							

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択16単位）。
専門科目は98単位以上修得すること（必修63単位、選択35単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

〈2022 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修							
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2								
			京都光華の学び	演習	30	1				1								
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1								
			アカデミックライティング	演習	30	1				1								
			伝統文化	演習	30		1			1								
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1							○	○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1							○	○
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択							
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1								
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1								
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1								
			医療英語	演習	30	1				1								
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1								
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1								
			ハングルⅠ	演習	30	1				1								
			ハングルⅡ	演習	30	1				1								
			海外での語学研修	実習	30		2			2								
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2								
			食生活と健康	講義	15	2				2								
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2								
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1							○	○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1							○	○
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位							
			仏教文化	講義	15	2				2								
			文化人類学	講義	15	2				2								
			言語と文学	講義	15	2				2								
			日本文化の理解	講義	15	2				2								
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2								
			芸術文化論	講義	15	2				2								
			サブカルチャー論	講義	15	2				2								
			現代アジア事情	講義	15	2				2								
			現代欧米事情	講義	15	2				2								
			国際社会の理解	講義	15	2				2								
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2								

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位							
			社会学	講義	15	2				2								
			日本国憲法	講義	15	2				2							○	○
			現代社会と法	講義	15	2				2								
			現代社会と政治	講義	15	2				2								
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2								
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2								
			生命の科学	講義	15	2				2								
			生活と物理・化学	講義	15	2				2								
			地域と環境	講義	15	2				2								
			生活と防災	講義	15	2				2								
			ボランティア論	講義	15	2				2								
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択						○	○
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1							○	○
			数的処理の基礎	演習	30	1				1								
			日本語表現の技法	演習	30	1				1								
			読解と思考の技法	演習	30	1				1								
			Ｗｅｂデザイン	演習	15		2			2								
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2								
			プログラミング入門	演習	15		2			2								
			ＡＩへのアプローチ	講義	15		2			2								
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2								
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15		2			2								
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2								
			キャリア実習	実習	30	1				1								
			インターンシップ	実習	30			2		2								
専門科目	基礎		基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修							
			生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修							
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修							
			専門職の連携（応用）	演習	30				1	1	選択							
	社会生活と健康		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○					○
			公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○					○
			健康管理論	講義	15	2				2	選択				○	○		
			健康評価実習	実習	45		1			1	必修		○		○	○		○
	人体の構造と機能		人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○					○
			人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2	選択		○		○			○
			生活習慣病論	講義	15				2	2	選択					○		
			運動生理学	講義	15	2				2	必修				○	○		○
			バイオメカニクス	講義	15			2		2	選択					○		○

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	人体の構造と機能	生化学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○					
		生化学Ⅱ	講義	15		2			2	選択		○					
		人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	選択		○					
		運動生理学実習	実習	30			1		1	選択							
		生化学実験	実験	45			1		1	選択		○					
	食品と衛生	食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○				
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○				
		食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○				
		食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1	選択		○	○				
		食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○				
		食品衛生学実験	実験	45			1		1	必修							
専門科目	栄養と健康	基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○	○		
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○					
		応用栄養学	講義	15		2			2	必修		○			○		
		臨床栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	選択		○					
		臨床栄養学Ⅱ	講義	15				2	2	選択							
		栄養学実験	実験	45		1			1	選択		○					
		応用栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○					
		臨床栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○					
	栄養の指導	栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○					
		栄養教育論Ⅱ	講義	15			2		2	選択		○					
		公衆栄養学	講義	15			2		2	必修		○					
		栄養教育論実習	実習	45			1		1	選択		○					
		公衆栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○					
	給食の運営	調理学	講義	15	2				2	必修		○	○				
		給食マネジメント論	講義	15			2		2	必修		○					
		調理実習基礎	実習	45	1				1	必修		○	○				
		調理実習応用	実習	45		1			1	選択		○	○				
		食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択							
		給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45			1		1	選択		○					
		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択		○					
		臨地実習	実習	45				1	1	選択		○					
	スポーツと健康	健康スポーツ概論	講義	15	2				2	必修							
		生涯スポーツ論	講義	15	2				2	必修							○
		健康づくりと運動	講義	15		2			2	必修				○	○		
		スポーツ医学	講義	15			2		2	必修							○
		安全管理と救急処置	講義	15			2		2	選択				○	○		○
		スポーツ心理学	講義	15		2			2	必修				○	○		○
		スポーツ社会学	講義	15		2			2	選択							○

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動実践指導者	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	スポーツと健康	アダプテッドスポーツ論	講義	15			2		2	選択							
		体育・スポーツ原理	講義	15		2			2	選択							○
		体育・スポーツ史	講義	15		2			2	選択							○
		学校保健	講義	15			2		2	選択							○
		トレーニング論	講義	15		2			2	必修							○
		生涯スポーツ実習	実習	30				1	1	選択							
	運動・スポーツ指導	コーチング論	講義	15			2		2	必修							
		スポーツプログラム演習	演習	30				1	1	必修							
		スポーツマネジメント論	講義	15			2		2	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅰ	実習	30	1				1	必修				○	○		
		健康スポーツ指導法Ⅱ	実習	30		1			1	選択				○	○		
		健康スポーツ指導法Ⅲ(体つくり運動・器械運動)	実習	30		1			1	選択				○	○		○
		健康スポーツ指導法Ⅳ(水泳・水中運動)	実習	30		1			1	選択				○	○		○
		健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅵ(陸上競技)	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅶ(ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅷ(ネット型球技)	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅸ（柔道）	実習	30		1			1	選択							○
		健康スポーツ指導法Ⅹ(野外活動)	実習	30		1			1	選択							○
		インストラクター現場実習	実習	30				2	2	選択					○		
		アダプテッドスポーツ指導法	実習	30			1		1	選択							
	スポーツと栄養	スポーツ栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修							○
		スポーツ栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	必修							
		スポーツ栄養学実習	実習	30			1		1	選択							
		栄養・運動指導実習	実習	30				1	1	選択					○		
	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択							
		健康プロジェクトⅡA	演習	30		1			1	選択							
		健康プロジェクトⅡB	演習	30			1		1	選択							
		卒業研究	-	-				4	4	必修							
	関連科目	フードコーディネート論	講義	15			2		2	選択			○				
		食マーケティング論	講義	15				2	2	選択			○				
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択			○				
		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択			○				
		製菓実習	実習	45				1	1	選択							
		栄養教諭のための理論と実践	講義	15			2		2	選択						○	
		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			2	選択							○
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2		2	選択							○
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2		2	選択							○
		保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2		2	選択							○

区分	学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	関連資格 フードスペシャリスト	関連資格 健康運動実践指導者	関連資格 健康運動指導士	関連資格 栄養教諭二種	関連資格 中・高免保体
自由科目（教職及び資格関連科目）	教職論	講義	15	2				2	自由						○	○
	教育原理	講義	15		2			2	自由						○	○
	教育心理学	講義	15		2			2	自由						○	○
	教育行政学	講義	15			2		2	自由						○	○
	人権教育	講義	15			2		2	自由						○	○
	特別支援教育	講義	15			2		2	自由						○	○
	教育課程論	講義	15			2		2	自由						○	○
	道徳教育の理論と指導法	講義	15			2		2	自由						○	○
	特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15			2		2	自由						○	○
	教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15			2		2	自由						○	○
	生徒指導及び進路指導論	講義	15			2		2	自由						○	○
	教育相談	講義	15			2		2	自由						○	○
	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2	自由						○	
	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	2	自由							○
	事前・事後指導	実習	30			1		1	自由						○	○
	栄養教育実習	実習	45			1		1	自由						○	
	教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2	2	自由							○
	教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2	2	自由							○
	健康総合演習A	演習	30			1		1	自由							
	健康総合演習B	演習	30			1		1	自由							

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択16単位）。
専門科目は98単位以上修得すること（必修62単位、選択36単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

2020年度入学生より、学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

〈2023 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修						
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2							
			京都光華の学び	演習	30	1				1							
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1							
			アカデミックライティング	演習	30	1				1							
			データサイエンス入門	演習	30	1				1					○	○
			伝統文化	演習	30		1			1							
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					○	○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					○	○
			English in Use A	演習	30	1				1	選択						
			English in Use B	演習	30	1				1							
			English in Use C	演習	30	1				1							
			English in Use D	演習	30	1				1							
			English in Use E	演習	30	1				1							
			English in Use F	演習	30	1				1							
			医療英語	演習	30	1				1							
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1							
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1							
			ハングルⅠ	演習	30	1				1							
			ハングルⅡ	演習	30	1				1							
			海外での語学研修	実習	30	2				2							
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2							
			食生活と健康	講義	15	2				2							
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2							
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					○	○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					○	○
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1							
			マインドフルネス	実習	30	1				1							
			教養囲碁入門	実習	30	1				1							
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位						
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2							
			仏教文化	講義	15	2				2							
			文化人類学	講義	15	2				2							
			言語と文学	講義	15	2				2							
			日本文化の理解	講義	15	2				2							
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2							
			芸術文化論	講義	15	2				2							

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	関連資格 フードスペシャリスト	関連資格 健康運動指導士	関連資格 栄養教諭二種	関連資格 中・高免保体
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	サブカルチャー論	講義	15		2			2	選択必修2単位						
			現代アジア事情	講義	15		2			2							
			現代欧米事情	講義	15		2			2							
			国際社会の理解	講義	15		2			2							
			国際社会とジェンダー	講義	15		2			2							
		Ⅱ群	心理学	講義	15		2			2	選択必修2単位						
			社会学	講義	15		2			2							
			日本国憲法	講義	15		2			2					○	○	
			現代社会と法	講義	15		2			2							
			現代社会と政治	講義	15		2			2							
			くらしのなかの経済学	講義	15		2			2							
			くらしのなかの統計学	講義	15		2			2							
			情報社会の理解	講義	15		2			2							
			生命の科学	講義	15		2			2							
			生活と物理・化学	講義	15		2			2							
			地域と環境	講義	15		2			2							
			生活と防災	講義	15		2			2							
			ボランティア論	講義	15		2			2							
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択				○	○	
			情報技術の理解	講義	15		2			2							
			数的処理の基礎	演習	30		1			1							
			読解と思考の技法	演習	30		1			1							
			Ｗｅｂデザイン	演習	15			2		2							
			産官学連携プロジェクト	演習	15		2			2							
			キャリア実習	実習	30		1										
			インターンシップ	実習	30				2	2							
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15		2			2	選択						
			プログラミング入門	演習	15		2			2							
			ＡＩへのアプローチ	講義	15			2		2							
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2							
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15			2		2							
専門科目	基礎		基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修						
			生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修						
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修						
	社会生活と健康		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○				○
			公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○				○
			健康管理論	講義	15	2				2	選択				○		
			健康評価実習	実習	45		1			1	必修		○		○		○

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	人体の構造と機能	人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○				○
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2	選択		○				○
		生活習慣病論	講義	15				2	2	選択				○		
		運動生理学	講義	15	2				2	必修				○		○
		バイオメカニクス	講義	15			2		2	選択				○		○
		生化学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○				
		生化学Ⅱ	講義	15		2			2	選択		○				
		人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	選択		○				
		生化学実験	実験	45			1		1	選択		○				
	食品と衛生	食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○			
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○			
		食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○			
		食品加工学	講義	15		2			2	選択						
		食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1	選択		○	○			
		食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○			
		食品衛生学実験	実験	45			1		1	必修						
	栄養と健康	基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○		
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○				
		応用栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○		○		
		応用栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	必修						
		臨床栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	選択		○				
		臨床栄養学Ⅱ	講義	15				2	2	選択						
		栄養学実験	実験	45		1			1	選択		○				
		応用栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○				
		臨床栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○				
	栄養の指導	栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○				
		栄養教育論Ⅱ	講義	15			2		2	選択		○				
		公衆栄養学	講義	15			2		2	必修		○				
		栄養疫学	講義	15				2	2	選択						
		栄養教育論実習	実習	45			1		1	選択		○				
		公衆栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○				
	給食の運営	調理学	講義	15	2				2	必修		○	○			
		給食マネジメント論	講義	15			2		2	必修		○				
		調理実習基礎	実習	45	1				1	必修		○	○			
		調理実習応用	実習	45		1			1	選択		○	○			
		食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択						
		給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45			1		1	選択		○				
		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択		○				
		臨地実習	実習	45				1	1	選択		○				

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	スポーツと健康	生涯スポーツ論	講義	15	2				2	必修						○
		健康づくりと運動	講義	15		2			2	選択				○		
		スポーツ医学	講義	15			2		2	選択						○
		安全管理と救急処置	講義	15			2		2	選択				○		○
		スポーツ心理学	講義	15		2			2	選択				○		○
		スポーツ社会学	講義	15		2			2	選択						○
		アダプテッドスポーツ論	講義	15			2		2	選択						
		体育・スポーツ原理	講義	15		2			2	選択						○
		体育・スポーツ史	講義	15		2			2	選択						○
		学校保健	講義	15			2		2	選択						○
		トレーニング論	講義	15		2			2	選択						○
	運動・スポーツ指導	コーチング論	講義	15			2		2	必修						
		スポーツマネジメント論	講義	15			2		2	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅰ	実習	30	1				1	選択				○		
		健康スポーツ指導法Ⅱ	実習	30		1			1	選択				○		
		健康スポーツ指導法Ⅲ(体つくり運動・器械運動)	実習	30		1			1	選択				○		○
		健康スポーツ指導法Ⅳ(水泳・水中運動)	実習	30		1			1	選択				○		○
		健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅵ(陸上競技)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅶ(ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅷ(ネット型球技)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅹ(野外活動)	実習	30		1			1	選択						○
		インストラクター現場実習	実習	30				2	2	選択				○		
	スポーツと栄養	スポーツ栄養学	講義	15		2			2	必修						○
		スポーツ栄養学実習	実習	30			1		1	選択						
		栄養・運動指導実習	実習	30				1	1	選択				○		
	食生活と文化	食品開発論	講義	15		2			2	選択						
		京都の食文化	講義	15		2			2	選択						
		食文化研修	実習	30		1			1	選択						
	食とビジネス	フードシステム論	講義	15		2			2	選択						
		食マーケティング論	講義	15		2			2	選択			○			
		食品開発演習	演習	30			1		1	選択						
専門科目	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択						
		健康プロジェクトⅡ	演習	30		1			1	選択						
		健康総合演習A	演習	30			1		1	選択						
		健康総合演習B	演習	30				1	1	選択						
		卒業研究	-	-				4	4	必修						

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	関連科目	専門職の連携（応用）	演習	30		1			1	選択						
		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択						
		フードコーディネート論	講義	15			2		2	選択			○			
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択			○			
		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択			○			
		製菓実習	実習	45				1	1	選択						
		消費者心理学	講義	15		2			2	選択						
		経営法務	講義	15			2		2	選択						
		栄養教諭のための理論と実践	講義	15			2		2	選択					○	
		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			2	選択						○
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2		2	選択						○
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2		2	選択						○
		保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2		2	選択						○
自由科目（教職及び資格関連科目）		教職論	講義	15	2				2	自由					○	○
		教育原理	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育心理学	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育行政学	講義	15		2			2	自由					○	○
		人権教育	講義	15		2			2	自由					○	○
		特別支援教育	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育課程論	講義	15		2			2	自由					○	○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2	自由					○	○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			2	自由					○	○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育相談	講義	15		2			2	自由					○	○
		教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2	自由					○	
		教職実践演習（中・高）	演習	15				2	2	自由						○
		事前・事後指導	実習	30			1		1	自由					○	○
		栄養教育実習	実習	45			1		1	自由					○	
		教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2	2	自由						○
		教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2	2	自由						○

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択15単位）。
専門科目は98単位以上修得すること（必修50単位、選択48単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
2020 年度入学生より、学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

〈2024 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修						
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2							
			京都光華の学び	演習	30	1				1							
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1							
			アカデミックライティング	演習	30	1				1							
			データサイエンス入門	演習	30	1				1					○	○
			伝統文化	演習	30		1			1							
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					○	○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					○	○
			English in Use A	演習	30	1				1	選択						
			English in Use B	演習	30	1				1							
			English in Use C	演習	30	1				1							
			English in Use D	演習	30	1				1							
			English in Use E	演習	30	1				1							
			English in Use F	演習	30	1				1							
			医療英語	演習	30	1				1							
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1							
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1							
			ハングルⅠ	演習	30	1				1							
			ハングルⅡ	演習	30	1				1							
			海外での語学研修	実習	30	2				2							
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2							
			食生活と健康	講義	15	2				2							
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2							
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					○	○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					○	○
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1							
			マインドフルネス	実習	30	1				1							
			教養囲碁入門	実習	30	1				1							
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位						
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2							
			仏教文化	講義	15	2				2							
			文化人類学	講義	15	2				2							
			言語と文学	講義	15	2				2							
			日本文化の理解	講義	15	2				2							
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2							
			芸術文化論	講義	15	2				2							

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	サブカルチャー論	講義	15		2			2	選択必修2単位						
			現代アジア事情	講義	15		2			2							
			現代欧米事情	講義	15		2			2							
			国際社会の理解	講義	15		2			2							
			国際社会とジェンダー	講義	15		2			2							
		Ⅱ群	心理学	講義	15		2			2	選択必修2単位						
			社会学	講義	15		2			2							
			日本国憲法	講義	15		2			2						○	○
			現代社会と法	講義	15		2			2							
			現代社会と政治	講義	15		2			2							
			くらしのなかの経済学	講義	15		2			2							
			くらしのなかの統計学	講義	15		2			2							
			情報社会の理解	講義	15		2			2							
			生命の科学	講義	15		2			2							
			生活と物理・化学	講義	15		2			2							
			地域と環境	講義	15		2			2							
			生活と防災	講義	15		2			2							
			ボランティア論	講義	15		2			2							
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択					○	○
			情報技術の理解	講義	15		2			2							
			数的処理の基礎	演習	30		1			1							
			読解と思考の技法	演習	30		1			1							
			Webデザイン	演習	15			2		2							
			産官学連携プロジェクト	演習	15		2			2							
			キャリア実習	実習	30		1			1							
			インターンシップ	実習	30				2	2							
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15		2			2	選択						
			プログラミング入門	演習	15		2			2							
			AIへのアプローチ	講義	15			2		2							
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2							
			データサイエンスPBL	演習	15			2		2							
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修						
			日本語FⅡ	演習	30	1				1							
			日本語SⅠ	演習	30		1			1							
			日本語SⅡ	演習	30		1			1							
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1							
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1							

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	基礎	基礎ゼミ	演習	30	1				1	必修						
		生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修						
		専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修						
	社会生活と健康	公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○				○
		公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○				○
		健康管理論	講義	15	2				2	選択				○		
		健康評価実習	実習	45		1			1	必修		○		○		○
	人体の構造と機能	人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○				○
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2	選択		○				○
		生活習慣病論	講義	15			2		2	選択				○		
		運動生理学	講義	15	2				2	必修				○		○
		バイオメカニクス	講義	15			2		2	選択				○		○
		生化学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○				
		生化学Ⅱ	講義	15		2			2	選択		○				
		人体の構造・生理実験	実験	45		1			1	選択		○				
		生化学実験	実験	45			1		1	選択		○				
	食品と衛生	食品学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○			
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○	○			
		食品衛生学	講義	15		2			2	必修		○	○			
		食品加工学	講義	15		2			2	選択						
		食品学実験Ⅰ	実験	45		1			1	選択		○	○			
		食品学実験Ⅱ	実験	45		1			1	選択			○			
		食品衛生学実験	実験	45			1		1	必修						
	栄養と健康	基礎栄養学Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○	○	○		
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	必修		○				
		応用栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○		○		
		応用栄養学Ⅱ	講義	15			2		2	必修						
		臨床栄養学Ⅰ	講義	15			2		2	選択		○				
		臨床栄養学Ⅱ	講義	15				2	2	選択						
		栄養学実験	実験	45		1			1	選択		○				
		応用栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○				
		臨床栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○				
	栄養の指導	栄養教育論Ⅰ	講義	15		2			2	必修		○				
		栄養教育論Ⅱ	講義	15			2		2	選択		○				
		公衆栄養学	講義	15			2		2	必修		○				
		栄養疫学	講義	15				2	2	選択						
		栄養教育論実習	実習	45			1		1	選択		○				
		公衆栄養学実習	実習	45			1		1	選択		○				

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	フードスペシャリスト	健康運動指導士	栄養教諭二種	中・高免保体
専門科目	給食の運営	調理学	講義	15	2				2	必修		○	○			
		給食マネジメント論	講義	15			2		2	必修		○				
		調理実習基礎	実習	45	1				1	必修		○	○			
		調理実習応用	実習	45		1			1	選択		○	○			
		食生活と調理実習	実習	45		1			1	選択						
		給食マネジメント実習Ⅰ	実習	45			1		1	選択		○				
		給食マネジメント実習Ⅱ	実習	45			1		1	選択		○				
		臨地実習	実習	45				1	1	選択		○				
	スポーツと健康	生涯スポーツ論	講義	15	2				2	必修						○
		スポーツ産業論	講義	15	2				2	必修						
		健康づくりと運動	講義	15		2			2	選択				○		
		安全管理と救急処置	講義	15			2		2	選択				○		○
		スポーツ心理学	講義	15		2			2	選択				○		○
		スポーツ社会学	講義	15		2			2	選択						○
		アダプテッドスポーツ論	講義	15			2		2	選択						
		体育・スポーツ原理	講義	15		2			2	選択						○
		学校保健	講義	15			2		2	選択						○
	運動・スポーツ指導	コーチング論	講義	15			2		2	必修						
		スポーツマネジメント論	講義	15			2		2	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅰ	実習	30	1				1	選択				○		
		健康スポーツ指導法Ⅱ	実習	30		1			1	選択				○		
		健康スポーツ指導法Ⅲ(体つくり運動・器械運動)	実習	30		1			1	選択				○		○
		健康スポーツ指導法Ⅳ(水泳・水中運動)	実習	30		1			1	選択				○		○
		健康スポーツ指導法Ⅴ(ダンス)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅵ(陸上競技)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅶ(ゴール型・ベースボール型球技)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅷ(ネット型球技)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅸ(柔道)	実習	30		1			1	選択						○
		健康スポーツ指導法Ⅹ(野外活動)	実習	30		1			1	選択						○
		インストラクター現場実習	実習	30		2			2	選択				○		
	スポーツと栄養	スポーツ栄養学	講義	15		2			2	必修						○
		スポーツ栄養学実習	実習	30			1		1	選択						
		スポーツ医学実習	実習	30				1	1	選択				○		
	食生活と文化	食品開発論	講義	15		2			2	選択						
		京都の食文化	演習	30		1			1	選択						
		食文化研修	実習	30		1			1	選択						
	食とビジネス	フードシステム論	講義	15		2			2	選択						
		食マーケティング論	講義	15		2			2	選択			○			
		食品開発演習	演習	30			1		1	選択						

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 栄養士	関連資格 フードスペシャリスト	関連資格 健康運動指導士	関連資格 栄養教諭二種	関連資格 中・高免保体
専門科目	専門発展科目	健康プロジェクトⅠ	講義	15		2			2	選択						
		健康プロジェクトⅡ	演習	30		1			1	選択						
		健康総合演習A	演習	30			1		1	選択						
		健康総合演習B	演習	30				1	1	選択						
		卒業研究	—	—				4	4	必修						
	関連科目	専門職の連携（応用）	演習	30		1			1	選択						
		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択						
		フードコーディネート論	講義	15			2		2	選択			○			
		食品の評価・鑑別	講義	15				2	2	選択			○			
		フードスペシャリスト論	講義	15				2	2	選択			○			
		製菓実習	実習	45				1	1	選択						
		消費者心理学	講義	15		2			2	選択						
		経営法務	講義	15			2		2	選択						
		心理学的支援法	講義	15		2			2	選択						
		メンタルヘルス論	講義	15			2		2	選択						
		食の心理と健康	講義	15			2		2	選択						
		栄養教諭のための理論と実践	講義	15			2		2	選択					○	
		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			2	選択						○
		保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2		2	選択						○
		保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2		2	選択						○
		保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2		2	選択						○
自由科目（教職及び資格関連科目）		教職論	講義	15	2				2	自由					○	○
		教育原理	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育心理学	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育行政学	講義	15		2			2	自由					○	○
		人権教育	講義	15		2			2	自由					○	○
		特別支援教育	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育課程論	講義	15		2			2	自由					○	○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2	自由					○	○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			2	自由					○	○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2	自由					○	○
		教育相談	講義	15		2			2	自由					○	○
		教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2	2	自由					○	
		教職実践演習（中・高）	演習	15				2	2	自由						○
		事前・事後指導	実習	30			1		1	自由					○	○
		栄養教育実習	実習	45			1		1	自由					○	
		教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2	2	自由						○
		教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2	2	自由						○

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択15単位。ただし、外国人留学生は必修17単位、選択必修4単位、選択9単位）。
専門科目は98単位以上修得すること（必修52単位、選択46単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
2020年度入学生より、学期ＧＰＡが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、Ｐ.7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康栄養学科専門教育科目の履修について

（1）いずれの科目についても、原則として指定された学年（配当年次）において履修すること。

（2）クラス指定のある科目については、教員の許可無しに指定外のクラスで履修することを認めない。

（3）臨地実習Ⅰ～Ⅳまたは臨地実習は学内での事前・事後指導を含み、学外の実習施設（病院、保健所、保健センター、特定給食施設など）の指導にもとづいて「臨床栄養学」、「給食経営管理論」、「公衆栄養学」または「給食の運営」に関する実習を行うものである。

臨地実習にあたり、本学および実習施設の定める規程に反する場合には実習を認めない。

本学の定める規程は以下の通りである。

1、臨地実習を履修しようとする学生は管理栄養士・栄養士に強い関心と熱意を有していると同時に、学業成績、修学状況および健康状態において実習遂行可能な条件を充たしていることが必要である。

2、在学中に栄養士資格ならびに管理栄養士国家試験受験資格の取得が見込まれること。

3、当該実習までに原則として実習内容の基本となる必修科目の講義および実習の単位取得が見込まれること。

4、事前指導を受け、指導事項を理解していること。

5、実習中の態度が不適当と判断された場合は実習中止となる。また、実習施設の指導責任者の総合評価によっては単位を認めない。

（4）管理栄養士専攻では、管理栄養士国家試験の受験資格（卒業時）、栄養士免許証、栄養教諭、食品衛生監視員・管理者、フードスペシャリスト認定試験の受験資格、健康運動実践指導者認定試験の受験資格に必要な科目について、資格欄および「資格の取得」の項を参照し、履修漏れのないよう注意すること。なお、卒業時に管理栄養士国家試験を受験する者は「総合演習Ⅲ」の単位を必ず修得すること。

C．健康科学部　看護学科

〈2021・2022 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭（二種）	養護教諭（一種）
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○			
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2			○			
			京都光華の学び	演習	30	1				1			○			
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			○			
			アカデミックライティング	演習	30	1				1			○			
			伝統文化	演習	30			1		1			○			
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1			○		○	○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1			○		○	○
			英会話Ⅰ	演習	30		1			1	選択					
			英会話Ⅱ	演習	30		1			1						
			英語文献を読むⅠ	演習	30		1			1						
			英語文献を読むⅡ	演習	30		1			1						
			医療英語	演習	30		1			1						
			中国語Ⅰ	演習	30		1			1						
			中国語Ⅱ	演習	30		1			1						
			ハングルⅠ	演習	30		1			1						
			ハングルⅡ	演習	30		1			1						
			海外での語学研修	実習	30		2			2						
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15		2			2		看護学科は除く				
			食生活と健康	講義	15		2			2						
			生涯スポーツ入門	講義	15		2			2						
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					○	○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			1					○	○
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15		2			2	選択必修2単位					
			仏教文化	講義	15		2			2						
			文化人類学	講義	15		2			2						
			言語と文学	講義	15		2			2						
			日本文化の理解	講義	15		2			2						
			京都の歴史と文化	講義	15		2			2						
			芸術文化論	講義	15		2			2						
			サブカルチャー論	講義	15		2			2						
			現代アジア事情	講義	15		2			2						
			現代欧米事情	講義	15		2			2						
			国際社会の理解	講義	15		2			2						
			国際社会とジェンダー	講義	15		2			2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭（二種）	養護教諭（一種）
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			社会学	講義	15	2				2						
			日本国憲法	講義	15	2				2					○	○
			現代社会と法	講義	15	2				2						
			現代社会と政治	講義	15	2				2						
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2						
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2						
			生命の科学	講義	15	2				2						
			生活と物理・化学	講義	15	2				2						
			地域と環境	講義	15	2				2						
			生活と防災	講義	15	2				2						
			ボランティア論	講義	15	2				2						
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択				○	○
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1					○	○
			数的処理の基礎	演習	30	1				1						
			日本語表現の技法	演習	30	1				1						
			読解と思考の技法	演習	30	1				1						
			Webデザイン	演習	15		2			2						
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2						
			プログラミング入門	演習	15		2			2						
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスPBL	演習	15		2			2						
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2						
			キャリア実習	実習	30	1				1						
			インターンシップ	実習	30			2		2						
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修					
			日本語FⅡ	演習	30	1				1						
			日本語SⅠ	演習	30		1			1						
			日本語SⅡ	演習	30		1			1						
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1						
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1						
専門基礎科目	人間の生活と社会		人体の構造と生理機能	演習	30	2				2	必修		○			○
			病気の成り立ち	講義	15	2				2			○			
			からだの防御の仕組み	講義	15	1				1			○			○
			薬理学	講義	15	1				1			○			○
			診断と治療Ⅰ	講義	30		2			2			○			
			診断と治療Ⅱ	講義	15		2			2			○			
			基礎ゼミ	演習	30	1				1			○			

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭(二種)	養護教諭(一種)
専門基礎科目	人間の生活と社会	公衆衛生学	講義	15		2			2	必修		○			○
		社会保障論	講義	15		2			2			○			
		ホリスティック・ヘルスⅠ	講義	15	1				1			○			
		専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2			○			
		生命倫理	講義	15	1				1			○			
		生化学	講義	15	2				2	選択					
		看護と栄養	講義	15			2		2						○
		生物の基礎	講義	15	2				2						
		化学の基礎	講義	15	2				2						
		ホリスティック・ヘルスⅡ	演習	30	1				1						
		女性と健康	講義	15	1				1						
		中医学の基礎	講義	15	1				1						
		専門職の連携（応用）	演習	30				1	1						
		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2						
専門科目	看護の基礎	看護学原論	講義	15	2				2	必修		○			
		看護コミュニケーション	講義	15	1				1			○			○
		日常生活を支える看護技術Ⅰ	演習	30	1				1			○			○
		日常生活を支える看護技術Ⅱ	演習	30	2				2			○			○
		治療・診断過程に伴う看護技術	演習	30		2			2			○			
		看護過程論演習	演習	30		2			2			○			
		フィジカルアセスメント概論	講義	15		1			1			○			
		フィジカルアセスメント演習	演習	30		1			1			○			○
		仏教看護論Ⅰ	講義	15		1			1			○			
		仏教看護論Ⅱ	講義	15				1	1			○			
		看護倫理Ⅰ	講義	15	1				1			○			
		看護倫理Ⅱ	講義	15				1	1			○			
	看護の展開	母性看護学概論	講義	15		2			2	必修		○			
		小児看護学概論	講義	15		2			2			○			○
		成人看護学概論	講義	15		2			2			○			
		老年看護学概論	講義	15		2			2			○			
		精神看護学概論	講義	15		2			2			○			
		在宅看護学概論	講義	15		2			2			○			
		地域看護学概論	講義	15		1			1			○			○
		母性看護学援助論	講義	15		1			1			○			
		母性看護学演習	演習	30			1		1			○			
		小児看護学援助論	講義	15		1			1			○			
		小児看護学演習	演習	30			1		1			○			
		成人看護学援助論	講義	15		2			2			○			
		成人看護学演習	演習	30			2		2			○			

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭(二種)	養護教諭(一種)
専門科目	看護の展開	老年看護学援助論	講義	15		1			1	必修		○			
		老年看護学演習	演習	30			1		1			○			
		精神看護学援助論	講義	15		1			1			○			○
		精神看護学演習	演習	30			1		1			○			○
		在宅看護学援助論	講義	15		2			2			○			
		在宅看護学演習	演習	30			1		1			○			
		緩和ケア	講義	15			2		2			○			
		医療安全	講義	15			1		1			○			
		疫学	講義	15			2		2	選択			○		○
		保健統計学	講義	15			2		2				○		
		学校保健	講義	15		2			2				○		○
		産業保健	講義	15			1		1				○		
		健康教育論	講義	15		2			2				○		
	看護の実践	基礎看護学実習Ⅰ	実習	45	1				1	必修		○			
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	45		2			2			○			
		看護技術実習	実習	45			2		2			○			
		母性看護学実習	実習	45			2		2			○			
		小児看護学実習	実習	45			2		2			○			○
		慢性期看護学実習	実習	45			2		2			○			
		急性期看護学実習	実習	45			2		2			○			○
		老年看護学実習Ⅰ	実習	45			1		1			○			
		老年看護学実習Ⅱ	実習	45			2		2			○			
		精神看護学実習	実習	45			2		2			○			○
		在宅看護学実習	実習	45			3		3			○			
	看護の統合・発展	研究方法論	演習	30			1		1	必修		○			
		家族看護学	講義	15			2		2			○			○
		看護政策学	講義	15				1	1			○			
		卒論ゼミ	演習	30				2	2			○			
		看護管理論	講義	15				1	1			○			
		コンテンポラリーナーシング	講義	15				1	1			○			
		災害看護論	講義	15				1	1			○			
		統合看護学実習	実習	45				2	2			○			
		国際看護活動論	講義	15				1	1	選択					
自由科目	専門看護保健師課程	公衆衛生看護学概論	講義	15			2		2	自由			○		
		対象別公衆衛生看護活動論	講義	15			2		2				○		
		保健医療福祉行政論	講義	15			2		2				○		
		保健医療福祉行政論演習	演習	30				1	1				○		
		公衆衛生看護学演習	演習	30				3	3				○		
		公衆衛生看護技術論Ⅰ	演習	30			2		2				○		

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭（二種）	養護教諭（一種）
自由科目	専門看護保健師課程	公衆衛生看護技術論Ⅱ	演習	30			2		2	自由			○		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習	45			1		1				○		
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習	45				3	3				○		
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	実習	45				1	1				○		
	教職科目	教職論	講義	15	2				2	自由					○
		教育原理	講義	15		2			2						○
		教育心理学	講義	15		2			2						○
		教育行政学	講義	15		2			2						○
		人権教育	講義	15		2			2						○
		特別支援教育	講義	15		2			2						○
		教育課程論	講義	15		2			2						○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2						○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2						○
		教育方法論	講義	15		2			2						○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2						○
		教育相談	講義	15		2			2						○
		養護概説	講義	15		2			2						○
		事前・事後指導	実習	30			1		1						○
		養護実習	実習	45				4	4						○
		教職実践演習（養護教諭）	演習	15				2	2						○

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は20単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択6単位）。
専門科目は108単位以上修得すること（必修98単位、選択10単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　看護学科

〈2023 年度以降入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭（二種）	養護教諭（一種）
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○			
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2			○			
			京都光華の学び	演習	30	1				1			○			
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			○			
			アカデミックライティング	演習	30	1				1			○			
			データサイエンス入門	演習	30	1				1			○		○	○
			伝統文化	演習	30			1		1			○			
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1			○		○	○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1			○		○	○
			English in Use A	演習	30		1			1	選択					
			English in Use B	演習	30		1			1						
			English in Use C	演習	30		1			1						
			English in Use D	演習	30		1			1						
			English in Use E	演習	30		1			1						
			English in Use F	演習	30		1			1						
			医療英語	演習	30		1			1						
			中国語Ⅰ	演習	30		1			1						
			中国語Ⅱ	演習	30		1			1						
			ハングルⅠ	演習	30		1			1						
			ハングルⅡ	演習	30		1			1						
			海外での語学研修	実習	30		2			2						
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15		2			2						
			食生活と健康	講義	15		2			2						
			生涯スポーツ入門	講義	15		2			2						
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					○	○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			1					○	○
			アダプテッドスポーツ	実習	30		1			1						
			マインドフルネス	実習	30		1			1						
			教養囲碁入門	実習	30		1			1						
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2						
			仏教文化	講義	15	2				2						
			文化人類学	講義	15	2				2						
			言語と文学	講義	15	2				2						
			日本文化の理解	講義	15	2				2						
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
			芸術文化論	講義	15	2				2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭（二種）	養護教諭（一種）
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	サブカルチャー論	講義	15		2			2	選択必修2単位					
			現代アジア事情	講義	15		2			2						
			現代欧米事情	講義	15		2			2						
			国際社会の理解	講義	15		2			2						
			国際社会とジェンダー	講義	15		2			2						
		Ⅱ群	心理学	講義	15		2			2	選択必修2単位					
			社会学	講義	15		2			2						
			日本国憲法	講義	15		2			2					○	○
			現代社会と法	講義	15		2			2						
			現代社会と政治	講義	15		2			2						
			くらしのなかの経済学	講義	15		2			2						
			くらしのなかの統計学	講義	15		2			2						
			情報社会の理解	講義	15		2			2						
			生命の科学	講義	15		2			2						
			生活と物理・化学	講義	15		2			2						
			地域と環境	講義	15		2			2						
			生活と防災	講義	15		2			2						
			ボランティア論	講義	15		2			2						
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択				○	○
			情報技術の理解	講義	15		2			2						
			数的処理の基礎	演習	30		1			1						
			読解と思考の技法	演習	30		1			1						
			Webデザイン	演習	15			2		2						
			産官学連携プロジェクト	演習	15		2			2						
			キャリア実習	実習	30		1			1						
			インターンシップ	実習	30				2	2						
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15		2			2	選択					
			プログラミング入門	演習	15		2			2						
			AIへのアプローチ	講義	15			2		2						
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2						
			データサイエンスPBL	演習	15			2		2						
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修					
			日本語FⅡ	演習	30	1				1						
			日本語SⅠ	演習	30		1			1						
			日本語SⅡ	演習	30		1			1						
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1						
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1						

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭(二種)	養護教諭(一種)
専門基礎科目	人間の生活と社会	人体の構造と生理機能	演習	30	2				2	必修		○			○
		病気の成り立ち	講義	15	2				2			○			
		からだの防御の仕組み	講義	15	1				1			○			○
		薬理学	講義	15	1				1			○			○
		診断と治療Ⅰ	講義	30		2			2			○			
		診断と治療Ⅱ	講義	15		2			2			○			
		基礎ゼミ	演習	30	1				1			○			
		公衆衛生学	講義	15		2			2			○			○
		社会保障論	講義	15		2			2			○			
		ホリスティック・ヘルスⅠ	講義	15	1				1			○			
		専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2			○			
		生命倫理	講義	15	1				1			○			
		生化学	講義	15	2				2	選択					
		看護と栄養	講義	15			2		2						○
		生物の基礎	講義	15	2				2						
		化学の基礎	講義	15	2				2						
		ホリスティック・ヘルスⅡ	演習	30	1				1						
		女性と健康	講義	15	1				1						
		中医学の基礎	講義	15	1				1						
		専門職の連携（応用）	演習	30				1	1						
		包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2						
専門科目	看護の基礎	看護学原論	講義	15	2				2	必修		○			
		看護コミュニケーション	講義	15	1				1			○			○
		日常生活を支える看護技術Ⅰ	演習	30	1				1			○			○
		日常生活を支える看護技術Ⅱ	演習	30	2				2			○			○
		治療・診断過程に伴う看護技術	演習	30		2			2			○			
		看護過程論演習	演習	30		2			2			○			
		フィジカルアセスメント概論	講義	15		1			1			○			
		フィジカルアセスメント演習	演習	30		1			1			○			○
		仏教看護論Ⅰ	講義	15		1			1			○			
		仏教看護論Ⅱ	講義	15				1	1			○			
		看護倫理Ⅰ	講義	15	1				1			○			
		看護倫理Ⅱ	講義	15				1	1			○			
	看護の展開	母性看護学概論	講義	15		2			2	必修		○			
		小児看護学概論	講義	15		2			2			○			○
		成人看護学概論	講義	15		2			2			○			
		老年看護学概論	講義	15		2			2			○			
		精神看護学概論	講義	15		2			2			○			
		在宅看護学概論	講義	15		2			2			○			

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	関連資格 保健師	関連資格 養護教諭（二種）	関連資格 養護教諭（一種）
専門科目	看護の展開	地域看護学概論	講義	15		1			1	必修		○			○
		母性看護学援助論	講義	15		1			1			○			
		母性看護学演習	演習	30			1		1			○			
		小児看護学援助論	講義	15		1			1			○			
		小児看護学演習	演習	30			1		1			○			
		成人看護学援助論	講義	15		2			2			○			
		成人看護学演習	演習	30			2		2			○			
		老年看護学援助論	講義	15		1			1			○			
		老年看護学演習	演習	30			1		1			○			
		精神看護学援助論	講義	15		1			1			○			○
		精神看護学演習	演習	30			1		1			○			○
		在宅看護学援助論	講義	15		2			2			○			
		在宅看護学演習	演習	30			1		1			○			
		緩和ケア	講義	15			2		2			○			
		医療安全	講義	15			1		1			○			
		疫学	講義	15			2		2	選択			○		○
		保健統計学	講義	15			2		2				○		
		学校保健	講義	15		2			2				○		○
		産業保健	講義	15			1		1				○		
		健康教育論	講義	15		2			2				○		
	看護の実践	基礎看護学実習Ⅰ	実習	45	1				1	必修		○			
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	45		2			2			○			
		看護技術実習	実習	45			2		2			○			
		母性看護学実習	実習	45			2		2			○			
		小児看護学実習	実習	45			2		2			○			○
		慢性期看護学実習	実習	45			2		2			○			
		急性期看護学実習	実習	45			2		2			○			○
		老年看護学実習Ⅰ	実習	45			1		1			○			
		老年看護学実習Ⅱ	実習	45			2		2			○			
		精神看護学実習	実習	45			2		2			○			○
		在宅看護学実習	実習	45			3		3			○			
	看護の統合・発展	研究方法論	演習	30			1		1	必修		○			
		家族看護学	講義	15			2		2			○			○
		看護政策学	講義	15				1	1			○			
		卒論ゼミ	演習	30				2	2			○			
		看護管理論	講義	15				1	1			○			
		コンテンポラリーナーシング	講義	15				1	1			○			
		災害看護論	講義	15				1	1			○			
		統合看護学実習	実習	45				2	2			○			
		国際看護活動論	講義	15				1	1	選択					

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師	養護教諭（二種）	養護教諭（一種）
自由科目	専門看護保健師課程	公衆衛生看護学概論	講義	15			2		2	自由			○		
		対象別公衆衛生看護活動論	講義	15			2		2				○		
		保健医療福祉行政論	講義	15			2		2				○		
		保健医療福祉行政論演習	演習	30				1	1				○		
		公衆衛生看護学演習	演習	30				3	3				○		
		公衆衛生看護技術論Ⅰ	演習	30			2		2				○		
		公衆衛生看護技術論Ⅱ	演習	30			2		2				○		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習	45			1		1				○		
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習	45				3	3				○		
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	実習	45				1	1				○		
教職科目		教職論	講義	15	2				2	自由					○
		教育原理	講義	15		2			2						○
		教育心理学	講義	15		2			2						○
		教育行政学	講義	15		2			2						○
		人権教育	講義	15		2			2						○
		特別支援教育	講義	15		2			2						○
		教育課程論	講義	15		2			2						○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2						○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2						○
		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2			2						○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2						○
		教育相談	講義	15		2			2						○
		養護概説	講義	15		2			2						○
		事前・事後指導	実習	30			1		1						○
		養護実習	実習	45				4	4						○
		教職実践演習（養護教諭）	演習	15				2	2						○

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目は20単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択5単位）。
専門科目は108単位以上修得すること（必修98単位、選択10単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

看護福祉リハビリテーション学部　看護学科

〈2024 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師（養護教諭二種◎）	養護教諭（一種）
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修		○		
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2			○		
			京都光華の学び	演習	30	1				1			○		
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			○		
			アカデミックライティング	演習	30	1				1			○		
			データサイエンス入門	演習	30	1				1			○	◎	○
			伝統文化	演習	30			1		1			○		
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1			○	◎	○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1			○	◎	○
			English in Use A	演習	30		1			1	選択				
			English in Use B	演習	30		1			1					
			English in Use C	演習	30		1			1					
			English in Use D	演習	30		1			1					
			English in Use E	演習	30		1			1					
			English in Use F	演習	30		1			1					
			医療英語	演習	30		1			1					
			中国語Ⅰ	演習	30		1			1					
			中国語Ⅱ	演習	30		1			1					
			ハングルⅠ	演習	30		1			1					
			ハングルⅡ	演習	30		1			1					
			海外での語学研修	実習	30			2		2					
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15		2			2					
			食生活と健康	講義	15		2			2					
			生涯スポーツ入門	講義	15		2			2					
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1				◎	○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			1				◎	○
			アダプテッドスポーツ	実習	30		1			1					
			マインドフルネス	実習	30		1			1					
			教養囲碁入門	実習	30		1			1					
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15		2			2					
			くらしのなかの宗教	講義	15		2			2	選択必修2単位				
			仏教文化	講義	15		2			2					
			文化人類学	講義	15		2			2					
			言語と文学	講義	15		2			2					
			日本文化の理解	講義	15		2			2					
			京都の歴史と文化	講義	15		2			2					
			芸術文化論	講義	15		2			2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師（養護教諭二種◎）	養護教諭（一種）
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	サブカルチャー論	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			現代アジア事情	講義	15	2				2					
			現代欧米事情	講義	15	2				2					
			国際社会の理解	講義	15	2				2					
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			社会学	講義	15	2				2					
			日本国憲法	講義	15	2				2				◎	○
			現代社会と法	講義	15	2				2					
			現代社会と政治	講義	15	2				2					
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2					
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2					
			情報社会の理解	講義	15	2				2					
			生命の科学	講義	15	2				2					
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					
			地域と環境	講義	15	2				2					
			生活と防災	講義	15	2				2					
			ボランティア論	講義	15	2				2					
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択			◎	○
			情報技術の理解	講義	15	2				2					
			数的処理の基礎	演習	30	1				1					
			読解と思考の技法	演習	30	1				1					
			Webデザイン	演習	15		2			2					
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2					
			キャリア実習	実習	30	1				1					
			インターンシップ	実習	30		2			2					
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択				
			プログラミング入門	演習	15	2				2					
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2					
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2					
			データサイエンスPBL	演習	15		2			2					
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修				
			日本語FⅡ	演習	30	1				1					
			日本語SⅠ	演習	30		1			1					
			日本語SⅡ	演習	30		1			1					
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1					
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師（養護教諭二種◎）	養護教諭（一種）
専門基礎科目	人間の生活と社会	人間の生活と社会	人体の構造と生理機能	演習	30	2				2	必修		○		○
			病気の成り立ち	講義	15	2				2			○		
			からだの防御の仕組み	講義	15	1				1			○		○
			薬理学	講義	15	1				1			○		○
			診断と治療Ⅰ	講義	30		2			2			○		
			診断と治療Ⅱ	講義	15		2			2			○		
			基礎ゼミ	演習	30	1				1			○		
			公衆衛生学	講義	15		2			2			○		○
			社会保障論	講義	15		2			2			○		
			ホリスティック・ヘルスⅠ	講義	15	1				1			○		
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2			○		
			生命倫理	講義	15	1				1			○		
			生化学	講義	15	2				2	選択				
			看護と栄養	講義	15			2		2					○
			生物の基礎	講義	15	2				2					
			化学の基礎	講義	15	2				2					
			ホリスティック・ヘルスⅡ	演習	30	1				1					
			女性と健康	講義	15		1			1					
			中医学の基礎	講義	15		1			1					
			専門職の連携（応用）	演習	30		1			1					
			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2					
専門科目	看護の基礎		看護学原論	講義	15	2				2	必修		○		
			看護コミュニケーション	講義	15	1				1			○		○
			日常生活を支える看護技術Ⅰ	演習	30	1				1			○		○
			日常生活を支える看護技術Ⅱ	演習	30	2				2			○		○
			治療・診断過程に伴う看護技術	演習	30		2			2			○		
			看護過程論演習	演習	30		2			2			○		
			フィジカルアセスメント概論	講義	15		1			1			○		
			フィジカルアセスメント演習	演習	30		1			1			○		○
			仏教看護論Ⅰ	講義	15		1			1			○		
			仏教看護論Ⅱ	講義	15				1	1			○		
			看護倫理Ⅰ	講義	15	1				1			○		
			看護倫理Ⅱ	講義	15				1	1			○		
	看護の展開		母性看護学概論	講義	15		2			2	必修		○		
			小児看護学概論	講義	15		2			2			○		○
			成人看護学概論	講義	15		2			2			○		
			老年看護学概論	講義	15		2			2			○		
			精神看護学概論	講義	15		2			2			○		
			在宅看護学概論	講義	15		2			2			○		

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師（養護教諭二種◎）	養護教諭（一種）
専門科目	看護の展開	地域看護学概論	講義	15		1			1	必修		○		○
		母性看護学援助論	講義	15		1			1			○		
		母性看護学演習	演習	30			1		1			○		
		小児看護学援助論	講義	15		1			1			○		
		小児看護学演習	演習	30			1		1			○		
		成人看護学援助論	講義	15		2			2			○		
		成人看護学演習	演習	30			2		2			○		
		老年看護学援助論	講義	15		1			1			○		
		老年看護学演習	演習	30			1		1			○		
		精神看護学援助論	講義	15		1			1			○		○
		精神看護学演習	演習	30			1		1			○		○
		在宅看護学援助論	講義	15		2			2			○		
		在宅看護学演習	演習	30			1		1			○		
		緩和ケア	講義	15			2		2			○		
		医療安全	講義	15			1		1			○		
		疫学	講義	15			2		2	選択			○	○
		保健統計学	講義	15			2		2				○	
		学校保健	講義	15		2			2				○	○
		産業保健	講義	15			1		1				○	
		健康教育論	講義	15		2			2				○	
	看護の実践	基礎看護学実習Ⅰ	実習	45	1				1	必修		○		
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	45		2			2			○		
		看護技術実習	実習	45			2		2			○		
		母性看護学実習	実習	45			2		2			○		
		小児看護学実習	実習	45			2		2			○		○
		慢性期看護学実習	実習	45			2		2			○		
		急性期看護学実習	実習	45			2		2			○		○
		老年看護学実習Ⅰ	実習	45			1		1			○		
		老年看護学実習Ⅱ	実習	45			2		2			○		
		精神看護学実習	実習	45			2		2			○		○
		在宅看護学実習	実習	45			3		3			○		
	看護の統合・発展	研究方法論	演習	30			1		1	必修		○		
		家族看護学	講義	15			2		2			○		○
		看護政策学	講義	15				1	1			○		
		卒論ゼミ	演習	30				2	2			○		
		看護管理論	講義	15				1	1			○		
		コンテンポラリーナーシング	講義	15				1	1			○		
		災害看護論	講義	15				1	1			○		
		統合看護学実習	実習	45				2	2			○		
		国際看護活動論	講義	15				1	1	選択				

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 看護師	保健師（養護教諭二種◎）	養護教諭（一種）
自由科目	専門看護保健師課程	公衆衛生看護学概論	講義	15			2		2	自由			○	
		対象別公衆衛生看護活動論	講義	15			2		2				○	
		保健医療福祉行政論	講義	15			2		2				○	
		保健医療福祉行政論演習	演習	30				1	1				○	
		公衆衛生看護学演習	演習	30				3	3				○	
		公衆衛生看護技術論Ⅰ	演習	30			2		2				○	
		公衆衛生看護技術論Ⅱ	演習	30			2		2				○	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	実習	45			1		1				○	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	実習	45				3	3				○	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	実習	45				1	1				○	
教職科目		教職論	講義	15	2				2	自由				○
		教育原理	講義	15		2			2					○
		教育心理学	講義	15		2			2					○
		教育行政学	講義	15		2			2					○
		人権教育	講義	15		2			2					○
		特別支援教育	講義	15		2			2					○
		教育課程論	講義	15		2			2					○
		道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			2					○
		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			2					○
		教育方法論（ＩＣＴ活用を含む）	講義	15		2			2					○
		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2			2					○
		教育相談	講義	15		2			2					○
		養護概説	講義	15		2			2					○
		事前・事後指導	実習	30			1		1					○
		養護実習	実習	45				4	4					○
		教職実践演習（養護教諭）	演習	15				2	2					○

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目は 20 単位以上修得すること（必修 11 単位、選択必修 4 単位、選択 5 単位）。
専門科目は 108 単位以上修得すること（必修 98 単位、選択 10 単位）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計 128 単位以上修得すること。

（履修科目の登録の上限：48 単位（年間））

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期ＧＰＡが「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から 4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、Ｐ.7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

看護学科、専門基礎・専門科目・専門看護保健師課程の履修について

(1) 履修要件つきの科目一覧

以下の科目については右欄の履修要件を満たしていなければ履修することができない。

1年	基礎看護学実習Ⅰ	1年次前期の専門基礎科目・専門科目（看護の基盤）必修科目の全てを履修していること（3分の2以上の出席数があること）。
2年	基礎看護学実習Ⅱ	1年次の専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全ての単位を修得していること。 2年次前期の専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全てを履修していること（3分の2以上の出席数があること）。
3年	領域別実習 （母性、小児、慢性・急性期、老年Ⅰ・Ⅱ、精神、在宅看護学実習）	1年次から3年次前期までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全ての単位を修得していること。
	看護技術実習	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ （保健師課程選抜者のみ対象）	1年次から3年次前期までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全ての単位を修得していること。 3年次前期までの専門看護保健師課程科目の全ての単位を修得していること。
4年	公衆衛生看護学実習Ⅱ （保健師課程選抜者のみ対象）	1年次から3年次までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）および専門看護保健師課程科目の全ての単位を修得していること。
	公衆衛生看護学実習Ⅲ （保健師課程選抜者のみ対象）	1年次から3年次までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）および専門看護保健師課程科目の全ての単位を修得していること。
	統合看護学実習 卒論ゼミ	1年次から3年次までの専門基礎科目・専門科目（必修科目）の全ての単位を修得していること。ただし、追・再実習含めて3年次の実習1科目のみの単位未修得者は学科会議の審議を経て履修を認めることとする。

(2) 追実習について

やむを得ぬ事由により、出席日数を満たすことができなかった実習科目に対して、学生の願い出により追実習を行うことができる。追実習は、原則、当該年度内に行われる。ただし、実習受け入れ機関の協力が得られない場合は、翌年度の履修とする。追実習は、各看護学の領域別実習、看護技術実習及び統合実習を対象とする。基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱについては原則追実習を認めず、翌年度の実習科目開講時期に行うこととする。

＜追実習の対象と提出書類＞

①病気・負傷、出席停止などの感染症による欠席：医療機関による診断書（欠席した日が、傷病期間として明記されたもの）
②公欠・忌引きおよび交通機関の事故など不可抗力による欠席：証明書類（会葬礼状、事故証明書等）
③就職試験など学外の試験など：学生部長の具申書
④その他、学科が認めた学生の不可抗力により実習に出席できなかった場合
手続き期間：当該実習終了から原則として2週間以内
提出先：当該実習領域科目責任者
※無届欠席や上記の条件を充たさない者は、追実習の対象とはならない。

(3) 再実習について

実習科目においては、60点未満の成績の場合は再実習の取扱いはない。次年度以降の再履修となる。

(4) 講義・演習科目の再履修について（2021年度以降入学生対象）

科目の再履修時に時間割の重複が生じた場合、所定授業時間の2/3以上の出席日数を満たした上で不合格になった講義・演習科目については、当該科目担当者による個別指導を再履修の代替として認める場合がある。ただし、この場合においても履修登録は必要である。

D．健康科学部　医療福祉学科

〈2021・2022 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				○
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					○
			京都光華の学び	演習	30	1				1					○
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1					
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					
			伝統文化	演習	30		1			1					
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1	必修	言語聴覚専攻は医療英語必修、他いずれか1単位選択必修			○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					○
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択				○
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1					○
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1					○
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1					○
			医療英語	演習	30	1				1					○
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1					○
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1					○
			ハングルⅠ	演習	30	1				1					○
			ハングルⅡ	演習	30	1				1					○
			海外での語学研修	実習	30		2			2					
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2	選択	言語聴覚専攻必修			○
			食生活と健康	講義	15	2				2					
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2					
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			仏教文化	講義	15	2				2					
			文化人類学	講義	15	2				2					
			言語と文学	講義	15	2				2					
			日本文化の理解	講義	15	2				2					
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					
			芸術文化論	講義	15	2				2					
			サブカルチャー論	講義	15	2				2					
			現代アジア事情	講義	15	2				2					
			現代欧米事情	講義	15	2				2					
			国際社会の理解	講義	15	2				2					
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位		○	○	○
			社会学	講義	15	2				2			○	○	○
			日本国憲法	講義	15	2				2					○
			現代社会と法	講義	15	2				2					○
			現代社会と政治	講義	15	2				2					○
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2					○
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2					○
			生命の科学	講義	15	2				2					○
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					○
			地域と環境	講義	15	2				2					○
			生活と防災	講義	15	2				2					○
			ボランティア論	講義	15	2				2					○
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択				
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1					
			数的処理の基礎	演習	30	1				1					
			日本語表現の技法	演習	30	1				1					
			読解と思考の技法	演習	30	1				1					
			Webデザイン	演習	15		2			2					
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2					
			プログラミング入門	演習	15		2			2					
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2					
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2					
			データサイエンスPBL	演習	15		2			2					
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2					
			キャリア実習	実習	30	1				2					
			インターンシップ	実習	30			2		2					
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修				
			日本語FⅡ	演習	30	1				1					
			日本語SⅠ	演習	30		1			1					
			日本語SⅡ	演習	30		1			1					
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1					
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1					
共通専門科目			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択	言語聴覚専攻必修			
			生命倫理	講義	15			2		2					○
			ターミナルケア	演習	30			1		1		言語聴覚専攻必修			
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修				○
			専門職の連携（応用）	演習	30				1	1	選択				○
			医療福祉連携論	講義	15		2			2	必修				
			障害者福祉	講義	15		2			2	選択		○	○	○

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
社会福祉専攻専門科目	専門基礎科目	人間と社会	子どもと社会福祉	講義	15	2				2	必修				
			仏教と社会福祉	講義	15		2			2					
			基礎演習Ⅰ	演習	30	1				1					
			基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1					
			社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15	2				2	選択		○	○	
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15	2				2			○	○	
		医療と福祉	基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1	必修				
			基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1					
			保健医療と福祉	講義	15		2			2	選択		○		
			精神保健福祉制度論	講義	15			2		2				○	
	専門科目	社会福祉の基礎	社会福祉専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	必修				
			社会福祉専門演習Ⅱ	演習	15			2		2					
			医学知識	講義	15		2			2	選択		○	○	
			社会福祉調査の基礎	講義	15		2			2			○	○	
			ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	15	2				2			○	○	
			ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	講義	15	2				2			○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	15		2			2			○	○	
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	15		2			2			○	○	
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	15			2		2			○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義	15			2		2			○		
			地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2			2			○	○	
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2			2			○	○	
		社会福祉の展開	社会福祉専門演習Ⅲ	演習	15				2	2	必修				
			社会福祉専門演習Ⅳ	演習	15				2	2					
			卒業研究	演習	—				4	4					
			ソーシャルワーク演習	演習	15		2			2	選択		○	○	
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	演習	15		2			2			○		
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2			○	○	
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2			○	○	
			高齢者福祉	講義	15		2			2			○		
			児童･家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15		2			2			○		
			生活保護制度	講義	15		2			2			○		
			権利擁護を支える法制度	講義	15		2			2			○	○	
			刑事司法と福祉	講義	15		2			2			○	○	
			福祉サービスの組織と経営	講義	15			2		2			○		
			社会的養護Ⅰ	講義	15			2		2					
			発達障害と制度	講義	15	2				2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
社会福祉専攻専門科目	専門科目	社会福祉の応用	社会福祉学特講Ⅰ	講義	15				2	2	選択				
			社会福祉学特講Ⅱ	講義	15				2	2					
			社会福祉学特講Ⅲ	講義	15				2	2					
			社会福祉学特講Ⅳ	講義	15				2	2					
			精神医学と精神医療Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			精神医学と精神医療Ⅱ	講義	15				2	2				○	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	15			2		2				○	
			精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	15			2		2	選択			○	
			精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	15			2		2				○	
			精神障害リハビリテーション論	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	15			2		2			○		
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	15			2		2			○		
			社会的養護Ⅱ	演習	15			2		2					
		社会福祉の発展	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	演習	15				2	2	選択		○		
			ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	15		2			2			○		
			ソーシャルワーク実習指導ⅡA	演習	15			2		2			○		
			ソーシャルワーク実習指導ⅡB	演習	15			2		2			○		
			ソーシャルワーク実習A	実習	45			4		4			○		
			ソーシャルワーク実習B	実習	45			2		2			○		
			精神保健福祉演習Ⅰ	演習	15			2		2				○	
			精神保健福祉演習Ⅱ	演習	15				2	2				○	
			精神保健福祉演習Ⅲ	演習	15				2	2				○	
			精神保健福祉実習指導Ⅰ	演習	15			2		2				○	
			精神保健福祉実習指導Ⅱ	演習	15				4	4				○	
			精神保健福祉実習A	実習	45				2	2				○	
			精神保健福祉実習B	実習	45				3	3				○	
言語聴覚専攻専門科目	専門基礎科目	人間と社会	基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1					
			言語運用と数的処理の基礎	演習	30	1				1	選択				
			健康カウンセリング	講義	15			2		2	選択				○
			社会と統計	講義	15			2		2	必修				○
		医療と福祉	社会保障制度・関係法規	講義	15			1		1	必修				○
			栄養サポート論	講義	15			2		2	選択				○

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
言語聴覚専攻専門科目	専門科目	言語聴覚療法の基礎	臨床医学総論	講義	15	1				1	必修				○
			臨床基礎医学	講義	15	2				2					○
			リハビリテーション概論・医学	講義	15		2			2					○
			音声･言語･聴覚医学Ⅰ(呼吸発声発語系)	演習	30	1				1					○
			音声･言語･聴覚医学Ⅲ(神経系)	演習	30	1				1					○
			言語発達学	講義	15	1				1					○
			生涯発達心理学	講義	15			2		2					○
			認知・学習心理学	講義	15		2			2					○
			臨床心理学	講義	15			2		2					○
			言語聴覚障害学概論	講義	15	2				2					○
			聴覚障害学概論	演習	30	1				1					○
		言語聴覚療法の展開	臨床医学Ⅰ(内科学･小児科学)	講義	15		2			2	必修				○
			臨床医学Ⅱ(耳鼻咽喉科･形成外科)	講義	15		2			2					○
			臨床医学Ⅲ(精神医学･臨床神経学)	講義	15		2			2					○
			臨床歯科医学・口腔外科学	講義	15		1			1					○
			心理測定法	講義	15			2		2					○
			言語学	講義	15	2				2					○
			音声学	講義	15		2			2					○
			音響学	講義	15		2			2					○
			失語症Ⅰ	演習	30	1				1					○
			失語症Ⅱ	演習	30		1			1					○
			高次脳機能障害Ⅰ	演習	30		1			1					○
			高次脳機能障害Ⅱ	演習	30			1		1					○
			言語発達障害学ⅠA（各論）	演習	30	1				1					○
			言語発達障害学ⅠB（各論）	演習	30		1			1					○
			言語発達障害学Ⅱ（評価）	講義	15		2			2					○
			言語発達障害学Ⅲ（指導法）	講義	15			2		2					○
			発声発語障害IA(小児構音障害)	演習	30		1			1					○
			発声発語障害IB(小児構音障害)	演習	30			1		1					○
			発声発語障害ⅡA（成人）	演習	30		1			1					○
			発声発語障害ⅡB（成人）	演習	30		1			1					○
			発声発語障害Ⅲ（吃音）	演習	30		1			1					○
			摂食嚥下障害学	講義	15		2			2					○
			聴覚障害学Ⅰ(補聴･人工内耳)	講義	15		1			1					○
			聴覚障害学Ⅱ（小児）	講義	15		2			2					○
			聴覚障害学Ⅲ（成人）	講義	15			2		2					○
			音声･言語･聴覚医学Ⅱ(聴覚系)	演習	30			1		1					○

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
言語聴覚専攻専門科目	専門科目	言語聴覚療法の応用	言語聴覚障害診断学演習Ⅰ(小児)	演習	30			1		1	必修				○
			言語聴覚障害診断学演習Ⅱ(成人)	演習	30			1		1					○
			失語症演習	演習	30		1			1					○
			高次脳機能障害演習	演習	30			1		1					○
			言語発達障害学演習	演習	30			1		1					○
			発声発語障害演習Ⅰ（小児）	演習	30			1		1					○
			発声発語障害演習Ⅱ（成人）	演習	30			1		1					○
			摂食嚥下障害学演習	演習	30		1			1					○
			聴覚障害学演習	演習	30			1		1					○
			画像診断学演習	演習	30			1		1	選択				○
			言語聴覚障害学総合演習(検査･機器)	演習	30			1		1					○
		言語聴覚療法の発展	言語聴覚障害実習Ⅰ	実習	30			1		1	必修				○
			言語聴覚障害実習Ⅱ	実習	30			1		1					○
			言語聴覚障害実習Ⅲ	実習	30				1	1	選択				○
			言語聴覚障害実習Ⅳ	実習	30				1	1					○
			認知症特論	講義	15				1	1					○
			摂食嚥下障害学特論	講義	15				1	1					○
			卒業研究	演習	—				2	2	必修				
			専門ゼミⅠ	演習	30				1	1					
			専門ゼミⅡ	演習	30				1	1					
			臨床実習（見学実習）1週間	実習	45		1			1					○
			臨床実習（評価実習）4週間	実習	45			4		4					○
			臨床実習（総合実習）8週間	実習	45				8	8					○

＜卒業要件及び履修方法＞

【社会福祉専攻】

リベラルアーツ教育科目は28単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択14単位）。共通専門・専門基礎・専門科目は100単位以上修得すること（必修24単位、選択76単位）。リベラルアーツ教育科目と共通専門・専門基礎・専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

※社会福祉専攻の学生は言語聴覚専攻専門科目を履修できない。

【言語聴覚専攻】

リベラルアーツ教育科目は25単位以上修得すること（必修13単位、選択必修5単位、選択7単位）。共通専門・専門基礎・専門科目は103単位以上修得すること（必修95単位、選択8単位）。リベラルアーツ教育科目と共通専門・専門基礎・専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

※言語聴覚専攻の学生はリベラルアーツ教育科目の「医療英語」、「健康の科学」、共通専門科目の「包括的ヘルスケア論」、「ターミナルケア」を必修とし、社会福祉専攻専門科目を履修できない。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　医療福祉学科

〈2023 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	関連資格 精神保健福祉士	関連資格 言語聴覚士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				○
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					○
			京都光華の学び	演習	30	1				1					○
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1					
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					
			データサイエンス入門	演習	30	1				1					
			伝統文化	演習	30		1			1					
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					○
			English in Use A	演習	30	1				1	選択	言語聴覚専攻は医療英語必修、他いずれか1単位選択必修			○
			English in Use B	演習	30	1				1					○
			English in Use C	演習	30	1				1					○
			English in Use D	演習	30	1				1					○
			English in Use E	演習	30	1				1					○
			English in Use F	演習	30	1				1					○
			医療英語	演習	30	1				1					○
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1					○
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1					○
			ハングルⅠ	演習	30	1				1					○
			ハングルⅡ	演習	30	1				1					○
			海外での語学研修	実習	30		2			2					
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2		言語聴覚専攻必修			○
			食生活と健康	講義	15	2				2					
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2					
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1					
			マインドフルネス	実習	30	1				1					
			教養囲碁入門	実習	30	1				1					
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2					
			仏教文化	講義	15	2				2					
			文化人類学	講義	15	2				2					
			言語と文学	講義	15	2				2					
			日本文化の理解	講義	15	2				2					
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					
			芸術文化論	講義	15	2				2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	関連資格 精神保健福祉士	関連資格 言語聴覚士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	サブカルチャー論	講義	15		2			2	選択必修2単位				
			現代アジア事情	講義	15		2			2					
			現代欧米事情	講義	15		2			2					
			国際社会の理解	講義	15		2			2					
			国際社会とジェンダー	講義	15		2			2					
		Ⅱ群	心理学	講義	15		2			2	選択必修2単位		○	○	○
			社会学	講義	15		2			2			○	○	○
			日本国憲法	講義	15		2			2					○
			現代社会と法	講義	15		2			2					○
			現代社会と政治	講義	15		2			2					○
			くらしのなかの経済学	講義	15		2			2					○
			くらしのなかの統計学	講義	15		2			2					○
			情報社会の理解	講義	15		2			2					○
			生命の科学	講義	15		2			2					○
			生活と物理・化学	講義	15		2			2					○
			地域と環境	講義	15		2			2					○
			生活と防災	講義	15		2			2					○
			ボランティア論	講義	15		2			2					○
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択				
			情報技術の理解	講義	15		2			2					
			数的処理の基礎	演習	30		1			1					
			読解と思考の技法	演習	30		1			1					
			Webデザイン	演習	15			2		2					
			産官学連携プロジェクト	演習	15		2			2					
			産官学連携プロジェクト	演習	30		1			1					
			キャリア実習	実習	30		1			1					
			インターンシップ	実習	30				2	2					
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15		2			2	選択				
			プログラミング入門	演習	15		2			2					
			AIへのアプローチ	講義	15			2		2					
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2					
			データサイエンスPBL	演習	15			2		2					
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修				
			日本語FⅡ	演習	30	1				1					
			日本語SⅠ	演習	30		1			1					
			日本語SⅡ	演習	30		1			1					
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1					
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
共通専門科目			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択	言語聴覚専攻必修			
			生命倫理	講義	15			2		2					○
			ターミナルケア	演習	30			1		1		言語聴覚専攻必修			
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修				○
			専門職の連携（応用）	演習	30				1	1	選択				○
			医療福祉連携論	講義	15		2			2	必修				
			障害者福祉	講義	15		2			2	選択		○	○	○
社会福祉専攻専門科目	専門基礎科目	人間と社会	子どもと社会福祉	講義	15	2				2	必修				
			仏教と社会福祉	講義	15		2			2					
			基礎演習Ⅰ	演習	30	1				1					
			基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1					
			社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15	2				2	選択		○	○	
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15	2				2			○	○	
		医療と福祉	基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1	必修				
			基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1					
			保健医療と福祉	講義	15		2			2	選択		○		
			精神保健福祉制度論	講義	15			2		2				○	
	専門科目	社会福祉の基礎	社会福祉専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	必修				
			社会福祉専門演習Ⅱ	演習	15			2		2					
			医学知識	講義	15		2			2	選択		○	○	
			社会福祉調査の基礎	講義	15		2			2			○	○	
			ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	15	2				2			○	○	
			ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	講義	15	2				2			○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	15		2			2			○	○	
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	15		2			2			○	○	
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	15			2		2			○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義	15			2		2			○		
			地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2			2			○	○	
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2			2			○	○	
		社会福祉の展開	社会福祉専門演習Ⅲ	演習	15				2	2	必修				
			社会福祉専門演習Ⅳ	演習	15				2	2					
			卒業研究	演習	—				4	4					
			ソーシャルワーク演習	演習	15		2			2	選択		○	○	
			ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	演習	15		2			2			○		
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2			○	○	
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2			○	○	
			高齢者福祉	講義	15		2			2			○		
			児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	講義	15		2			2			○		
			生活保護制度	講義	15		2			2			○		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
社会福祉専攻専門科目	専門科目	社会福祉の展開	権利擁護を支える法制度	講義	15		2			2	選択		○	○	
			刑事司法と福祉	講義	15		2			2			○	○	
			福祉サービスの組織と経営	講義	15			2		2			○		
			社会的養護Ⅰ	講義	15			2		2					
			発達障害と制度	講義	15	2				2					
		社会福祉の応用	社会福祉学特講Ⅰ	講義	15				2	2	選択				
			社会福祉学特講Ⅱ	講義	15				2	2					
			社会福祉学特講Ⅲ	講義	15				2	2					
			社会福祉学特講Ⅳ	講義	15				2	2					
			精神医学と精神医療Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			精神医学と精神医療Ⅱ	講義	15				2	2				○	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	15			2		2				○	
			精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	15			2		2				○	
			精神障害リハビリテーション論	講義	15			2		2				○	
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	15			2		2			○		
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	15			2		2			○		
			社会的養護Ⅱ	演習	15			2		2					
		社会福祉の発展	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	演習	15				2	2	選択		○		
			ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	15		2			2			○		
			ソーシャルワーク実習指導ⅡA	演習	15			2		2			○		
			ソーシャルワーク実習指導ⅡB	演習	15			2		2			○		
			ソーシャルワーク実習A	実習	45			4		4			○		
			ソーシャルワーク実習B	実習	45			2		2			○		
			精神保健福祉演習Ⅰ	演習	15			2		2				○	
			精神保健福祉演習Ⅱ	演習	15				2	2				○	
			精神保健福祉演習Ⅲ	演習	15				2	2				○	
			精神保健福祉実習指導Ⅰ	演習	15			2		2				○	
			精神保健福祉実習指導Ⅱ	演習	15				4	4				○	
			精神保健福祉実習A	実習	45				2	2				○	
			精神保健福祉実習B	実習	45				3	3				○	
言語聴覚専攻専門科目	専門基礎科目	人間と社会	基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1					
			言語運用と数的処理の基礎	演習	30	1				1	選択				
			健康カウンセリング	講義	15			2		2	選択				○
			社会と統計	講義	15			2		2	必修				○

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
言語聴覚専攻専門科目	専門基礎科目	医療と福祉	社会保障制度・関係法規	講義	15			1		1	必修				○
			栄養サポート論	講義	15			2		2	選択				○
	専門科目	言語聴覚療法の基礎	臨床医学総論	講義	15	1				1	必修				○
			臨床基礎医学	講義	15	2				2					○
			リハビリテーション概論・医学	講義	15		2			2					○
			音声･言語･聴覚医学Ⅰ(呼吸発声発語系)	演習	30	1				1					○
			音声･言語･聴覚医学Ⅲ(神経系)	演習	30	1				1					○
			言語発達学	講義	15	1				1					○
			生涯発達心理学	講義	15			2		2					○
			認知・学習心理学	講義	15		2			2					○
			臨床心理学	講義	15			2		2					○
			言語聴覚障害学概論	講義	15	2				2					○
			聴覚障害学概論	演習	30	1				1					○
		言語聴覚療法の展開	臨床医学Ⅰ(内科学･小児科学)	講義	15		2			2	必修				○
			臨床医学Ⅱ(耳鼻咽喉科･形成外科)	講義	15		2			2					○
			臨床医学Ⅲ(精神医学･臨床神経学)	講義	15		2			2					○
			臨床歯科医学・口腔外科学	講義	15		1			1					○
			心理測定法	講義	15			2		2					○
			言語学	講義	15	2				2					○
			音声学	講義	15		2			2					○
			音響学	講義	15		2			2					○
			失語症Ⅰ	演習	30	1				1					○
			失語症Ⅱ	演習	30		1			1					○
			高次脳機能障害Ⅰ	演習	30		1			1					○
			高次脳機能障害Ⅱ	演習	30			1		1					○
			言語発達障害学ⅠA（各論）	演習	30	1				1					○
			言語発達障害学ⅠB（各論）	演習	30		1			1					○
			言語発達障害学Ⅱ（評価）	講義	15		2			2					○
			言語発達障害学Ⅲ（指導法）	講義	15			2		2					○
			発声発語障害IA(小児構音障害)	演習	30		1			1					○
			発声発語障害IB(小児構音障害)	演習	30			1		1					○
			発声発語障害ⅡA（成人）	演習	30		1			1					○
			発声発語障害ⅡB（成人）	演習	30		1			1					○
			発声発語障害Ⅲ（吃音）	演習	30		1			1					○
			摂食嚥下障害学	講義	15		2			2					○
			聴覚障害学Ⅰ(補聴･人工内耳)	講義	15		1			1					○
			聴覚障害学Ⅱ（小児）	講義	15		2			2					○
			聴覚障害学Ⅲ（成人）	講義	15			2		2					○
			音声･言語･聴覚医学Ⅱ(聴覚系)	演習	30			1		1					○

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士
言語聴覚専攻専門科目	専門科目	言語聴覚療法の応用	言語聴覚障害診断学演習Ⅰ(小児)	演習	30			1		1	必修				○
			言語聴覚障害診断学演習Ⅱ(成人)	演習	30			1		1					○
			失語症演習	演習	30		1			1					○
			高次脳機能障害演習	演習	30			1		1					○
			言語発達障害学演習	演習	30			1		1					○
			発声発語障害演習Ⅰ(小児)	演習	30			1		1					○
			発声発語障害演習Ⅱ(成人)	演習	30			1		1					○
			摂食嚥下障害学演習	演習	30		1			1					○
			聴覚障害学演習	演習	30			1		1					○
			画像診断学演習	演習	30			1		1	選択				○
			言語聴覚障害学総合演習(検査･機器)	演習	30			1		1					○
		言語聴覚療法の発展	言語聴覚障害実習Ⅰ	実習	30			1		1	必修				○
			言語聴覚障害実習Ⅱ	実習	30			1		1					○
			言語聴覚障害実習Ⅲ	実習	30				1	1	選択				○
			言語聴覚障害実習Ⅳ	実習	30				1	1					○
			認知症特論	講義	15				1	1					○
			摂食嚥下障害学特論	講義	15				1	1					○
			卒業研究	演習	—				2	2	必修				
			専門ゼミⅠ	演習	30				1	1					
			専門ゼミⅡ	演習	30				1	1					
			臨床実習(見学実習)1週間	実習	45		1			1					○
			臨床実習(評価実習)4週間	実習	45			4		4					○
			臨床実習(総合実習)8週間	実習	45				8	8					○

＜卒業要件及び履修方法＞

【社会福祉専攻】

リベラルアーツ教育科目は28単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択13単位）。専門科目は100単位以上修得すること（必修24単位、選択76単位）。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

※社会福祉専攻の学生は言語聴覚専攻専門科目を履修できない。

【言語聴覚専攻】

リベラルアーツ教育科目は25単位以上修得すること（必修14単位、選択必修5単位、選択6単位）。専門科目は103単位以上修得すること（必修95単位、選択8単位）。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

※言語聴覚専攻の学生はリベラルアーツ教育科目の「医療英語」、「健康の科学」、共通専門科目の「包括的ヘルスケア論」、「ターミナルケア」を必修とし、社会福祉専攻専門科目を履修できない。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。

その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

看護福祉リハビリテーション学部　福祉リハビリテーション学科
〈2024 年度入学生対象〉

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				○	◎
		仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					○	◎
		京都光華の学び	演習	30	1				1					○	◎
		アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						◎
		アカデミックライティング	演習	30	1				1						◎
		データサイエンス入門	演習	30	1				1						◎
		伝統文化	演習	30		1			1						◎
	外国語コミュニケーション	総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					○	◎
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					○	◎
		English in Use A	演習	30	1				1	選択	言語聴覚専攻は医療英語必修、他いずれか1単位選択必修			○	
		English in Use B	演習	30	1				1					○	
		English in Use C	演習	30	1				1					○	
		English in Use D	演習	30	1				1					○	
		English in Use E	演習	30	1				1					○	
		English in Use F	演習	30	1				1					○	
		医療英語	演習	30	1				1		言語聴覚専攻・作業療法専攻必修			○	◎
		中国語Ⅰ	演習	30	1				1					○	
		中国語Ⅱ	演習	30	1				1					○	
		ハングルⅠ	演習	30	1				1					○	
		ハングルⅡ	演習	30	1				1					○	
		海外での語学研修	実習	30		2			2						
	健康とスポーツ	健康の科学	講義	15	2				2		言語聴覚専攻資格必修			○	
		食生活と健康	講義	15	2				2						
		生涯スポーツ入門	講義	15	2				2						
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1						
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1						
		アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1						
		マインドフルネス	実習	30	1				1						
		教養囲碁入門	実習	30	1				1						
	人文・社会・自然 Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位					
		くらしのなかの宗教	講義	15	2				2						
		仏教文化	講義	15	2				2						
		文化人類学	講義	15	2				2						
		言語と文学	講義	15	2				2						
		日本文化の理解	講義	15	2				2						
		京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
		芸術文化論	講義	15	2				2						
		サブカルチャー論	講義	15	2				2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	現代アジア事情	講義	15		2			2	選択必修2単位					
			現代欧米事情	講義	15		2			2						
			国際社会の理解	講義	15		2			2						
			国際社会とジェンダー	講義	15		2			2						
		Ⅱ群	心理学	講義	15		2			2	選択必修2単位		○	○	○	
			社会学	講義	15		2			2			○	○	○	
			日本国憲法	講義	15		2			2					○	
			現代社会と法	講義	15		2			2					○	
			現代社会と政治	講義	15		2			2					○	
			くらしのなかの経済学	講義	15		2			2					○	
			くらしのなかの統計学	講義	15		2			2					○	
			情報社会の理解	講義	15		2			2					○	
			生命の科学	講義	15		2			2					○	
			生活と物理・化学	講義	15		2			2					○	
			地域と環境	講義	15		2			2					○	
			生活と防災	講義	15		2			2					○	
			ボランティア論	講義	15		2			2					○	
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択					
			情報技術の理解	講義	15		2			2						
			数的処理の基礎	演習	30		1			1						
			読解と思考の技法	演習	30		1			1						
			Webデザイン	演習	15			2		2						
			産官学連携プロジェクト	演習	15		2			2						
			キャリア実習	実習	30		1			1						
			インターンシップ	実習	30			2		2						
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15		2			2	選択					
			プログラミング入門	演習	15		2			2						
			AIへのアプローチ	講義	15			2		2						
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2						
			データサイエンスPBL	演習	15			2		2						
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修					
			日本語FⅡ	演習	30	1				1						
			日本語SⅠ	演習	30		1			1						
			日本語SⅡ	演習	30		1			1						
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1						
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1						
共通専門科目			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2	選択				○	
			生命倫理	講義	15			2		2		言語聴覚専攻必修				
			ターミナルケア	演習	30			1		1					○	
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修				○	◎

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
共通専門科目			専門職の連携（応用）	演習	30			1		1	選択				○	
			仏教と医療福祉Ⅰ	講義	15		1			1	必修					◎
			仏教と医療福祉Ⅱ	講義	15			1		1						◎
			医療福祉連携論	講義	15		2			2	選択	社会福祉専攻・言語聴覚専攻必修				
			日常生活支援学	講義	15		2			2		作業療法専攻必修				◎
			地域災害リハビリテーション	演習	15			1		1						
			障害者福祉	講義	15		2			2	選択		○	○	○	
社会福祉専攻専門科目	専門基礎科目	人間と社会	子どもと社会福祉	講義	15	2				2	必修					
			基礎演習Ⅰ	演習	30	1				1						
			基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1						
			社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15	2				2	選択		○	○		
			社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15	2				2			○	○		
		医療と福祉	基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1	必修					
			基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1						
			心の健康と社会福祉	講義	15	2				2	選択					
			保健医療と福祉	講義	15		2			2	選択		○			
			精神保健福祉制度論	講義	15			2		2				○		
	専門科目	社会福祉の基礎	社会福祉専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	必修					
			社会福祉専門演習Ⅱ	演習	15			2		2						
			医学知識	講義	15		2			2	選択		○	○		
			社会福祉調査の基礎	講義	15		2			2			○	○		
			ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	15	2				2			○	○		
			ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	講義	15	2				2			○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	15		2			2			○	○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	15		2			2			○	○		
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	15			2		2			○			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義	15			2		2			○			
			地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2			2			○	○		
			地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2			2			○	○		
		社会福祉の展開	社会福祉専門演習Ⅲ	演習	15				2	2	必修					
			社会福祉専門演習Ⅳ	演習	15				2	2						
			卒業研究	演習	—				4	4						
			ソーシャルワーク演習	演習	15		2			2	選択		○	○		
			ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	演習	15		2			2			○			
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2			○	○		
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2			○	○		
			高齢者福祉	講義	15		2			2			○			
			児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	講義	15		2			2			○			
			生活保護制度	講義	15		2			2			○			
			権利擁護を支える法制度	講義	15		2			2			○	○		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
社会福祉専攻専門科目		社会福祉の展開	刑事司法と福祉	講義	15		2			2	選択		○	○		
			福祉サービスの組織と経営	講義	15			2		2			○			
			社会的養護Ⅰ	講義	15			2		2						
			スクールソーシャルワーク概論	講義	15		2			2						
			リハビリテーションの理念	講義	15			2		2						
			発達障害と制度	講義	15	2				2						
		社会福祉の応用	社会福祉学特講Ⅰ	講義	15				2	2	選択					
			社会福祉学特講Ⅱ	講義	15				2	2						
			社会福祉学特講Ⅲ	講義	15				2	2						
			社会福祉学特講Ⅳ	講義	15				2	2						
			精神医学と精神医療Ⅰ	講義	15			2		2				○		
			精神医学と精神医療Ⅱ	講義	15				2	2				○		
			現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	講義	15			2		2				○		
			現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	15			2		2				○		
			精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	15			2		2				○		
			精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	15			2		2				○		
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	15			2		2				○		
			ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	15			2		2				○		
			精神障害リハビリテーション論	講義	15			2		2				○		
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	15			2		2			○			
			ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	15			2		2			○			
			ファミリーソーシャルワーク論	講義	15			2		2						
			認知症の作業療法	演習	15			1		1						
			子どもの作業療法	演習	15			1		1						
			社会的養護Ⅱ	演習	15			2		2						
		社会福祉の発展	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	演習	15				2	2	選択		○			
			ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	15		2			2			○			
			ソーシャルワーク実習指導ⅡA	演習	15			2		2			○			
			ソーシャルワーク実習指導ⅡB	演習	15			2		2			○			
			ソーシャルワーク実習A	実習	45			4		4			○			
			ソーシャルワーク実習B	実習	45			2		2			○			
			精神保健福祉演習Ⅰ	演習	15			2		2				○		
			精神保健福祉演習Ⅱ	演習	15				2	2				○		
			精神保健福祉演習Ⅲ	演習	15				2	2				○		
			精神保健福祉実習指導Ⅰ	演習	15			2		2				○		
			精神保健福祉実習指導Ⅱ	演習	15				4	4				○		
			精神保健福祉実習A	実習	45				2	2				○		
			精神保健福祉実習B	実習	45				3	3				○		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
言語聴覚専攻専門科目	専門基礎科目	人間と社会	基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修					
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1						
			言語運用と数的処理の基礎	演習	30	1				1	選択					
			教育学	講義	15		1			1	必修					
			健康カウンセリング	講義	15			2		2	選択				○	
			社会と統計	講義	15			2		2	必修				○	
		医療と福祉	社会保障制度・関係法規	講義	15			1		1	必修				○	
			地域言語聴覚療法	講義	15			1		1						
			栄養サポート論	講義	15			2		2	選択				○	
			生物の基礎	講義	15	2				2						
	専門科目	言語聴覚療法の基礎	臨床医学総論	講義	15	1				1	必修				○	
			人体の構造と機能Ⅰ	講義	15	2				2					○	
			リハビリテーション概論・医学	講義	15		2			2					○	
			音声・言語・聴覚医学Ⅰ（呼吸発声発語系）	演習	30	1				1					○	
			音声・言語・聴覚医学Ⅱ（聴覚系）	演習	30	1				1					○	
			音声・言語・聴覚医学Ⅲ（神経系）	演習	30	1				1					○	
			言語発達学	講義	15	2				2					○	
			生涯発達心理学	講義	15			2		2					○	
			認知・学習心理学	講義	15		2			2					○	
			臨床心理学	講義	15			2		2					○	
			言語聴覚障害学概論	講義	15	2				2					○	
		言語聴覚療法の展開	内科学	講義	15		2			2	必修				○	
			小児科学	講義	15		1			1					○	
			耳鼻咽喉科学	講義	15		1			1					○	
			形成外科学	講義	15		1			1					○	
			精神医学	講義	15		1			1					○	
			臨床神経学	講義	15		1			1					○	
			臨床歯科医学・口腔外科学	講義	15		1			1					○	
			心理測定法	講義	15			1		1					○	
			言語学	講義	15	2				2					○	
			音声学	講義	15		2			2					○	
			音響学	講義	15		2			2					○	
			聴覚心理学	講義	15		1			1					○	
			失語症Ⅰ	演習	30	1				1					○	
			失語症Ⅱ	演習	30		1			1					○	
			高次脳機能障害Ⅰ	演習	30		1			1					○	
			高次脳機能障害Ⅱ	演習	30			1		1					○	
			言語発達障害学ⅠA（各論）	演習	30	1				1					○	
			言語発達障害学ⅠB（各論）	演習	30		1			1					○	

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
言語聴覚専攻専門科目	専門科目	言語聴覚療法の展開	言語発達障害学Ⅱ（評　価）	講義	15		2			2	必修				○	
			言語発達障害学Ⅲ（指導法）	講義	15			2		2					○	
			発声発語障害ⅠA（小児構音障害）	演習	30		1			1					○	
			発声発語障害ⅠB（小児構音障害）	演習	30			1		1					○	
			発声発語障害ⅡA（成人）	演習	30		1			1					○	
			発声発語障害ⅡB（成人）	演習	30		1			1					○	
			発声発語障害Ⅲ（吃音）	演習	30		1			1					○	
			摂食嚥下障害学	講義	15		2			2					○	
			聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	講義	15		1			1					○	
			聴覚障害学Ⅱ（小児）	講義	15		2			2					○	
			聴覚障害学Ⅲ（成人）	講義	15			2		2					○	
			聴覚障害学Ⅳ	演習	30			1		1					○	
		言語聴覚療法の応用	言語聴覚障害診断学演習Ⅰ（小児）	演習	30			1		1	必修				○	
			言語聴覚障害診断学演習Ⅱ（成人）	演習	30			1		1					○	
			失語症演習	演習	30		1			1					○	
			高次脳機能障害演習	演習	30			1		1					○	
			言語発達障害学演習	演習	30			1		1					○	
			発声発語障害演習Ⅰ（小児）	演習	30			1		1					○	
			発声発語障害演習Ⅱ（成人）	演習	30			1		1					○	
			摂食嚥下障害学演習	演習	30		1			1					○	
			聴覚障害学演習	演習	30			1		1					○	
			画像診断学演習	演習	30			1		1	必修					
			言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）	演習	30			1		1	選択				○	
		言語聴覚療法の発展	言語聴覚障害実習Ⅰ	実習	30			1		1	必修				○	
			言語聴覚障害実習Ⅱ	実習	30			1		1	選択				○	
			言語聴覚障害実習Ⅲ	実習	30				1	1	必修				○	
			言語聴覚障害実習Ⅳ	実習	30				1	1	選択				○	
			言語聴覚療法管理学	講義	15				2	2	必修					
			認知症特論	講義	15				1	1	選択				○	
			摂食嚥下障害学特論	講義	15				1	1					○	
			卒業研究	演習	—				2	2	必修					
			専門ゼミⅠ	演習	30				1	1						
			専門ゼミⅡ	演習	30				1	1						
			臨床実習（見学実習）1週間	実習	45		1			1					○	
			臨床実習（評価実習）4週間	実習	45			4		4					○	
			臨床実習（総合実習）8週間	実習	45				8	8					○	
作業療法専攻専門科目	基礎分野	科学的思考の基盤／人間と生活／社会の理解	基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修					◎
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1						◎
			災害看護論	講義	15		1			1	選択					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
作業療法専攻専門科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ	講義	15	2				2	必修					◎
			人体の構造と機能演習Ⅰ	演習	30	1				1						◎
			人体の構造と機能Ⅱ	講義	15	2				2						◎
			人体の構造と機能演習Ⅱ	演習	30	1				1						◎
			臨床心理学	講義	15		2			2						◎
			人間発達学	講義	15	2				2						◎
			運動学	講義	15	2				2						◎
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学総論	講義	15	2				2						◎
			内部障害と臨床医学	講義	15	2				2						◎
			精神障害と臨床医学	講義	15		2			2						◎
			神経・筋系障害と臨床医学	講義	15		2			2						◎
			運動器障害と臨床医学	講義	15		2			2						◎
			小児の障害と臨床医学	講義	15		2			2						◎
			老年期の障害と臨床医学	講義	15		2			2						◎
			栄養学	講義	15		1			1						◎
			安全管理と救急処置	講義	15		2			2						◎
		保健医療福祉とリハビリテーション理念	リハビリテーションの理念	講義	15	2				2	必修					◎
			社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15	2				2						◎
			公衆衛生学	講義	15		2			2	選択					
	専門分野	基礎作業療法学	作業療法学概論	講義	15	2				2	必修					◎
			基礎作業学	講義	15	2				2						◎
			作業療法技術演習	演習	30	1				1						◎
		作業療法管理学	作業療法管理学	講義	15			2		2	必修					◎
		作業療法評価学	作業療法評価学	講義	15		2			2	必修					◎
			作業療法評価学演習	演習	30		1			1						◎
			精神機能作業療法学	講義	15			2		2						◎
			精神機能作業療法学演習	演習	30			1		1						◎
		作業療法治療学	日常生活支援学演習Ⅰ	演習	30		1			1	必修					◎
			日常生活支援学演習Ⅱ	演習	30			1		1						◎
			高齢期作業療法学	講義	15		2			2						◎
			高齢期作業療法学演習	演習	30		1			1						◎
			身体機能作業療法学Ⅰ	講義	15		2			2						◎
			身体機能作業療法学Ⅱ	講義	15		2			2						◎
			身体機能作業療法学Ⅲ	講義	15		2			2						◎
			身体機能作業療法学演習Ⅰ	演習	30			1		1						◎
			身体機能作業療法学演習Ⅱ	演習	30			1		1						◎
			発達期作業療法学	講義	15			2		2						◎
			発達期作業療法学演習	演習	30			1		1						◎
			終末期作業療法学	講義	15			2		2						◎

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 社会福祉士	精神保健福祉士	言語聴覚士	作業療法士
作業療法専攻専門科目	専門分野	作業法治療学	義肢装具に関わる作業療法	講義	15			2		2	必修					◎
			認知症の作業療法	講義	15		1			1	選択					
			子どもの作業療法	講義	15		1			1						
			音楽療法	講義	15		2			2						
			国際リハビリテーション	講義	15		2			2						
			京都伝統文化作業技術論	演習	30			1		1	必修					◎
		地域作業療法学	地域・在宅作業療法学Ⅰ	講義	15		2			2	必修					◎
			地域・在宅作業療法学Ⅱ	講義	15			2		2						◎
		臨床実習	見学実習	実習	45	1				1	必修					◎
			地域実習	実習	45		1			1						◎
			評価実習	実習	45			4		4						◎
			総合臨床実習Ⅰ	実習	45			8		8						◎
			総合臨床実習Ⅱ	実習	45				8	8						◎
			臨床実習事前事後評価	実習	45			1		1						◎
	専門発展	研究	卒業研究	演習	30				2	2	必修					◎
		関連	総合作業療法学	講義	15				2	2	必修					◎
			教育学	講義	15			1		1	選択					

＜卒業要件及び履修方法＞

【社会福祉専攻】
リベラルアーツ教育科目は 28 単位以上修得すること（必修 11 単位、選択必修 4 単位、選択 13 単位）。専門科目は 100 単位以上修得すること（必修 24 単位、選択 76 単位）。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計 128 単位以上修得すること。
※他の専攻の専門科目を履修することはできない。

【言語聴覚専攻】
リベラルアーツ科目 17 単位以上修得すること（必修 12 単位、選択必修 5 単位）。共通専門・専門基礎・専門科目は 111 単位以上修得すること。リベラルアーツ教育科目と共通専門・専門基礎・専門科目を合わせて計 128 単位以上修得すること。
リベラルアーツ教育科目「健康の科学」は言語聴覚士国家試験受験資格必修科目のため必ず履修すること。
※他の専攻の専門科目を履修することは出来ない。

【作業療法専攻】
リベラルアーツ教育科目は 20 単位以上修得すること（必修 12 単位、選択必修 4 単位、選択 4 単位）。専門科目は 108 単位以上修得すること（必修 106 単位、選択 2 単位）。リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計 128 単位以上修得すること。
※作業療法専攻の学生はリベラルアーツ教育科目の「医療英語」、共通専門科目の「日常生活支援学」を必修とする。
※他の専攻の専門科目を履修することはできない。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

2020 年度入学生より、学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞

カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。
※作業療法士：◎…資格必修科目、○…資格選択科目

○実習履修条件―社会福祉士（2021 年度以降入学生対象）

３年次で「ソーシャルワーク実習Ａ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＡ」、「ソーシャルワーク実習Ｂ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＢ」を履修するための条件。

①「ソーシャルワーク実習Ａ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＡ」、「ソーシャルワーク実習Ｂ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＢ」はそれぞれ同時に履修すること。

②原則として２年次修了までに１・２年次配当の卒業必修科目、社会福祉士に関する指定科目の単位を修得していること。

③「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の単位修得が見込まれ、かつ担当教員による意思確認および担当教員会議において、「ソーシャルワーク実習」の履修について誠実な態度で臨んでおり、また社会福祉士国家試験合格を目指し、かつ社会福祉専門職に就職する意思が堅固であると認められること。

注１

「ソーシャルワーク実習Ａ」・「ソーシャルワーク実習指導ⅡＡ」と「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習Ｂ」・「ソーシャルワーク実習指導ⅡＢ」と「ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ」は、原則として同時に履修すること。

注２

２年次修了までに②③の条件を満たさない場合は、「ソーシャルワーク実習Ａ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＡ」、「ソーシャルワーク実習Ｂ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＢ」は４年次以上で履修する。

注３

４年次以上で「ソーシャルワーク実習Ａ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＡ」、「ソーシャルワーク実習Ｂ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＢ」を履修する場合でも、前年度までに②③の条件を満たしておかなければならない。

注４

「注２」に該当する場合、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の単位を修得していても、「ソーシャルワーク実習Ａ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＡ」、「ソーシャルワーク実習Ｂ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＢ」を履修する前年度に再度「聴講」として「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」を受講しなければならない。

注５

卒業後に「ソーシャルワーク実習Ａ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＡ」、「ソーシャルワーク実習Ｂ」と「ソーシャルワーク実習指導ⅡＢ」を科目等履修生として履修する場合の条件は、別途指示する。

○実習履修条件―精神保健福祉士（2021・2022・2023 年度入学生対象）

精神保健福祉実習（2021 年度入学）を履修するための条件。

⑴１年次から３年次にかけて実施する説明会・勉強会にすべて出席し、示された課題をすべて提出し、基準以上の評価が得られること。

⑵３年次修了までに原則として社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目、精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する科目を含む以下の科目において 128 単位以上を修得し、修得単位の６割程度の科

目の成績が「秀」または「優」であること。

①卒業の要件となっているリベラルアーツ教育科目（基礎・教養科目）（ ）単位数
28 単位以上（社会学⑵、心理学⑵を含む。）

②１，２，３年次配当の卒業必修科目

③１，２，３年次配当の社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得に共通する必要な科目

④１，２，３年次配当の社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目

⑤３年次配当の精神保健福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目

⑶面接審査に合格すること。

なお、実習履修の希望者が定員（医療福祉学科社会福祉専攻７名）を超えた場合、上記の履修条件に加え２年修了時における GPA 値を基準に実習履修者を決定します。

※社会福祉士の「相談援助実習」・2021 年度入学生「ソーシャルワーク実習」を履修している学生については、2021 年度入学生「精神保健福祉実習」のうち、60 時間を上限として、精神科病院等の医療機関以外の実習を免除可能とする。

実習履修条件―精神保健福祉士（2024 年度以降入学生対象）

３年次に「精神保健福祉実習指導Ⅰ」４年次で「精神保健福祉実習指導Ⅱ」と「精神保健福祉実習 A」「精神保健福祉実習 B」を履修するための条件。

⑴１年次から３年次にかけて実施する説明会・勉強会にすべて出席し、示された課題を全て提出し、基準以上の評価が得られること。

⑵原則として２年時終了までの１・２年次配当の卒業必修科目、精神保健福祉士に関する指定科目の単位を修得していること。

①卒業の要件になっているリベラルアーツ教育科目（基礎・教養科目）28 単位以上（社会学（２）心理学（２）を含む）

②１，２年次の卒業必修単位科目

③１，２，３年次配当の精神保健福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目

⑶面接審査に合格すること。

なお、精神保健福祉士単独または社会福祉士との両実習を希望する希望者が定員（福祉リハビリテーション学科社会福祉専攻７名を超えた場合、上記の条件に加え、２年修了時における GPA 値を基準に実習履修者を決定します）。

実習履修条件―社会福祉士＋精神保健福祉士（2024 年度以降入学生対象）

社会福祉士ソーシャルワーク実習に加えて精神保健福祉士実習を履修するための条件。

⑴社会福祉士実習履修条件をクリアしていること。

⑵精神保健福祉士に関する１年次から３年次にかけて実施する説明会・勉強会にすべて出席し、示された課題を全て提出し、基準以上の評価が得られること。

⑶３年次終了までに原則として社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目、精神保健福祉士国家試験

受験資格取得に関する科目を含む以下の科目において128単位以上を修得し、修得単位の６割程度の科目の成績が「秀」または「優」であること。２年時終了までの１・２年次配当の卒業必修科目、精神保健福祉士に関する指定科目の単位を修得していること。

①卒業の要件になっているリベラルアーツ教育科目（基礎・教養科目）() 単位数28単位以上（社会学（２）心理学（２）を含む）

②1,2,3年次の卒業必修単位科目

③1,2,3年次配当の社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格修得に共通する必要な科目

④1,2,3年次配当の社会福祉士国家試験受験資格修得に必要な科目

⑤３年次配当の精神保健福祉士国家試験受験資格修得に必要な科目

⑷面接審査に合格すること。

なお、精神保健福祉士単独または社会福祉士との両実習を希望する希望者が定員（福祉リハビリテーション学科社会福祉専攻７名を超えた場合、上記の条件に加え、２年修了時におけるGPA値を基準に実習履修者を決定します）。

※社会福祉士の「ソーシャルワーク実習」を履修している学生については「精神保健福祉実習のうち60時間を上限として、精神科医療機関以外の実習を免除可能とする。

○実習履修条件―言語聴覚士

1.「臨床実習（見学実習）１週間」履修条件

・１年次科目「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を修得していること。

2.「臨床実習（評価実習）４週間」履修条件

・原則として３年次前期までの専門基礎科目・専門科目必修科目をすべて修得していること。

3.「臨床実習（総合実習）８週間」履修条件

・原則として３年次前期までの専門基礎科目・専門科目必修科目をすべて修得していること。および「臨床実習（評価実習）４週間」を修得していること。

4.「臨床実習（見学実習）１週間」「臨床実習（評価実習）４週間」「臨床実習（総合実習）８週間」履修条件

・実習前オリエンテーションに出席すること、実習に関わる書類を期日までに提出すること。
指定された実習準備（実習ノート作成・実習前実力試験合格を含む）をすべて行うこと（評価・総合実習対象）。

・上記の条件をすべて満たした上で、専攻教員による審査会議において履修を許可されること。

○実習履修条件―作業療法士

作業療法専攻　臨床実習科目の履修要件について

臨床実習科目を履修するためには、実習前に必要な知識と技術を修得しておく必要があるため、以下に定める先修科目の単位を取得しておく必要がある。

＊先修科目：特定の科目を履修する前に、あらかじめ単位を取得しておかなければならない科目。

見学実習	なし
地域実習	なし
評価実習	3年次前期終了までに開講される全ての必修科目
総合臨床実習Ⅰ	3年次前期終了までに開講される全ての必修科目
総合臨床実習Ⅱ	3年次後期終了までに開講される全ての必修科目

1．実習前および実習後教育に出席すること、実習に関わる書類をすべて提出すること、指定された実習準備（OSCE を含む）をすべて行うこと。

2．上記の条件をすべて満たした上で、専攻教員による審査会議において履修を許可されること。

3．実習の参加態度、取り組みの状況により実習中止となった場合には単位認定不可とする場合がある。なお、実習欠席日数が全実習日数の 1/5 以上の場合は評価を受ける資格を失う。実習日程は変更となる場合がある。

4．再実習について

実習科目においては、60 点未満の成績の場合は再実習の取扱いはない。次年度以降の再履修となる。

E．健康科学部　心理学科

〈2021 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修					○
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2						○
			京都光華の学び	演習	30	1				1						○
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						○
			アカデミックライティング	演習	30	1				1						○
			伝統文化	演習	30		1			1						○
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1						○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						○
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択					
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1						
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1						
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1						
			医療英語	演習	30	1				1						
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1						
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1						
			ハングルⅠ	演習	30	1				1						
			ハングルⅡ	演習	30	1				1						
			海外での語学研修	実習	30		2			2						
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2						○
			食生活と健康	講義	15	2				2						
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2						
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1						○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1						○
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			仏教文化	講義	15	2				2						
			文化人類学	講義	15	2				2						
			言語と文学	講義	15	2				2						
			日本文化の理解	講義	15	2				2						
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
			芸術文化論	講義	15	2				2						
			サブカルチャー論	講義	15	2				2						
			現代アジア事情	講義	15	2				2						
			現代欧米事情	講義	15	2				2						
			国際社会の理解	講義	15	2				2						
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			社会学	講義	15	2				2						
			日本国憲法	講義	15	2				2						
			現代社会と法	講義	15	2				2						
			現代社会と政治	講義	15	2				2						
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2						
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2						
			生命の科学	講義	15	2				2						
			生活と物理・化学	講義	15	2				2						
			地域と環境	講義	15	2				2						
			生活と防災	講義	15	2				2						
			ボランティア論	講義	15	2				2						
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択					
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1						
			数的処理の基礎	演習	30	1				1						
			日本語表現の技法	演習	30	1				1						
			読解と思考の技法	演習	30	1				1						
			Webデザイン	演習	15		2			2						
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2						
			プログラミング入門	演習	15		2			2						
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスのへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスPBL	演習	15		2			2						
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2						
			キャリア実習	実習	30	1				1						
			インターンシップ	実習	30			2		2						
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修					
			日本語FⅡ	演習	30	1				1						
			日本語SⅠ	演習	30		1			1						
			日本語SⅡ	演習	30		1			1						
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1						
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1						
専門科目	専門基礎	心理学入門	心理学概論	講義	15	2				2	必修		○		○	
			社会心理学入門	講義	15	2				2					○	
			発達心理学入門(保育の心理学)	講義	15	2				2					○	○
			臨床心理学入門	講義	15	2				2					○	
			心理学統計法	講義	15	2				2			○			
			心理学研究法	講義	15	2				2			○		○	
			環境心理学	講義	15	2				2	選択				○	
			社会ゲーミング・シミュレーション	講義	15	2				2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門基礎	心理学入門	京都文化心理学	講義	15	2				2	選択				○	
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修					○
	専門応用	基礎心理学	神経・生理心理学	講義	15		2			2	選択		○		○	
			知覚・認知心理学	講義	15		2			2			○		○	
			学習・言語心理学	講義	15		2			2			○		○	
			比較行動学	講義	15		2			2					○	
		心理援助	公認心理師の職責	講義	15		2			2			○			
			臨床心理学概論	講義	15		2			2	必修		○		○	
			心理学的支援法	講義	15		2			2			○		○	
			発達心理学	講義	15		2			2			○		○	○
			障害者・障害児心理学	講義	15		2			2	選択		○		○	○
			子どもの心理臨床	講義	15		2			2					○	○
			心理的アセスメントⅠ	演習	15		2			2			○		○	○
			心理的アセスメントⅡ	演習	15		2			2			○		○	○
		人間関係	青年心理学	講義	15		2			2					○	
			教育心理学	講義	15		2			2					○	
			感情・人格心理学	講義	15		2			2			○		○	○
			子どもと人間関係	演習	15		2			2						○
			子どもとことば	演習	15		2			2						○
		人と現代社会	社会・集団・家族心理学	講義	15		2			2	必修		○		○	○
			コミュニティ心理学	講義	15		2			2					○	
			司法・犯罪心理学	講義	15		2			2			○		○	
			産業・組織心理学	講義	15		2			2			○		○	
			マーケティング心理学	講義	15		2			2						
			消費者心理学	講義	15		2			2					○	
			社会福祉	講義	15		2			2						○
			児童･家庭福祉(子ども家庭福祉)	講義	15		2			2						○
			子ども家庭支援論	講義	15		2			2						○
			スポーツ心理学	講義	15		2			2						
		データ科学	社会と統計	講義	15		2			2	選択			○		
			心理学実験Ⅰ	演習	15		2			2			○		○	
			心理学実験Ⅱ	演習	15		2			2			○		○	
			心理学データ解析Ⅰ	演習	30		1			1				○	○	
			心理学データ解析Ⅱ	演習	30		1			1				○	○	
		キャリアデザイン	社会とジェンダー	講義	15		2			2						
			女性の生き方・働き方	講義	15	2				2						
			女性と現代社会	講義	15	2				2						
			女性とビジネス	講義	15		2			2						
			女性と経済	講義	15		2			2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門応用	キャリアデザイン	女性のキャリア形成	演習	30			1		1	選択					
			キャリアサポート	演習	30			1		1						
	専門発展	心理援助	健康・医療心理学	講義	15			2		2			○		○	○
			教育・学校心理学	講義	15			2		2			○		○	○
			心理演習Ⅰ	演習	15			2		2			○		○	○
			心理演習Ⅱ	演習	15			2		2			○		○	○
			心理実習Ⅰ	実習	40			1		1			○			
			心理実習Ⅱ	実習	40			1		1			○			
			子どもの理解と援助	演習	15			2		2						○
			子ども家庭支援の心理学	講義	15			2		2						○
			発達支援実習	演習	15			2		2						
			関係行政論	講義	15			2		2			○			
			福祉心理学	講義	15			2		2			○			
		人間関係・現代社会	犯罪者プロファイリング演習	演習	15			2		2					○	
			対人スキル・コーチング演習	演習	15			2		2						○
			社会的養護Ⅰ	講義	15			2		2						○
		データ科学	心理学データ解析Ⅲ	演習	30			1		1				○	○	
			社会調査法	講義	15			2		2				○		
			社会調査実習Ⅰ	実習	30			1		1				○		
			社会調査実習Ⅱ	実習	30			1		1				○		
		健康科学	人体の構造と機能及び疾病	講義	15			2		2	選択		○			
			メンタルヘルス論	講義	15			2		2					○	
			小児看護学	講義	15			2		2						
			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2						
			ターミナルケア	演習	30			1		1						
			生命倫理	講義	15			2		2						
			専門職の連携（応用）	演習	30				1	1						○
			精神疾患とその治療Ⅰ	講義	15			2		2			○			
		保育	保育原理	講義	15		2			2						○
			教育原理	講義	15		2			2						○
			保育者論	講義	15		2			2						○
			子どもの保健	講義	15			2		2						○
			保育の計画と評価	講義	15			2		2						○
			子どもと健康	演習	15			2		2						○
			乳児保育Ⅰ	講義	15		2			2						○
	心理学演習	専門演習	心理学基礎演習Ⅰ	演習	30	1				1	必修					
			心理学基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1						
			心理学基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1						
			心理学基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	心理学演習	専門演習	心理学専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	選択	2科目のうち1科目選択必修				
			心理学専門演習Ⅰ(保育実践演習)	演習	15			2		2						○
			心理学専門演習Ⅱ	演習	15			2		2	必修					
			心理学専門演習Ⅲ	演習	15				2	2						
			心理学専門演習Ⅳ	演習	15				2	2						
		応用演習	心理学英語文献講読Ⅰ	演習	15		2			2	選択					
			心理学英語文献講読Ⅱ	演習	15			2		2						
			心理学特別演習Ⅰ	演習	15		2			2						
			心理学特別演習Ⅱ	演習	15			2		2						
	研究・論文		卒業研究	演習	—				4	4	選択	2科目のうち1科目選択必修			○	
			卒業論文	演習	—				6	6					○	
自由科目			コンピュータ活用A	演習	30		1			1	自由					
			コンピュータ活用B	演習	30		1			1						
			情報技術の理解	講義	15	2				2						
			情報社会の理解	講義	15	2				2						
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2						○
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2						○
			子どもの食と栄養	演習	15		2			2						○
			子育て支援	演習	15		2			2						○
			保育内容総論	演習	15			2		2						○
			乳児保育Ⅱ	演習	15			2		2						○
			障害児保育	演習	15			2		2						○
			社会的養護Ⅱ	演習	15			2		2						○
			子どもの体育	演習	15			2		2						○
			音楽療法	演習	15			2		2						○
			図画工作	演習	15			2		2						○
			レクリエーション指導法	演習	30				1	1						○
			子どもの健康と安全	演習	15		2			2						○
			保育実習指導Ⅰ	演習	15			2		2						○
			保育実習指導Ⅱ	演習	30				1	1						○
			保育実習指導Ⅲ	演習	30				1	1						○
			保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40			2		2						○
			保育実習Ⅰ（施設）	実習	40			2		2						○
			保育実習Ⅱ	実習	40				2	2						○
			保育実習Ⅲ	実習	40				2	2						○

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択16単位）。
専門科目は98単位以上修得すること（専門基礎必修14単位、専門応用必修8単位、心理学演習必修12単位、卒業研究必修4単位または卒業論文必修6単位いずれかを含む。※選択は卒業研究の場合：60単位、卒業論文の場合58単位修得すること）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　心理学科

〈2022 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修					○
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2						○
			京都光華の学び	演習	30	1				1						○
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						○
			アカデミックライティング	演習	30	1				1						○
			伝統文化	演習	30		1			1						○
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1						○
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						○
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択					
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1						
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1						
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1						
			医療英語	演習	30	1				1						
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1						
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1						
			ハングルⅠ	演習	30	1				1						
			ハングルⅡ	演習	30	1				1						
			海外での語学研修	実習	30		2			2						
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2						○
			食生活と健康	講義	15	2				2						
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2						
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1						○
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1						○
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			仏教文化	講義	15	2				2						
			文化人類学	講義	15	2				2						
			言語と文学	講義	15	2				2						
			日本文化の理解	講義	15	2				2						
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
			芸術文化論	講義	15	2				2						
			サブカルチャー論	講義	15	2				2						
			現代アジア事情	講義	15	2				2						
			現代欧米事情	講義	15	2				2						
			国際社会の理解	講義	15	2				2						
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	関連資格 社会調査士	関連資格 認定心理士	関連資格 保育士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			社会学	講義	15	2				2						
			日本国憲法	講義	15	2				2						
			現代社会と法	講義	15	2				2						
			現代社会と政治	講義	15	2				2						
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2						
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2						
			生命の科学	講義	15	2				2						
			生活と物理・化学	講義	15	2				2						
			地域と環境	講義	15	2				2						
			生活と防災	講義	15	2				2						
			ボランティア論	講義	15	2				2						
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択					
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1						
			数的処理の基礎	演習	30	1				1						
			日本語表現の技法	演習	30	1				1						
			読解と思考の技法	演習	30	1				1						
			Ｗｅｂデザイン	演習	15		2			2						
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2						
			プログラミング入門	演習	15		2			2						
			ＡＩへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスのためのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15		2			2						
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2						
			キャリア実習	実習	30	1				1						
			インターンシップ	実習	30			2		2						
	留学生		日本語ＦⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修					
			日本語ＦⅡ	演習	30	1				1						
			日本語ＳⅠ	演習	30		1			1						
			日本語ＳⅡ	演習	30		1			1						
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1						
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1						
専門科目	専門基礎	心理学入門	心理学概論	講義	15	2				2	必修		○		○	
			社会心理学入門	講義	15	2				2					○	
			発達心理学入門（保育の心理学）	講義	15	2				2					○	○
			臨床心理学入門	講義	15	2				2					○	
			心理学統計法	講義	15	2				2			○			
			心理学研究法	講義	15	2				2			○		○	
			環境心理学	講義	15	2				2	選択				○	
			社会ゲーミング・シミュレーション	講義	15	2				2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門基礎	心理学入門	京都文化心理学	講義	15	2				2	選択				○	
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修					○
	専門応用	基礎心理学	神経・生理心理学	講義	15		2			2	選択		○		○	
			知覚・認知心理学	講義	15		2			2			○		○	
			学習・言語心理学	講義	15		2			2			○		○	
			比較行動学	講義	15		2			2					○	
		心理援助	公認心理師の職責	講義	15		2			2			○			
			臨床心理学概論	講義	15		2			2	必修		○		○	
			心理学的支援法	講義	15		2			2			○		○	
			発達心理学	講義	15		2			2			○		○	○
			障害者・障害児心理学	講義	15		2			2	選択		○		○	○
			子どもの心理臨床	講義	15		2			2					○	○
			心理的アセスメントⅠ	演習	15		2			2			○		○	○
			心理的アセスメントⅡ	演習	15		2			2			○		○	○
		人間関係	青年心理学	講義	15		2			2					○	
			教育心理学	講義	15		2			2					○	
			感情・人格心理学	講義	15		2			2			○		○	○
			子どもと人間関係	演習	15		2			2						○
			子どもとことば	演習	15		2			2						○
		人と現代社会	社会・集団・家族心理学	講義	15		2			2	必修		○		○	○
			コミュニティ心理学	講義	15		2			2					○	
			司法・犯罪心理学	講義	15		2			2			○		○	
			産業・組織心理学	講義	15		2			2			○		○	
			マーケティング心理学	講義	15		2			2						
			消費者心理学	講義	15		2			2					○	
			社会福祉	講義	15		2			2						○
			児童･家庭福祉（子ども家庭福祉）	講義	15		2			2						○
			子ども家庭支援論	講義	15		2			2						○
			スポーツ心理学	講義	15		2			2						
		データ科学	社会と統計	講義	15		2			2	選択			○		
			心理学実験Ⅰ	演習	15		2			2			○		○	
			心理学実験Ⅱ	演習	15		2			2			○		○	
			心理学データ解析Ⅰ	演習	30		1			1				○	○	
			心理学データ解析Ⅱ	演習	30		1			1				○	○	
		キャリアデザイン	社会とジェンダー	講義	15		2			2						
			女性の生き方・働き方	講義	15	2				2						
			女性と現代社会	講義	15	2				2						
			女性とビジネス	講義	15		2			2						
			女性と経済	講義	15		2			2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	関連資格 社会調査士	関連資格 認定心理士	関連資格 保育士
専門科目	専門応用	キャリアデザイン	女性のキャリア形成	演習	30			1		1	選択					
			キャリアサポート	演習	30			1		1						
	専門発展	心理援助	健康・医療心理学	講義	15			2		2			○		○	○
			教育・学校心理学	講義	15			2		2			○		○	○
			心理演習Ⅰ	演習	15			2		2			○		○	○
			心理演習Ⅱ	演習	15			2		2			○		○	○
			心理実習Ⅰ	実習	40			1		1			○			
			心理実習Ⅱ	実習	40			1		1			○			
			子どもの理解と援助	演習	15			2		2						○
			子ども家庭支援の心理学	講義	15			2		2						○
			発達支援実習	演習	15			2		2						
			関係行政論	講義	15			2		2			○			
			福祉心理学	講義	15			2		2			○			
		人間関係・現代社会	犯罪者プロファイリング演習	演習	15			2		2					○	
			対人スキル・コーチング演習	演習	15			2		2						○
			社会的養護Ⅰ	講義	15			2		2						○
		データ科学	心理学データ解析Ⅲ	演習	30			1		1				○	○	
			社会調査法	講義	15			2		2				○		
			社会調査実習Ⅰ	実習	30			1		1				○		
			社会調査実習Ⅱ	実習	30			1		1				○		
		健康科学	人体の構造と機能及び疾病	講義	15			2		2	選択		○			
			メンタルヘルス論	講義	15			2		2					○	
			小児看護学	講義	15			2		2						
			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2						
			ターミナルケア	演習	30			1		1						
			生命倫理	講義	15			2		2						
			専門職の連携（応用）	演習	30				1	1						○
			精神疾患とその治療Ⅰ	講義	15			2		2			○			
		保育	保育原理	講義	15		2			2						○
			教育原理	講義	15		2			2						○
			保育者論	講義	15		2			2						○
			子どもの保健	講義	15			2		2						○
			保育の計画と評価	講義	15			2		2						○
			子どもと健康	演習	15			2		2						○
			乳児保育Ⅰ	講義	15		2			2						○
	心理学演習	専門演習	心理学基礎演習Ⅰ	演習	30	1				1	必修					
			心理学基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1						
			心理学基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1						
			心理学基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	心理学演習	専門演習	心理学専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	選択	2科目のうち1科目選択必修				
			心理学専門演習Ⅰ(保育実践演習)	演習	15			2		2						○
			心理学専門演習Ⅱ	演習	15			2		2	必修					
			心理学専門演習Ⅲ	演習	15				2	2						
			心理学専門演習Ⅳ	演習	15				2	2						
		応用演習	心理学英語文献講読Ⅰ	演習	15		2			2	選択					
			心理学英語文献講読Ⅱ	演習	15			2		2						
			心理学特別演習Ⅰ	演習	15		2			2						
			心理学特別演習Ⅱ	演習	15			2		2						
	研究・論文		卒業研究	演習	—				4	4	選択	2科目のうち1科目選択必修			○	
			卒業論文	演習	—				6	6					○	
自由科目			コンピュータ活用A	演習	30		1			1	自由					
			コンピュータ活用B	演習	30		1			1						
			情報技術の理解	講義	15	2				2						
			情報社会の理解	講義	15	2				2						
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2						○
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2						○
			子どもの食と栄養	演習	15		2			2						○
			子育て支援	演習	15		2			2						○
			保育内容総論	演習	15			2		2						○
			乳児保育Ⅱ	演習	15			2		2						○
			障害児保育	演習	15			2		2						○
			社会的養護Ⅱ	演習	15			2		2						○
			子どもの体育	演習	15			2		2						○
			音楽療法	演習	15			2		2						○
			図画工作	演習	15			2		2						○
			レクリエーション指導法	演習	30				1	1						○
			子どもの健康と安全	演習	15		2			2						○
			保育実習指導Ⅰ	演習	15			2		2						○
			保育実習指導Ⅱ	演習	30				1	1						○
			保育実習指導Ⅲ	演習	30				1	1						○
			保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40			2		2						○
			保育実習Ⅰ（施設）	実習	40			2		2						○
			保育実習Ⅱ	実習	40				2	2						○
			保育実習Ⅲ	実習	40				2	2						○

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修10単位、選択必修4単位、選択16単位）。
専門科目は98単位以上修得すること（専門基礎必修14単位、専門応用必修8単位、心理学演習必修12単位、卒業研究必修4単位または卒業論文必修6単位いずれかを含む。※選択は卒業研究の場合：60単位、卒業論文の場合58単位修得すること）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　心理学科

〈2023 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修					資格取得のためには要卒必修11単位に加え、「健康の科学」必修、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修を含む、30単位以上を履修すること
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2						
			京都光華の学び	演習	30	1				1						
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						
			アカデミックライティング	演習	30	1				1						
			データサイエンス入門	演習	30	1				1						
			伝統文化	演習	30		1			1						
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1						
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						
			English in Use A	演習	30	1				1	選択					
			English in Use B	演習	30	1				1						
			English in Use C	演習	30	1				1						
			English in Use D	演習	30	1				1						
			English in Use E	演習	30	1				1						
			English in Use F	演習	30	1				1						
			医療英語	演習	30	1				1						
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1						
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1						
			ハングルⅠ	演習	30	1				1						
			ハングルⅡ	演習	30	1				1						
			海外での語学研修	実習	30	2				2						
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2						
			食生活と健康	講義	15	2				2						
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2						
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1						
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1						
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1						
			マインドフルネス	実習	30	1				1						
			教養囲碁入門	実習	30	1				1						
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2						
			仏教文化	講義	15	2				2						
			文化人類学	講義	15	2				2						
			言語と文学	講義	15	2				2						
			日本文化の理解	講義	15	2				2						
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
			芸術文化論	講義	15	2				2						
			サブカルチャー論	講義	15	2				2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	関連資格 社会調査士	関連資格 認定心理士	関連資格 保育士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	現代アジア事情	講義	15	2				2	選択必修2単位					資格取得のためには要卒必修11単位に加え、「健康の科学」必修、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修を含む、30単位以上を履修すること
			現代欧米事情	講義	15	2				2						
			国際社会の理解	講義	15	2				2						
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2						
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			社会学	講義	15	2				2						
			日本国憲法	講義	15	2				2						
			現代社会と法	講義	15	2				2						
			現代社会と政治	講義	15	2				2						
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2						
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2						
			情報社会の理解	講義	15	2				2						
			生命の科学	講義	15	2				2						
			生活と物理・化学	講義	15	2				2						
			地域と環境	講義	15	2				2						
			生活と防災	講義	15	2				2						
			ボランティア論	講義	15	2				2						
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択					
			情報技術の理解	講義	15	2				2						
			数的処理の基礎	演習	30	1				1						
			読解と思考の技法	演習	30	1				1						
			Webデザイン	演習	15		2			2						
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2						
			キャリア実習	実習	30	1				1						
			インターンシップ	実習	30			2		2						
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択					
			プログラミング入門	演習	15	2				2						
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスPBL	講義	15		2			2						
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修					
			日本語FⅡ	演習	30	1				1						
			日本語SⅠ	演習	30		1			1						
			日本語SⅡ	演習	30		1			1						
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1						
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1						
専門科目	専門基礎	心理学入門	心理学概論	講義	15	2				2	必修		○		○	
			社会心理学入門	講義	15	2				2					○	
			発達心理学入門(保育の心理学)	講義	15	2				2					○	○
			臨床心理学入門	講義	15	2				2					○	

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門基礎	心理学入門	心理学統計法	講義	15	2				2	必修		○			
			心理学研究法	講義	15	2				2			○		○	
			環境心理学	講義	15	2				2	選択				○	
			社会ゲーミング・シミュレーション	講義	15	2				2						
			京都文化心理学	講義	15	2				2					○	
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修					○
	専門応用	基礎心理学	神経・生理心理学	講義	15		2			2	選択		○		○	
			知覚・認知心理学	講義	15		2			2			○		○	
			学習・言語心理学	講義	15		2			2			○		○	
			比較行動学	講義	15		2			2					○	
		心理援助	公認心理師の職責	講義	15		2			2			○			
			臨床心理学概論	講義	15		2			2	必修		○		○	
			心理学的支援法	講義	15		2			2			○		○	
			発達心理学	講義	15		2			2			○		○	○
			障害者・障害児心理学	講義	15		2			2	選択		○		○	○
			子どもの心理臨床	講義	15		2			2					○	○
			心理的アセスメントⅠ	演習	15		2			2			○		○	○
			心理的アセスメントⅡ	演習	15		2			2			○		○	○
		人間関係	青年心理学	講義	15		2			2	選択				○	
			教育心理学	講義	15		2			2					○	
			感情・人格心理学	講義	15		2			2			○		○	○
			子どもと人間関係	演習	15		2			2						○
			子どもとことば	演習	15		2			2						○
		人と現代社会	社会・集団・家族心理学	講義	15		2			2	必修		○		○	○
			コミュニティ心理学	講義	15		2			2	選択				○	
			司法・犯罪心理学	講義	15		2			2			○		○	
			産業・組織心理学	講義	15		2			2			○		○	
			マーケティング心理学	講義	15		2			2						
			消費者心理学	講義	15		2			2					○	
			社会福祉	講義	15		2			2						○
			児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	講義	15		2			2						○
			子ども家庭支援論	講義	15		2			2						○
			スポーツ心理学	講義	15		2			2						
		データ科学	社会と統計	講義	15		2			2				○		
			心理学実験Ⅰ	演習	15		2			2			○		○	
			心理学実験Ⅱ	演習	15		2			2			○		○	
			心理学データ解析Ⅰ	演習	30		1			1				○	○	
			心理学データ解析Ⅱ	演習	30		1			1				○	○	

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門応用	キャリアデザイン	社会とジェンダー	講義	15		2			2	選択					
			女性の生き方・働き方	講義	15	2				2						
			女性と現代社会	講義	15		2			2						
			女性と経済	講義	15		2			2						
			女性のキャリア形成	演習	30			1		1						
	専門発展	心理援助	健康・医療心理学	講義	15			2		2			○		○	○
			教育・学校心理学	講義	15			2		2			○		○	○
			心理演習Ⅰ	演習	15			2		2			○		○	○
			心理演習Ⅱ	演習	15			2		2			○		○	○
			心理実習Ⅰ	実習	40			1		1			○			
			心理実習Ⅱ	実習	40			1		1			○			
			子どもの理解と援助	演習	15			2		2						○
			子ども家庭支援の心理学	講義	15			2		2						○
			発達支援実習	演習	15			2		2						
			関係行政論	講義	15			2		2			○			
			福祉心理学	講義	15			2		2			○			
		人間関係・現代社会	犯罪者プロファイリング演習	演習	15			2		2					○	
			対人スキル・コーチング演習	演習	15			2		2						○
			社会的養護Ⅰ	講義	15			2		2						○
		データ科学	心理学データ解析Ⅲ	演習	30			1		1				○	○	
			社会調査法	講義	15			2		2				○		
			社会調査実習Ⅰ	実習	30			1		1				○		
			社会調査実習Ⅱ	実習	30			1		1				○		
		健康科学	人体の構造と機能及び疾病	講義	15			2		2	選択		○			
			メンタルヘルス論	講義	15			2		2					○	
			小児看護学	講義	15			2		2						
			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2						
			ターミナルケア	演習	30			1		1						
			生命倫理	講義	15			2		2						
			専門職の連携（応用）	演習	30				1	1						○
			精神疾患とその治療Ⅰ	講義	15			2		2			○			
			マインドフルネス心理学	講義	15			2		2						
		保育	保育原理	講義	15		2			2						○
			教育原理	講義	15		2			2						○
			保育者論	講義	15		2			2						○
			子どもの保健	講義	15			2		2						○
			保育の計画と評価	講義	15			2		2						○
			子どもと健康	演習	15			2		2						○
			乳児保育Ⅰ	講義	15		2			2						○

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	心理学演習	専門演習	心理学基礎演習Ⅰ	演習	30	1				1	必修					
			心理学基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1						
			心理学基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1						
			心理学基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1						
			心理学専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	選択	2科目のうち1科目選択必修				
			心理学専門演習Ⅰ(保育実践演習)	演習	15			2		2						○
			心理学専門演習Ⅱ	演習	15			2		2	必修					
			心理学専門演習Ⅲ	演習	15				2	2						
			心理学専門演習Ⅳ	演習	15				2	2						
		応用演習	心理学英語文献講読Ⅰ	演習	15		2			2	選択					
			心理学英語文献講読Ⅱ	演習	15			2		2						
			心理学特別演習Ⅰ	演習	15		2			2						
			心理学特別演習Ⅱ	演習	15			2		2						
	研究・論文		卒業研究	演習	—				4	4	選択	2科目のうち1科目選択必修			○	
			卒業論文	演習	—				6	6					○	
自由科目			グラフィックデザイン	演習	30		1			1	自由					
			ビジュアルデザイン	演習	30		1			1						
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2						○
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2						○
			子どもの食と栄養	演習	15		2			2						○
			子育て支援	演習	15		2			2						○
			保育内容総論	演習	15			2		2						○
			乳児保育Ⅱ	演習	15			2		2						○
			障害児保育	演習	15			2		2						○
			社会的養護Ⅱ	演習	15			2		2						○
			子どもの体育	演習	15			2		2						○
			音楽療法	演習	15			2		2						○
			図画工作	演習	15			2		2						○
			レクリエーション指導法	演習	30				1	1						○
			子どもの健康と安全	演習	15		2			2						○
			保育実習指導Ⅰ	演習	15			2		2						○
			保育実習指導Ⅱ	演習	30				1	1						○
			保育実習指導Ⅲ	演習	30				1	1						○
			保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40			2		2						○
			保育実習Ⅰ（施設）	実習	40			2		2						○
			保育実習Ⅱ	実習	40				2	2						○
			保育実習Ⅲ	実習	40				2	2						○

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択15単位）。

専門科目は98単位以上修得すること（専門基礎必修14単位、専門応用必修8単位、心理学演習必修12単位、卒業研究必修4単

位または卒業論文必修 6 単位いずれかを含む。※選択は卒業研究の場合：60 単位、卒業論文の場合 58 単位修得すること）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計 128 単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

健康科学部　心理学科

〈2024 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修					資格取得のためには、要卒必修11単位に加え、「健康の科学」必修、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修を含む、30単位以上を履修すること
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2						
			京都光華の学び	演習	30	1				1						
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1						
			アカデミックライティング	演習	30	1				1						
			データサイエンス入門	演習	30	1				1						
			伝統文化	演習	30		1			1						
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1						
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1						
			English in Use A	演習	30	1				1	選択					
			English in Use B	演習	30	1				1						
			English in Use C	演習	30	1				1						
			English in Use D	演習	30	1				1						
			English in Use E	演習	30	1				1						
			English in Use F	演習	30	1				1						
			医療英語	演習	30	1				1						
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1						
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1						
			ハングルⅠ	演習	30	1				1						
			ハングルⅡ	演習	30	1				1						
			海外での語学研修	実習	30	2				2						
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2						
			食生活と健康	講義	15	2				2						
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2						
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1						
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1						
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1						
			マインドフルネス	実習	30	1				1						
			教養囲碁入門	実習	30	1				1						
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2						
			仏教文化	講義	15	2				2						
			文化人類学	講義	15	2				2						
			言語と文学	講義	15	2				2						
			日本文化の理解	講義	15	2				2						
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2						
			芸術文化論	講義	15	2				2						
			サブカルチャー論	講義	15	2				2						

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	関連資格 社会調査士	関連資格 認定心理士	関連資格 保育士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	現代アジア事情	講義	15	2				2	選択必修2単位					資格取得のためには、要卒必修11単位に加え、「健康の科学」必修、「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修を含む、30単位以上を履修すること
			現代欧米事情	講義	15	2				2						
			国際社会の理解	講義	15	2				2						
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2						
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位					
			社会学	講義	15	2				2						
			日本国憲法	講義	15	2				2						
			現代社会と法	講義	15	2				2						
			現代社会と政治	講義	15	2				2						
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2						
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2						
			情報社会の理解	講義	15	2				2						
			生命の科学	講義	15	2				2						
			生活と物理・化学	講義	15	2				2						
			地域と環境	講義	15	2				2						
			生活と防災	講義	15	2				2						
			ボランティア論	講義	15	2				2						
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択					
			情報技術の理解	講義	15	2				2						
			数的処理の基礎	演習	30	1				1						
			読解と思考の技法	演習	30	1				1						
			Webデザイン	演習	15		2			2						
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2						
			キャリア実習	実習	30	2				2						
			インターンシップ	実習	30		2			2						
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択					
			プログラミング入門	演習	15	2				2						
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2						
			データサイエンスPBL	講義	15		2			2						
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修					
			日本語FⅡ	演習	30	1				1						
			日本語SⅠ	演習	30		1			1						
			日本語SⅡ	演習	30		1			1						
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1						
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1						
専門科目	専門基礎	心理学入門	心理学概論	講義	15	2				2	必修		○		○	
			社会心理学入門	講義	15	2				2					○	
			発達心理学入門(保育の心理学)	講義	15	2				2					○	○
			臨床心理学入門	講義	15	2				2					○	

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門基礎	心理学入門	心理学統計法	講義	15	2				2	必修		○			
			心理学研究法	講義	15	2				2			○		○	
			環境心理学	講義	15	2				2	選択				○	
			社会ゲーミング･シミュレーション	講義	15	2				2						
			京都文化心理学	講義	15	2				2					○	
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2	必修					○
	専門応用	基礎心理学	神経・生理心理学	講義	15		2			2	選択		○		○	
			知覚・認知心理学	講義	15		2			2			○		○	
			学習・言語心理学	講義	15		2			2			○		○	
		心理援助	公認心理師の職責	講義	15		2			2			○			
			臨床心理学概論	講義	15		2			2	必修		○		○	
			心理学的支援法	講義	15		2			2			○		○	
			発達心理学	講義	15		2			2			○		○	○
			障害者・障害児心理学	講義	15		2			2	選択		○		○	○
			子どもの心理臨床	講義	15		2			2					○	○
			心理的アセスメントⅠ	演習	15		2			2			○		○	○
			心理的アセスメントⅡ	演習	15		2			2			○		○	○
		人間関係	青年心理学	講義	15		2			2	選択				○	
			教育心理学	講義	15		2			2					○	
			感情・人格心理学	講義	15		2			2			○		○	○
			子どもと人間関係	演習	15		2			2						○
			子どもとことば	演習	15		2			2						○
		人と現代社会	社会・集団・家族心理学	講義	15		2			2	必修		○		○	○
			コミュニティ心理学	講義	15		2			2	選択				○	
			司法・犯罪心理学	講義	15		2			2			○		○	
			産業・組織心理学	講義	15		2			2			○		○	
			消費者心理学	講義	15		2			2					○	
			社会福祉	講義	15		2			2						○
			児童･家庭福祉（子ども家庭福祉）	講義	15		2			2						○
			子ども家庭支援論	講義	15		2			2						○
			スポーツ心理学	講義	15		2			2						
		データ科学	社会と統計	講義	15		2			2				○		
			心理学実験Ⅰ	演習	15		2			2			○		○	
			心理学実験Ⅱ	演習	15		2			2			○		○	
			心理学データ解析Ⅰ	演習	30		1			1				○	○	
			心理学データ解析Ⅱ	演習	30		1			1				○	○	

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門応用	キャリアデザイン	社会とジェンダー	講義	15		2			2	選択					
			女性の生き方・働き方	講義	15	2				2						
			女性と現代社会	講義	15		2			2						
			女性と経済	講義	15		2			2						
			女性のキャリア形成	演習	30			1		1						
	専門発展	心理援助	健康・医療心理学	講義	15			2		2			○		○	○
			教育・学校心理学	講義	15			2		2			○		○	○
			心理演習Ⅰ	演習	15			2		2			○		○	○
			心理演習Ⅱ	演習	15			2		2			○		○	○
			心理実習Ⅰ	実習	40			1		1			○			
			心理実習Ⅱ	実習	40			1		1			○			
			子どもの理解と援助	演習	15			2		2						○
			子ども家庭支援の心理学	講義	15			2		2						○
			発達支援実習	演習	15			2		2						
			関係行政論	講義	15			2		2			○			
			福祉心理学	講義	15			2		2			○			
		人間関係・現代社会	犯罪者プロファイリング演習	演習	15			2		2					○	
			対人スキル・コーチング演習	演習	15			2		2						○
			社会的養護Ⅰ	講義	15			2		2						○
		データ科学	心理学データ解析Ⅲ	演習	30			1		1				○	○	
			社会調査法	講義	15			2		2				○		
			社会調査実習Ⅰ	実習	30			1		1				○		
			社会調査実習Ⅱ	実習	30			1		1				○		
		健康科学	人体の構造と機能及び疾病	講義	15			2		2	選択		○			
			メンタルヘルス論	講義	15			2		2					○	
			小児看護学	講義	15			2		2						
			包括的ヘルスケア論	講義	15			2		2						
			ターミナルケア	演習	30			1		1						
			生命倫理	講義	15			2		2						
			専門職の連携（応用）	演習	30			1		1						○
			精神疾患とその治療Ⅰ	講義	15			2		2			○			
			マインドフルネス心理学	講義	15			2		2						
			健康管理論	講義	15		2			2						
			食の心理と健康	講義	15			2		2						
			食マーケティング論	講義	15				2	2						
		保育	保育原理	講義	15		2			2						○
			教育原理	講義	15		2			2						○
			保育者論	講義	15		2			2						○
			子どもの保健	講義	15			2		2						○
			保育の計画と評価	講義	15			2		2						○

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 公認心理師	社会調査士	認定心理士	保育士
専門科目	専門発展	保育	子どもと健康	演習	15			2		2	選択					○
			乳児保育Ⅰ	講義	15		2			2						○
	心理学演習	専門演習	心理学基礎演習Ⅰ	演習	30	1				1	必修					
			心理学基礎演習Ⅱ	演習	30	1				1						
			心理学基礎演習Ⅲ	演習	30		1			1						
			心理学基礎演習Ⅳ	演習	30		1			1						
			心理学専門演習Ⅰ	演習	15			2		2	選択	2科目のうち1科目選択必修				
			心理学専門演習Ⅰ(保育実践演習)	演習	15			2		2						○
			心理学専門演習Ⅱ	演習	15			2		2	必修					
			心理学専門演習Ⅲ	演習	15				2	2						
			心理学専門演習Ⅳ	演習	15				2	2						
		応用演習	心理学英語文献講読Ⅰ	演習	15		2			2	選択					
			心理学英語文献講読Ⅱ	演習	15			2		2						
			心理学特別演習Ⅰ	演習	15		2			2						
			心理学特別演習Ⅱ	演習	15			2		2						
	研究・論文		卒業研究	演習	—				4	4	選択	2科目のうち1科目選択必修			○	
			卒業論文	演習	—				6	6					○	
自由科目			グラフィックデザイン	演習	30		1			1	自由					
			ビジュアルデザイン	演習	30		1			1						
			社会保障Ⅰ	講義	15		2			2						○
			社会保障Ⅱ	講義	15		2			2						○
			子どもの食と栄養	演習	15		2			2						○
			子育て支援	演習	15		2			2						○
			保育内容総論	演習	15			2		2						○
			乳児保育Ⅱ	演習	15			2		2						○
			障害児保育	演習	15			2		2						○
			社会的養護Ⅱ	演習	15			2		2						○
			子どもの体育	演習	15			2		2						○
			音楽療法	演習	15			2		2						○
			図画工作	演習	15			2		2						○
			レクリエーション指導法	演習	30				1	1						○
			子どもの健康と安全	演習	15		2			2						○
			保育実習指導Ⅰ	演習	15			2		2						○
			保育実習指導Ⅱ	演習	30				1	1						○
			保育実習指導Ⅲ	演習	30				1	1						○
			保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40			2		2						○
			保育実習Ⅰ（施設）	実習	40			2		2						○
			保育実習Ⅱ	実習	40				2	2						○
			保育実習Ⅲ	実習	40				2	2						○

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目は30単位以上修得すること（必修11単位、選択必修4単位、選択15単位）。
専門科目は98単位以上修得すること（専門基礎必修14単位、専門応用必修8単位、心理学演習必修12単位、卒業研究必修4単位または卒業論文必修6単位いずれかを含む。※選択は卒業研究の場合：60単位、卒業論文の場合58単位修得すること）。
リベラルアーツ教育科目と専門科目合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

F．こども教育学部　こども教育学科

〈2021 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修	必修	必修		必		
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					必		
			京都光華の学び	演習	30	1				1					必		
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1					必		
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					必		
			伝統文化	演習	30		1			1					必		
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					必	必	必
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					必	必	必
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択	選択	選択				
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1							
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1							
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1							
			医療英語	演習	30	1				1							
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1							
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1							
			ハングルⅠ	演習	30	1				1							
			ハングルⅡ	演習	30	1				1							
			海外での語学研修	実習	30	2				2							
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2					必	必	必
			食生活と健康	講義	15	2				2							
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2							
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					選必＊6	必	必
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					選必＊6		
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			仏教文化	講義	15	2				2					選		
			文化人類学	講義	15	2				2					選		
			言語と文学	講義	15	2				2					選		
			日本文化の理解	講義	15	2				2					選		
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					選		
			芸術文化論	講義	15	2				2					選		
			サブカルチャー論	講義	15	2				2					選		
			現代アジア事情	講義	15	2				2					選		
			現代欧米事情	講義	15	2				2					選		
			国際社会の理解	講義	15	2				2					選		
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					選		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			社会学	講義	15	2				2					選		
			日本国憲法	講義	15	2				2					選	必	必
			現代社会と法	講義	15	2				2					選		
			現代社会と政治	講義	15	2				2					選		
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2					選		
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2					選		
			生命の科学	講義	15	2				2					選		
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					選		
			地域と環境	講義	15	2				2					選		
			生活と防災	講義	15	2				2					選		
			ボランティア論	講義	15	2				2					選		
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択	選択	選択		選	必	必
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1					選	必	必
			数的処理の基礎	演習	30		1			1					選		
			日本語表現の技法	演習	30		1			1					選		
			読解と思考の技法	演習	30		1			1					選		
			Ｗｅｂデザイン	演習	15			2		2					選		
			データサイエンスのための数学	講義	15		2			2							
			プログラミング入門	演習	15			2		2					選		
			ＡＩへのアプローチ	講義	15			2		2							
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15			2		2							
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15			2		2							
			産官学連携プロジェクト	演習	15		2			2					選		
			キャリア実習	実習	30		1			1							
			インターンシップ	実習	30				2	2							
	留学生		日本語ＦⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修	外国人留学生必修	外国人留学生必修				
			日本語ＦⅡ	演習	30	1				1							
			日本語ＳⅠ	演習	30		1			1							
			日本語ＳⅡ	演習	30		1			1							
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1							
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1							
専門科目	専門基幹科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	教育原理	講義	15	2				2	必修	必修	必修		必	必	必
			子どもの理解と援助	演習	15	2				2					必	必	
			教育の制度・運営	講義	15			2		2					必	必	必
			人権教育	講義	15				2	2						必	必
			仏教教育論	講義	15				2	2							
			音楽Ⅰ	演習	30	1				1					必	必	必
			国語（書写を含む。）	講義	15	2				2	選択	選択					必
			算数	講義	15	2				2							必

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼（一種）園	小学校（一種）
専門科目	専門基幹科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	生活	講義	15		2			2	選択	選択	必修				必
			音楽Ⅱ	演習	30	1				1			選択		必	必	必
			音楽Ⅲ	演習	30		1			1					必	必	必
			図画工作Ⅰ	演習	30		1			1	必修	必修	必修		必	必	必
			体育Ⅰ	実習	30		1			1					必	必	必
	専門発展科目	幼児教育・保育関連科目	保育者論	講義	15		2			2	選択	選択	選択		必	選必＊2	
			保育内容総論	演習	15	2				2		必修			必	必	
			保育の計画と評価	講義	15	2				2		選択			必	選必＊3	
			保育の心理学	講義	15	2				2		必修			必	選必＊1	
			保育方法論	講義	15			2		2		選択			選必	選必＊4	
			子ども家庭支援の心理学	講義	15		2			2					必	選必＊5	
			保育内容研究	演習	15				2	2					選	選	
			健康	講義	15	2				2		必修			必	必	
			人間関係	講義	15	2				2					必	必	
			言葉	講義	15	2				2					必	必	
			環境	講義	15	2				2					必	必	
			表現	講義	15		2			2					必	必	
			保育内容（健康）	演習	30	1				1					必	必	
			保育内容（人間関係）	演習	30	1				1					必	必	
			保育内容（言葉）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（環境）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅰ）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅱ）	演習	30			1		1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅲ）	演習	30				1	1		選択			選	選	
			体育Ⅱ（幼児）	演習	30		1			1					必	選	
			音楽Ⅳ	演習	30		1			1					必	必	選
			音楽Ⅴ	演習	30			1		1					選必	選	選
			音楽Ⅵ	演習	30				1	1					選必	選	選
			音楽Ⅶ	演習	30				1	1					選必	選	選
			保育原理	講義	15	2				2					必		
			子ども家庭福祉	講義	15	2				2					必		
			社会福祉	講義	15	2				2					必		
			子育て支援	演習	30		1			1					必		
			社会的養護Ⅰ	講義	15		2			2					必		
			子どもの保健	講義	15		2			2					必		
			子どもの健康と安全	演習	30			1		1					必		
			子どもの食と栄養	演習	15		2			2					必		
			子ども家庭支援論	講義	15			2		2					必		
			乳児保育Ⅰ	講義	15	2				2					必		
			乳児保育Ⅱ	演習	30	1				1					必		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
専門科目	専門発展科目	幼児教育・保育関連科目	障害児保育・特別支援教育	演習	15		2			2	選択	選択	選択		必	必	
			社会的養護Ⅱ	演習	30			1		1					必		
			レクリエーション指導法	演習	30				1	1					選必		
			道徳	講義	15			2		2					選必		
			多文化理解	講義	15				2	2							
		初等教育関連科目	教職論	講義	15	2				2	選択	選択	必修			選必＊2	必
			教育心理学	講義	15		2			2						選必＊1	必
			道徳教育の理論と指導法（初等）	講義	15			2		2							必
			特別活動指導論（初等）	講義	15		2			2							必
			生徒指導論（初等）	講義	15			2		2							必
			教育方法論（初等）	講義	15		2			2						選必＊4	必
			教育課程論（初等）	講義	15		2			2						選必＊3	必
			教育相談（初等）	講義	15		2			2						選必＊5	必
			国語科指導法	講義	15		2			2							必
			社会科指導法	講義	15		2			2							必
			算数科指導法	講義	15		2			2							必
			理科指導法	講義	15		2			2							必
			生活科指導法	講義	15		2			2							必
			音楽科指導法	講義	15			2		2							必
			図工科指導法	講義	15			2		2							必
			家庭科指導法	講義	15			2		2							必
			体育科指導法	講義	15			2		2							必
			英語科指導法	講義	15			2		2							必
			理科	講義	15	2				2							必
			社会	講義	15	2				2							必
			家庭	講義	15		2			2							必
			英語	講義	15		2			2							必
			図画工作Ⅱ	演習	30			1		1			選択		選必	選	選
			体育Ⅱ（児童）	演習	30		1			1							選
			第二言語習得論	講義	15			2		2							
			英語の発音	演習	30		1			1							
			特別支援教育	講義	15		2			2			必修				必
			総合的な学習の指導法	講義	15			2		2							必
		研究	基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修	必修	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1							
			プレゼミ	演習	30		1			1	選択	選択	選択				
			専門ゼミ	演習	30			1		1	必修	必修	必修				
			卒研ゼミⅠ	演習	30				1	1							
			卒研ゼミⅡ	演習	30				1	1							
			卒業研究	演習	-				2	2							

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼稚園（一種）	小学校（一種）
専門科目	専門発展科目	実習	保育基礎演習	演習	15		2			2	選択	選択	選択				
			学校教育基礎演習	演習	30		1			1							
			教育実習事前･事後指導(幼稚園)	演習	30			1		1						必	
			教育実習事前･事後指導(小学校)	演習	30			1		1							必
			幼稚園教育実習	実習	40			4		4						必	
			小学校教育実習Ⅰ	実習	40			2		2							必
			小学校教育実習Ⅱ	実習	40			2		2							必
			教職・保育実践演習	演習	15				2	2					必	必	必
			保育実習指導Ⅰ	演習	15		2			2					必		
			保育実習指導Ⅱ	演習	30			1		1					選必		
			保育実習指導Ⅲ	演習	30			1		1					選必		
			保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40		2			2					必		
			保育実習Ⅰ（施設）	実習	40		2			2					必		
			保育実習Ⅱ	実習	40			2		2					選必		
			保育実習Ⅲ	実習	40			2		2					選必		
自由科目			こどもと絵本Ⅰ	講義	15			2		2	自由	自由	自由				
			こどもと絵本Ⅱ	講義	15			2		2							

＊1…「保育の心理学」または「教育心理学」から2単位以上修得
＊2…「保育者論」または「教職論」から2単位以上修得
＊3…「保育の計画と評価」または「教育課程論（初等）」から2単位以上修得
＊4…「保育方法論」または「教育方法論（初等）」から2単位以上修得
＊5…「子ども家庭支援の心理学」または「教育相談（初等）」から2単位以上修得
＊6…「スポーツ実技Ⅰ」または「スポーツ実技Ⅱ」から1単位以上修得

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目については、必修科目10単位、選択科目12単位以上（選択必修科目4単位を含む）と合わせて計22単位以上修得すること。
専門科目については、必修科目31単位を修得し、選択科目75単位以上と合わせて計106単位以上修得すること。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修科目の登録の上限：48単位（年間）＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

こども教育学部　こども教育学科

〈2022 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修	必修	必修		必		
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					必		
			京都光華の学び	演習	30	1				1					必		
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1					必		
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					必		
			伝統文化	演習	30		1			1					必		
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					必	必	必
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					必	必	必
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択	選択	選択				
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1							
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1							
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1							
			医療英語	演習	30	1				1							
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1							
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1							
			ハングルⅠ	演習	30	1				1							
			ハングルⅡ	演習	30	1				1							
			海外での語学研修	実習	30	2				2							
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2					必	必	必
			食生活と健康	講義	15	2				2							
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2							
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					選必＊6	必	必
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					選必＊6		
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			仏教文化	講義	15	2				2					選		
			文化人類学	講義	15	2				2					選		
			言語と文学	講義	15	2				2					選		
			日本文化の理解	講義	15	2				2					選		
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					選		
			芸術文化論	講義	15	2				2					選		
			サブカルチャー論	講義	15	2				2					選		
			現代アジア事情	講義	15	2				2					選		
			現代欧米事情	講義	15	2				2					選		
			国際社会の理解	講義	15	2				2					選		
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					選		
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			社会学	講義	15	2				2					選		
			日本国憲法	講義	15	2				2					選	必	必

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	コース別 必・選 学校教育コース	備考	関連資格 保育士	関連資格 幼（一種）園	関連資格 小学校（一種）
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	現代社会と法	講義	15		2			2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			現代社会と政治	講義	15		2			2					選		
			くらしのなかの経済学	講義	15		2			2					選		
			くらしのなかの統計学	講義	15		2			2					選		
			生命の科学	講義	15		2			2					選		
			生活と物理・化学	講義	15		2			2					選		
			地域と環境	講義	15		2			2					選		
			生活と防災	講義	15		2			2					選		
			ボランティア論	講義	15		2			2					選		
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択	選択	選択		選	必	必
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1					選	必	必
			数的処理の基礎	演習	30		1			1					選		
			日本語表現の技法	演習	30		1			1					選		
			読解と思考の技法	演習	30		1			1					選		
			Webデザイン	演習	15			2		2					選		
			データサイエンスのための数学	講義	15		2			2							
			プログラミング入門	演習	15			2		2					選		
			AIへのアプローチ	実習	15			2		2							
			データサイエンスへのアプローチ	実習	15			2		2							
			データサイエンスPBL	実習	15			2		2							
			産官学連携プロジェクト	実習	15		2			2					選		
			キャリア実習	実習	30		1			1							
			インターンシップ	実習	30				2	2							
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修	外国人留学生必修	外国人留学生必修				
			日本語FⅡ	演習	30	1				1							
			日本語SⅠ	演習	30		1			1							
			日本語SⅡ	演習	30		1			1							
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1							
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1							
専門科目	専門基幹科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	教育原理	講義	15	2				2	必修	必修	必修		必	必	必
			子どもの理解と援助	演習	15	2				2					必	必	
			教育の制度・運営	講義	15			2		2					必	必	必
			人権教育	講義	15				2	2						必	必
			仏教教育論	講義	15				2	2							
			音楽Ⅰ	演習	30	1				1					必	必	必
			国語（書写を含む。）	講義	15	2				2	選択	選択					必
			算数	講義	15	2				2							必
			生活	講義	15		2			2							必
			音楽Ⅱ	演習	30	1				1			選択		必	必	必
			音楽Ⅲ	演習	30		1			1					必	必	必

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
専門科目	専門基礎科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	図画工作Ⅰ	演習	30		1			1	必修	必修	必修		必	必	必
			体育Ⅰ	実習	30		1			1					必	必	必
	専門発展科目	幼児教育・保育関連科目	保育者論	講義	15		2			2	選択	選択	選択		必	選必＊2	
			保育内容総論	演習	15	2				2		必修			必	必	
			保育の計画と評価	講義	15	2				2		選択			必	選必＊3	
			保育の心理学	講義	15	2				2		必修			必	選必＊1	
			保育方法論	講義	15			2		2		選択			選必	選必＊4	
			子ども家庭支援の心理学	講義	15		2			2					必	選必＊5	
			保育内容研究	演習	15				2	2					選	選	
			健康	講義	15	2				2		必修			必	必	
			人間関係	講義	15	2				2					必	必	
			言葉	講義	15	2				2					必	必	
			環境	講義	15	2				2					必	必	
			表現	講義	15		2			2					必	必	
			保育内容（健康）	演習	30	1				1		必修			必	必	
			保育内容（人間関係）	演習	30	1				1					必	必	
			保育内容（言葉）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（環境）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅰ）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅱ）	演習	30			1		1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅲ）	演習	30				1	1					選	選	
			体育Ⅱ（幼児）	演習	30		1			1		選択			必	選	
			音楽Ⅳ	演習	30		1			1					必	必	選
			音楽Ⅴ	演習	30			1		1					選必	選	選
			音楽Ⅵ	演習	30				1	1					選必	選	選
			音楽Ⅶ	演習	30				1	1					選必	選	選
			保育原理	講義	15	2				2					必		
			子ども家庭福祉	講義	15	2				2					必		
			社会福祉	講義	15	2				2					必		
			子育て支援	演習	30		1			1					必		
			社会的養護Ⅰ	講義	15		2			2					必		
			子どもの保健	講義	15		2			2					必		
			子どもの健康と安全	演習	30			1		1					必		
			子どもの食と栄養	演習	15		2			2					必		
			子ども家庭支援論	講義	15			2		2					必		
			乳児保育Ⅰ	講義	15	2				2					必		
			乳児保育Ⅱ	演習	30	1				1					必		
			障害児保育・特別支援教育	演習	15		2			2					必	必	

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼（一種）園	小学校（一種）
専門科目	専門発展科目	幼児教育・保育関連科目	社会的養護Ⅱ	演習	30			1		1	選択	選択	選択		必		
			レクリエーション指導法	演習	30				1	1					選必		
			道徳	講義	15			2		2					選必		
			多文化理解	講義	15				2	2							
		初等教育関連科目	教職論	講義	15	2				2	選択	選択	必修			選必＊2	必
			教育心理学	講義	15		2			2						選必＊1	必
			道徳教育の理論と指導法（初等）	講義	15			2		2							必
			特別活動指導論（初等）	講義	15		2			2							必
			生徒指導論（初等）	講義	15			2		2							必
			教育方法論（初等）（ICT活用を含む）	講義	15		2			2						選必＊4	必
			教育課程論（初等）	講義	15		2			2						選必＊3	必
			教育相談（初等）	講義	15		2			2						選必＊5	必
			国語科指導法	講義	15		2			2							必
			社会科指導法	講義	15		2			2							必
			算数科指導法	講義	15		2			2							必
			理科指導法	講義	15		2			2							必
			生活科指導法	講義	15		2			2							必
			音楽科指導法	講義	15			2		2							必
			図工科指導法	講義	15			2		2							必
			家庭科指導法	講義	15			2		2							必
			体育科指導法	講義	15			2		2							必
			英語科指導法	講義	15			2		2							必
			理科	講義	15	2				2							必
			社会	講義	15	2				2							必
			家庭	講義	15		2			2							必
			英語	講義	15		2			2							必
			図画工作Ⅱ	演習	30			1		1			選択		選必	選	選
			体育Ⅱ（児童）	演習	30		1			1							選
			第二言語習得論	講義	15			2		2							
			英語の発音	演習	30		1			1							
			特別支援教育	講義	15		2			2			必修				必
			総合的な学習の指導法	講義	15			2		2							必
		研究	基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修	必修	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1							
			プレゼミ	演習	30		1			1	選択	選択	選択				
			専門ゼミ	演習	30			1		1	必修	必修	必修				
			卒研ゼミⅠ	演習	30				1	1							
			卒研ゼミⅡ	演習	30				1	1							
			卒業研究	演習	−				2	2							

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	(幼一種)(幼稚園)	(小一種)(小学校)
専門科目	専門発展科目	実習	保育基礎演習	演習	15		2			2	選択	選択	選択				
			学校教育基礎演習	演習	30		1			1							
			教育実習事前・事後指導(幼稚園)	演習	30			1		1						必	
			教育実習事前・事後指導(小学校)	演習	30			1		1							必
			幼稚園教育実習	実習	40			4		4						必	
		実習	小学校教育実習Ⅰ	実習	40			2		2	選択	選択	選択				必
			小学校教育実習Ⅱ	実習	40			2		2							必
			教職・保育実践演習	演習	15				2	2					必	必	必
			保育実習指導Ⅰ	演習	15		2			2					必		
			保育実習指導Ⅱ	演習	30			1		1					選必		
			保育実習指導Ⅲ	演習	30			1		1					選必		
			保育実習Ⅰ(保育所)	実習	40		2			2					必		
			保育実習Ⅰ(施設)	実習	40		2			2					必		
			保育実習Ⅱ	実習	40			2		2					選必		
			保育実習Ⅲ	実習	40			2		2					選必		
自由科目			こどもと絵本Ⅰ	講義	15			2		2	自由	自由	自由				
			こどもと絵本Ⅱ	講義	15			2		2							

＊1…「保育の心理学」または「教育心理学」から2単位以上修得
＊2…「保育者論」または「教職論」から2単位以上修得
＊3…「保育の計画と評価」または「教育課程論（初等）」から2単位以上修得
＊4…「保育方法論」または「教育方法論（初等）」から2単位以上修得
＊5…「子ども家庭支援の心理学」または「教育相談（初等）」から2単位以上修得
＊6…「スポーツ実技Ⅰ」または「スポーツ実技Ⅱ」から1単位以上修得

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目については、必修科目10単位、選択科目12単位以上（選択必修科目4単位を含む）と合わせて計22単位以上修得すること。
専門科目については、必修科目20単位を修得し、選択科目86単位以上と合わせて計106単位以上修得すること。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。

＜履修科目の登録の上限：48単位（年間）＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

こども教育学部　こども教育学科

〈2023 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修	必修	必修		必		
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					必		
			京都光華の学び	演習	30	1				1					必		
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1					必		
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					必		
			データサイエンス入門	演習	30	1				1					必	必	必
			伝統文化	演習	30		1			1					必		
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					必	必	必
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					必	必	必
			English in Use A	演習	30	1				1	選択	選択	選択				
			English in Use B	演習	30	1				1							
			English in Use C	演習	30	1				1							
			English in Use D	演習	30	1				1							
			English in Use E	演習	30	1				1							
			English in Use F	演習	30	1				1							
			医療英語	演習	30	1				1							
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1							
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1							
			ハングルⅠ	演習	30	1				1							
			ハングルⅡ	演習	30	1				1							
			海外での語学研修	実習	30	2				2							
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2					必	必	必
			食生活と健康	講義	15	2				2							
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2							
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					選必＊6	必	必
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					選必＊6		
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1							
			マインドフルネス	実習	30	1				1							
			教養囲碁入門	実習	30	1				1							
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2					選		
			仏教文化	講義	15	2				2					選		
			文化人類学	講義	15	2				2					選		
			言語と文学	講義	15	2				2					選		
			日本文化の理解	講義	15	2				2					選		
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					選		
			芸術文化論	講義	15	2				2					選		
			サブカルチャー論	講義	15	2				2					選		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼(一種)園	小学校(一種)
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	現代アジア事情	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			現代欧米事情	講義	15	2				2					選		
			国際社会の理解	講義	15	2				2					選		
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					選		
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			社会学	講義	15	2				2					選		
			日本国憲法	講義	15	2				2					選	必	必
			現代社会と法	講義	15	2				2					選		
			現代社会と政治	講義	15	2				2					選		
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2					選		
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2					選		
			情報社会の理解	講義	15	2				2					選		
			生命の科学	講義	15	2				2					選		
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					選		
			地域と環境	講義	15	2				2					選		
			生活と防災	講義	15	2				2					選		
			ボランティア論	講義	15	2				2					選		
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択	選択	選択		選	必	必
			情報技術の理解	講義	15	2				2					選		
			数的処理の基礎	演習	30	1				1					選		
			読解と思考の技法	演習	30	1				1					選		
			Ｗｅｂデザイン	演習	15		2			2					選		
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2					選		
			キャリア実習	実習	30	1				1							
			インターンシップ	実習	30		2			2							
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択	選択	選択		選		
			プログラミング入門	演習	15	2				2					選		
			ＡＩへのアプローチ	講義	15		2			2					選		
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2					選		
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15		2			2					選		
	留学生		日本語ＦⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修	外国人留学生必修	外国人留学生必修				
			日本語ＦⅡ	演習	30	1				1							
			日本語ＳⅠ	演習	30		1			1							
			日本語ＳⅡ	演習	30		1			1							
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1							
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1							
専門科目	専門基幹科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	教育原理	講義	15	2				2	必修	必修	必修		必	必	必
			子どもの理解と援助	演習	15	2				2					必	必	
			教育の制度・運営	講義	15			2		2					必	必	必
			人権教育	講義	15				2	2						必	必

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
専門科目	専門基幹科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	仏教教育論	講義	15				2	2	必修	必修	必修				
			音楽Ⅰ	演習	30	1				1					必	必	必
			国語（書写を含む。）	講義	15	2				2	選択	選択					必
			算数	講義	15	2				2							必
			生活	講義	15		2			2							必
			音楽Ⅱ	演習	30	1				1	選択	選択	選択		必	必	必
			音楽Ⅲ	演習	30		1			1					必	必	必
			図画工作Ⅰ	演習	30		1			1	必修	必修	必修		必	必	必
			体育Ⅰ	実習	30		1			1					必	必	必
	専門発展科目	幼児教育・保育関連科目	保育者論	講義	15		2			2	選択	選択	選択		必	選必＊2	
			保育内容総論	演習	15	2				2		必修			必	必	
			保育の計画と評価	講義	15	2				2		選択			必	選必＊3	
			保育の心理学	講義	15	2				2		必修			必	選必＊1	
			保育方法論	講義	15			2		2		選択			選必	選必＊4	
			子ども家庭支援の心理学	講義	15		2			2		選択			必	選必＊5	
			保育内容研究	演習	15				2	2		選択			選	選	
			健康	講義	15	2				2		必修			必	必	
			人間関係	講義	15	2				2					必	必	
			言葉	講義	15	2				2					必	必	
			環境	講義	15	2				2					必	必	
			表現	講義	15		2			2					必	必	
			保育内容（健康）	演習	30	1				1		必修			必	必	
			保育内容（人間関係）	演習	30	1				1					必	必	
			保育内容（言葉）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（環境）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅰ）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅱ）	演習	30			1		1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅲ）	演習	30				1	1		選択			選	選	
			体育Ⅱ（幼児）	演習	30		1			1					必	選	
			音楽Ⅳ	演習	30		1			1					必	必	選
			音楽Ⅴ	演習	30			1		1					選必	選	選
			音楽Ⅵ	演習	30				1	1					選必	選	選
			音楽Ⅶ	演習	30				1	1					選必	選	選
			保育原理	講義	15	2				2					必		
			子ども家庭福祉	講義	15	2				2					必		
			社会福祉	講義	15	2				2					必		
			子育て支援	演習	30		1			1					必		
			社会的養護Ⅰ	講義	15		2			2					必		
			子どもの保健	講義	15		2			2					必		
			子どもの健康と安全	演習	30			1		1					必		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
専門科目	専門発展科目	幼児教育・保育関連科目	子どもの食と栄養	演習	15		2			2	選択	選択	選択		必		
			子ども家庭支援論	講義	15			2		2					必		
			乳児保育Ⅰ	講義	15	2				2					必		
			乳児保育Ⅱ	演習	30	1				1					必		
			障害児保育・特別支援教育	演習	15		2			2					必	必	必
			社会的養護Ⅱ	演習	30			1		1					必		
			レクリエーション指導法	演習	30				1	1					選必		
			道徳	講義	15			2		2					選必		
			多文化理解	講義	15				2	2							
		初等教育関連科目	教職論	講義	15	2				2	選択	選択	必修			選必＊2	必
			教育心理学	講義	15		2			2						選必＊1	必
			道徳教育の理論と指導法（初等）	講義	15			2		2							必
			特別活動指導論（初等）	講義	15		2			2							必
			生徒指導論（初等）	講義	15			2		2							必
			教育方法論（初等）（ICT活用を含む）	講義	15		2			2						選必＊4	必
			教育課程論（初等）	講義	15		2			2						選必＊3	必
			教育相談（初等）	講義	15		2			2						選必＊5	必
			国語科指導法	講義	15		2			2							必
			社会科指導法	講義	15		2			2							必
			算数科指導法	講義	15		2			2							必
			理科指導法	講義	15		2			2							必
			生活科指導法	講義	15		2			2							必
			音楽科指導法	講義	15			2		2							必
			図工科指導法	講義	15			2		2							必
			家庭科指導法	講義	15			2		2							必
			体育科指導法	講義	15			2		2							必
			英語科指導法	講義	15			2		2							必
			理科	講義	15	2				2			必修		選必		必
			社会	講義	15	2				2					選必		必
			家庭	講義	15		2			2							必
			英語	講義	15		2			2							必
			図画工作Ⅱ	演習	30			1		1			選択		選必	選	選
			体育Ⅱ（児童）	演習	30		1			1							選
			第二言語習得論	講義	15			2		2			選択				
			英語の発音	演習	30		1			1							
			総合的な学習の指導法	講義	15			2		2			必修				必
		研究	基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修	必修	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1							
			プレゼミ	演習	30		1			1	選択	選択	選択				
			専門ゼミ	演習	30			1		1	必修	必修	必修				

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	コース別 必・選 学校教育コース	備考	関連資格 保育士	関連資格 幼稚園（一種）	関連資格 小学校（一種）
専門科目	専門発展科目	研究	卒研ゼミⅠ	演習	30				1	1	必修	必修	必修				
			卒研ゼミⅡ	演習	30				1	1							
			卒業研究	演習	－				2	2							
		実習	保育基礎演習	演習	15		2			2	選択	選択	選択				
			学校教育基礎演習	演習	30		1			1		選択	選択				
			教育実習事前･事後指導（幼稚園）	演習	30			1		1						必	
			教育実習事前･事後指導（小学校）	演習	30			1		1							必
			幼稚園教育実習	実習	40			4		4						必	
			小学校教育実習Ⅰ	実習	40			2		2							必
			小学校教育実習Ⅱ	実習	40			2		2							必
			教職・保育実践演習	演習	15				2	2					必	必	必
			保育実習指導Ⅰ	演習	15		2			2					必		
			保育実習指導Ⅱ	演習	30			1		1					選必		
			保育実習指導Ⅲ	演習	30			1		1					選必		
			保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40		2			2					必		
			保育実習Ⅰ（施設）	実習	40		2			2					必		
			保育実習Ⅱ	実習	40			2		2					選必		
			保育実習Ⅲ	実習	40			2		2					選必		
自由科目			こどもと絵本Ⅰ	講義	15			2		2	自由	自由	自由				
			こどもと絵本Ⅱ	講義	15			2		2							

＊1…「保育の心理学」または「教育心理学」から2単位以上修得
＊2…「保育者論」または「教職論」から2単位以上修得
＊3…「保育の計画と評価」または「教育課程論（初等）」から2単位以上修得
＊4…「保育方法論」または「教育方法論（初等）」から2単位以上修得
＊5…「子ども家庭支援の心理学」または「教育相談（初等）」から2単位以上修得
＊6…「スポーツ実技Ⅰ」または「スポーツ実技Ⅱ」から1単位以上修得

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目については、必修科目11単位、選択科目11単位以上（選択必修科目4単位を含む）と合わせて計22単位以上修得すること。
専門科目については、必修科目20単位を修得し、選択科目86単位以上と合わせて計106単位以上修得すること。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修科目の登録の上限：48単位（年間）＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期GPAが「3.3以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。
履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

こども教育学部　こども教育学科

〈2024 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修	必修	必修		必		
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					必		
			京都光華の学び	演習	30	1				1					必		
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1					必		
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					必		
			データサイエンス入門	演習	30	1				1					必	必	必
			伝統文化	演習	30		1			1					必		
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					必	必	必
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					必	必	必
			English in Use A	演習	30	1				1	選択	選択	選択				
			English in Use B	演習	30	1				1							
			English in Use C	演習	30	1				1							
			English in Use D	演習	30	1				1							
			English in Use E	演習	30	1				1							
			English in Use F	演習	30	1				1							
			医療英語	演習	30	1				1							
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1							
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1							
			ハングルⅠ	演習	30	1				1							
			ハングルⅡ	演習	30	1				1							
			海外での語学研修	実習	30	2				2							
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2					必	必	必
			食生活と健康	講義	15	2				2							
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2							
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					選必＊6	必	必
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					選必＊6		
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1							
			マインドフルネス	実習	30	1				1							
			教養囲碁入門	実習	30	1				1							
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2					選		
			仏教文化	講義	15	2				2					選		
			文化人類学	講義	15	2				2					選		
			言語と文学	講義	15	2				2					選		
			日本文化の理解	講義	15	2				2					選		
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					選		
			芸術文化論	講義	15	2				2					選		
			サブカルチャー論	講義	15	2				2					選		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼稚園（一種）	小学校（一種）
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	現代アジア事情	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			現代欧米事情	講義	15	2				2					選		
			国際社会の理解	講義	15	2				2					選		
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					選		
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位	選択必修2単位	選択必修2単位		選		
			社会学	講義	15	2				2					選		
			日本国憲法	講義	15	2				2					選	必	必
			現代社会と法	講義	15	2				2					選		
			現代社会と政治	講義	15	2				2					選		
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2					選		
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2					選		
			情報社会の理解	講義	15	2				2					選		
			生命の科学	講義	15	2				2					選		
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					選		
			地域と環境	講義	15	2				2					選		
			生活と防災	講義	15	2				2					選		
			ボランティア論	講義	15	2				2					選		
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択	選択	選択		選	必	必
			情報技術の理解	講義	15	2				2					選		
			数的処理の基礎	演習	30	1				1					選		
			読解と思考の技法	演習	30	1				1					選		
			Ｗｅｂデザイン	演習	15		2			2					選		
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2					選		
			キャリア実習	実習	30	1				1							
			インターンシップ	実習	30			2		2							
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択	選択	選択		選		
			プログラミング入門	演習	15	2				2					選		
			ＡＩへのアプローチ	講義	15		2			2					選		
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2					選		
			データサイエンスＰＢＬ	演習	15		2			2					選		
	留学生		日本語ＦⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修	外国人留学生必修	外国人留学生必修				
			日本語ＦⅡ	演習	30	1				1							
			日本語ＳⅠ	演習	30		1			1							
			日本語ＳⅡ	演習	30		1			1							
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1							
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1							
専門科目	専門基幹科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	教育原理	講義	15	2				2	必修	必修	必修		必	必	必
			子どもの理解と援助	演習	15	2				2					必	必	
			教育の制度・運営	講義	15			2		2					必	必	必
			人権教育	講義	15				2	2						必	必

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
専門科目	専門基幹科目	教育・保育の基礎理論及び基礎科目	仏教教育論	講義	15				2	2	必修	必修	必修				
			音楽Ⅰ	演習	30	1				1					必	必	必
			国語（書写を含む。）	講義	15	2				2	選択	選択					必
			算数	講義	15	2				2							必
			生活	講義	15		2			2							必
			音楽Ⅱ	演習	30	1				1	選択	選択	選択		必	必	必
			音楽Ⅲ	演習	30		1			1					必	必	必
			図画工作Ⅰ	演習	30		1			1	必修	必修	必修		必	必	必
			体育Ⅰ	実習	30		1			1					必	必	必
	専門発展科目	幼児教育・保育関連科目	保育者論	講義	15		2			2	選択	選択	選択		必	選必＊2	
			保育内容総論	演習	15	2				2		必修			必	必	
			保育の計画と評価	講義	15	2				2		選択			必	選必＊3	
			保育の心理学	講義	15	2				2		必修			必	選必＊1	
			保育方法論	講義	15			2		2		選択			選必	選必＊4	
			子ども家庭支援の心理学	講義	15		2			2		選択			必	選必＊5	
			保育内容研究	演習	15				2	2		選択			選	選	
			健康	講義	15	2				2		必修			必	必	
			人間関係	講義	15	2				2					必	必	
			言葉	講義	15	2				2					必	必	
			環境	講義	15	2				2					必	必	
			表現	講義	15		2			2					必	必	
			保育内容（健康）	演習	30	1				1		必修			必	必	
			保育内容（人間関係）	演習	30	1				1					必	必	
			保育内容（言葉）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（環境）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅰ）	演習	30		1			1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅱ）	演習	30			1		1					必	必	
			保育内容（総合表現Ⅲ）	演習	30				1	1		選択			選	選	
			体育Ⅱ（幼児）	演習	30		1			1					必	選	
			音楽Ⅳ	演習	30		1			1					必	必	選
			音楽Ⅴ	演習	30			1		1					選必	選	選
			音楽Ⅵ	演習	30				1	1					選必	選	選
			音楽Ⅶ	演習	30				1	1					選必	選	選
			保育原理	講義	15	2				2					必		
			子ども家庭福祉	講義	15	2				2					必		
			社会福祉	講義	15	2				2					必		
			子育て支援	演習	30		1			1					必		
			社会的養護Ⅰ	講義	15		2			2					必		
			子どもの保健	講義	15		2			2					必		
			子どもの健康と安全	演習	30			1		1					必		

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	幼一種（幼稚園）	小一種（小学校）
専門科目	専門発展科目	幼児教育・保育関連科目	子どもの食と栄養	演習	15		2			2	選択	選択	選択		必		
			子ども家庭支援論	講義	15			2		2					必		
			乳児保育Ⅰ	講義	15	2				2					必		
			乳児保育Ⅱ	演習	30	1				1					必		
			障害児保育・特別支援教育	演習	15		2			2					必	必	必
			社会的養護Ⅱ	演習	30			1		1					必		
			レクリエーション指導法	演習	30				1	1					選必		
			道徳	講義	15			2		2					選必		
			多文化理解	講義	15				2	2							
		初等教育関連科目	教職論	講義	15	2				2	選択	選択	必修			選必＊2	必
			教育心理学	講義	15		2			2						選必＊1	必
			道徳教育の理論と指導法（初等）	講義	15			2		2							必
			特別活動指導論（初等）	講義	15		2			2							必
			生徒指導論（初等）	講義	15			2		2							必
			教育方法論（初等）（ICT活用を含む）	講義	15		2			2						選必＊4	必
			教育課程論（初等）	講義	15		2			2						選必＊3	必
			教育相談（初等）	講義	15		2			2						選必＊5	必
			国語科指導法	講義	15		2			2							必
			社会科指導法	講義	15		2			2							必
			算数科指導法	講義	15		2			2							必
			理科指導法	講義	15		2			2							必
			生活科指導法	講義	15		2			2							必
			音楽科指導法	講義	15			2		2							必
			図工科指導法	講義	15			2		2							必
			家庭科指導法	講義	15			2		2							必
			体育科指導法	講義	15			2		2							必
			英語科指導法	講義	15			2		2							必
			理科	講義	15	2				2			必修		選必		必
			社会	講義	15	2				2					選必		必
			家庭	講義	15		2			2							必
			英語	講義	15		2			2							必
			図画工作Ⅱ	演習	30			1		1			選択		選必	選	選
			体育Ⅱ（児童）	演習	30		1			1							選
			第二言語習得論	講義	15			2		2			選択				
			英語の発音	演習	30		1			1							
			総合的な学習の指導法	講義	15			2		2			必修				必
		研究	基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修	必修	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30	1				1							
			プレゼミ	演習	30		1			1	選択	選択	選択				
			専門ゼミ	演習	30			1		1	必修	必修	必修				

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選	コース別 必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考	関連資格 保育士	(幼一種)幼稚園	(小一種)小学校
専門科目	専門発展科目	研究	卒研ゼミⅠ	演習	30				1	1	必修	必修	必修				
			卒研ゼミⅡ	演習	30				1	1							
			卒業研究	演習	-				2	2							
		実習	保育基礎演習	演習	15		2			2	選択	選択	選択				
			学校教育基礎演習	演習	30		1			1		選択	選択				
			教育実習事前･事後指導(幼･小)	演習	30			1		1						必	必
			教育実習（幼・小）	実習	40			4		4						必	必
			教職・保育実践演習	演習	15				2	2					必	必	必
			保育実習指導Ⅰ	演習	15		2			2					必		
			保育実習指導Ⅱ	演習	30			1		1					選必		
			保育実習指導Ⅲ	演習	30			1		1					選必		
			保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40		2			2					必		
			保育実習Ⅰ（施設）	実習	40		2			2					必		
			保育実習Ⅱ	実習	40			2		2					選必		
			保育実習Ⅲ	実習	40			2		2					選必		
自由科目			こどもと絵本Ⅰ	講義	15			2		2	自由	自由	自由				
			こどもと絵本Ⅱ	講義	15			2		2							

＊1…「保育の心理学」または「教育心理学」から2単位以上修得
＊2…「保育者論」または「教職論」から2単位以上修得
＊3…「保育の計画と評価」または「教育課程論（初等）」から2単位以上修得
＊4…「保育方法論」または「教育方法論（初等）」から2単位以上修得
＊5…「子ども家庭支援の心理学」または「教育相談（初等）」から2単位以上修得
＊6…「スポーツ実技Ⅰ」または「スポーツ実技Ⅱ」から1単位以上修得

＜卒業要件及び履修方法＞
リベラルアーツ教育科目については、必修科目11単位、選択科目11単位以上（選択必修科目4単位を含む）と合わせて計22単位以上修得すること。
専門科目については、必修科目20単位を修得し、選択科目86単位以上と合わせて計106単位以上修得すること。
リベラルアーツ教育科目と専門科目を合わせて計128単位以上修得すること。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター（修学担当）にて所定の手続きを行うこと。

＜履修科目の登録の上限：48単位（年間）＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48単位以内とする。

＜履修登録上限単位の緩和＞
学期GPAが「3.3以上」の場合､学生は翌学期に開講されている科目中から、4単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
カリキュラム表に付則している関連資格欄については、必ずしも、取得可能資格の一覧ではないので注意すること。
資格によっては、受験資格を得られるだけの資格もあるため、資格の詳細については必ず、資格のページにて確認すること。

こども教育学科の実習の履修について

（1）取得できる免許・資格の種類

こども教育学科では以下の免許・資格が取得できるが、そのためにはそれぞれの免許・資格に関わる実習を履修しなければならない。なお、各コースとも、免許・資格の取得は卒業要件ではない。

> 学校教育コースで取得を目的とする免許・資格：小学校教諭１種免許状および幼稚園教諭１種免許状

※ただし、希望者は一定の条件を満たせば保育士資格も取得することができる。

> 幼児教育コースで取得を目的とする免許・資格：幼稚園教諭１種免許状および保育士資格

※ただし、希望者は一定の条件を満たせば小学校教諭１種免許状も取得することができる。

（2）実習期間について

<table>
<tr><th>年次</th><th>コース</th><th>取得免許・資格</th><th>前　期</th><th>夏期休業</th><th>後　期</th><th>春期休業</th></tr>
<tr><td rowspan="4">2年次</td><td rowspan="2">学校教育</td><td>小・幼</td><td></td><td rowspan="2">介護等体験
（施設）
5日間</td><td rowspan="2">介護等体験
（特別支援学校）
2日間</td><td></td></tr>
<tr><td>小・幼・保</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">幼児教育</td><td>幼・保</td><td></td><td></td><td rowspan="2">保育実習Ⅰ
（保育所）
10～11月（2週間）</td><td rowspan="2">保育実習Ⅰ
（施設）
1～3月（10日間）</td></tr>
<tr><td>幼・保・小</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">3年次</td><td rowspan="2">学校教育</td><td>小・幼</td><td></td><td rowspan="2">小学校教育実習
Ⅰ・Ⅱ
9月（4週間）
＊1</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>小・幼・保</td><td></td><td>保育実習Ⅰ（保育所）
10～11月（2週間）</td><td>保育実習Ⅰ（施設）
1～3月（10日間）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">幼児教育</td><td>幼・保</td><td></td><td rowspan="2">幼稚園教育実習
9月（4週間）
＊1</td><td rowspan="2">保育実習ⅡまたはⅢ
11～12月（2週間）</td><td></td></tr>
<tr><td>幼・保・小</td><td>介護等体験
（特別支援学校）
2日間</td><td>介護等体験
（施設）
5日間</td></tr>
<tr><td rowspan="4">4年次</td><td rowspan="2">学校教育</td><td>小・幼</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>小・幼・保</td><td></td><td></td><td>保育実習ⅡまたはⅢ
11～12月（2週間）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">幼児教育</td><td>幼・保</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>幼・保・小</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

＊1…2024年度入学生は「教育実習（幼・小）」となる

（3）実習の履修要件

各実習を履修するためには、以下の要件（科目についての要件のみ記載）を満たしていなければならない。

＜2021・2022年度入学生＞

実習科目名	配当年次	履修要件	
		履修科目	修得科目
幼稚園教育実習	3年次	教育実習事前・事後指導（幼稚園） （実習を履修する年度に開講されるもの）	保育基礎演習 教育原理 子どもの理解と援助 保育の心理学 保育の計画と評価 健康 人間関係 言葉 環境 保育内容総論
		保育者論＊ 表現＊ 保育内容（総合表現Ⅱ） （＊実習を履修する前年度までに修得することが望ましい）	保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（総合表現Ⅰ） （うち3科目以上）
			音楽Ⅰ 音楽Ⅱ
			音楽Ⅲ 音楽Ⅳ 図画工作Ⅰ 体育Ⅰ 体育Ⅱ（幼児） （うち2科目以上）
小学校教育実習Ⅰ・Ⅱ	3年次	教育実習事前・事後指導（小学校） （実習を履修する年度に開講されるもの）	国語（書写を含む。） 社会 算数 理科 生活 音楽Ⅰ 図画工作Ⅰ 家庭 体育Ⅰ 英語 （うち6科目以上）
		国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法 音楽科指導法 図工科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 英語科指導法 教育心理学 教育課程論（初等） 特別支援教育 道徳教育の理論と指導法（初等） 生徒指導論（初等）	教職論 教育原理 特別活動指導論（初等） 教育方法論(初等)または教育方法論(初等)(ICT活用を含む) 教育相談（初等）

実習科目名	配当年次	履修要件	
		履修科目	修得科目
保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設）	2年次	保育実習指導Ⅰ （実習を履修する年度に開講されるもの）	保育基礎演習 保育原理 保育の心理学 保育内容総論 社会福祉
		保育者論 子どもの理解と援助＊ 保育の計画と評価＊ 健康＊ 人間関係＊ 言葉＊ 環境＊ 表現 （＊実習を履修する前年度までに修得することが望ましい）	保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 障害児保育・特別支援教育 子どもの保健 } うち2科目以上
保育実習Ⅱ または 保育実習Ⅲ	3年次	保育実習指導Ⅱ または 保育実習指導Ⅲ （実習を履修する年度に開講されるもの）	保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設） 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子ども家庭福祉 子育て支援
			保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（総合表現Ⅰ） 保育内容（総合表現Ⅱ） 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ } うち3科目以上

＜2023・2024年度入学生＞

実習科目名	配当年次	履修要件	
		履修科目	修得科目
幼稚園教育実習＊1 教育実習（幼・小）＊2	3年次	教育実習事前・事後指導（幼稚園）＊1 教育実習事前・事後指導（幼・小）＊2 （実習を履修する年度に開講されるもの）	保育基礎演習 教育原理 子どもの理解と援助 保育の心理学 保育の計画と評価 健康 人間関係 言葉 環境 保育内容総論
		保育者論＊ 表現＊ 保育内容（総合表現Ⅱ） （＊実習を履修する前年度までに修得することが望ましい）	保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（総合表現Ⅰ） } うち3科目以上
			音楽Ⅰ 音楽Ⅱ
			音楽Ⅲ 音楽Ⅳ 図画工作Ⅰ 体育Ⅰ 体育Ⅱ（幼児） } うち2科目以上

＊1…2023年度入学生に適用。
＊2…2024年度入学生のうち、幼稚園での実習を選択する場合に適用。

実習科目名	配当年次	履修要件	
		履修科目	修得科目
小学校教育実習Ⅰ・Ⅱ＊1 教育実習（幼・小）＊2	3年次	教育実習事前・事後指導（小学校）＊1 教育実習事前・事後指導（幼・小）＊2 （実習を履修する年度に開講されるもの） 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法 音楽科指導法 図工科指導法 家庭科指導法 体育科指導法 英語科指導法 教育心理学 教育課程論（初等） 道徳教育の理論と指導法（初等） 生徒指導論（初等）	国語（書写を含む。） 社会 算数 理科 生活 音楽Ⅰ 図画工作Ⅰ 家庭 体育Ⅰ 英語 （うち6科目以上） 教職論 教育原理 特別活動指導論（初等） 教育方法論（初等）（ICT 活用を含む） 教育相談（初等）
保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設）	2年次	保育実習指導Ⅰ （実習を履修する年度に開講されるもの） 保育者論 子どもの理解と援助＊ 保育の計画と評価＊ 健康＊ 人間関係＊ 言葉＊ 環境＊ 表現 （＊実習を履修する前年度までに修得することが望ましい）	保育基礎演習 保育原理 保育の心理学 保育内容総論 社会福祉 保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 障害児保育・特別支援教育 （うち2科目以上） 子どもの保健
保育実習Ⅱ または 保育実習Ⅲ	3年次	保育実習指導Ⅱ または 保育実習指導Ⅲ （実習を履修する年度に開講されるもの）	保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設） 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子ども家庭福祉 子育て支援 保育内容（健康） 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 保育内容（環境） 保育内容（総合表現Ⅰ） 保育内容（総合表現Ⅱ） 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ （うち3科目以上）

＊1…2023年度入学生に適用。
＊2…2024年度入学生のうち、小学校での実習を選択する場合に適用。

※各免許・資格取得に関し、法令で定められている履修科目の詳細は、「履修のてびき」の下記の各頁に示されているので各自で確認すること。

幼稚園教諭1種免許状…　180頁　　小学校教諭1種免許状…　185頁　　保育士資格…　247頁

※実習の履修については、各実習ごとに定められているすべての履修要件を満たしていなければ履修できない。実習の参加の可否は学科会議にて決定される。「履修のてびき」等で定められている各種手続きも履

修要件となるので滞りなく行うこと。

（4）実習の評価について

実習に関する評価については、各「実習の手引き」に定められている。

（5）警報発令の場合の実習実施について

自宅周辺地域、通勤経路、実習機関周辺地域に特別警報（種類を問わない）または暴風警報が発令された場合、基本的には自宅待機とする。解除された場合の実習再開については、実習先の指示を仰ぎ、再開の有無を教職・保育職支援センターに連絡すること。

G．人間健康学群

〈2022 年度入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 情報処理士	社会調査士	初級地域公共政策士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					
			京都光華の学び	演習	30	1				1			○		
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			○		
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					
			伝統文化	演習	30		1			1					
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					
			英会話Ⅰ	演習	30	1				1	選択				
			英会話Ⅱ	演習	30	1				1					
			英語文献を読むⅠ	演習	30	1				1					
			英語文献を読むⅡ	演習	30	1				1					
			医療英語	演習	30	1				1					
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1					
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1					
			ハングルⅠ	演習	30	1				1					
			ハングルⅡ	演習	30	1				1					
			海外での語学研修	実習	30	2				2					
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2					
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			仏教文化	講義	15	2				2					
			文化人類学	講義	15	2				2					
			言語と文学	講義	15	2				2					
			日本文化の理解	講義	15	2				2					
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					
			芸術文化論	講義	15	2				2					
			サブカルチャー論	講義	15	2				2					
			現代アジア事情	講義	15	2				2					
			現代欧米事情	講義	15	2				2					
			国際社会の理解	講義	15	2				2					○
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			社会学	講義	15	2				2					
			日本国憲法	講義	15	2				2					
			現代社会と法	講義	15	2				2					
			現代社会と政治	講義	15	2				2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 情報処理士	社会調査士	初級地域公共政策士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅱ群	くらしのなかの経済学	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2					
			生命の科学	講義	15	2				2					
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					
			地域と環境	講義	15	2				2					
			生活と防災	講義	15	2				2					
			ボランティア論	講義	15	2				2					
	キャリアデザイン		情報リテラシー基礎	演習	30	1				1	選択		○		
			情報リテラシー応用	演習	30	1				1			○		
			数的処理の基礎	演習	30	1				1					
			日本語表現の技法	演習	30	1				1					
			読解と思考の技法	演習	30	1				1					
			Webデザイン	演習	15		2			2					
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2					
			プログラミング入門	演習	15		2			2					
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2					
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2					
			データサイエンスPBL	演習	15		2			2					
			データサイエンスのための数学	講義	15	2				2					
			キャリア実習	実習	30	1				1					
			インターンシップ	実習	30			2		2					○
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修				
			日本語FⅡ	演習	30	1				1					
			日本語SⅠ	演習	30		1			1					
			日本語SⅡ	演習	30		1			1					
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1					
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1					
専門科目	専門基礎		基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修		○		
			基礎ゼミⅡ	演習	30		1			1			○		
			健康管理論	講義	15	2				2					
			仏教と社会福祉	講義	15		2			2					
			心理学概論	講義	15	2				2					
			食生活と健康	講義	15	2				2					
			公衆衛生学	講義	15		2			2					
			情報社会の理解	講義	15	2				2	選択		○		
			情報技術の理解	講義	15	2				2			○		
			社会と統計	講義	15		2			2				○	
			専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2					

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 情報処理士	社会調査士	初級地域公共政策士
専門科目	福祉と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15		2			2	必修				○
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15		2			2					○
		社会的処方	講義	15			2		2					○
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2			2	選択				○
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2			2					○
		社会保障論	講義	15			2		2					
		高齢者福祉	講義	15		2			2					○
		子ども家庭支援論	講義	15			2		2					
		ソーシャル・マネジメント原論	講義	15		2			2	必修				○
		地域公共政策	講義	15		2			2	選択				○
		社会政策	講義	15		2			2					○
		ソーシャルビジネス	講義	15		2			2					○
		ソーシャル・ビジネス演習	演習	30			1		1					○
	人と心理	社会心理学入門	講義	15		2			2	必修				
		臨床心理学入門	講義	15		2			2					
		発達心理学入門	講義	15		2			2					
		青年心理学	講義	15		2			2	選択				
		子どもと人間関係	演習	15			2		2					
		学習・言語心理学	講義	15		2			2					
		産業・組織心理学	講義	15		2			2					
		環境心理学	講義	15		2			2					
		子ども家庭支援の心理学	講義	15		2			2					○
	食べ物と栄養	生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修				
		食品学Ⅰ	講義	15	2				2					
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	選択				
		食品衛生学	講義	15		2			2	選択				
		食マーケティング論	講義	15			2		2	選択				
		基礎栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修				
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	選択				
		応用栄養学	講義	15			2		2	選択				
		公衆栄養学	講義	15			2		2	選択				
		子どもの食と栄養	講義	15			2		2	選択				
	ゼミナール	専門演習Ⅰ	演習	30			1		1	必修		○		
		専門演習Ⅱ	演習	30			1		1	必修		○		
		卒業研究	演習	30				4	4	必修				
	関連科目	女性と現代社会	講義	15		2			2	選択				
		女性とビジネス	講義	15		2			2	選択				
		女性と経済	講義	15		2			2	選択		○		
		女性のアントレプレナーシップ	演習	15			1		1	選択				
		労働と法規	講義	15			2		2	選択				

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 情報処理士	社会調査士	初級地域公共政策士
専門科目	関連科目	労働社会学	講義	15			2		2	選択				
		人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2	選択				
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2	選択				
		生活習慣病論	講義	15			2		2	選択				
		生涯スポーツ入門	講義	15	2				2	選択				
		生涯スポーツ実習	実習	30		1			1	選択				
		スポーツマネジメント論	講義	15			2		2	選択				
		社会調査法	講義	15			2		2	選択			○	
		社会調査実習Ⅰ	実習	30			1		1	選択			○	
		社会調査実習Ⅱ	実習	30			1		1	選択			○	
		データ解析入門	演習	30		1			1	選択		○	○	
		データ解析応用	演習	30		1			1	選択			○	
		コンピュータ活用C	演習	30			1		1	選択		○	○	
		教育原理	講義	15	2				2	選択				
		教育心理学	講義	15		2			2	選択				
		特別支援教育	講義	15		2			2	選択				
		教育の制度・運営	講義	15		2			2	選択				
		多文化理解	講義	15		2			2	選択				
		人権教育	講義	15		2			2	選択				
		生涯学習	講義	15			2		2	選択				
	自由科目	メディカルクラークⅠ	講義	15		2			2	自由				
		メディカルクラークⅡ	講義	15		2			2	自由				
		メディカルクラーク応用	講義	15		1			1	自由				
		ドクターズクラークⅠ	講義	15		2			2	自由				
		ドクターズクラークⅡ	講義	15		2			2	自由				
		健康政策特別演習Ⅰ	演習	30		1			1	自由				
		健康政策特別演習Ⅱ	演習	30			1		1	自由				
		健康政策特別演習Ⅲ	演習	30			1		1	自由				
		健康政策特別演習Ⅳ	演習	30				1	1	自由				

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目:32 単位以上（必修 10 単位、選択 22 単位以上）、専門科目 96 単位以上（必修 38 単位、選択 58 単位以上（選択科目は福祉と政策から 8 単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ 6 単位以上）修得し、128 単位以上修得すること。なお、他学部科目の修得単位は 10 単位までとする。

＜履修登録単位の上限＞

各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞

学期 GPA が「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、4 単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

人間健康学群

〈2023 年度以降入学生対象〉

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 情報処理士	社会調査士	初級地域公共政策士
リベラルアーツ教育科目	共通コア科目		仏教の人間観Ⅰ	講義	15	2				2	必修				
			仏教の人間観Ⅱ	講義	15	2				2					
			京都光華の学び	演習	30	1				1			◎		
			アカデミックスキル入門	演習	30	1				1			◎		
			アカデミックライティング	演習	30	1				1					
			データサイエンス入門	演習	30	1				1			◎		
			伝統文化	演習	30		1			1					
	外国語コミュニケーション		総合英語Ⅰ	演習	30	1				1					
			総合英語Ⅱ	演習	30	1				1					
			English in Use A	演習	30	1				1	選択				
			English in Use B	演習	30	1				1					
			English in Use C	演習	30	1				1					
			English in Use D	演習	30	1				1					
			English in Use E	演習	30	1				1					
			English in Use F	演習	30	1				1					
			医療英語	演習	30	1				1					
			中国語Ⅰ	演習	30	1				1					
			中国語Ⅱ	演習	30	1				1					
			ハングルⅠ	演習	30	1				1					
			ハングルⅡ	演習	30	1				1					
			海外での語学研修	実習	30	2				2					
	健康とスポーツ		健康の科学	講義	15	2				2					
			食生活と健康	講義	15	2				2					
			生涯スポーツ入門	講義	15	2				2					
			スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				1					
			スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				1					
			アダプテッドスポーツ	実習	30	1				1					
			マインドフルネス	実習	30	1				1					
			教養囲碁入門	実習	30	1				1					
	人文・社会・自然	Ⅰ群	哲学と倫理	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			くらしのなかの宗教	講義	15	2				2					
			仏教文化	講義	15	2				2					
			文化人類学	講義	15	2				2					
			言語と文学	講義	15	2				2					
			日本文化の理解	講義	15	2				2					
			京都の歴史と文化	講義	15	2				2					
			芸術文化論	講義	15	2				2					
			サブカルチャー論	講義	15	2				2					

区分			学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 情報処理士	社会調査士	初級地域公共政策士
リベラルアーツ教育科目	人文・社会・自然	Ⅰ群	現代アジア事情	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			現代欧米事情	講義	15	2				2					
			国際社会の理解	講義	15	2				2					○
			国際社会とジェンダー	講義	15	2				2					
		Ⅱ群	心理学	講義	15	2				2	選択必修2単位				
			社会学	講義	15	2				2					
			日本国憲法	講義	15	2				2					
			現代社会と法	講義	15	2				2					
			現代社会と政治	講義	15	2				2					
			くらしのなかの経済学	講義	15	2				2					
			くらしのなかの統計学	講義	15	2				2			○		
			情報社会の理解	講義	15	2				2			○		
			生命の科学	講義	15	2				2					
			生活と物理・化学	講義	15	2				2					
			地域と環境	講義	15	2				2					
			生活と防災	講義	15	2				2					
			ボランティア論	講義	15	2				2					
	キャリアデザイン		情報リテラシー	演習	30	1				1	選択		◎		
			情報技術の理解	講義	15	2				2			◎		
			数的処理の基礎	演習	30	1				1					
			読解と思考の技法	演習	30	1				1					
			Webデザイン	演習	15		2			2					
			産官学連携プロジェクト	演習	15	2				2					
			キャリア実習	実習	30	1				1					
			インターンシップ	実習	30			2		2					○
	データサイエンス・AI		データサイエンスのための数学	講義	15	2				2	選択				
			プログラミング入門	演習	15	2				2					
			AIへのアプローチ	講義	15		2			2			○		
			データサイエンスへのアプローチ	講義	15		2			2			○		
			データサイエンスPBL	演習	15		2			2			○		
	留学生		日本語FⅠ	演習	30	1				1	外国人留学生必修	※2024年度以降入学生対象			
			日本語FⅡ	演習	30	1				1					
			日本語SⅠ	演習	30		1			1					
			日本語SⅡ	演習	30		1			1					
			日本事情Ⅰ	演習	30	1				1					
			日本事情Ⅱ	演習	30	1				1					
専門科目	専門基礎		基礎ゼミⅠ	演習	30	1				1	必修				
			基礎ゼミⅡ	演習	30		2			1					
			健康管理論	講義	15	2				2					
			仏教と社会福祉	講義	15		2			2		※2023年度以前入学生対象			

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 情報処理士	関連資格 社会調査士	関連資格 初級地域公共政策士
専門科目	専門基礎	心の健康と社会福祉	講義	15		2			2	必修	※2024年度以降入学生対象			
		心理学概論	講義	15	2				2					
		食生活論	講義	15	2				2					
		公衆衛生学	講義	15		2			2					
		社会調査入門	講義	15		2			2	選択			◎	
		専門職の連携（基礎）	講義	15	2				2					
	福祉と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	15		2			2	必修				○
		社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	15		2			2					○
		社会的処方	講義	15			2		2					○
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	15		2			2	選択				○
		地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	15		2			2					○
		社会保障論	講義	15			2		2					
		高齢者福祉	講義	15		2			2					○
		子ども家庭支援論	講義	15			2		2					
		ソーシャル・マネジメント原論	講義	15		2			2	必修				○
		地域公共政策	講義	15			2		2	選択				○
		社会と環境	講義	15		2			2					○
		ソーシャルビジネス	講義	15		2			2					○
		ソーシャル・ビジネス演習	演習	30			1		1			○		○
	人と心理	社会心理学入門	講義	15		2			2	必修				
		臨床心理学入門	講義	15		2			2					
		発達心理学入門	講義	15		2			2					
		青年心理学	講義	15		2			2	選択				
		子どもと人間関係	演習	15			2		2					
		学習・言語心理学	講義	15		2			2					
		産業・組織心理学	講義	15		2			2					
		環境心理学	講義	15		2			2					
		子ども家庭支援の心理学	講義	15		2			2					○
	食べ物と栄養	生命科学の基礎	講義	15	2				2	必修				
		食品学Ⅰ	講義	15	2				2					
		食品学Ⅱ	講義	15		2			2	選択				
		食品衛生学	講義	15		2			2					
		食マーケティング論	講義	15			2		2					
		基礎栄養学Ⅰ	講義	15		2			2	必修				
		基礎栄養学Ⅱ	講義	15		2			2	選択				
		応用栄養学Ⅰ	講義	15			2		2					
		公衆栄養学	講義	15			2		2					
		子どもの食と栄養	演習	15			2		2					

区分		学科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	単位計	必・選・自	備考	関連資格 情報処理士	関連資格 社会調査士	関連資格 初級地域公共政策士
専門科目	ゼミナール	専門演習Ⅰ	演習	30			1		1	必修		◎		
		専門演習Ⅱ	演習	30			1		1			◎		
		卒業研究	演習	30				4	4					
	関連科目	女性と現代社会	講義	15		2			2	選択				
		女性とメディカル	講義	15		2			2					
		女性と経済	講義	15		2			2					
		女性のアントレプレナーシップ	講義	15			2		2					
		労働と法規	講義	15			2		2					
		労働社会学	講義	15			2		2					
		人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2				2					
		人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2			2					
		生活習慣病論	講義	15			2		2					
		生涯スポーツ論	講義	15	2				2					
		生涯スポーツ実習	実習	30		1			1					
		スポーツマネジメント論	講義	15			2		2					
		社会調査法	講義	15			2		2				◎	
		社会調査実習Ⅰ	実習	30			1		1				◎	
		社会調査実習Ⅱ	実習	30			1		1				◎	
		データサイエンス実践	演習	15		2			2				◎	
		データサイエンス発展	演習	15			2		2				◎	
		ビジネスデータ分析基礎	演習	15			2		2			○	◎	
		教育原理	講義	15	2				2					
		教育心理学	講義	15		2			2					
		特別支援教育	講義	15		2			2					
		教育の制度・運営	講義	15		2			2					
		多文化理解	講義	15		2			2					
		人権教育	講義	15		2			2					
		生涯学習	講義	15			2		2					
	自由科目	メディカルクラークⅠ	講義	15		2			2	自由				
		メディカルクラークⅡ	講義	15		2			2					
		メディカルクラーク応用	講義	15		1			1					
		ドクターズクラークⅠ	講義	15		2			2					
		ドクターズクラークⅡ	講義	15		2			2					
		健康政策特別演習Ⅰ	演習	30	1				1					
		健康政策特別演習Ⅱ	演習	30			1		1					
		健康政策特別演習Ⅲ	演習	30			1		1					
		健康政策特別演習Ⅳ	演習	30				1	1					

＜卒業要件及び履修方法＞

リベラルアーツ教育科目:32 単位以上（必修 11 単位、選択 21 単位以上）、専門科目 96 単位以上（必修 38 単位、選択 58 単位以上（選

択科目は福祉と政策から 8 単位以上、人と心理、食べ物と栄養の区分からそれぞれ 6 単位以上）修得し、128 単位以上修得すること。
なお、他学部科目の修得単位は 10 単位までとする。

＜履修登録単位の上限＞
各年次にわたって無理なく効果的に授業科目を学習するために、1 年間に履修登録できる単位数の上限を、卒業要件に関する科目については、48 単位以内とする。
ただし、非要卒科目（自由科目）に関しては、上限単位を超えて登録を認めることがある。
その場合は、所属学科の教務委員の教員の承認を得て、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜履修登録上限単位の緩和＞
2020 年度入学生より、学期ＧＰＡが「3.3 以上」の場合、学生は翌学期に開講されている科目中から、４単位の範囲内で履修単位数を増やすことができる。履修単位数の緩和を希望する学生は、P. 7 を確認の上、履修登録期間中、学生サポートセンター修学担当にて所定の手続きを行うこと。

＜関連資格について＞
◎…必修科目、○…選択科目となる。取得希望の資格の該当ページをよく確認し、計画的に履修すること。

Ⅲ　認　定　制　度

● 光華 EDUAL（Essential Data Utilization and AI Literacy）プログラム

本学では、各学部の専門知識に加え、データや AI を使いこなすための基礎的素養を持つ人材の育成を目指し、リテラシーレベルおよび応用基礎レベルの実践的な教育を実施している（＊1）。プログラム修了者には認定証（PDF）を発行する。

（＊1）文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル、応用基礎レベル）の認定を受けている。

A）リテラシーレベル（全学科対象）

下表の必修科目を修得した者に、リテラシーレベル（★、シルバー）を認定する。なお、選択科目の履修は認定要件としないが、あわせて履修することが望ましい。

【2021・2022 年度入学生】

区分	科目名	配当年次	単位数
必修	情報リテラシー応用	1	1
	京都光華の学び	1	1
	アカデミックスキル入門	1	1
	アカデミックライティング	1	1
選択	情報リテラシー基礎	1	1
	くらしのなかの統計学	1・2	2
	プログラミング入門	2・3	2

【2023 年度以降入学生】

区分	科目名	配当年次	単位数
必修	データサイエンス入門	1	1
	京都光華の学び	1	1
	アカデミックスキル入門	1	1
	アカデミックライティング	1	1
選択	情報リテラシー	1	1
	くらしのなかの統計学	1・2	2
	プログラミング入門	1・2	2

B）応用基礎レベル（全学科対象）

下表の必修５科目と選択必修１科目を修得した者に、応用基礎レベル（★★、ゴールド）を認定する。

【2021・2022 年度入学生】

区分	科目名	配当年次	単位数
必修	情報リテラシー応用	1	1
	京都光華の学び	1	1
	データサイエンスへのアプローチ （または、2022 年度以前「くらしのなかの統計学」）	2・3 （1・2）	2
	ＡＩへのアプローチ （または、2022 年度以前「情報技術の理解」）	2・3 （1・2）	2
	データサイエンス PBL （または、2022 年度「産官学連携プロジェクトｄ」）	2・3 （1・2）	2
選択必修 （1 科目）	データサイエンスのための数学 （または、2022 年度以前「数的処理の基礎」）	1・2	2
	くらしのなかの統計学（2023 年度以降）	1・2	2
	プログラミング入門	2・3	2

【2023 年度以降入学生】

区分	科目名	配当年次	単位数
必修	データサイエンス入門	1	1
	京都光華の学び	1	1
	データサイエンスへのアプローチ	2・3	2
	ＡＩへのアプローチ	2・3	2
	データサイエンス PBL	2・3	2
選択必修 （1 科目）	データサイエンスのための数学	1・2	2
	プログラミング入門	1・2	2
	くらしのなかの統計学	1・2	2

C）応用基礎レベル（キャリア形成学部）

キャリア形成学部には、全学対象プログラム（B）に加えて、キャリア形成学部独自の応用基礎プログラムがある。認定要件は下記の通りである。

【2020～2022 年度入学生】

下表の必修４科目に加えて、選択必修３単位以上を修得した者に応用基礎レベル（★★、ゴールド）、選択必修７単位以上を修得した者に応用基礎レベル（★★★、ピンクゴールド）を認定する。

区分	科目名	単位数
必修	情報リテラシー応用※	1
	情報技術の理解（キャリア形成学科専門科目）	2
	コンピュータ活用Ｃ	1
	データ解析入門	1

選択必修 ★★：3単位以上 ★★★：7単位以上	数と社会	1
	コンピュータ活用Ａｂ（テキストマイニング）	1
	経営情報	2
	社会調査法	2
	社会調査実習Ⅰ	1
	社会調査実習Ⅱ	1
	データ解析応用	1
	数的処理の基礎※	1
	くらしのなかの統計学※	2
	プログラミング入門※	2

※印の科目は、リベラルアーツ教育科目

【2023年度以降入学生】

下表の必修5科目に加えて、選択必修3単位以上を修得した者に応用基礎レベル（★★、ゴールド）、選択必修7単位以上を修得した者に応用基礎レベル（★★★、ピンクゴールド）を認定する。

本プログラム	科目名	単位数
必修	データサイエンス入門※	1
	京都光華の学び※	1
	ＡＩへのアプローチ※	2
	ビジネスデータ分析基礎	2
	データサイエンス実践	2
選択必修 ★★：3単位以上 ★★★：7単位以上	経営学のための数学基礎	1
	テキストマイニング	2
	経営情報	2
	社会調査法	2
	社会調査実習Ⅰ	1
	社会調査実習Ⅱ	1
	データサイエンス発展	2
	ビジネスデータ分析応用	2
	データサイエンスのための数学※	2
	データサイエンスへのアプローチ※	2
	くらしのなかの統計学※	2
	プログラミング入門※	2

※印の科目は、リベラルアーツ教育科目

Ⅳ　資格の取得

1．教育職員免許法

教員となるためには、教育職員免許状を取得しなければならない。

教職課程は、教育職員免許状の取得を希望して、教育の専門職たるにふさわしい学力と資質とを努めて身につけようとする者のために、教育職員免許法に基づく免許状取得に必要な単位が修得できるよう編成されている課程である。

教職課程を履修する者は、卒業所要単位のほかに、教職関連科目の単位を所定の基準に従って滞りなく修得していかなければならない。取得を希望する免許状の種類や数によっては、卒業所要単位に大幅に上乗せした単位数を取得する必要があることを、あらかじめ理解されたい。

また、免許状は教員としての資格要件に過ぎず、実際に教員として任用されるためには、各任命権者が実施する教員採用試験に合格せねばならない。近年、全体での競争倍率は低下傾向にあるものの、保健体育、養護教諭、栄養教諭については依然として採用者数が志願者数に比して極めて少ない状況である。加えて、若年人口の減少に伴い、中長期的には新規採用者数の減少が予想される。それ故、将来教員になることを強く希望する者は、免許状取得に向けてのみならず、採用試験に向けても、入学時より綿密な学習計画をたて、努力を積み重ねていくことが求められる。

一方で、卒業後すぐに教職に就くことを希望せず、将来の選択肢を増やすための資格の一つとして免許状の取得を希望する者もいることだろう。将来的な目標は入学後に変化することもあり、そのような動機による履修自体は必ずしも否定されるものではない。とはいえ、教職課程の履修が過重な負担となり、本業である学科での学びが疎かになることは絶対にあってはならないことである。優先すべきは、あくまでも各学科・専攻での学びである。

従って、教職課程の履修は、両立が可能であるかどうかを熟慮した上で、主体的に決定されたい。とりわけ、看護学科においては、1年次のGPAが基準を下回ると翌年度以降の教職課程の履修が認められないため、入学当初からの計画的な取り組みが必須である。

なお、小学校・中学校の普通免許状取得希望者は7日間の介護等体験が義務づけられ、免許状申請時に「介護等体験証明書」を提出しなければならない。

取得できる教育職員免許状の教科および種類

学部	学科・専攻	免許状の種類	ページ
こども教育学部	こども教育学科	幼稚園教諭一種免許状	180
		小学校教諭一種免許状	185
健康科学部	健康栄養学科　管理栄養士専攻	栄養教諭一種免許状	193
	健康栄養学科　健康スポーツ栄養専攻	栄養教諭二種免許状	196
		中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育）	200
	看護学科	養護教諭一種免許状	220

教育職員免許状を取得するための基礎資格と必要単位数

〈2021 年度以降入学生〉

免許状の種類	基礎資格	大学における最低修得単位数
		教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること	51
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	59
中学校教諭一種免許状（保健体育）	学士の学位を有すること	59
高等学校教諭一種免許状（保健体育）	学士の学位を有すること	59
栄養教諭一種免許状	学士の学位を有すること 管理栄養士受験資格を有すること 栄養士免許を受けていること	22
栄養教諭二種免許状	学士の学位を有すること 栄養士免許を受けていること	14
養護教諭一種免許状	学士の学位を有すること 看護師受験資格を有すること	56

こども教育学科

幼稚園教諭１種免許状（新法）

１．教育の基礎的理解に関する科目〈2021～2023 年度入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目											共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	コース別必・選 幼児教育コース	コース別必・選 学校教育コース		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15	必	2				必	必	小	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	選必	2				選	必		いずれか１科目選択必修
			保育者論	講義	15	選必		2			選	選		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度・運営	講義	15	必			2		必	必	小	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	講義	15	選必	2				必	選		いずれか１科目選択必修
			教育心理学	講義	15	選必		2			選	必	小	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		障害児保育・特別支援教育	演習	15	必		2			選	選		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育の計画と評価	講義	15	選必	2				選	選		いずれか１科目選択必修
			教育課程論（初等）	講義	15	選必		2			選	必	小	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	保育方法論	講義	15	選必			2		選	選		いずれか１科目選択必修
			教育方法論（初等）（ICT 活用を含む）	講義	15	選必		2			選	必	小	2021 年度入学生対象「教育方法論（初等）」
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	演習	15	必	2				必	必		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		子ども家庭支援の心理学	講義	15	選必		2			選	選		いずれか１科目選択必修
			教育相談（初等）	講義	15	選必		2			選	必	小	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導（幼稚園）	演習	30	必			1		選	選		
			幼稚園教育実習	実習	40	必			4		選	選		
	学校体験活動													
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2	選	選	小	

1．教育の基礎的理解に関する科目〈2024 年度入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目											
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	コース別必・選 幼児教育コース	コース別必・選 学校教育コース	共通開設免許種	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15	必	2				必	必	小	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	選必	2				選	必		いずれか1科目選択必修
			保育者論	講義	15	選必		2			選	選		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度・運営	講義	15	必			2		必	必	小	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	講義	15	選必	2				必	選		いずれか1科目選択必修
			教育心理学	講義	15	選必		2			選	必	小	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		障害児保育・特別支援教育	演習	15	必		2			選	選		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育の計画と評価	講義	15	選必	2				選	選		いずれか1科目選択必修
			教育課程論（初等）	講義	15	選必		2			選	必	小	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	保育方法論	講義	15	選必			2		選	選		いずれか1科目選択必修
			教育方法論（初等）（ICT 活用を含む）	講義	15	選必		2			選	必	小	
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	演習	15	必	2				必	必		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		子ども家庭支援の心理学	講義	15	選必		2			選	選		いずれか1科目選択必修
			教育相談（初等）	講義	15	選必		2			選	必	小	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導（幼・小）	演習	30	必			1		選	選	小	
			教育実習（幼・小）	実習	40	必			4		選	選	小	
	学校体験活動													
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2	選	選	小	

2．領域及び保育内容の指導法に関する科目〈2021 年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目										備考
科目区分		最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数				コース別必・選		
							1年	2年	3年	4年	幼児教育コース	学校教育コース	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	16	健康	講義	15	必	2				必	選	
			人間関係	講義	15	必	2				必	選	
			言葉	講義	15	必	2				必	選	
			環境	講義	15	必	2				必	選	
			表現	講義	15	必		2			必	選	
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論	演習	15	必	2				必	選	
			保育内容（健康）	演習	30	必	1				必	選	
			保育内容（人間関係）	演習	30	必	1				必	選	
			保育内容（言葉）	演習	30	必		1			必	選	
			保育内容（環境）	演習	30	必		1			必	選	
			保育内容（総合表現Ⅰ）	演習	30	必		1			必	選	
			保育内容（総合表現Ⅱ）	演習	30	必			1		必	選	
			保育内容（総合表現Ⅲ）	演習	30	選				1	選	選	
			保育内容研究	演習	15	選				2	選	選	

3. 大学が独自に設定する科目〈2021 年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目										備　考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必･選	単位数				コース別必・選		
					1年	2年	3年	4年	幼児教育コース	学校教育コース	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15	必				2	必	必	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」について、併せて6単位以上修得
	音楽Ⅰ	演習	30	必	1				必	必	
	音楽Ⅱ	演習	30	必	1				選	選	
	音楽Ⅲ	演習	30	必		1			選	選	
	音楽Ⅳ	演習	30	必		1			選	選	
	音楽Ⅴ	演習	30	選			1		選	選	
	音楽Ⅵ	演習	30	選				1	選	選	
	音楽Ⅶ	演習	30	選				1	選	選	
	図画工作Ⅰ	演習	30	必		1			必	必	
	図画工作Ⅱ	演習	30	選			1		選	選	
	体育Ⅰ	実習	30	必		1			必	必	
	体育Ⅱ（幼児）	演習	30	選		1			選	選	

4. 文部科学省令に定める科目
〈2021 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必･選	単位数				コース別必・選		備　考
						1年	2年	3年	4年	幼児教育コース	学校教育コース	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健康の科学	講義	15	必	2				選	選	
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	必	1				選	選	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1				必	必	
		総合英語Ⅱ	演習	30	必	1				必	必	
情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	必	1				選	選	
		情報リテラシー応用	演習	30	必	1				選	選	

〈2022 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	コース別必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健康の科学	講義	15	必	2				選	選	
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	必	1				選	選	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1				必	必	
		総合英語Ⅱ	演習	30	必	1				必	必	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	必	1				選	選	情報機器の操作 2単位
		情報リテラシー応用	演習	30	必	1				選	選	

〈2023 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	コース別必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健康の科学	講義	15	必	2				選	選	
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	必	1				選	選	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1				必	必	
		総合英語Ⅱ	演習	30	必	1				必	必	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	必	1				選	選	情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	必	1				必	必	

こども教育学科

小学校教諭１種免許状（新法）

１．教育の基礎的理解に関する科目〈2021 年度入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目										共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	コース別必・選 幼児教育コース	学校教育コース		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15	必	2				必	必	幼	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	必	2				選	必		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度・運営	講義	15	必			2		必	必		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	必		2			選	必		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15	必		2			選	必		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（初等）	講義	15	必		2			選	必	幼	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法（初等）	講義	15	必			2		選	必		
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	講義	15	必			2		選	必		
	特別活動の指導法		特別活動指導論（初等）	講義	15	必		2			選	必		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論（初等）	講義	15	必		2			選	必	幼	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論（初等）	講義	15	必			2		選	必		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法													
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（初等）	講義	15	必		2			選	必	幼	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導（小学校）	演習	30	必			1		選	選		
			小学校教育実習Ⅰ	実習	40	必			2		選	選		
			小学校教育実習Ⅱ	実習	40	必			2		選	選		
	学校体験活動													
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2	選	選	幼	

1．教育の基礎的理解に関する科目〈2022 年度入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目										共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	コース別必・選 幼児教育コース	コース別必・選 学校教育コース		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15	必	2				必	必	幼	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	必	2				選	必		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度・運営	講義	15	必			2		必	必		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	必		2			選	必		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15	必		2			選	必		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（初等）	講義	15	必		2			選	必	幼	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法(初等)	講義	15	必			2		選	必		
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	講義	15	必			2		選	必		
	特別活動の指導法		特別活動指導論(初等)	講義	15	必		2			選	必		
	教育の方法及び技術		教育方法論（初等）（ICT 活用を含む）	講義	15	必		2			選	必	幼	
	情報通信技術を活用した理論及び方法													
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論（初等）	講義	15	必			2		選	必		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法													
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（初等）	講義	15	必		2			選	必	幼	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導(小学校)	演習	30	必			1		選	選		
			小学校教育実習Ⅰ	実習	40	必			2		選	選		
			小学校教育実習Ⅱ	実習	40	必			2		選	選		
	学校体験活動													
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2	選	選	幼	

1．教育の基礎的理解に関する科目〈2023 年度入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目										共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	コース別必・選 幼児教育コース	コース別必・選 学校教育コース		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15	必	2				必	必	幼	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	必	2				選	必		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度・運営	講義	15	必			2		必	必		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	必		2			選	必		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		障害児保育・特別支援教育	演習	15	必		2			選	選		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（初等）	講義	15	必		2			選	必	幼	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法(初等)	講義	15	必			2		選	必		
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	講義	15	必			2		選	必		
	特別活動の指導法		特別活動指導論(初等)	講義	15	必		2			選	必		
	教育の方法及び技術		教育方法論（初等）（ICT 活用を含む）	講義	15	必		2			選	必	幼	
	情報通信技術を活用した理論及び方法													
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論（初等）	講義	15	必			2		選	必		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法													
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（初等）	講義	15	必		2			選	必	幼	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導(小学校)	演習	30	必			1		選	選		
			小学校教育実習Ⅰ	実習	40	必			2		選	選		
			小学校教育実習Ⅱ	実習	40	必			2		選	選		
	学校体験活動													
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2	選	選	幼	

1．教育の基礎的理解に関する科目〈2024 年度入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目										共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	コース別必・選 幼児教育コース	コース別必・選 学校教育コース		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15	必	2				必	必	幼	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	必	2				選	必		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度・運営	講義	15	必			2		必	必		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15	必		2			選	必		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		障害児保育・特別支援教育	演習	15	必		2			選	選		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（初等）	講義	15	必		2			選	必		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法(初等)	講義	15	必			2		選	必		
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	講義	15	必			2		選	必		
	特別活動の指導法		特別活動指導論(初等)	講義	15	必		2			選	必		
	教育の方法及び技術		教育方法論（初等）（ICT 活用を含む）	講義	15	必		2			選	必	幼	
	情報通信技術を活用した理論及び方法													
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論（初等）	講義	15	必			2		選	必		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法													
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（初等）	講義	15	必		2			選	必	幼	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前・事後指導(幼・小)	演習	30	必			1		選	選	幼	
			教育実習（幼・小）	実習	40	必			4		選	選	幼	
	学校体験活動													
	教職実践演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必				2	選	選	幼	

2．教科及び教科の指導法に関する科目〈2021 年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目										共通開設免許種	備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	コース別必・選 幼児教育コース	コース別必・選 学校教育コース		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	国語（書写を含む。）	講義	15	必	2				選	必		
		社会	社会	講義	15	必	2				選	必		
		算数	算数	講義	15	必	2				選	必		
		理科	理科	講義	15	必	2				選	必		
		生活	生活	講義	15	必		2			選	必		
		音楽	音楽 Ⅰ	演習	30	必	1				必	必		
			音楽 Ⅱ	演習	30	必	1				選	選		
			音楽 Ⅲ	演習	30	必		1			選	選		
			音楽 Ⅳ	演習	30	選		1			選	選		
			音楽 Ⅴ	演習	30	選			1		選	選		
			音楽 Ⅵ	演習	30	選				1	選	選		
			音楽 Ⅶ	演習	30	選				1	選	選		
		図画工作	図画工作 Ⅰ	演習	30	必		1			必	必		
			図画工作 Ⅱ	演習	30	選			1		選	選		
		家庭	家庭	講義	15	必		2			選	必		
		体育	体育 Ⅰ	実習	30	必		1			必	必		
			体育 Ⅱ（児童）	演習	30	選		1			選	選		
		外国語	英語	講義	15	必		2			選	必		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目													

3．教科及び教科の指導法に関する科目〈2021 年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目										備　考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数				コース別必・選		
							1年	2年	3年	4年	幼児教育コース	学校教育コース	
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国　語（書写を含む。）	国語科指導法	講義	15	必		2			選	必	
		社　会	社会科指導法	講義	15	必		2			選	必	
		算　数	算数科指導法	講義	15	必		2			選	必	
		理　科	理科指導法	講義	15	必		2			選	必	
		生　活	生活科指導法	講義	15	必		2			選	必	
		音　楽	音楽科指導法	講義	15	必			2		選	必	
		図画工作	図工科指導法	講義	15	必			2		選	必	
		家　庭	家庭科指導法	講義	15	必			2		選	必	
		体　育	体育科指導法	講義	15	必			2		選	必	
		外国語	英語科指導法	講義	15	必			2		選	必	

4．大学が独自に設定する科目〈2021 年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目									備　考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数				コース別必・選		
					1年	2年	3年	4年	幼児教育コース	学校教育コース	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15	必				2	必	必	

5．文部科学省令に定める科目

〈2021 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	コース別必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健康の科学	講義	15	必	2				選	選	
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	必	1				選	選	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1				必	必	
		総合英語Ⅱ	演習	30	必	1				必	必	
情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	必	1				選	選	
		情報リテラシー応用	演習	30	必	1				選	選	

〈2022 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	コース別必・選 幼児教育コース	学校教育コース	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健康の科学	講義	15	必	2				選	選	
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	必	1				選	選	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1				必	必	
		総合英語Ⅱ	演習	30	必	1				必	必	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	必	1				選	選	情報機器の操作 2単位
		情報リテラシー応用	演習	30	必	1				選	選	

〈2023 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	教免必・選	単位数 1年	単位数 2年	単位数 3年	単位数 4年	コース別必・選 幼児教育コース	コース別必・選 学校教育コース	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	必	2				選必	選必	
体育	2	健康の科学	講義	15	必	2				選	選	
		スポーツ実技Ⅰ	実習	30	必	1				選	選	
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1				必	必	
		総合英語Ⅱ	演習	30	必	1				必	必	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	必	1				選	選	情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	必	1				必	必	

健康栄養学科・管理栄養士専攻〈2021 年度以降入学生対象〉

栄養教諭 1 種免許状（新法）

1．教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等		最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項					1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理	講義	15		2			養護 栄二 中（保） 高（保）	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 養護 栄二 中（保） 高（保）	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	講義	15		2			養護 栄二 中（保） 高（保）	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探求の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			養護 栄二 中（保）	
			特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護 栄二 中（保） 高（保）	2020・2021年度入学生「教育方法論」
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論（ICT 活用を含む）	講義	15		2				
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	事前・事後指導	実習	30			1		栄二	
			栄養教育実習	実習	45			1			
	教職実践演習	2	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2		

2．栄養に係る教育に関する科目

科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				備考
						1年	2年	3年	4年	
栄養に係る教育に関する科目	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養教育論	講義	15	2				教免必修
	・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項									
	・食生活に関する歴史的及び文化的事項									
	・食に関する指導の方法に関する事項		学校栄養教育実践論					2		

3．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備　考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15		2			教免必修

4．文部科学省令に定める科目

〈2021 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備　考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2022 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備　考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2023 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

(1) 教育の基礎的理解に関する科目
原則として３年次修了までに次の 22 単位を修得し、教育実習事前指導を受講していること。
・教職論　２単位
・教育原理　２単位
・教育心理学　２単位
・教育行政学　２単位
・特別支援教育　２単位
・教育課程論　２単位
・道徳教育の理論と指導法　２単位
・特別活動及び総合的な学習の時間　２単位
・教育方法論
2022 年度以降（「教育方法論（ICT 活用含む）」　２単位
・生徒指導及び進路指導論　２単位
・教育相談　２単位
・事前・事後指導　１単位
※事前・事後指導については、３年次後期と４年次後期に実施するため、履修登録は３年次・４年次に行うこと。

(2) 栄養に係る教育に関する科目
原則として３年次修了時までに、以下の科目を修得していること。
・学校栄養教育論　２単位
・学校栄養教育実践論　２単位

(3) 大学が独自に設定する科目
原則として３年次修了時までに、以下の科目を修得していること。
・人権教育　２単位

(4) 文部科学省令に定める科目
原則として３年次修了までに、免許法施行規則の４科目のそれぞれから２単位以上、計８単位を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻

栄養教諭２種免許状（新法）

１．教育の基礎的理解に関する科目等〈2021 年度入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等		最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項					1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	5	教育原理	講義	15		2			養護 栄一 中(保) 高(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 養護 栄一 中(保) 高(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄一 中(保) 高(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探求の時間並びに特別活動に関する内容	3	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			養護 栄一 中(保)	
			特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護 栄一 中(保) 高(保)	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論	講義	15		2				
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	事前・事後指導	実習	30			1		栄一	
			栄養教育実習	実習	45			1			
	教職実践演習	2	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2		

〈2022 年度以降入学生対象〉

施行規則に定める科目区分等		最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項					1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	5	教育原理	講義	15		2			養護 栄一 中(保) 高(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 養護 栄一 中(保) 高(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄一 中(保) 高(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探求の時間並びに特別活動に関する内容	3	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			養護 栄一 中(保)	
			特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護 栄一 中(保) 高(保)	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論（ICT活用含む）	講義	15		2				
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	事前・事後指導	実習	30			1		栄一	
			栄養教育実習	実習	45			1			
	教職実践演習	2	教職実践演習（栄養教諭）	演習	15				2		

2．栄養に係る教育に関する科目

科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				備考
						1年	2年	3年	4年	
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	2	栄養教諭のための理論と実践	講義	15			2		教免必修
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項									
	食生活に関する歴史的及び文化的事項並びに食に関する指導の方法に関する事項									

３．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備　考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人　権　教　育	講義	15		2			教免必修

４．文部科学省令に定める科目

〈2021 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備　考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日　本　国　憲　法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2022 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備　考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日　本　国　憲　法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30		1			
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2023 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

(1) 教育の基礎的理解に関する科目
原則として３年次修了までに次の 22 単位を修得し、教育実習事前指導を受講していること。

・教職論　２単位
・教育原理　２単位
・教育心理学　２単位
・教育行政学　２単位
・特別支援教育　２単位
・教育課程論　２単位
・道徳教育の理論と指導法　２単位
・特別活動及び総合的な学習の時間　２単位
・教育方法論
　教育方法論（ICT を含む）※ 2022 年度以降　２単位
・生徒指導及び進路指導論　２単位
・教育相談　２単位
・事前・事後指導　１単位
　※事前・事後指導については、３年次後期と４年次後期に実施するため、履修登録は３年次・４年次に行うこと。

(2) 栄養に係る教育に関する科目
原則として３年次修了時までに、以下の科目を修得していること。

・栄養教諭のための理論と実践　２単位

(3) 大学が独自に設定する科目
原則として３年次修了時までに、以下の科目を修得していること。

・人権教育　２単位

(4) 文部科学省令に定める科目
原則として３年次修了までに、免許法の４科目のそれぞれから２単位以上、計８単位を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻〈2021 年度入学生対象〉

中学校教諭 1 種免許状（保健体育）（新法）

1．教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15		2			養護 栄一 栄二 高(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 養護 栄一 栄二 高(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄一 栄二 高(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			養護 栄一 栄二 高(保)	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護 栄一 栄二 高(保)	
	特別活動の指導法										
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論	講義	15		2				
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1		高(保)	
			教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2		
			教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2		
	学校体験活動										
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	高(保)	教免必修

2．教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	28	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	実習	30		1			高（保）	教免必修
				健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅴ（ダンス）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅵ（陸上競技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅶ（ゴール型・ベースボール型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅷ（ネット型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅸ（柔道）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅹ（野外活動）	実習	30		1				選択
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		体育・スポーツ原理	講義	15		2				教免必修
				スポーツ心理学	講義	15		2				
				スポーツマネジメント論	講義	15			2			
				スポーツ社会学	講義	15		2				
				生涯スポーツ論	講義	15	2					選択
				体育・スポーツ史	講義	15		2				教免必修
				バイオメカニクス	講義	15			2			
				トレーニング論	講義	15		2				
		生理学（運動生理学を含む。）		運動生理学	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2				選択
				スポーツ医学	講義	15			2			
				スポーツ栄養学Ⅰ	講義	15		2				
				健康評価実習	実習	45		1				
		衛生学・公衆衛生学		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2				教免必修
				公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2				選択
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		学校保健	講義	15			2			教免必修
				安全管理と救急処置	講義	15			2			
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目										

		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			高(保)	教免必修
				保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2			
				保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2			
				保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2			

３．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備　考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人　権　教　育	講義	15		2			教免必修

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて２単位以上を修得

４．文部科学省令に定める科目

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備　考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日　本　国　憲　法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として３年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1．教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計 22 単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。中学校一種免許状の取得を希望する場合は、「道徳教育の理論と指導法」を併せて修得し、「介護等体験」を済ませておくこと。
2．教科に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て（計 39 単位）が修得済みであること。
3．大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。
4．文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから２単位以上、計８単位以上を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻〈2021 年度入学生対象〉
高等学校教諭 1 種免許状（保健体育）（新法）
1．教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 養護 栄一 栄二 中(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8									
	総合的な探求の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	教免必修
	特別活動の指導法										
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論	講義	15		2				
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1		中(保)	
			教育実習(中・高)Ⅰ	実習	30				2		
			教育実習(中・高)Ⅱ	実習	30				2		
	学校体験活動										
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	演習	15				2	中(保)	教免必修

Ⅳ 資格の取得

2．教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目									
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	共通開設免許種	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	24	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	実習	30		1			中(保)	教免必修
				健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅴ（ダンス）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅵ（陸上競技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅶ（ゴール型・ベースボール型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅷ（ネット型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅸ（柔道）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅹ（野外活動）	実習	30		1				選択
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		体育・スポーツ原理	講義	15		2				教免必修
				スポーツ心理学	講義	15		2				
				スポーツマネジメント論	講義	15			2			
				スポーツ社会学	講義	15		2				
				生涯スポーツ論	講義	15	2					選択
				体育・スポーツ史	講義	15		2				教免必修
				バイオメカニクス	講義	15			2			
				トレーニング論	講義	15		2				
		生理学（運動生理学を含む。）		運動生理学	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2				選択
				スポーツ医学	講義	15			2			
				スポーツ栄養学Ⅰ	講義	15		2				
				健康評価実習	実習	45		1				
		衛生学・公衆衛生学		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2				教免必修
				公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2				選択
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		学校保健	講義	15			2			教免必修
				安全管理と救急処置	講義	15			2			

教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目										
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			中(保)	教免必修
			保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2			
			保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2			
			保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2			選択

3．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備　考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人　権　教　育	講義	15		2			教免必修
	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて８単位以上を修得

4．文部科学省令に定める科目

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備　考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日　本　国　憲　法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として３年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1．教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計 20 単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。
2．教科に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て(計 37 単位）が修得済みであること。
3．大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。
4．文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから２単位以上、計８単位以上を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻〈2022・2023 年度入学生対象〉

中学校教諭 1 種免許状（保健体育）（新法）

1．教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備　考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15		2			養護栄一栄二高(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小養護栄一栄二高(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護栄一栄二高(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			養護栄一栄二高(保)	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護栄一栄二高(保)	
	特別活動の指導法										
	教育の方法及び技術		教育方法論(ICT 活用を含む)	講義	15		2				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法										
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1		高(保)	
			教育実習(中・高)Ⅰ	実習	30				2		
			教育実習(中・高)Ⅱ	実習	30				2		
	学校体験活動										
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	高(保)	教免必修

2．教科及び教科の指導法に関する科目

科目区分		施行規則に定める科目区分等 各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	左記に対応する開設授業科目 授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	共通開設免許種	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	28	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	実習	30		1			高（保）	教免必修
				健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅴ（ダンス）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅵ（陸上競技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅶ（ゴール型・ベースボール型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅷ（ネット型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅸ（柔道）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅹ（野外活動）	実習	30		1				選択
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		体育・スポーツ原理	講義	15		2				教免必修
				スポーツ心理学	講義	15		2				
				スポーツマネジメント論	講義	15			2			
				スポーツ社会学	講義	15		2				
				生涯スポーツ論	講義	15	2					選択
				体育・スポーツ史	講義	15		2				教免必修
				バイオメカニクス	講義	15			2			
				トレーニング論	講義	15		2				
		生理学（運動生理学を含む。）		運動生理学	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2				選択
				スポーツ医学	講義	15			2			
				スポーツ栄養学Ⅰ	講義	15		2				選択 スポーツ栄養学（2023年度以降入学生）
				健康評価実習	実習	45		1				選択
		衛生学・公衆衛生学		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2				教免必修
				公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2				選択
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		学校保健	講義	15			2			教免必修
				安全管理と救急処置	講義	15			2			

		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目										
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			高(保)	教免必修
				保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2			
				保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2			
				保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2			教免必修

３．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備　考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人　権　教　育	講義	15		2			教免必修

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて２単位以上を修得

４．文部科学省令に定める科目〈2022 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備　考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日　本　国　憲　法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				情報機器の操作 ２単位
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2023 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として３年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1．教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計 22 単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。中学校一種免許状の取得を希望する場合は、「道徳教育の理論と指導法」を併せて修得し、「介護等体験」を済ませておくこと。

2．教科に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て（計 39 単位）が修得済みであること。

3．大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。

4．文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから２単位以上、計８単位以上を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻〈2024 年度入学生対象〉

中学校教諭1種免許状（保健体育）（新法）

1. 教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15		2			養護 栄一 栄二 高(保)	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 養護 栄一 栄二 高(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄一 栄二 高(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			養護 栄一 栄二 高(保)	教免必修
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護 栄一 栄二 高(保)	
	特別活動の指導法										
	教育の方法及び技術		教育方法論（ICT 活用を含む）	講義	15		2				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法										
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1		高(保)	
			教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2		
			教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2		
	学校体験活動										
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	高(保)	教免必修

2．教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	28	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	実習	30		1			高（保）	教免必修
				健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅴ（ダンス）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅵ（陸上競技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅶ（ゴール型・ベースボール型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅷ（ネット型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅸ（柔道）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅹ（野外活動）	実習	30		1				選択
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		体育・スポーツ原理	講義	15		2				教免必修
				スポーツ心理学	講義	15		2				
				スポーツマネジメント論	講義	15			2			
				スポーツ社会学	講義	15		2				
				生涯スポーツ論	講義	15	2					選択
				バイオメカニクス	講義	15			2			教免必修
		生理学（運動生理学を含む。）		運動生理学	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2				選択
				スポーツ栄養学	講義	15		2				
				健康評価実習	実習	45		1				
		衛生学・公衆衛生学		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2				教免必修
				公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2				選択
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		学校保健	講義	15			2			教免必修
				安全管理と救急処置	講義	15			2			
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目										
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			高（保）	教免必修
				保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2			
				保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2			
				保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2			

３．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人　権　教　育	講義	15		2			教免必修

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて２単位以上を修得

４．文部科学省令に定める科目

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日　本　国　憲　法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				情報機器の操作 ２単位
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として３年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1．教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計 22 単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。中学校一種免許状の取得を希望する場合は、「道徳教育の理論と指導法」を併せて修得し、「介護等体験」を済ませておくこと。
2．教科及び教科の指導法に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て（計 35 単位）が修得済みであること。
3．大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。
4．文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから２単位以上、計８単位以上を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻〈2022・2023 年度入学生対象〉
高等学校教諭 1 種免許状（保健体育）（新法）
1．教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 養護 栄一 栄二 中(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8									
	総合的な探求の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	教免必修
	特別活動の指導法										
	教育の方法及び技術		教育方法論（ICT 活用を含む）	講義	15		2				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法										
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1		中(保)	教免必修
			教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2		
			教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2		
	学校体験活動										
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	中(保)	教免必修

2．教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目									
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	共通開設免許種	備考
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	24	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	実習	30		1			中（保）	教免必修
				健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅴ（ダンス）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅵ（陸上競技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅶ（ゴール型・ベースボール型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅷ（ネット型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅸ（柔道）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅹ（野外活動）	実習	30		1				選択
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		体育・スポーツ原理	講義	15		2				教免必修
				スポーツ心理学	講義	15		2				
				スポーツマネジメント論	講義	15			2			
				スポーツ社会学	講義	15		2				
				生涯スポーツ論	講義	15	2					選択
				体育・スポーツ史	講義	15		2				教免必修
				バイオメカニクス	講義	15			2			
				トレーニング論	講義	15		2				
		生理学（運動生理学を含む。）		運動生理学	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2				選択
				スポーツ医学	講義	15			2			
				スポーツ栄養学Ⅰ	講義	15		2				選択 スポーツ栄養学（2023年度以降入学生）
				健康評価実習	実習	45		1				選択
		衛生学・公衆衛生学		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2				教免必修
				公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2				選択
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		学校保健	講義	15			2			教免必修
				安全管理と救急処置	講義	15			2			

教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目										
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			中(保)	教免必修
			保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2			
			保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2			
			保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2			選択

3．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15		2			教免必修
	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて８単位以上を修得

4．文部科学省令に定める科目〈2022 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2023 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として３年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1．教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計 20 単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。

2．教科に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て(計 37 単位）が修得済みであること。

3．大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。

4．文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから２単位以上、計８単位以上を修得していること。

健康栄養学科・健康スポーツ栄養専攻〈2024 年度入学生対象〉
高等学校教諭1種免許状（保健体育）（新法）
1．教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 養護 栄一 栄二 中(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	8									
	総合的な探求の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			養護 栄一 栄二 中(保)	教免必修
	特別活動の指導法										
	教育の方法及び技術		教育方法論（ICT活用を含む）	講義	15		2				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法										
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	教育実習	5	事前・事後指導	実習	30			1		中(保)	教免必修
			教育実習（中・高）Ⅰ	実習	30				2		
			教育実習（中・高）Ⅱ	実習	30				2		
	学校体験活動										
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	演習	15				2	中(保)	教免必修

2．教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等				左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目区分		各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	24	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	実習	30		1			中（保）	教免必修
				健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅴ（ダンス）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅵ（陸上競技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅶ（ゴール型・ベースボール型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅷ（ネット型球技）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅸ（柔道）	実習	30		1				
				健康スポーツ指導法Ⅹ（野外活動）	実習	30		1				選択
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）		体育・スポーツ原理	講義	15		2				教免必修
				スポーツ心理学	講義	15		2				
				スポーツマネジメント論	講義	15			2			
				スポーツ社会学	講義	15		2				
				生涯スポーツ論	講義	15	2					選択
				バイオメカニクス	講義	15			2			教免必修
		生理学（運動生理学を含む。）		運動生理学	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅰ	講義	15	2					
				人体の構造と生理Ⅱ	講義	15		2				選択
				スポーツ栄養学	講義	15		2				
				健康評価実習	実習	45		1				
		衛生学・公衆衛生学		公衆衛生学Ⅰ	講義	15		2				教免必修
				公衆衛生学Ⅱ	講義	15		2				選択
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		学校保健	講義	15			2			教免必修
				安全管理と救急処置	講義	15			2			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目											

教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		保健体育科指導法Ⅰ	講義	15		2			中（保）	教免必修
			保健体育科指導法Ⅱ	講義	15			2			
			保健体育科指導法Ⅲ	講義	15			2			
			保健体育科指導法Ⅳ	講義	15			2			選択

３．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備考
科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数				
				1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	人権教育	講義	15		2			教免必修
	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について併せて８単位以上を修得

４．文部科学省令に定める科目

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数				備考
					1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

原則として３年次修了までに以下の要件を全て満たしていること。

1．教育の基礎的理解に関する科目のうち、「教育実習（中・高）Ⅰ」「教育実習（中・高）Ⅱ」「教職実践演習（中・高）」を除く教員免許状取得のための必修科目の全て（計 20 単位）を修得し、事前・事後指導を受講していること。
2．教科及び教科の指導法に関する科目に含まれる教員免許状取得のための必修科目の全て（計 33 単位）が修得済みであること。
3．大学が独自に設定する科目のうち、「人権教育」の単位を修得していること。
4．文部科学省令に定める科目の科目区分それぞれから２単位以上、計８単位以上を修得していること。

看護学科

養護教諭１種免許状（新法）

１．教育の基礎的理解に関する科目

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目							共通開設免許種	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理	講義	15		2			栄一 栄二 中(保) 高(保)	教免必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	講義	15	2					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	講義	15		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	講義	15		2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	講義	15		2			小 栄一 栄二 中(保) 高(保)	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	講義	15		2			栄一 栄二 中(保) 高(保)	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探求の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論と指導法	講義	15		2			栄一 栄二 中(保) 高(保)	
			特別活動及び総合的な学習の時間	講義	15		2			栄一 栄二 中(保) 高(保)	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論（ICT 活用を含む）	講義	15		2				2020・2021年度入学生「教育方法論」
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導及び進路指導論	講義	15		2				教免必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	講義	15		2				
教育実践に関する科目	養護実習	5	事前・事後指導	実習	30			1			
			養護実習	実習	45				4		
	学校体験活動										
	教職実践演習	2	教職実践演習（養護教諭）	演習	15				2		

2．養護に関する科目

〈2021 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対する開設授業科目							備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	
養護に関する科目	衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	公衆衛生学	講義	15		2			教免必修
			疫学	講義	15			2		
	学校保健	2	学校保健	講義	15		2			
	養護概説	2	養護概説	講義	15		2			
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2	看護コミュニケーション	講義	15	1				
			家族看護学	講義	15			2		
	栄養学（食品学を含む。）	2	看護と栄養	講義	15			2		
	解剖学・生理学	2	人体の構造と生理機能	演習	30	2				
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	からだの防御の仕組み	講義	15	1				
			薬理学	講義	15	1				
	精神保健	2	精神看護学援助論	講義	15		1			
			精神看護学演習	演習	30			1		
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	日常生活を支える看護技術Ⅰ	演習	30	1				
			日常生活を支える看護技術Ⅱ	演習	30	2				
			小児看護学概論	講義	15		2			
			フィジカルアセスメント演習	演習	30		1			
			小児看護学実習	実習	45			2		
			急性期看護学実習	実習	45			2		
			精神看護学実習	実習	45			2		
			地域看護学概論	講義	15		1			

3．大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目							備考
各科目に含める必要事項	授業科目	授業形態	1単位当たり授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	
養護又は教職に関する科目	人権教育	講義	15		2			教免必修

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解の科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて５単位以上を修得

４．文部科学省令に定める科目（養護教諭二種免許状を含む）

〈2021 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2022 年度入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー基礎	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		情報リテラシー応用	演習	30	1				

〈2023 年度以降入学生対象〉

免許法施行規則の科目	最低単位数	本学開講科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位数 1年	2年	3年	4年	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	講義	15	2				教免必修
体育	2	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	1				
		スポーツ実技Ⅱ	実習	30	1				
外国語コミュニケーション	2	総合英語Ⅰ	演習	30	1				
		総合英語Ⅱ	演習	30	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	演習	30	1				情報機器の操作 2単位
		データサイエンス入門	演習	30	1				

教育実習資格認定基準

(1) 教育の基礎的理解に関する科目
原則として、3年次修了までに次の 22 単位を修得し、教育実習事前指導を受講していること。
・教職論　2単位
・教育原理　2単位
・教育心理学　2単位
・教育行政学　2単位
・特別支援教育　2単位
・教育課程論　2単位
・道徳教育の理論と指導法　2単位
・特別活動及び総合的な学習の時間　2単位
・教育方法論　2単位
教育方法論（ICT を含む）※ 2022 年度以降
・生徒指導及び進路指導論　2単位
・教育相談　2単位
・教育実習事前・事後指導　1単位

(2) 養護に関する科目
原則として3年次修了時までに、すべての単位を修得していること。

(3) 大学が独自に設定する科目
原則として3年次修了時までに、以下の科目を修得していること。
・人権教育　2単位

(4) 文部科学省令に定める科目
原則として3年次修了までに、文部科学省令に定める科目4科目のそれぞれから2単位以上、計8単位を修得していること。

教員免許状が授与されるまでの過程（健康科学部・看護福祉リハビリテーション学部）

１年次	４月	教職ガイダンス（教職一次登録）
２年次	４月	教職ガイダンス（教職二次登録・介護等体験希望調査）
	７月	介護等体験ガイダンス
	１月	介護等体験参加者申込み
３年次	４月	教職ガイダンス（教職三次登録）
		介護等体験参加確認（前期、後期）
		教育実習内諾ガイダンス
	６月	光華小・中・高における授業参観
		＜教育実習希望校訪問＞
	９月	「教育実習事前指導」講義開始
	11月	教育実習承諾ガイダンス
４年次	４月	教職ガイダンス（教育実習直前ガイダンス）
		＜各自、実習１ヶ月前、教育実習校事前打合せ＞
	５月	模擬授業
		教育実習開始（5月～10月）
	６月	教員採用試験
	11月	教育職員免許状授与申請ガイダンス
	３月	卒業証書授与式当日に、教育職員免許状交付

２．管理栄養士（健康栄養学科 管理栄養士専攻対象）

管理栄養士国家試験の受験資格

卒業時に管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている管理栄養士免許証の取得に必要な専門教育科目を履修し、単位を修得しなければならない。

（1）管理栄養士免許証の取得に関する科目

〈管理栄養士専攻入学生対象〉

	栄養士法に定める教育内容			本学開講科目			
	教育内容	単位数		授業科目	単位数		配当年次
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会・環境（人間や生活）と健康	6	10	公衆衛生学Ⅰ	2		2
				公衆衛生学Ⅱ	2		3
				健康管理論	2		1
				健康評価実習		1	2
	人体の構造と機能、疾病の成り立ち	14		人体の構造と生理Ⅰ	2		1
				人体の構造と生理Ⅱ	2		2
				人体の構造と生理Ⅲ	2		2
				生化学Ⅰ	2		1
				生化学Ⅱ	2		2
				運動生理学	2		2
				臨床検査・病理	2		3
				人体の構造・生理実験		1	2
				生化学実験Ⅰ		1	1
				生化学実験Ⅱ		1	2
	食べ物と健康	8		食品学Ⅰ	2		1
				食品学Ⅱ	2		2
				食品加工学	2		2
				食品衛生学	2		2
				調理学	2		1
				食品学実験Ⅰ		1	2
				食品学実験Ⅱ		1	2
				食品衛生学実験		1	3
				調理実習基礎		1	1
				調理実習応用		1	1
				食生活と調理実習		1	2
	小計	28	10		30	10	
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学Ⅰ	2		1
				基礎栄養学Ⅱ	2		2
				栄養学実験		1	2
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ	2		2
				応用栄養学Ⅱ	2		2
				応用栄養学Ⅲ	2		3
				応用栄養学実習		1	3

	栄養士法に定める教育内容			本学開講科目			
	教育内容	単位数		授業科目	単位数		配当年次
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門分野	栄養教育論	6	8	栄養教育論Ⅰ	2		2
				栄養教育論Ⅱ	2		2
				栄養教育論Ⅲ	2		3
				栄養教育論実習Ⅰ		1	3
				栄養教育論実習Ⅱ		1	3
	臨床栄養学	8		臨床栄養学Ⅰ	2		2
				臨床栄養学Ⅱ	2		3
				臨床栄養学Ⅲ	2		3
				臨床栄養管理	2		3
				臨床栄養学実習Ⅰ		1	3
				臨床栄養学実習Ⅱ		1	3
	公衆栄養学	4		公衆栄養学Ⅰ	2		3
				公衆栄養学Ⅱ	2		3
				公衆栄養学実習		1	3
	給食経営管理論	4		給食マネジメント論Ⅰ	2		2
				給食マネジメント論Ⅱ	2		2
				給食マネジメント実習Ⅰ		1	2
				給食マネジメント実習Ⅱ		1	3
	総合演習	2		総合演習Ⅰ	2		3
				総合演習Ⅱ	2		4
	臨地実習		4※1	臨地実習Ⅰ		1	3
				臨地実習Ⅱ		1	3
				臨地実習Ⅲ		1	3
				臨地実習Ⅳ		1	4
	小計	32	12		36	13	
	合計	60	22		66	23	

※1　給食の運営に係る校外実習の1単位を含む
入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各入学年度のカリキュラムを参照すること。

（2）管理栄養士免許証が授与されるまでの過程

1～4年次　履修説明、必要な学科目の履修
3～4年次　臨地実習Ⅰ～Ⅳ
4年次　管理栄養士国家試験対策講座
栄養士免許証申請ガイダンス
管理栄養士国家試験の受験
栄養士免許証の申請
卒業後　栄養士免許証の交付
合格後　管理栄養士免許証の申請、交付

３．栄養士（健康栄養学科対象）

栄養士免許証を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている栄養士免許証の取得に必要な専門教育科目を履修し、単位を修得しなければならない。

（１）栄養士免許証の取得に関する科目

〈管理栄養士専攻入学生対象〉

栄養士法に定める教育内容	単位数		本学開講授業科目	単位数		配当年次
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学Ⅰ	2		2
			公衆衛生学Ⅱ	2		3
			健康評価実習		1	2
人体の構造と機能	8		人体の構造と生理Ⅰ	2		1
			人体の構造と生理Ⅱ	2		2
			生化学Ⅰ	2		1
			生化学Ⅱ	2		2
			人体の構造・生理実験		1	2
			生化学実験Ⅰ		1	1
食品と衛生	6		食品学Ⅰ	2		1
			食品学Ⅱ	2		2
			食品衛生学	2		2
			食品学実験Ⅰ		1	2
栄養と健康	8	10	基礎栄養学Ⅰ	2		1
			基礎栄養学Ⅱ	2		2
			応用栄養学Ⅰ	2		2
			臨床栄養学Ⅰ	2		2
			栄養学実験		1	2
			応用栄養学実習		1	3
			臨床栄養学実習Ⅰ		1	3
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2		2
			栄養教育論Ⅱ	2		2
			公衆栄養学Ⅰ	2		3
			栄養教育論実習Ⅰ		1	3
			公衆栄養学実習		1	3
給食の運営	4		調理学	2		1
			給食マネジメント論Ⅰ	2		2
			調理実習基礎		1	1
			調理実習応用		1	1
			給食マネジメント実習Ⅰ		1	2
			給食マネジメント実習Ⅱ		1	3
			臨地実習Ⅰ		1	3
小計	36	14		36	14	
合計	50			50		

入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各入学年度のカリキュラムを参照すること。

〈健康スポーツ栄養専攻 2022 年度以前入学生対象〉

栄養士法に定める教育内容	単位数		本学開講授業科目	単位数		配当年次
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学Ⅰ	2		2
			公衆衛生学Ⅱ	2		2
			健康評価実習		1	2
人体の構造と機能	8		人体の構造と生理Ⅰ	2		1
			人体の構造と生理Ⅱ	2		2
			生化学Ⅰ	2		1
			生化学Ⅱ	2		2
			人体の構造・生理実験		1	2
			生化学実験		1	3
食品と衛生	6		食品学Ⅰ	2		1
			食品学Ⅱ	2		2
			食品衛生学	2		2
			食品学実験Ⅰ		1	2
栄養と健康	8	10	基礎栄養学Ⅰ	2		1
			基礎栄養学Ⅱ	2		2
			応用栄養学	2		2
			臨床栄養学Ⅰ	2		3
			栄養学実験		1	2
			応用栄養学実習		1	3
			臨床栄養学実習		1	3
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2		2
			栄養教育論Ⅱ	2		3
			公衆栄養学	2		3
			栄養教育論実習		1	3
			公衆栄養学実習		1	3
給食の運営	4		調理学	2		1
			給食マネジメント論	2		3
			調理実習基礎		1	1
			調理実習応用		1	2
			給食マネジメント実習Ⅰ		1	3
			給食マネジメント実習Ⅱ		1	3
			臨地実習		1	4
小計	36	14		36	14	
合計	50			50		

入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各入学年度のカリキュラムを参照すること。

〈健康スポーツ栄養専攻 2023 年度以降入学生対象〉

栄養士法に定める教育内容	単位数		本学開講授業科目	単位数		配当年次
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学Ⅰ	2		2
			公衆衛生学Ⅱ	2		2
			健康評価実習		1	2
人体の構造と機能	8		人体の構造と生理Ⅰ	2		1
			人体の構造と生理Ⅱ	2		2
			生化学Ⅰ	2		1
			生化学Ⅱ	2		2
			人体の構造・生理実験		1	2
			生化学実験		1	3
食品と衛生	6		食品学Ⅰ	2		1
			食品学Ⅱ	2		2
			食品衛生学	2		2
			食品学実験Ⅰ		1	2
栄養と健康	8	10	基礎栄養学Ⅰ	2		1
			基礎栄養学Ⅱ	2		2
			応用栄養学Ⅰ	2		2
			臨床栄養学Ⅰ	2		3
			栄養学実験		1	2
			応用栄養学実習		1	3
			臨床栄養学実習		1	3
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2		2
			栄養教育論Ⅱ	2		3
			公衆栄養学	2		3
			栄養教育論実習		1	3
			公衆栄養学実習		1	3
給食の運営	4		調理学	2		1
			給食マネジメント論	2		3
			調理実習基礎		1	1
			調理実習応用		1	2
			給食マネジメント実習Ⅰ		1	3
			給食マネジメント実習Ⅱ		1	3
			臨地実習		1	4
小計	36	14		36	14	
合計	50			50		

入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各入学年度のカリキュラムを参照すること。

（2）栄養士免許証が授与されるまでの過程

1～4 年次　履修説明、必要な学科目の履修
3 年次　臨地実習Ⅰ（管理栄養士専攻）
4 年次　臨地実習（健康スポーツ栄養専攻）
　　栄養士免許証申請ガイダンス
　　栄養士免許証の申請
卒業後　栄養士免許証の交付

４．看護学科取得可能資格一覧

資格名称	対象者
看護師国家試験受験資格	看護学科生全員
保健師国家試験受験資格※１	看護学科生のうち選択履修者
養護教諭一種免許状※２	看護学科生のうち選択履修者

※１　保健師免許取得者は、養護教諭二種免許の申請をすることができる。但し、その場合は文部科学省令に定める科目を修得しておくこと。

※２　養護教諭一種免許状取得にあたっては、養護教諭一種免許状の項にて履修科目を確認すること。１年次 GPA 平均 2.8 以上であることを２年次からの教職履修登録の条件とする。養護教諭一種の教職課程選択にあたっては、将来的に養護教諭をめざす希望を有することが望ましい。

(1) 看護師国家試験受験資格の取得科目について

卒業時に看護師国家試験に必要な受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている看護師国家試験受験資格の取得に必要な専門基礎・専門科目を履修し単位を取得しなければならない。

区　分	必修科目		選択（選択必修）科目		合計
	2021･2022	2023・2024	2021･2022	2023・2024	
リベラルアーツ教育科目	10	11	10	9	20
専　門　基　礎	19		10		108
専　門　科　目	79				
計	108	109	20	19	128

(2) 保健師国家試験受験資格取得について（選択履修）

卒業時に保健師国家試験に必要な受験資格を取得しようとする者は、看護師国家試験受験資格に必要な科目および、次の科目を履修し、単位を取得しなければならない。

〈2021 年度以降入学生対象〉

科　目　名	単位数
公衆衛生看護学概論	2
対象別公衆衛生看護活動論	2
公衆衛生看護技術論Ⅰ	2
公衆衛生看護技術論Ⅱ	2
疫学	2
保健医療福祉行政論	2
保健医療福祉行政論演習	1
保健統計	2
学校保健	2
産業保健	1

健　康　教　育　論	2
公衆衛生看護学演習	3
公衆衛生看護学実習Ⅰ	1
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3
公衆衛生看護学実習Ⅲ	1

保健師養成課程は選抜制となる。選択条件等の詳細については２年次に説明を行う。

保健師の免許を受けるにあたっては、保健師国家試験だけでなく、看護師国家試験に合格しなければならない。

※保健師課程の実習にあたって、別途費用を徴収する場合がある。

5．社会福祉士（医療福祉学科社会福祉専攻 2021・2022・2023 年度入学生対象／福祉リハビリテーション学科社会福祉専攻・2024 年度入学生対象）

社会福祉士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている下記の指定科目を修得しなければならない。

厚生労働省省令指定科目	本学開講科目			備考
	科目名	授業形態	単位数	
医学概論	医学知識	講義	2	
心理学と心理的支援	心理学	講義	2	
社会学と社会システム	社会学	講義	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	2	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	2	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	講義	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	講義	2	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義	2	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	2	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	2	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	講義	2	
社会保障	社会保障Ⅰ	講義	2	
	社会保障Ⅱ	講義	2	
高齢者福祉	高齢者福祉	講義	2	
障害者福祉	障害者福祉	講義	2	
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	講義	2	
貧困に対する支援	生活保護制度	講義	2	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	講義	2	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	講義	2	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	講義	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	演習	2	
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	演習	2	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	演習	2	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	演習	2	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ	演習	2	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	2	
	ソーシャルワーク実習指導ⅡA	演習	2	
	ソーシャルワーク実習指導ⅡB	演習	2	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習A	実習	4	
	ソーシャルワーク実習B	実習	2	

6．精神保健福祉士（医療福祉学科社会福祉専攻 2021・2022・2023 年度入学生対象／福祉リハビリテーション学科社会福祉専攻 2024 年度入学生対象）

精神保健福祉士は、精神疾患の治療に伴う課題や長期入院患者の社会復帰のための課題（家族・親族間の調整、近隣住民の理解、住宅や就労の場の確保等々）について、専門的な助言や援助等の業務を行う者である。

精神保健福祉士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている下記の指定科目を修得しなければならない。

なお、2021～2023 年度入学生の医療福祉学科社会福祉専攻においては、社会福祉士「国家試験受験資格」を取得できる見込みのある学生以外には、精神保健福祉士「国家試験受験資格」の取得を認めないので十分注意すること。※ 2024 年度入学生は対象外

（1）精神保健福祉士国家試験受験資格取得に関する科目

厚生労働省省令指定科目	本学開講科目			備考
	科目名	授業形態	単位数	
医学概論	医学知識	講義	2	
心理学と心理的支援	心理学	講義	2	
社会学と社会システム	社会学	講義	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	2	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	2	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	2	
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	2	
社会保障	社会保障Ⅰ	講義	2	
	社会保障Ⅱ	講義	2	
障害者福祉	障害者福祉	講義	2	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	講義	2	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	講義	2	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	講義	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	2	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	演習	2	

精神医学と精神医療	精神医学と精神医療Ⅰ	講義	2	
	精神医学と精神医療Ⅱ	講義	2	
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	講義	2	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	講義	2	
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	2	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	2	
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	講義	2	
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ	講義	2	
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	講義	2	
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	講義	2	
ソーシャルワーク演習（専門）	精神保健福祉演習Ⅰ	演習	2	
	精神保健福祉演習Ⅱ	演習	2	
	精神保健福祉演習Ⅲ	演習	2	
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉実習指導Ⅰ	演習	2	
	精神保健福祉実習指導Ⅱ	演習	4	
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉実習A	実習	2	
	精神保健福祉実習B	実習	3	

7．言語聴覚士（医療福祉学科言語聴覚専攻）

言語聴覚士国家試験受験資格の取得科目について卒業時に言語聴覚士国家試験に必要な受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を充たす学科目および本学に開講されている言語聴覚士国家試験受験資格の取得に必要な専門基礎・専門科目を履修し単位を取得しなければならない。

〈2021～2022 年度入学生対象〉

文部科学省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
基礎分野	人文科学（2科目）	仏教の人間観Ⅰ	2	必修
		仏教の人間観Ⅱ	2	
	社会科学（2科目）	京都光華の学び	1	
		心理学	2	2単位選択必修
		社会学	2	
		日本国憲法	2	
		現代社会と法	2	
		現代社会と政治	2	
		くらしのなかの経済学	2	
		くらしのなかの統計学	2	
		生命の科学	2	
		生活と物理・化学	2	
		地域と環境	2	
		生活と防災	2	
		ボランティア論	2	
	自然科学（2科目）	専門職の連携（基礎）	2	必修
		社会と統計	2	
	外国語	医療英語	1	
		総合英語Ⅰ	1	
		総合英語Ⅱ	1	
		英会話Ⅰ	1	1単位選択必修
		英会話Ⅱ	1	
		英語文献を読むⅠ	1	
		英語文献を読むⅡ	1	
		中国語Ⅰ	1	
		中国語Ⅱ	1	
		ハングルⅠ	1	
		ハングルⅡ	1	
	保健体育	健康の科学	2	必修

専門基礎分野	基礎医学	臨床医学総論	1	必修
		臨床基礎医学	2	
	臨床医学	リハビリテーション概論・医学	2	
		臨床医学Ⅰ（内科学・小児科学）	2	
		臨床医学Ⅱ（耳鼻咽喉科・形成外科）	2	
		臨床医学Ⅲ（精神医学・臨床神経学）	2	
	臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	1	
	音声・言語・聴覚医学	音声・言語・聴覚医学Ⅰ（呼吸発声発語系）	1	
		聴覚障害学概論	1	
		音声・言語・聴覚医学Ⅲ（神経系）	1	
	心理学	生涯発達心理学	2	
		認知・学習心理学	2	
		臨床心理学	2	
		心理測定法	2	
	言語学	言語学	2	
	音声学	音声学	2	
	音響学	音響学	2	
	言語発達学	言語発達学	1	
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	1	
		リハビリテーション概論・医学	2	
専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論	2	必修
		言語聴覚障害診断学演習Ⅰ（小児）	1	
		言語聴覚障害診断学演習Ⅱ（成人）	1	
		言語聴覚障害実習Ⅰ	1	
		言語聴覚障害実習Ⅱ	1	
	失語・高次脳機能障害学	失語症Ⅰ	1	
		失語症Ⅱ	1	
		高次脳機能障害Ⅰ	1	
		高次脳機能障害Ⅱ	1	
		失語症演習	1	
		高次脳機能障害演習	1	
	言語発達障害学	言語発達障害学ⅠA（各論）	1	
		言語発達障害学ⅠB（各論）	1	
		言語発達障害学Ⅱ（評価）	2	
		言語発達障害学Ⅲ（指導法）	2	
		言語発達障害学演習	1	

専門分野	発声発語・嚥下障害学	発声発語障害ⅠA（小児構音障害）	1	必修
		発声発語障害ⅠB（小児構音障害）	1	
		発声発語障害ⅡA（成人）	1	
		発声発語障害ⅡB（成人）	1	
		発声発語障害Ⅲ（吃音）	1	
		摂食嚥下障害学	2	
		発声発語障害演習Ⅰ（小児）	1	
		発声発語障害演習Ⅱ（成人）	1	
		摂食嚥下障害学演習	1	
	聴覚障害学	聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	1	
		聴覚障害学Ⅱ（小児）	2	
		聴覚障害学Ⅲ（成人）	2	
		音声・言語・聴覚医学Ⅱ（聴覚系）	1	
		聴覚障害学演習	1	
	臨床実習	臨床実習（見学実習）1週間	1	
		臨床実習（評価実習）4週間	4	
		臨床実習（総合実習）8週間	8	
選択必修分野		生命倫理	2	8単位選択必修
		専門職の連携（応用）	1	
		障害者福祉	2	
		健康カウンセリング	2	
		栄養サポート論	2	
		画像診断学演習	1	
		言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）	1	
		言語聴覚障害実習Ⅲ	1	
		言語聴覚障害実習Ⅳ	1	
		認知症特論	1	
		摂食嚥下障害学特論	1	

〈2023 年度入学生対象〉

文部科学省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
基礎分野	人文科学（2科目）	仏教の人間観Ⅰ	2	必修
		仏教の人間観Ⅱ	2	
	社会科学（2科目）	京都光華の学び	1	
		心理学	2	2単位選択必修
		社会学	2	
		日本国憲法	2	
		現代社会と法	2	
		現代社会と政治	2	
		くらしのなかの経済学	2	
		くらしのなかの統計学	2	
		情報社会の理解	2	
		生命の科学	2	
		生活と物理・化学	2	
		地域と環境	2	
		生活と防災	2	
		ボランティア論	2	
	自然科学（2科目）	専門職の連携（基礎）	2	必修
		社会と統計	2	
	外国語	医療英語	1	
		総合英語Ⅰ	1	
		総合英語Ⅱ	1	
		English in Use A	1	1単位選択必修
		English in Use B	1	
		English in Use C	1	
		English in Use D	1	
		English in Use E	1	
		English in Use F	1	
		中国語Ⅰ	1	
		中国語Ⅱ	1	
		ハングルⅠ	1	
		ハングルⅡ	1	
	保健体育	健康の科学	2	必修

専門基礎分野	基礎医学	臨床医学総論	1	必修
		臨床基礎医学	2	
	臨床医学	リハビリテーション概論・医学	2	
		臨床医学Ⅰ（内科学・小児科学）	2	
		臨床医学Ⅱ（耳鼻咽喉科・形成外科）	2	
		臨床医学Ⅲ（精神医学・臨床神経学）	2	
	臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	1	
	音声・言語・聴覚医学	音声･言語･聴覚医学I(呼吸発声発語系)	1	
		聴覚障害学概論	1	
		音声・言語・聴覚医学Ⅲ（神経系）	1	
	心理学	生涯発達心理学	2	
		認知・学習心理学	2	
		臨床心理学	2	
		心理測定法	2	
	言語学	言語学	2	
	音声学	音声学	2	
	音響学	音響学	2	
	言語発達学	言語発達学	1	
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	1	
		リハビリテーション概論・医学	2	
専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論	2	必修
		言語聴覚障害診断学演習Ⅰ（小児）	1	
		言語聴覚障害診断学演習Ⅱ（成人）	1	
		言語聴覚障害実習Ⅰ	1	
		言語聴覚障害実習Ⅱ	1	
	失語・高次脳機能障害学	失語症Ⅰ	1	
		失語症Ⅱ	1	
		高次脳機能障害Ⅰ	1	
		高次脳機能障害Ⅱ	1	
		失語症演習	1	
		高次脳機能障害演習	1	
	言語発達障害学	言語発達障害学ⅠA（各論）	1	
		言語発達障害学ⅠB（各論）	1	
		言語発達障害学Ⅱ（評価）	2	
		言語発達障害学Ⅲ（指導法）	2	
		言語発達障害学演習	1	

専門分野	発声発語・嚥下障害学	発声発語障害ⅠA（小児構音障害）	1	必修
		発声発語障害ⅠB（小児構音障害）	1	
		発声発語障害ⅡA（成人）	1	
		発声発語障害ⅡB（成人）	1	
		発声発語障害Ⅲ（吃音）	1	
		摂食嚥下障害学	2	
		発声発語障害演習Ⅰ（小児）	1	
		発声発語障害演習Ⅱ（成人）	1	
		摂食嚥下障害学演習	1	
	聴覚障害学	聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	1	
		聴覚障害学Ⅱ（小児）	2	
		聴覚障害学Ⅲ（成人）	2	
		音声・言語・聴覚医学Ⅱ（聴覚系）	1	
		聴覚障害学演習	1	
	臨床実習	臨床実習（見学実習）1週間	1	
		臨床実習（評価実習）4週間	4	
		臨床実習（総合実習）8週間	8	
選択必修分野		生命倫理	2	8単位選択必修
		専門職の連携（応用）	1	
		障害者福祉	2	
		健康カウンセリング	2	
		栄養サポート論	2	
		画像診断学演習	1	
		言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）	1	
		言語聴覚障害実習Ⅲ	1	
		言語聴覚障害実習Ⅳ	1	
		認知症特論	1	
		摂食嚥下障害学特論	1	

〈2024 年度入学生対象〉

文部省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
基礎分野	人文科学（２科目）	仏教の人間観Ⅰ	2	必修
		仏教の人間観Ⅱ	2	
	社会科学（２科目）	京都光華の学び	1	
		心理学	2	２単位選択必修
		社会学	2	
		日本国憲法	2	
		現代社会と法	2	
		現代社会と政治	2	
		くらしのなかの経済学	2	
		くらしのなかの統計学	2	
		情報社会の理解	2	
		生命の科学	2	
		生活と物理・化学	2	
		地域と環境	2	
		生活と防災	2	
		ボランティア論	2	
	自然科学（２科目）	専門職の連携（基礎）	2	必修
		社会と統計	2	
	外国語	医療英語	1	
		総合英語Ⅰ	1	
		総合英語Ⅱ	1	
		English in Use A	1	１単位選択必修
		English in Use B	1	
		English in Use C	1	
		English in Use D	1	
		English in Use E	1	
		English in Use F	1	
		中国語Ⅰ	1	
		中国語Ⅱ	1	
		ハングルⅠ	1	
		ハングルⅡ	1	
	保健体育	健康の科学	2	資格必修科目

文部省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
専門基礎分野	基礎医学	臨床医学総論	1	
		人体の構造と機能Ⅰ	2	
	臨床医学	内科学	2	
		小児科学	1	
		耳鼻咽喉科学	1	
		形成外科学	1	
		精神医学	1	
		臨床神経学	1	
専門基礎分野	臨床歯科医学	臨床歯科医学・口腔外科学	1	必修
	音声・言語・聴覚医学	音声・言語・聴覚医学Ⅰ（呼吸発声発語系）	1	
		音声・言語・聴覚医学Ⅱ（聴覚系）	1	
		音声・言語・聴覚医学Ⅲ（神経系）	1	
	心理学	生涯発達心理学	2	
		認知・学習心理学	2	
		臨床心理学	2	
		心理測定法	1	
	言語学	言語学	2	
	音声学	音声学	2	
	音響学	音響学	2	
		聴覚心理学	1	
	言語発達学	言語発達学	2	
	社会福祉・教育	社会保障制度・関係法規	1	
		リハビリテーション概論・医学	2	
専門分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学概論	2	必修
		言語聴覚障害診断学演習Ⅰ（小児）	1	
		言語聴覚障害診断学演習Ⅱ（成人）	1	
		言語聴覚障害実習Ⅰ	1	
		言語聴覚障害実習Ⅲ	1	
	失語・高次脳機能障害学	失語症Ⅰ	1	
		失語症Ⅱ	1	
		高次脳機能障害Ⅰ	1	
		高次脳機能障害Ⅱ	1	
		失語症演習	1	
		高次脳機能障害演習	1	

文部省指定科目		本学開講科目	単位数	備考
専門分野	言語発達障害学	言語発達障害学ⅠA（各論）	1	必修
		言語発達障害学ⅠB（各論）	1	
		言語発達障害学Ⅱ（評価）	2	
		言語発達障害学Ⅲ（指導法）	2	
		言語発達障害学演習	1	
	発声発語・嚥下障害学	発声発語障害ⅠA（小児構音障害）	1	
		発声発語障害ⅠB（小児構音障害）	1	
		発声発語障害ⅡA（成人）	1	
		発声発語障害ⅡB（成人）	1	
		発声発語障害Ⅲ（吃音）	1	
		摂食嚥下障害学	2	
		発声発語障害演習Ⅰ（小児）	1	
		発声発語障害演習Ⅱ（成人）	1	
		摂食嚥下障害学演習	1	
	聴覚障害学	聴覚障害学Ⅰ（補聴・人工内耳）	1	
		聴覚障害学Ⅱ（小児）	2	
		聴覚障害学Ⅲ（成人）	2	
		聴覚障害学Ⅳ	1	
		聴覚障害学演習	1	
	臨床実習	臨床実習（見学実習）1週間	1	必修
		臨床実習（評価実習）4週間	4	
		臨床実習（総合実習）8週間	8	
選択必修分野		専門職の連携（応用）	1	8単位選択必修
		障害者福祉	2	
		包括的ヘルスケア論	2	
		健康カウンセリング	2	
		栄養サポート論	2	
		言語聴覚障害学総合演習（検査・機器）	1	
		言語聴覚障害実習Ⅱ	1	
		言語聴覚障害実習Ⅳ	1	
		認知症特論	1	
		摂食嚥下障害学特論	1	
		ターミナルケア	1	

8．作業療法士（福祉リハビリテーション学科作業療法士専攻）

卒業時に作業療法士国家試験受験資格を取得しようとする者は、卒業要件を満たす学科目、および本学に開講されている作業療法士国家試験受験資格取得のための以下の厚生労働省省令指定科目を履修し単位を修得しなければならない。**なお、卒業時に作業療法士国家試験を受験する者は、「総合作業療法学」の単位を必ず修得すること。**

〈2024 年度入学生対象〉

厚生労働省省令指定科目		本学開講科目			
		科目名	授業形態	単位計	備　考
科学的思考の基盤 / 人間と生活 / 社会の理解	14	仏教の人間観Ⅰ	講義	2	
		仏教の人間観Ⅱ	講義	2	
		京都光華の学び	演習	1	
		アカデミックスキル入門	演習	1	
		アカデミックライティング	演習	1	
		データサイエンス入門	演習	1	
		伝統文化	演習	1	
		総合英語Ⅰ	演習	1	
		総合英語Ⅱ	演習	1	
		医療英語	演習	1	
		基礎ゼミⅠ	演習	1	
		基礎ゼミⅡ	演習	1	
人体の構造と機能及び心身の発達	12	人体の構造と機能Ⅰ	講義	2	
		人体の構造と機能演習Ⅰ	演習	1	
		人体の構造と機能Ⅱ	講義	2	
		人体の構造と機能演習Ⅱ	演習	1	
		臨床心理学	講義	2	
		人間発達学	講義	2	
		運動学	講義	2	
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	臨床医学総論	講義	2	
		内部障害と臨床医学	講義	2	
		精神障害と臨床医学	講義	2	
		神経・筋系障害と臨床医学	講義	2	
		運動器障害と臨床医学	講義	2	
		小児の障害と臨床医学	講義	2	
		老年期の障害と臨床医学	講義	2	

厚生労働省省令指定科目		本学開講科目			
		科目名	授業形態	単位計	備　考
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	栄養学	講義	1	
		安全管理と救急処置	講義	2	
保健医療福祉とリハビリテーション理念	4	専門職の連携（基礎）	講義	2	
		仏教と医療福祉Ⅰ	講義	1	
		仏教と医療福祉Ⅱ	講義	1	
		日常生活支援学	講義	2	
		リハビリテーションの理念	講義	2	
		社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	2	
基礎作業療法学	5	作業療法学概論	講義	2	
		基礎作業学	講義	2	
		作業療法技術演習	演習	1	
		卒業研究	演習	2	
作業療法管理学	2	作業療法管理学	講義	2	
作業療法評価学	5	作業療法評価学	講義	2	
		作業療法評価学演習	演習	1	
		精神機能作業療法学	講義	2	
		精神機能作業療法学演習	演習	1	
作業療法治療学	19	日常生活支援学演習Ⅰ	演習	1	
		日常生活支援学演習Ⅱ	演習	1	
		高齢期作業療法学	講義	2	
		高齢期作業療法学演習	演習	1	
		身体機能作業療法学Ⅰ	講義	2	
		身体機能作業療法学Ⅱ	講義	2	
		身体機能作業療法学Ⅲ	講義	2	
		身体機能作業療法学演習Ⅰ	演習	1	
		身体機能作業療法学演習Ⅱ	演習	1	
		発達期作業療法学	講義	2	
		発達期作業療法学演習	演習	1	
		終末期作業療法学	講義	2	
		義肢装具に関わる作業療法	講義	2	
		京都伝統文化作業技術論	演習	1	
		総合作業療法学	講義	2	
地域作業療法学	4	地域・在宅作業療法学Ⅰ	講義	2	
		地域・在宅作業療法学Ⅱ	講義	2	

厚生労働省省令指定科目		本学開講科目			
		科目名	授業形態	単位計	備　考
臨床実習	22	見学実習	実習	1	
		地域実習	実習	1	
		評価実習	実習	4	
		総合臨床実習Ⅰ	実習	8	
		総合臨床実習Ⅱ	実習	8	
		臨床実習事前事後評価	実習	1	

9．保育士（こども教育学科対象）

保育士資格を取得するためには、本学に4年以上在学して卒業要件を充足し、かつ『児童福祉法施行規則』に規定されている科目および単位を修得しなければならない。

保育士資格を取得するためには、保育実習が必要である。実習に出るには、内規に定められた要件を満たしていなければならない。

保育士資格取得のための科目〈2021・2022年度入学生〉

告示による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況								備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	必	2				
				仏教の人間観Ⅱ	講義	15	必	2				
				京都光華の学び	演習	30	必	1				
				アカデミックスキル入門	演習	30	必	1				
				アカデミックライティング	演習	30	必	1				
				伝統文化	演習	30	必		1			
				哲学と倫理	講義	15	選	2				
				仏教文化	講義	15	選	2				
				文化人類学	講義	15	選	2				
				言語と文学	講義	15	選	2				
				日本文化の理解	講義	15	選	2				
				京都の歴史と文化	講義	15	選	2				
				芸術文化論	講義	15	選	2				
				サブカルチャー論	講義	15	選	2				
				現代アジア事情	講義	15	選	2				
				現代欧米事情	講義	15	選	2				
				国際社会の理解	講義	15	選	2				
				国際社会とジェンダー	講義	15	選	2				
				心理学	講義	15	選	2				
				社会学	講義	15	選	2				
				日本国憲法	講義	15	選	2				
				現代社会と法	講義	15	選	2				

教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	現代社会と政治	講義	15	選	2			
				くらしのなかの経済学	講義	15	選	2			
				くらしのなかの統計学	講義	15	選	2			
				生命の科学	講義	15	選	2			
				生活と物理・化学	講義	15	選	2			
				地域と環境	講義	15	選	2			
				生活と防災	講義	15	選	2			
				ボランティア論	講義	15	選	2			
				情報リテラシー基礎	演習	30	選	1			
				情報リテラシー応用	演習	30	選	1			
				数的処理の基礎	演習	30	選	1			
				日本語表現の技法	演習	30	選	1			
				読解と思考の技法	演習	30	選	1			
				Webデザイン	演習	15	選		2		
				プログラミング入門	演習	15	選		2		
				産官学連携プロジェクト	演習	15	選	2			
	外国語	演習	2以上	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1			
				総合英語Ⅱ	演習	30	必	1			
	体育	講義	1	健康の科学	講義	15	必	2			
		実技	1	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	選必	1			「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修
				スポーツ実技Ⅱ	実習	30	選必	1			
合計		10単位以上		必修、選択必修含め22単位以上取得							

保育士資格取得のための科目〈2023 年度以降入学生〉

告示による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況								備　考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	必	2				
				仏教の人間観Ⅱ	講義	15	必	2				
				京都光華の学び	演習	30	必	1				
				アカデミックスキル入門	演習	30	必	1				
				アカデミックライティング	演習	30	必	1				
				データサイエンス入門	演習	30	必	1				
				伝統文化	演習	30	必		1			
				哲学と倫理	講義	15	選	2				
				くらしのなかの宗教	講義	15	選	2				
				仏教文化	講義	15	選	2				
				文化人類学	講義	15	選	2				
				言語と文学	講義	15	選	2				
				日本文化の理解	講義	15	選	2				
				京都の歴史と文化	講義	15	選	2				
				芸術文化論	講義	15	選	2				
				サブカルチャー論	講義	15	選	2				
				現代アジア事情	講義	15	選	2				
				現代欧米事情	講義	15	選	2				
				国際社会の理解	講義	15	選	2				
				国際社会とジェンダー	講義	15	選	2				

教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	心理学	講義	15	選	2			
				社会学	講義	15	選	2			
				日本国憲法	講義	15	選	2			
				現代社会と法	講義	15	選	2			
				現代社会と政治	講義	15	選	2			
				くらしのなかの経済学	講義	15	選	2			
				くらしのなかの統計学	講義	15	選	2			
				情報社会の理解	講義	15	選	2			
				生命の科学	講義	15	選	2			
				生活と物理・化学	講義	15	選	2			
				地域と環境	講義	15	選	2			
				生活と防災	講義	15	選	2			
				ボランティア論	講義	15	選	2			
				情報リテラシー	演習	30	選	1			
				情報技術の理解	講義	15	選	2			
				数的処理の基礎	演習	30	選	1			
				読解と思考の技法	演習	30	選	1			
				Webデザイン	演習	15	選		2		
				産官学連携プロジェクト	演習	15	選	2			
				データサイエンスのための数学	講義	15	選	2			
				プログラミング入門	演習	15	選	2			
				AIへのアプローチ	講義	15	選		2		
				データサイエンスへのアプローチ	講義	15	選		2		
				データサイエンスPBL	演習	15	選		2		
	外国語	演習	2以上	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1			
				総合英語Ⅱ	演習	30	必	1			
	体育	講義	1	健康の科学	講義	15	必	2			
		実技	1	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	選必	1			「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修
				スポーツ実技Ⅱ	実習	30	選必	1			
合計		10単位以上		必修、選択必修含め22単位以上取得							

別表第１

告示別表第１による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況								備考（変更内容の概要等）
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	15	必	2				
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	15	必	2				
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	15	必	2				
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	15	必	2				
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	15	必			2		
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	15	必		2			
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	15	必		2			
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	15	必	2				
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	15	必		2			
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	15	必	2				
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	15	必		2			
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	15	必		2			
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	15	必	2				
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	15	必	2				
	保育内容演習	演習	5	保育内容（健康）	演習	30	必	1				
				保育内容（人間関係）	演習	30	必	1				
				保育内容（言葉）	演習	30	必		1			
				保育内容（環境）	演習	30	必		1			
				保育内容（総合表現Ⅰ）	演習	30	必		1			
				保育内容（総合表現Ⅱ）	演習	30	必			1		
				保育内容（総合表現Ⅲ）	演習	30	選				1	
	保育内容の理解と方法	演習	4	音楽Ⅰ	演習	30	必	1				
				音楽Ⅱ	演習	30	必	1				
				図画工作Ⅰ	演習	30	必		1			
				体育Ⅱ（幼児）	演習	30	必		1			
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	15	必	2				
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	30	必	1				

保育の内容・方法に関する科目	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	30	必		1		
	障害児保育	演習	2	障害児保育・特別支援教育	演習	15	必		2		
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	30	必		1		
	子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	30	必		1		
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40	必		2		
				保育実習Ⅰ（施設）	実習	40	必		2		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	15	必		2		
総合演習	保育実践演習	演習	2	教職・保育実践演習	演習	15	必			2	
合　計		51単位		54単位必修							

別表第２

別表第２による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況（新）								備　考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数 1年	2年	3年	4年	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15単位以上	教育の制度・運営	講義	15	必			2		
保育の対象の理解に関する科目				道徳	講義	15	選必			2		
保育の内容・方法に関する科目				保育方法論	講義	15	選必			2		
				保育内容研究	演習	15	選				2	
				健康	講義	15	必	2				
				人間関係	講義	15	必	2				
				言葉	講義	15	必	2				
				環境	講義	15	必	2				
				表現	講義	15	必		2			
				音楽Ⅲ	演習	30	必		1			
				音楽Ⅳ	演習	30	必		1			
				音楽Ⅴ	演習	30	選必			1		
				音楽Ⅵ	演習	30	選必				1	
				音楽Ⅶ	演習	30	選必				1	
				図画工作Ⅱ	演習	30	選必			1		
				体育Ⅰ	実習	30	必		1			
				レクリエーション指導法	演習	30	選必				1	
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	40	選必			2		「保育実習Ⅱ」（2単位）＋「保育実習指導Ⅱ」（1単位）、または、「保育実習Ⅲ」（2単位）＋「保育実習指導Ⅲ」（1単位）のいずれか3単位選択必修
				保育実習Ⅲ	実習	40	選必			2		
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	30	選必			1		
				保育実習指導Ⅲ	演習	30	選必			1		
合　計		18単位以上		必修、選択必修含め18単位以上								

10. 保育士（心理学科）

保育士資格を取得するためには、本学に4年以上在学して卒業要件を充足し、かつ『児童福祉法施行規則』に規定されている科目及び単位を修得しなければならない。尚、心理学科における保育士養成科目の履修については定員（20名）があり、成績及び面談により決定する。

保育士資格を取得するためには、保育実習が必要である。実習に出るには、内規に定められた要件を満たしていなければならない。

保育士資格取得のための科目〈2022年度以前入学生対象〉

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等								学科必・選	備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数 1年	2年	3年	4年		
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	必	2				必	
				仏教の人間観Ⅱ	講義	15	必	2				必	
				京都光華の学び	演習	30	必	1				必	
				アカデミックスキル入門	演習	30	必	1				必	
				アカデミックライティング	演習	30	必	1				必	
				伝統文化	演習	30	必		1			必	
				哲学と倫理	講義	15	選	2				いずれか2単位選択必修	
				仏教文化	講義	15	選	2					
				文化人類学	講義	15	選	2					
				言語と文学	講義	15	選	2					
				日本文化の理解	講義	15	選	2					
				京都の歴史と文化	講義	15	選	2					
				芸術文化論	講義	15	選	2					
				サブカルチャー論	講義	15	選	2					
				現代アジア事情	講義	15	選	2					
				現代欧米事情	講義	15	選	2					
				国際社会の理解	講義	15	選	2					
				国際社会とジェンダー	講義	15	選	2					

教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	心理学	講義	15	選	2			いずれか2単位選択必修	
				社会学	講義	15	選	2				
				日本国憲法	講義	15	選	2				
				現代社会と法	講義	15	選	2			いずれか2単位選択必修	
				現代社会と政治	講義	15	選	2				
				くらしのなかの経済学	講義	15	選	2				
				くらしのなかの統計学	講義	15	選	2				
				生命の科学	講義	15	選	2				
				生活と物理・化学	講義	15	選	2				
				地域と環境	講義	15	選	2				
				生活と防災	講義	15	選	2				
				ボランティア論	講義	15	選	2				
				情報リテラシー基礎	演習	30	選	1			選	
				情報リテラシー応用	演習	30	選	1			選	
				数的処理の基礎	演習	30	選	1			選	
				日本語表現の技法	演習	30	選	1			選	
				読解と思考の技法	演習	30	選	1			選	
				Webデザイン	演習	15	選		2		選	
				プログラミング入門	演習	15	選		2		選	
				産官学連携プロジェクト	演習	15	選	2			選	
	外国語	演習	2以上	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1			必	
				総合英語Ⅱ	演習	30	必	1			必	
	体育	講義	1	健康の科学	講義	15	必	2			選	
		実技	1	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	選必	1			選	「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修
				スポーツ実技Ⅱ	実習	30	選必	1			選	
合計		10単位以上		必修、選択必修含め30単位（≧10単位）								

保育士資格取得のための科目〈2023 年度以降入学生対象〉

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等								学科必・選	備　考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数 1年	2年	3年	4年		
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	仏教の人間観Ⅰ	講義	15	必	2				必	
				仏教の人間観Ⅱ	講義	15	必	2				必	
				京都光華の学び	演習	30	必	1				必	
				アカデミックスキル入門	演習	30	必	1				必	
				アカデミックライティング	演習	30	必	1				必	
				データサイエンス入門	演習	30	必	1				必	
				伝統文化	演習	30	必		1			必	
				哲学と倫理	講義	15	選	2				選択必修2単位	
				くらしのなかの宗教	講義	15	選	2					
				仏教文化	講義	15	選	2					
				文化人類学	講義	15	選	2					
				言語と文学	講義	15	選	2					
				日本文化の理解	講義	15	選	2					
				京都の歴史と文化	講義	15	選	2					
				芸術文化論	講義	15	選	2					
				サブカルチャー論	講義	15	選	2					
				現代アジア事情	講義	15	選	2					
				現代欧米事情	講義	15	選	2					
				国際社会の理解	講義	15	選	2					
				国際社会とジェンダー	講義	15	選	2					

教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	心理学	講義	15	選	2		選択必修2単位	
				社会学	講義	15	選	2			
				日本国憲法	講義	15	選	2			
				現代社会と法	講義	15	選	2			
				現代社会と政治	講義	15	選	2			
				くらしのなかの経済学	講義	15	選	2			
				くらしのなかの統計学	講義	15	選	2			
				情報社会の理解	講義	15	選	2			
				生命の科学	講義	15	選	2			
				生活と物理・化学	講義	15	選	2			
				地域と環境	講義	15	選	2			
				生活と防災	講義	15	選	2			
				ボランティア論	講義	15	選	2			
				情報リテラシー	演習	30	選	1		選	
				情報技術の理解	講義	15	選	2		選	
				数的処理の基礎	演習	30	選	1		選	
				読解と思考の技法	演習	30	選	1		選	
				Ｗｅｂデザイン	演習	15	選		2	選	
				産官学連携プロジェクト	演習	15	選	2		選	
				データサイエンスのための数学	講義	15	選	2		選	
				プログラミング入門	演習	15	選	2		選	
				ＡＩへのアプローチ	講義	15	選		2	選	
				データサイエンスへのアプローチ	講義	15	選		2	選	
				データサイエンスＰＢＬ	演習	15	選		2	選	
	外国語	演習	2以上	総合英語Ⅰ	演習	30	必	1		必	
				総合英語Ⅱ	演習	30	必	1		必	
	体育	講義	1	健康の科学	講義	15	必	2		選	
		実技	1	スポーツ実技Ⅰ	実習	30	選必	1		選	「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」いずれか1科目選択必修
				スポーツ実技Ⅱ	実習	30	選必	1		選	
合計		10単位以上		必修、選択必修含め30単位（≧10単位）							

別表第１

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等								学科必・選	備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数 1年	2年	3年	4年		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	15	必		2			選	
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	15	必		2			選	
	子ども家庭福祉	講義	2	児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	講義	15	必		2			選	
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	15	必		2			選	
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	15	必		2			選	
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	15	必			2		選	
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	15	必		2			選	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	発達心理学入門（保育の心理学）	講義	15	必	2				必	
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	15	必			2		選	
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	15	必			2		選	
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	15	必			2		選	
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	15	必		2			自由	
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	15	必			2		選	
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	15	必			2		自由	
	保育内容演習	演習	5	子どもと人間関係	演習	15	必		2			選	
				子どもと健康	演習	15	必			2		選	
				子どもとことば	演習	15	必		2			選	
	保育内容の理解と方法	演習	4	子どもの体育	演習	15	必			2		自由	
				音楽療法	演習	15	必			2		自由	
				図画工作	演習	15	必			2		自由	
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	15	必		2			選	
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	15	必			2		自由	
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	15	必		2			自由	
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	15	必			2		自由	
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	15	必			2		自由	
	子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	15	必		2			自由	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	40	必			2		自由	
				保育実習Ⅰ（施設）	実習	40	必			2		自由	
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	15	必			2		自由	
総合演習	保育実践演習	演習	2	心理学専門演習Ⅰ（保育実践演習）	演習	15	必			2		選	
合計		51単位		60単位必修									

別表第２

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等								学科必・選	備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	保育士必・選	単位数 1年	2年	3年	4年		
保育の本質・目的に関する科目	養成施設において設定		15単位以上	社会保障Ⅰ	講義	15	選		2			自由	
				社会保障Ⅱ	講義	15	選		2			自由	
保育の対象の理解に関する科目				発達心理学	講義	15	必		2			必	
				障害者・障害児心理学	講義	15	選		2			選	
				社会・集団・家族心理学	講義	15	必		2			必	
				感情・人格心理学	講義	15	選		2			選	
保育の内容・方法に関する科目				子どもの心理臨床	講義	15	選		2			選	
				健康・医療心理学	講義	15	選			2		選	
				教育・学校心理学	講義	15	選			2		選	
				心理的アセスメントⅠ	演習	15	選		2			選	
				心理的アセスメントⅡ	演習	15	選		2			選	
				対人スキル・コーチング演習	演習	15	選			2		選	
				専門職の連携（基礎）	講義	15	必	2				必	
				専門職の連携（応用）	演習	30	選				1	選	
				心理演習Ⅰ	演習	15	選			2		選	
				心理演習Ⅱ	演習	15	選			2		選	
				レクリエーション指導法	演習	30	選				1	自由	
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	40	選必				2	自由	「保育実習Ⅱ」（2単位）＋「保育実習指導Ⅱ」（1単位）、または、「保育実習Ⅲ」（2単位）＋「保育実習指導Ⅲ」（1単位）のいずれか3単位選択必修
				保育実習Ⅲ	実習	40	選必				2	自由	
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	30	選必				1	自由	
				保育実習指導Ⅲ	演習	30	選必				1	自由	
合計		18単位以上		必修、選択必修含め18単位以上修得									

保育実習の履修要件

「保育実習Ⅰ」「保育実習Ⅱ」および「保育実習Ⅲ」における実地実習を実施する年次には「保育実習指導Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」「保育実習指導Ⅲ」を開講し、それぞれの実習に関わる事前事後指導を行う。各実地実習を履修するには実習にかかわる「保育実習指導」を必ず履修しなければならない。

また、それぞれの実習を履修するには原則として以下の条件を満たしていなければならない。

(1)「保育実習Ⅰ（保育所)」「保育実習Ⅰ（施設)」の履修要件

「心理学専門演習Ⅰ（保育実践演習)」「社会福祉」「保育原理」「保育者論」「発達心理学入門（保育の心理学)」の各科目の単位、及び保育内容の理解と方法３科目（「子どもの体育」「音楽療法」「図画工作」）のうち１科目以上の単位を取得していること。

(2)「保育実習Ⅱ」または「保育実習Ⅲ」の履修要件

「保育実習Ⅰ（保育所)」「保育実習Ⅰ（施設)」「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」「児童・家庭福祉（子ども家庭福祉)」「子どもの家庭支援の心理学」「保育の計画と評価」「子どもの理解と援助」の各科目の単位、及び保育内容の理解と方法３科目（「子どもの体育」「音楽療法」「図画工作」）のうち２科目以上を取得していること。

保育士の資格取得を希望するための条件

〈2023 年度入学生対象〉

２年次修了時に１・２年次リベラルアーツ教育必修科目９科目のうち８科目以上、１・２年次専門必修科目15 科目のうち 14 科目以上の単位を修得していることが、３年次以降継続して保育士資格取得を目指すための必要条件となる。

〈2024 年度入学生対象〉

１年次リベラルアーツ教育必修科目８科目のうち７科目以上、１年次専門必修科目９科目のうち８科目以上（「発達心理学入門（保育の心理学)」を含む）の単位を修得していることが必要条件となる。

備考

〈全学年共通〉

・１年次修了時、面接を行い、成績と総合して可能と認められた者のみ２年次も継続して資格取得を目指すことができる。また、成績や履修状況・履修態度を考慮して、２年次以降、資格取得の継続を取り消す場合もある。

・保育士資格取得科目の授業内外での見学や実習のため、入学時の健康診断にて麻しん・風しん等の「抗体価検査」を受ける必要がある。また、場合によっては各種「予防接種」を受ける必要がある。その際の費用は自己負担とする。

・3, 4 年次に保育実習Ⅰ（保育所）・保育実習Ⅰ（施設）・保育実習Ⅱまたは保育実習Ⅲの実習に行くため、実習費として７万円程度を実習生より徴収する。また、実習先までの交通費および宿泊費等など実習先によって個別に発生する必要経費については、別途実習生の自己負担とする。

11. 上級情報処理士（キャリア形成学科）

（1）上級情報処理士

この資格は、所定の単位を充足することにより全国大学実務教育協会から「上級情報処理士」の称号認定を受けることができる。

（2）履修方法

認定を受けるには、次の表に示す必要単位を修得しなければならない。

（3）上級情報処理士認定証交付について

上級情報処理士認定証は卒業時に交付される。交付にあたっては7,700円程度を要する。

上級情報処理士認定に関する科目

〈2021・2022年度キャリア形成学科入学生対象〉

（領域1：2単位以上、領域2：4単位以上、領域3：2単位以上、計24単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修／選択
領域1	情報リテラシー基礎	演習	1	1	選択
	情報リテラシー応用	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	女性とビジネス	講義	2	2	選択
	女性と経済	講義	2	2・3	選択
	コンピュータ活用A	演習	1	2・3	選択
	コンピュータ活用B	演習	1	2・3	選択
領域2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	情報社会の理解	講義	2	1	必修
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	選択
	データ解析入門	演習	1	2	選択
領域3	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
	女性と現代社会	講義	2	1	選択
	プロジェクト入門Ⅰ	講義	2	1	必修
	プロジェクト入門Ⅱ	演習	2	1	必修
	プロジェクト実践	演習	2	2	選択
	プロジェクト評価	演習	1	2	選択

上級情報処理士認定に関する科目

〈2023 年度以降キャリア形成学科入学生対象〉

（領域 1：5 単位以上、領域 2：5 単位以上、領域 3：4 単位以上、計 26 単位以上）

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修／選択
領域1	情報社会の理解	講義	2	1・2	必修
	情報リテラシー	演習	1	1	必修
	ビジュアルデザイン	演習	1	2・3	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	Ｗｅｂデザイン	演習	2	2・3	選択
	グラフィックデザイン	演習	1	2・3	選択
	京都光華の学び	演習	1	1	必修
領域2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	プログラミング入門	演習	2	1・2	選択
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	必修
	データサイエンス入門	演習	1	1	必修
	データサイエンス実践	演習	2	2・3	選択
	データサイエンスへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
	データサイエンスのための数学	講義	2	1・2	選択
	ＡＩへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
領域3	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
	女性と現代社会	講義	2	2・3	選択
	データサイエンスＰＢＬ	演習	2	2・3	選択
	地域参加	演習	1	1	選択
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修
	プロジェクト実践	演習	2	3	必修
	プロジェクト評価	演習	1	3	選択

12. 情報処理士（キャリア形成学科・心理学科・人間健康学群対象）

（1）情報処理士

この資格は、所定の単位を充足することにより全国大学実務教育協会から「情報処理士」の称号認定を受けることができる。

（2）履修方法

認定を受けるには、次の表に示す必要単位を修得しなければならない。

（3）情報処理士認定証交付について

情報処理士認定証は卒業時に交付される。交付にあたっては 3,300 円程度を要する。

情報処理士認定に関する科目

〈2021・2022 年度キャリア形成学科入学生対象〉
（領域 1：2 単位以上、領域 2：2 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 16 単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	情報リテラシー基礎	演習	1	1	必修
	情報リテラシー応用	演習	1	1	必修
	情報技術の理解	講義	2	1・2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1	選択
	女性と経済	講義	2	2・3	選択
	コンピュータ活用A	演習	1	2・3	選択
	コンピュータ活用B	演習	1	2・3	選択
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	選択
	データ解析入門	演習	1	2	選択
領域2	京都光華の学び	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修
	プロジェクト入門Ⅰ	講義	2	1	選択

〈2023 年度以降キャリア形成学科入学生対象〉
（領域 1：3 単位以上、領域 2：3 単位以上、領域 3：4 単位以上、計 16 単位以上）

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	情報リテラシー	演習	1	1	必修
	グラフィックデザイン	演習	1	2・3	選択
	ビジュアルデザイン	演習	1	2・3	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	京都光華の学び	演習	1	1	必修
領域2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	選択
	くらしのなかの統計学	講義	2	1・2	選択
	データサイエンス入門	演習	1	1	必修
	データサイエンスへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
	AIへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
領域3	データサイエンスPBL	演習	2	2・3	選択
	地域参加	演習	1	1	選択
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修
	プロジェクト実践	演習	2	3	必修
	プロジェクト評価	演習	1	3	選択

〈2021・2022 年度 心理学科入学生対象〉
（領域 1：2 単位以上、領域 2：2 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 16 単位以上）

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	情報リテラシー基礎	演習	1	1	必修
	情報リテラシー応用	演習	1	1	必修
	情報技術の理解	講義	2	1・2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1	選択
	女性と経済	講義	2	2・3	選択
	コンピュータ活用A	演習	1	2・3	選択
	コンピュータ活用B	演習	1	2・3	選択
	心理学データ解析Ⅰ	演習	1	2	選択
	心理学データ解析Ⅱ	演習	1	2	選択
領域2	京都光華の学び	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
	心理学基礎演習Ⅲ	演習	1	2	選択
	心理学基礎演習Ⅳ	演習	1	2	選択

領域3	心理学専門演習Ⅰ	演習	2	3	2科目中1科目選択必修
	心理学専門演習Ⅰ（保育実践演習）	演習	2	3	
	心理学専門演習Ⅱ	演習	2	3	選択

〈2023 年度以降心理学科入学生対象〉

（領域 1：3 単位以上、領域 2：3 単位以上、領域 3：4 単位以上、計 16 単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	情報リテラシー	演習	1	1	必修
	グラフィックデザイン	演習	1	2・3	選択
	ビジュアルデザイン	演習	1	2・3	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	京都光華の学び	演習	1	1	必修
領域2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	くらしのなかの統計学	講義	2	1・2	選択
	心理学データ解析Ⅰ	演習	1	2	選択
	心理学データ解析Ⅱ	演習	1	2	選択
	データサイエンス入門	演習	1	1	必修
	データサイエンスへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
	AIへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
領域3	データサイエンスPBL	演習	2	2・3	選択
	心理学基礎演習Ⅰ	演習	1	1	選択
	心理学基礎演習Ⅱ	演習	1	1	選択
	心理学専門演習Ⅰ	演習	2	3	選択必修
	心理学専門演習Ⅰ（保育実践演習）	演習	2	3	選択必修
	心理学専門演習Ⅱ	演習	2	3	必修

〈2022 年度人間健康学群入学生対象〉
（領域 1：2 単位以上、領域 2：2 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 16 単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	情報リテラシー基礎	演習	1	1	必修
	情報リテラシー応用	演習	1	1	必修
	情報社会の理解	講義	2	1	選択
	情報技術の理解	講義	2	1	選択
	女性と経済	講義	2	2・3・4	選択
	コンピュータ活用C	演習	1	3	選択
	データ解析入門	演習	1	2	選択
領域2	京都光華の学び	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	基礎ゼミⅠ	演習	1	1	必修
	基礎ゼミⅡ	演習	1	2	必修
領域3	専門演習Ⅰ	演習	1	3	必修
	専門演習Ⅱ	演習	1	3	必修

〈2023 年度以降人間健康学群入学生対象〉
（領域 1：3 単位以上、領域 2：3 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 16 単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	情報リテラシー	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	京都光華の学び	演習	1	1	必修
領域2	情報技術の理解	講義	2	1・2	必修
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	3	選択
	くらしのなかの統計学	講義	2	1・2	選択
	データサイエンス入門	演習	1	1	必修
	データサイエンスへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
	AIへのアプローチ	講義	2	2・3	選択
領域3	データサイエンスPBL	演習	2	2・3	選択
	ソーシャルビジネス演習	演習	1	3・4	選択
	専門演習Ⅰ	演習	1	3	必修
	専門演習Ⅱ	演習	1	3	必修

13. 上級ビジネス実務士（キャリア形成学科対象）

（1）上級ビジネス実務士

この資格は、所定の単位を充足することにより全国大学実務教育協会から「上級ビジネス実務士」の称号認定を受けることができる。

（2）履修方法

認定を受けるには、次の表に示す必要単位を修得しなければならない。

（3）上級ビジネス実務士、上級ビジネス実務士（国際ビジネス）、上級ビジネス実務士（サービス実務）認定証交付について

上級ビジネス実務士認定証は卒業時に交付される。交付にあたっては 7,700 円程度を要する。

上級ビジネス実務士、上級ビジネス実務士（国際ビジネス）、上級ビジネス実務士（サービス実務）認定に関する科目
上級ビジネス実務士
〈2021・2022 年度 キャリア形成学科入学生対象〉
（領域 1：2 単位以上、領域 2A：4 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 24 単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	女性とビジネス	講義	2	2	必修
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	選択
	プレゼンテーション	演習	1	2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	経営学	講義	2	2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	選択
	簿記・会計実務基礎	講義	2	2・3	選択
	簿記・会計実務応用	講義	2	2・3	選択
領域2A	プロジェクト入門Ⅰ	講義	2	1	必修
	プロジェクト入門Ⅱ	演習	2	1	選択
	ビジネス実務	演習	2	2・3	選択
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修
	プロジェクト評価	演習	1	2	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択

〈2023 年度以降キャリア形成学科入学生対象〉
（領域 1：2 単位以上、領域 2A：4 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 24 単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	女性と経済	講義	2	2	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	選択
	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	選択
	ビジネスデータ分析応用	演習	2	3・4	選択
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修
領域2A	経営学	講義	2	2	選択必修
	会計学	講義	2	2	選択必修
	経済学	講義	2	3	選択必修
	マーケティング	講義	2	2・3	選択必修
	経営戦略	講義	2	2・3	選択必修
	金融ビジネス	講義	2	3・4	選択
	流通ビジネス	講義	2	3・4	選択
	女性のアントレプレナーシップ	講義	2	3・4	選択
	専門実習（長期インターンシップ）	実習	2	3・4	選択
領域3	プロジェクト実践	演習	2	3	必修
	スモールビジネス演習	演習	2	3・4	選択
	プロジェクト評価	演習	1	3	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択

上級ビジネス実務士（国際ビジネス）

〈2021・2022 年度 キャリア形成学科入学生対象〉

（領域 1 ― 2 単位以上、領域 2B ― 4 単位以上、領域 3 ― 2 単位以上、計 24 単位以上）

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	女性とビジネス	講義	2	2	必修
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	選択
	プレゼンテーション	演習	1	2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	経営学	講義	2	2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	選択
	簿記・会計実務基礎	講義	2	2・3	選択
	簿記・会計実務応用	講義	2	2・3	選択
領域2B	多文化共生社会	講義	2	2・3	必修
	実践英語ⅠA	演習	1	2・3	選択
	実践英語ⅠB	演習	1	2・3	選択
	実践英語ⅡA	演習	1	2・3	選択
	実践英語ⅡB	演習	1	2・3	選択
	TOEICⅠ	演習	1	2~4	必修
	TOEICⅡ	演習	1	2~4	必修
	実践中国語Ⅰ	演習	1	2・3	選択
	実践中国語Ⅱ	演習	1	2・3	選択
	実践ハングルⅠ	演習	1	2・3	選択
	実践ハングルⅡ	演習	1	2・3	選択
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修
	プロジェクト評価	演習	1	2	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択

〈2023 年度以降キャリア形成学科入学生対象〉

（領域 1：2 単位以上、領域 2B：4 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 24 単位以上）

	授業科目名	授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	女性と経済	講義	2	2	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	選択
	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	選択
	ビジネスデータ分析応用	演習	2	3・4	選択
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修

領域2B	多文化共生社会	講義	2	2・3	必修
	実践中国語Ⅰ	演習	1	2・3	選択
	実践中国語Ⅱ	演習	1	2・3	選択
	実践ハングルⅠ	演習	1	2・3	選択
	実践ハングルⅡ	演習	1	2・3	選択
	TOEICⅠ	演習	1	2〜4	選択
	TOEICⅡ	演習	1	2〜4	選択
	実践英語Ⅰ	演習	1	2・3	必修
	実践英語Ⅱ	演習	1	2・3	必修
	実践ビジネス英語	演習	1	3・4	選択
	実践ビジネス英会話	演習	1	3・4	選択
	セメスター留学	実習	6	2・3	選択
	長期（1年）留学	実習	12	2・3	選択
領域3	プロジェクト実践	演習	2	3	必修
	スモールビジネス演習	演習	2	3・4	選択
	プロジェクト評価	演習	1	3	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択

上級ビジネス実務士（サービス実務）
〈2021・2022 年度 キャリア形成学科入学生対象〉
（領域 1：2 単位以上、領域 2C：4 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 24 単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	女性とビジネス	講義	2	2	必修
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	コンピュータ活用C	演習	1	2・3	選択
	プレゼンテーション	演習	1	2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	経営学	講義	2	2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	選択
	簿記・会計実務基礎	講義	2	2・3	選択
	簿記・会計実務応用	講義	2	2・3	選択
領域2C	サービス・マネジメント原論	講義	2	2	必修
	ブライダル実務	講義	2	2・3	必修
	ブライダル企画演習	演習	2	2・3	選択
	アパレル販売	講義	2	2・3	選択
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修
	プロジェクト評価	演習	1	2	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択

〈2023 年度以降キャリア形成学科入学生対象〉
（領域 1：2 単位以上、領域 2C：4 単位以上、領域 3：2 単位以上、計 24 単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修 / 選択
領域1	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	女性と経済	講義	2	2	選択
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	選択
	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	選択
	ビジネスデータ分析応用	演習	2	3・4	選択
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修

領域2C	サービス・マネジメント原論	講義	2	2	必修
	ショップデザイン	講義	2	2・3	必修
	ブランドデザイン	講義	2	3・4	選択
	ブライダルビジネス	講義	2	2・3	選択
	ブライダル企画演習	演習	2	2・3	選択
	ブライダル実務	講義	2	2・3	選択
	ファッションビジネス	講義	2	2・3	選択
	ファッション企画演習	演習	2	2・3	選択
	インテリアビジネス	講義	2	2・3	選択
	インテリア企画演習	演習	2	2・3	選択
領域3	プロジェクト実践	演習	2	3	必修
	スモールビジネス演習	演習	2	3・4	選択
	プロジェクト評価	演習	1	3	選択
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択

14. ビジネス実務士（キャリア形成学科対象）

（1）ビジネス実務士

この資格は、所定の単位を充足することにより全国大学実務教育協会から「ビジネス実務士」の称号認定を受けることができる。

（2）履修方法

認定を受けるには、次の表に示す必要単位を修得しなければならない。

（3）ビジネス実務士認定証交付について

ビジネス実務士認定証は卒業時に交付される。交付にあたっては3,300円程度を要する。

ビジネス実務士認定に関する科目
〈2021・2022年度 キャリア形成学科入学生対象〉
（領域1：2単位以上、領域2：2単位以上、領域3：2単位以上、計16単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修／選択
領域1	ビジネス実務	演習	2	2・3	必修
	女性とビジネス	講義	2	2	選択
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	経営学	講義	2	2	選択
	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1	選択
領域2	京都光華の学び	演習	1	1	必修
	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	女性の生き方・働き方	講義	2	1	選択
	女性と現代社会	講義	2	1	選択
	プレゼンテーション	演習	1	2	選択
領域3	プロジェクト実践	演習	2	2	必修

〈2023年度以降キャリア形成学科入学生対象〉
（領域1：2単位以上、領域2：2単位以上、領域3：2単位以上、計10単位以上）

授業科目名		授業形態	単位数	配当年次	資格の必修／選択
領域1	アカデミックスキル入門	演習	1	1	必修
	地域参加	演習	1	1	選択
	女性と現代社会	講義	2	2・3	選択
	京都光華の学び	演習	1	1	必修

領域2	ビジネス・マネジメント原論	講義	2	2	選択
	経営学	講義	2	2	選択
	情報社会の理解	講義	2	1・2	選択
	情報リテラシー	演習	1	1	選択
	ビジネスデータ分析基礎	演習	2	2・3	選択
	ビジネスマナー	演習	1	1・2	選択
	プロジェクト入門	演習	2	1	必修
領域3	プロジェクト実践	演習	2	3	必修
	プロジェクト評価	演習	1	3	選択

15. 食品衛生監視員・管理者（健康栄養学科管理栄養士専攻）

食品衛生監視員・管理者はともに任用資格である。食品衛生監視員とは、国家公務員試験または地方公務員試験に合格し、厚生労働大臣または都道府県知事もしくは市長から食品衛生監視員として任命されることにより生じる資格である。食品衛生管理者とは、食品を加工または製造する営業施設に、食品衛生管理者として採用されることにより生じる資格である。

食品衛生監視員・管理者の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている食品衛生監視員・管理者に必要な専門科目を履修し、単位を修得することにより資格の要件を満たすことができる。

食品衛生監視員・管理者に関する科目

区分	本学開講科目	単位数	配当年次	資格必修 / 選択
A 群 化学関係	分析化学	2	3	必修
B 群 生物化学関係	生化学Ⅰ	2	1	
	生化学Ⅱ	2	2	
	生化学実験Ⅰ	1	1	
	食品学Ⅰ	2	1	
	食品学Ⅱ	2	2	
	生化学実験Ⅱ	1	2	
	人体の構造と生理Ⅰ	2	1	
	人体の構造・生理実験	1	2	
	食品学実験Ⅰ	1	2	
	食品学実験Ⅱ	1	2	
C 群 微生物学関係	食品加工学	2	2	
D 群 公衆衛生学関係	公衆衛生学Ⅰ	2	2	
	公衆衛生学Ⅱ	2	3	
	食品衛生学	2	2	
	食品衛生学実験	1	3	
	栄養疫学	2	2	選択
E 群 その他の関連科目	人体の構造と生理Ⅱ	2	2	必修
	人体の構造と生理Ⅲ	2	2	選択
	臨床検査・病理	2	3	
	基礎栄養学Ⅰ	2	1	必修
	基礎栄養学Ⅱ	2	2	
	栄養学実験	1	2	
	調理学	2	1	
	健康管理論	2	1	選択
	食品の評価・鑑別	2	4	
	給食マネジメント論Ⅰ	2	2	必修
	給食マネジメント実習Ⅰ	1	2	
	給食マネジメント実習Ⅱ	1	3	

A 群～D 群のそれぞれの群から 1 科目以上を履修し、合計で 22 単位以上を修得すること。
A 群～E 群の科目を履修し、40 単位以上（必修科目 39 単位及び選択科目 1 単位以上）を修得すること。

16. フードスペシャリスト（健康栄養学科対象）

フードスペシャリストの資格を取得しようとする者は、本学に開講されているフードスペシャリストに必要な専門教育科目を履修し、単位を修得した後、日本フードスペシャリスト協会の資格認定試験に合格しなければならない。

（1）フードスペシャリストに関する科目

規定科目	本学開講科目	単位数	管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻
			配当年次	配当年次
フードスペシャリスト論（2単位以上）	フードスペシャリスト論	2	4	4
食品の官能評価・鑑別論（2単位以上※）	食品の評価・鑑別	2	4	4
	食品学実験Ⅱ	1	2	2
食物学に関する科目（5単位以上）	食品学Ⅰ	2	1	1
	食品学Ⅱ	2	2	2
	食品学実験Ⅰ	1	2	2
食品の安全性に関する科目（2単位以上）	食品衛生学	2	2	2
調理学に関する科目（4単位以上）	調理学	2	1	1
	調理実習基礎	1	1	1
	調理実習応用	1	1	2
栄養と健康に関する科目（2単位以上）	基礎栄養学Ⅰ	2	1	1
食品流通・消費に関する科目（2単位以上）	食マーケティング論	2	4	4
フードコーディネート論（2単位以上）	フードコーディネート論	2	4	3

専攻及び入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各専攻のカリキュラムを参照すること。
※実験１単位以上を含む

（2）フードスペシャリスト資格が授与されるまでの過程

フードスペシャリストに必要な専門教育科目の単位を修得した者は日本フードスペシャリスト協会の資格認定試験を受けることができる。専門フードスペシャリスト資格は、専門性や実用性をより高めた資格である。

資格認定試験は、毎年12月（予定）に本学で実施する。資格認定試験には、①フードスペシャリスト資格、②専門フードスペシャリスト（食品開発）資格、③専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格、の３種類の資格区分が設けられている。専門フードスペシャリスト資格認定試験は、①のフードスペシャリスト資格認定試験と同時に受験することができる。ただし、「食品開発」と「食品流通・サービス」の

いずれかの選択となる。
フードスペシャリストの資格認定証は、資格認定試験に合格し、必修科目の取得と卒業要件を充たした者に交付される。したがって、資格認定証の交付は卒業時となる。※認定試験の受験および資格認定証の交付には費用を要する。

フードスペシャリストとは、「食」に関する総合的・体系的な知識・技術を身につけ、豊かで安全かつバランスのとれた「食」を消費者に提案できる力を持つ「食」の専門職である。フードスペシャリスト資格は、食に関する総合的・体系的な知識・技術を基本的に身につけた者に与えられる資格である。

17. 健康運動実践指導者（健康栄養学科対象）

健康運動実践指導者の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている健康運動実践指導者に必要な専門科目を履修し、単位を修得した後、（公財）健康・体力づくり事業財団の認定試験に合格しなければならない。

（1）健康運動実践指導者に関する科目

〈2023 年度以前管理栄養士専攻・健康スポーツ栄養専攻入学生対象〉

規定科目	本学開講科目	単位数	配当年次	
			管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻
健康づくり施策概論（講義）	健康管理論	2	1	1
運動生理学（講義）	運動生理学	2	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）	人体の構造と生理Ⅰ	2	1	1
	人体の構造と生理Ⅱ	2	2	2
	運動生理学	2	2	1
栄養摂取と運動（講義）	基礎栄養学Ⅰ	2	1	1
体力測定と評価（講義・実習）	健康評価実習	1	2	2
健康づくりと運動プログラム（講義）	健康づくりと運動	2	3	2
運動指導の心理学的基礎（講義）	スポーツ心理学	2	2	2
健康づくり運動の実際ウォーキング（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
健康づくり運動の実際ジョギング（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
健康づくり運動の実際エアロビックダンス（実習）	健康スポーツ指導Ⅲ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅱ	1		1～3
健康づくり運動の実際水泳・水中運動（実習）	健康スポーツ指導Ⅱ	1	1・2	
	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際レジスタンスエクササイズ（実習）	健康スポーツ指導Ⅳ	1	3	
	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際ストレッチング（実習）	健康スポーツ指導Ⅳ	1	3	
	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際ウォーミングアップとクーリングダウン、体操（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
運動障害と予防・救急処置（講義・実習）	安全管理と救急処置	2	2	3

専攻及び入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各専攻のカリキュラムを参照すること。

〈2024 年度管理栄養士専攻・健康スポーツ栄養専攻入学生対象〉

規定科目	本学開講科目	単位数	配当年次	
			管理栄養士専攻	健康スポーツ栄養専攻
健康づくり施策概論（講義）	健康管理論	2	1	1
運動生理学（講義）	運動生理学	2	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）	人体の構造と生理Ⅰ	2	1	1
	人体の構造と生理Ⅱ	2	2	
	運動生理学	2	2	
	バイオメカニクス	2		3
栄養摂取と運動（講義）	基礎栄養学Ⅰ	2	1	1
体力測定と評価（講義・実習）	健康評価実習	1	2	2
健康づくりと運動プログラム（講義）	健康づくりと運動	2	3	2
運動指導の心理学的基礎（講義）	スポーツ心理学	2	2	2
健康づくり運動の実際ウォーキング（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
健康づくり運動の実際ジョギング（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
健康づくり運動の実際エアロビックダンス（実習）	健康スポーツ指導Ⅲ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅱ	1		1～3
健康づくり運動の実際水泳・水中運動（実習）	健康スポーツ指導Ⅱ	1	1・2	
	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際レジスタンスエクササイズ（実習）	健康スポーツ指導Ⅳ	1	3	
	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際ストレッチング（実習）	健康スポーツ指導Ⅳ	1	3	
	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	1		1～3
健康づくり運動の実際ウォーミングアップとクーリングダウン、体操（実習）	健康スポーツ指導Ⅰ	1	1	
	健康スポーツ指導法Ⅰ	1		1
運動障害と予防・救急処置（講義・実習）	安全管理と救急処置	2	2	3

専攻及び入学年度によって、科目の配当年次が異なる。各専攻のカリキュラムを参照すること。

（2）健康運動実践指導者資格が授与されるまでの過程

健康運動実践指導者に必要な専門科目の単位を修得した者は、（公財）健康・体力づくり事業財団が行う認定試験を受験することができる。ただし、認定試験は在学中のみ受験することができ、卒業後に受験することはできない。

認定試験は毎年 11 月から翌年 2 月頃（予定）に実施される。認定試験に合格すると、健康運動実践指導者の資格証が授与される。認定試験の受験および資格証の交付には費用を要する。

18. 健康運動指導士（健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻）

健康運動指導士の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている健康運動指導士に必要な専門科目を履修し、単位を修得した後、（公財）健康・体力づくり事業財団の認定試験に合格しなければならない。

（1）健康運動指導士に関する科目〈2022 年度以前入学生〉

科目名		本学開講科目	単位数	配当年次
健康管理概論（講義）		健康管理論	2	1
健康づくり施策概論（講義）				
生活習慣病（ＮＣＤ）（講義）		生活習慣病論	2	4
運動生理学（講義）		運動生理学	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）		バイオメカニクス	2	3
健康づくりの運動の理論（講義）		健康づくりと運動	2	2
運動障害と予防（講義）		安全管理と救急処置	2	3
体力測定と評価（講義・実習）		健康評価実習	1	2
健康づくり運動の実際（実習）	ウォームアップとクールダウン	健康スポーツ指導法Ⅰ	1	1
	ストレッチングと柔軟体操の実際			
	ウォーキングとジョギング			
	エアロビックダンス	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	水泳・水中運動	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1	1～3
	レジスタンス運動	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	1	1～3
	介護予防と運動	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	健康産業施設等現場見学・研修	インストラクター現場実習	2	4
救急処置（講義・実習）		安全管理と救急処置	2	3
運動プログラムの管理（講義・実習）		栄養・運動指導実習	1	4
運動負荷試験実習（講義・実習）				
運動行動変容の理論と実際（講義・実習）		スポーツ心理学	2	2
運動とこころの健康増進（講義・実習）				
栄養摂取と運動（講義）		基礎栄養学Ⅰ	2	1
		応用栄養学	2	2

健康運動指導士に関する科目〈2023 年度入学生〉

科目名		本学開講科目	単位数	配当年次
健康管理概論（講義）		健康管理論	2	1
健康づくり施策概論（講義）				
生活習慣病（ＮＣＤ）（講義）		生活習慣病論	2	4
運動生理学（講義）		運動生理学	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）		バイオメカニクス	2	3
健康づくりの運動の理論（講義）		健康づくりと運動	2	2
運動障害と予防（講義）		安全管理と救急処置	2	3
体力測定と評価（講義・実習）		健康評価実習	1	2
健康づくり運動の実際（実習）	ウォームアップとクールダウン	健康スポーツ指導法Ⅰ	1	1
	ストレッチングと柔軟体操の実際			
	ウォーキングとジョギング			
	エアロビックダンス	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	水泳・水中運動	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1	1～3
	レジスタンス運動	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	1	1～3
	介護予防と運動	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	健康産業施設等現場見学・研修	インストラクター現場実習	2	4
救急処置（講義・実習）		安全管理と救急処置	2	3
運動プログラムの管理（講義・実習）		栄養・運動指導実習	1	4
運動負荷試験実習（講義・実習）				
運動行動変容の理論と実際（講義・実習）		スポーツ心理学	2	2
運動とこころの健康増進（講義・実習）				
栄養摂取と運動（講義）		基礎栄養学Ⅰ	2	1
		応用栄養学Ⅰ	2	2

健康運動指導士に関する科目〈2024 年度入学生〉

科目名		本学開講科目	単位数	配当年次
健康管理概論（講義）		健康管理論	2	1
健康づくり施策概論（講義）				
生活習慣病（ＮＣＤ）（講義）		生活習慣病論	2	4
運動生理学（講義）		運動生理学	2	1
機能的解剖とバイオメカニクス（講義）		バイオメカニクス	2	3
健康づくりの運動の理論（講義）		健康づくりと運動	2	2
運動障害と予防（講義）		安全管理と救急処置	2	3
体力測定と評価（講義・実習）		健康評価実習	1	2
健康づくり運動の実際（実習）	ウォームアップとクールダウン	健康スポーツ指導法Ⅰ	1	1
	ストレッチングと柔軟体操の実際			
	ウォーキングとジョギング			
	エアロビックダンス	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	水泳・水中運動	健康スポーツ指導法Ⅳ（水泳・水中運動）	1	1～3
	レジスタンス運動	健康スポーツ指導法Ⅲ（体つくり運動・器械運動）	1	1～3
	介護予防と運動	健康スポーツ指導法Ⅱ	1	1～3
	健康産業施設等現場見学・研修	インストラクター現場実習	2	2～3
救急処置（講義・実習）		安全管理と救急処置	2	3
運動プログラムの管理（講義・実習）		スポーツ医学実習	1	4
運動負荷試験実習（講義・実習）				
運動行動変容の理論と実際（講義・実習）		スポーツ心理学	2	2
運動とこころの健康増進（講義・実習）				
栄養摂取と運動（講義）		基礎栄養学Ⅰ	2	1
		応用栄養学Ⅰ	2	2

（2）健康運動指導士資格が授与されるまでの過程

健康運動指導士に必要な科目の単位を取得し、尚且つ、卒業が見込まれる者は、（公財）健康・体力づくり事業財団が行う認定試験を受験することができる。認定試験は毎年３回（9 月・11 月・3 月）に実施される。認定試験に合格すると、健康運動指導士の資格証が授与される。認定試験の受験および資格証の交付には費用を必要とする。

19. 初級パラスポーツ指導員
（健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻・2024 年度福祉リハビリテーション学科作業療法専攻）

初級パラスポーツ指導員は、（公財）日本パラスポーツ協会が認定する資格である。初級パラスポーツ指導員の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている初級パラスポーツ指導員に必要な専門科目を履修し、単位を修得しなければならない。資格の認定・登録には費用を要する。

（1）初級パラスポーツ指導員に関する科目

〈2022 年度以前入学生〉

No.	科目名	本学開講科目	単位数	配当年次
1	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
2	障がい者スポーツの意義と理念	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
3	コミュニケーションスキルの基礎	アダプテッドスポーツ指導法	1	3〜4
4	障がいのある人との交流	アダプテッドスポーツ指導法	1	3〜4
5	障がい者スポーツ推進の取り組み	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
6	障がい者スポーツに関する諸施策	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
7	安全管理	安全管理と救急処置	2	3〜4
8	各障がいの理解 ※身体障がい 3h（肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む） 知的障がい 1.5h（発達障がいを含む）、精神障がい 1.5h	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
9	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	アダプテッドスポーツ指導法	1	3〜4
10	全国障害者スポーツ大会の概要	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4

〈2023 年度以降入学生対象〉

No.	科目名	本学開講科目	単位数	配当年次
1	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
2	障がい者スポーツの意義と理念	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
3	コミュニケーションスキルの基礎	アダプテッドスポーツ	1	1〜2
4	障がいのある人との交流	アダプテッドスポーツ	1	1〜2
5	障がい者スポーツ推進の取り組み	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
6	障がい者スポーツに関する諸施策	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
7	安全管理	安全管理と救急処置	2	3〜4
8	各障がいの理解 ※身体障がい３ｈ（肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む） 知的障がい 1.5 ｈ（発達障がいを含む）、精神障がい 1.5 ｈ	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4
9	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫	アダプテッドスポーツ	1	1〜2
10	全国障害者スポーツ大会の概要	アダプテッドスポーツ論	2	3〜4

※作業療法専攻については、「アダプテッドスポーツ論」を科目等履修として３年次以降に履修することで資格の養成科目とすることが可能となる。

20. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（健康栄養学科健康スポーツ栄養専攻）

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者は、（公財）日本スポーツ協会が認定する資格である。スポーツリーダーは、地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツの指導や運営にあたる者であり、共通科目Ⅰを終了することにより取得できる。共通科目Ⅰ・Ⅱは、上位資格取得のための専門科目の受講に必須の科目である。各資格を取得しようとする者は、本学で開講されている必要な専門科目を履修し、単位を修得しなければならない。各資格の修了証明、認定、登録には費用を要する。

（1）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者に関する科目

〈2022 年度以前入学生対象〉

共通科目内容	本学開講科目名	単位数	配当年次
コーチングを理解しよう	コーチング論	2	3
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ社会学	2	2
グッドコーチに求められる医・科学的知識	トレーニング論	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ栄養学Ⅰ	2	2
	スポーツ医学	2	3
	生涯スポーツ論	2	1
現場・環境に応じたコーチング	スポーツ心理学	2	2
	トレーニング論	2	2
	スポーツ社会学	2	2
	スポーツマネジメント論	2	3

〈2023 年度入学生対象〉

共通科目内容	本学開講科目名	単位数	配当年次
コーチングを理解しよう	コーチング論	2	3
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ社会学	2	2
グッドコーチに求められる医・科学的知識	トレーニング論	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ栄養学	2	2
	スポーツ医学	2	3
	生涯スポーツ論	2	1
現場・環境に応じたコーチング	スポーツ心理学	2	2
	トレーニング論	2	2
	スポーツ社会学	2	2
	スポーツマネジメント論	2	3

〈2024 年度入学生対象〉

共通科目内容	本学開講科目名	単位数	配当年次
コーチングを理解しよう	コーチング論	2	3
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ社会学	2	2
グッドコーチに求められる医・科学的知識	運動生理学	2	2
	スポーツ心理学	2	2
	スポーツ栄養学	2	2
	スポーツ医学実習	2	3
	生涯スポーツ論	2	1
現場・環境に応じたコーチング	スポーツ心理学	2	2
	運動生理学	2	2
	スポーツ社会学	2	2
	スポーツマネジメント論	2	3

21. 認定心理士（心理学科対象）

（1）認定心理士（正式名称：日本心理学会認定心理士）

日本心理学会認定心理士とは、心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と社団法人・日本心理学会が認定した者のことである。

（2）履 修 方 法

認定心理士の資格認定を受けるためには、次の表に示す、心理学関係科目 36 単位の修得が必要である。ただし、本学カリキュラム上は 2 単位であっても、科目の内容等によって、認定心理士のための単位としては 1 単位として取り扱われる場合がある。また、科目内容や担当者変更に伴って、認定領域の区分が変更になる場合がある。

（3）認定心理士の申請

学校を通じてではなく、申請を希望する者が、個人で、以下の申請手続きを行う。

1．日本心理学会のホームページより、「認定心理士申請書類」をダウンロードする。

2．申請書類に必要事項を記入し、審査料（11,000 円）払込控貼付のうえ認定委員会に送付する。
なお申請には、卒業証明書が必要である。
また必ず申請書類の送付前に、記入事項の確認を行った上で、学科担当教員の証明印を受領すること。

3．所定の審査の上、可否が通知されるので、可と通知されたら、認定料（30,000 円）を送金する。
その後、社団法人日本心理学会認定心理士認定証と ID カードが送付される。

・不明の点は、日本心理学会のホームページ（http://www.psych.or.jp/gualification/index.html）にて確認すること。

認定心理士に関する科目

認定領域			本学開講科目	認定単位数	配当年次	備考
基礎科目	a	心理学概論	心理学概論	2	1	「基礎科目」a・b・cの各領域4単位以上であること。
			教育心理学	2	2	
	b	心理学研究法	心理学研究法	2	1	
			心理学データ解析Ⅰ	1	2	
			心理学データ解析Ⅱ	1	2	
			心理学データ解析Ⅲ	1	3	
	c	心理学実験・実習	心理学実験Ⅰ	2	2	
			心理学実験Ⅱ	2	2	
選択科目	d	知覚心理学 学習心理学	知覚・認知心理学	2	2	※2023年度以前入学生対象
			学習・言語心理学	2	2	
	e	比較心理学 生理心理学	神経・生理心理学	2	2	
			比較行動学	2	2	
	f	教育心理学 発達心理学	発達心理学入門（保育の心理学）	2	1	
			発達心理学	2	2	
			青年心理学	2	2	
	g	臨床心理学 人格心理学	臨床心理学入門	2	1	「選択科目」d・e・f・g・hの5領域中3領域が各4単位以上、かつ5領域の小計が16単位以上であること。 「卒業研究・卒業論文」は、最大4単位までが「その他の科目」（i）の領域の単位として認められる。
			臨床心理学概論	2	2	
			心理学的支援法	2	2	
			健康・医療心理学	2	3	
			心理的アセスメントⅠ	2	2	
			心理的アセスメントⅡ	2	2	
			心理演習Ⅰ	2	3	
			心理演習Ⅱ	2	3	
			メンタルヘルス論	2	3	
			子どもの心理臨床	2	2	
			障害者・障害児心理学	2	2	
			教育・学校心理学	2	3	

選択科目	g	臨床心理学 人格心理学	感情・人格心理学	2	2	
			司法・犯罪心理学	2	2	
			犯罪者プロファイリング演習	2	3	
	h	社会心理学 産業心理学	社会心理学入門	2	1	
			社会・集団・家族心理学	2	2	
			京都文化心理学	2	1	
			環境心理学	2	1	
			産業・組織心理学	2	2	
			消費者心理学	2	2	
			コミュニティ心理学	2	2	
	i	心理学関連科目	卒業研究	4	4	
			卒業論文	4	4	

22. 保育心理士（心理学科対象）

（1）保育心理士とは

保育心理士とは、子どもたちや子育て中の保護者のこころの問題に取り組むための専門知識と実践の技術を身につけた保育者として、社団法人　大谷保育協会が認定した者のことである。

本学科では、保育士資格取得者及び保育士資格取得を目指す者のみを保育心理士資格取得対象者とし、以下の履修方法に基づき単位取得した場合「保育心理士（二種）資格」の認定申請が可能となる。

（2）履修方法

保育心理士の資格認定を受けるためには、次の表に示す心理学関係科目の取得が必要である。

（3）保育心理士の申請

具体的な申請手続きは心理学科コモンズ掲示板及び光華 navi などで知らせるので、申請希望者は注意すること。ただし、保育心理士取得に際して認定料（登録料）2,000 円が必要である。（なお、保育心理士資格取得後、それを保持するためには年会費 3,000 円が別途必要である。）

保育心理士に関する科目

保育心理士指定科目	本学開講科目	単位	配当年次	備考
保育人間学・保育社会学	仏教の人間観Ⅰ	2	1	1科目2単位以上
	仏教の人間観Ⅱ	2	1	
保育心理・発達心理学	発達心理学入門（保育の心理学）	2	1	必修
臨床心理学	臨床心理学概論	2	2	必修
障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	2	必修
保育心理演習	心理的アセスメントⅠ	2	2	2科目4単位以上
	心理的アセスメントⅡ	2	2	
	心理演習Ⅰ	2	3	
	心理演習Ⅱ	2	3	
保育心理技法	心理学的支援法	2	2	必修
保育支援演習	子どもの心理臨床	2	2	必修
子どもの心と健康	子どもと健康	2	3	必修
保育心理実習	発達支援実習	2	3	必修

23. 社会調査士（キャリア形成学科・心理学科・人間健康学群対象）

（1）社会調査士

社会調査士とは、社会調査に関する基礎的な知識・技能・相応の応用力と倫理観を身につけていると社会調査士資格認定機構が認定した者のことである。

（2）履修方法

社会調査士資格取得のためには、各大学（機関）に設置されている以下のＡ～Ｇに対応する授業科目単位を取得する必要がある（ＥとＦはどちらかひとつを選択）。

社会調査士に関する科目（キャリア形成学科 / 人間健康学群）〈2022 年度以前入学生対象〉

科　目	本学開講科目	単位	キャリア配当年次	学群配当年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社会と統計	2	1	2
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	2	3	3・4
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	コンピュータ活用Ｃ	1	2・3	3
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	データ解析入門	1	2	2
【E】多変量解析の方法に関する科目	データ解析応用	1	3	2
【F】質的な調査と分析の方法に関する科目	＊該当科目なし			
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目（必ず、両科目を履修すること）	社会調査実習Ⅰ	1	3	3・4
	社会調査実習Ⅱ	1	3	3・4

社会調査士に関する科目（キャリア形成学科 / 人間健康学群）〈2023 年度以降入学生対象〉

科　目	本学開講科目	単位	キャリア配当年次	学群配当年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査入門	2	1・2	2
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	2	2	3・4
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	ビジネスデータ分析基礎	2	2・3	3
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	データサイエンス実践	2	2・3	2
【E】量的データ解析の方法に関する科目	データサイエンス発展	2	3・4	3・4
【F】質的な分析の方法に関する科目	※該当科目なし			
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目	社会調査実習Ⅰ	1	3	3・4
	社会調査実習Ⅱ	1	3	3・4

社会調査士に関する科目（心理学科）

科　目	本学開講科目	単位	配当年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社会と統計	2	2
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	2	3
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	心理学データ解析Ⅰ	1	2
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	心理学データ解析Ⅱ	1	2
【E】量的データ解析の方法に関する科目	心理学データ解析Ⅲ	1	3
【F】質的な分析の方法に関する科目	＊該当科目なし		
【G】社会調査の実習を中心とする科目（必ず、両科目を履修すること）	社会調査実習Ⅰ	1	3
	社会調査実習Ⅱ	1	3

本学では、Ｆを除くすべての領域の科目を提供している。希望者には別途説明を行うので確認すること。

※なお、本学で資格取得に必要な科目を修得することが不可能な場合は、単位互換制度等を利用して他大学で修得した単位と併せて申請することが可能である。

（3）社会調査士および社会調査士（取得見込み）の申請

下記の条件を満たした場合、社会調査士の認定を受けることができる。

① 学部卒業

② 社会調査士科目を設置している大学（機関）で標準カリキュラムＡ～Ｇに対応した科目単位を修得（Ｅ／Ｆは選択制）

また、下記の条件を充たした場合は、在学中に社会調査士（取得見込み）の認定を受けることができる。

① 在籍期間が２年以上であること。

② 社会調査士科目を設置している大学（機関）で標準カリキュラムＡ～Ｇに対応した科目単位を申請時までに、３科目以上単位修得していること。

③ ②の単位修得済み科目と今年度履修中の科目の合計が５科目以上であること。具体的な申請手続きについては、心理学科コモンズ掲示板および光華 navi などで知らせる。申請希望者は注意しておくこと。

24. 公認心理師（心理学科 2021・2022・2023・2024 年度入学生対象）

公認心理師とは、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行う者をいう。

(1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
(2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
(3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
(4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師の資格取得については、主務大臣が実施する公認心理師国家試験に合格する必要がある。その受験資格は、以下の者に付与される。

① 大学において、施行規則第１条の２で定める科目を修めて卒業し、かつ、大学院において施行規則第２条で定める科目を修めて修了した者
② 大学において施行規則第１条の２で定める科目を修めて卒業した者であって、施行規則第５条で定める各施設（文部科学大臣及び厚生労働大臣が認めるものに限る。）において、２年以上、法第２条第１号から第３号までに掲げる行為の業務に従事した者
③ 文部科学大臣及び厚生労働大臣が①②に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認定した者

（2021 年度入学生対象）

公認心理師国家試験受験資格取得を目指すためには、本学科で開講されている下記の指定科目を修得しなければならない。ただし、「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」を履修するには、前年度の専門必修科目で出席率が 80％以上であることに加えて、「公認心理師の職責」「心理学概論」「心理学研究法」「心理学統計法」「心理的アセスメントⅠ」「心理的アセスメントⅡ」の単位を取得済みでなければならない。

（2022・2023 年度入学生対象）

公認心理師国家試験受験資格取得を目指すためには、本学科で開講されている下記の指定科目を修得しなければならない。ただし、「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」を履修するには、前年度の専門必修科目で出席率が 80％以上であることに加えて、「公認心理師の職責」「心理学概論」「心理学研究法」「心理学統計法」「心理的アセスメントⅠ」「心理的アセスメントⅡ」「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の単位を取得済みでなければならない。

（2024 年度入学生対象）

公認心理師国家試験受験資格取得を目指すためには、本学科で開講されている下記の指定科目を履修しなければならない。ただし、「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」「心理演習Ⅰ」「心理演習Ⅱ」を履修するには、前年度の全ての専門必修科目で出席率が 80％以上であることに加えて、リベラルアーツ教育科目および専門科目のうち１年次配当の全ての必修科目、「公認心理師の職責」「心理的アセスメントⅠ」「心理的アセスメントⅡ」「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の単位を取得済みでなければならない。

※ただし、編入学生・転学科生については、時間割等のやむを得ない事情が発生した場合、受講条件を見直すことがある。

なお、公認心理師試験の受験資格を得るためには、上記①もしくは②の要件を満たす必要がある。

	主務大臣指定科目	本学開講科目	授業形態	単位数	配当年次	備考
1	公認心理師の職責	公認心理師の職責	講義	2	2	
2	心理学概論	心理学概論	講義	2	1	
3	臨床心理学概論	臨床心理学概論	講義	2	2	
4	心理学研究法	心理学研究法	講義	2	1	
5	心理学統計法	心理学統計法	講義	2	1	
6	心理学実験	心理学実験Ⅰ	演習	2	2	
		心理学実験Ⅱ	演習	2	2	
7	知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	講義	2	2	
8	学習・言語心理学	学習・言語心理学	講義	2	2	
9	感情・人格心理学	感情・人格心理学	講義	2	2	
10	神経・生理心理学	神経・生理心理学	講義	2	2	
11	社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	講義	2	2	
12	発達心理学	発達心理学	講義	2	2	
13	障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	講義	2	2	
14	心理的アセスメント	心理的アセスメントⅠ	演習	2	2	
		心理的アセスメントⅡ	演習	2	2	
15	心理学的支援法	心理学的支援法	講義	2	2	
16	健康・医療心理学	健康・医療心理学	講義	2	3	
17	福祉心理学	福祉心理学	講義	2	3	
18	教育・学校心理学	教育・学校心理学	講義	2	3	
19	司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	講義	2	2	
20	産業・組織心理学	産業・組織心理学	講義	2	2	
21	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	講義	2	3	
22	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療Ⅰ	講義	2	3	
23	関係行政論	関係行政論	講義	2	3	
24	心理演習	心理演習Ⅰ	演習	2	3	
		心理演習Ⅱ	演習	2	3	
25	心理実習	心理実習Ⅰ	実習	1	3	
		心理実習Ⅱ	実習	1	3	

備考

・公認心理師科目の授業内外での見学や実習のため、入学時の健康診断にて、麻しん・風しん等の「抗体価検査」（有料）を受ける必要がある。健康診断時に受けられなかった者は、各自で自費で受けること。
　また、場合によっては各種の「予防接種」を受ける必要がある。その際の費用は自己負担となる。

・「心理実習Ⅰ」「心理実習Ⅱ」の受講者から実習費を徴収する。実習費の詳細については別途通知する。

25. 小学校英語指導者（こども教育学科）

小学校英語指導者は、小学校の教育現場で必要な英語指導者の育成を目的とした、小学校英語指導者認定協議会（略称　J-SHINE）が認定する資格である。

小学校英語指導者の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている小学校英語指導者の申請に必要な科目を履修し、単位を修得しなければならない。資格の認定・登録には費用を要する。

（1）小学校英語指導者に関する科目〈2022 年度後期以降開講科目対象〉

科　目　名	授業形態	単位数	配当年次	備考
英語	講義	2	2	
英語の発音	講義	1	2	
英語科指導法	講義	2	3	

（2）小学校英語指導者の申請

小学校英語指導者の申請を希望する学生は、履修登録締切日までに、こども教育学科コモンズへ申込用紙を提出すること。また、資格の申請手続きについては、（1）に定める科目を修得後（3年次終了後）、申請を希望する者が、申請手続きを行う。本学の授業科目のみの単位修得で申請が可能な資格は、「小学校英語準認定指導者資格」となる。

26. 認定絵本士（こども教育学科対象）

（1）認定絵本士とは

現代の子どもの読書に係る現状等を踏まえ、子どもたちをはじめ、広く大人にとっても豊かな心を育む絵本の可能性やその活用法を、学校や家庭のみならず、地域社会に普及させるとともに、絵本の表現特性を理解し、絵本の読み聞かせをはじめとする子どもの読書活動を推進していく活動に携わる、国立青少年教育振興機構公認資格である。

（2）履修方法

国立青少年教育振興機構が認定した大学等が、教育課程に位置付けられた授業科目の中で、「認定絵本士養成カリキュラムに関するガイドライン」に基づいた講座「こどもと絵本Ⅰ」及び「こどもと絵本Ⅱ」（合計30科目（コマ）、50.5時間）を履修し、講座の全授業（30科目（コマ））のうち８割以上の授業に出席して授業科目の全単位を修得することにより、認定絵本士の資格を取得することができる。本学では認定絵本士に係る科目（定員40名）は３年次より履修できる。

「こどもと絵本Ⅰ」及び「こどもと絵本Ⅱ」を履修し履修年度の３月に認定申請を行うことで次年度６月に認定証が交付される。受講料・認定料・登録料の負担はない。

認定絵本士養成講座カリキュラム

授業科目名	授業形態	単位数	配当年次
こどもと絵本Ⅰ	講義	2	3
こどもと絵本Ⅱ	講義	2	3

27. 初級地域公共政策士
（人間健康学群・キャリア形成学科・医療福祉学科社会福祉専攻）〈2022 年度入学生対象〉

初級地域公共政策士とは、自治体職員、NPO 関係者、公共に関わる企業の担当者等の地域公共人材を対象に、地域課題解決に対して実務的なプロジェクトスタッフやプロジェクトのサブリーダーとしての実践的能力を認定する職能資格制度である。本資格は、財）地域公共人材開発機構（COLPU）が認証機関となる。

初級地域公共政策士の資格を取得しようとする者は、本学で開講されている初級地域公共政策士の申請に必要な科目を履修し、単位を修得しなければならない。なお、資格には申請費用を要する。

（1）初級地域公共政策士に関する科目

以下の資格プログラムの教育要素から指定された科目数以上の単位を取得すること。

「政策的思考法」から１科目、「政策研究の基盤知識」から２科目、「政策得意分野づくり」から２科目「政策基礎としての社会人基礎力」から「ソーシャル・ビジネス演習」を履修、修得すること。

科目名	資格 必修/選択	単位数	資格プログラムの教育要素	対象学科
国際社会の理解	選択	2	政策的思考法	キャリア・社福・学群
インターンシップ	選択	2	政策基礎としての社会人基礎力	キャリア・社福・学群
現代社会と福祉Ⅰ	選択	2	政策得意分野づくり	キャリア
現代社会と福祉Ⅱ	選択	2	政策得意分野づくり	キャリア
児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）	選択	2	政策得意分野づくり	社福
社会的処方	選択	2	政策得意分野づくり	学群
子ども家庭支援の心理学	選択	2	政策得意分野づくり	学群
ソーシャル・ビジネス演習	必修	1	政策基礎としての社会人基礎力	キャリア・社福・学群
地域公共政策	選択	2	政策的思考法	キャリア・学群
社会政策	選択	2	政策的思考法	キャリア・学群
ソーシャル・マネジメント原論	選択	2	政策研究の基盤知識	キャリア・学群
ソーシャルビジネス	選択	2	政策研究の基盤知識	キャリア・学群
社会福祉の原理と政策Ⅰ	選択	2	政策的思考法	社福・学群
社会福祉の原理と政策Ⅱ	選択	2	政策的思考法	社福・学群
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	選択	2	政策研究の基盤知識	社福・学群
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	選択	2	政策研究の基盤知識	社福・学群
高齢者福祉	選択	2	政策得意分野づくり	社福・学群

＜プログラム外で履修を推奨する科目＞（１年次）:「くらしのなかの経済学」「くらしのなかの統計学」「情報リテラシー基礎」「情報リテラシー応用」「ボランティア論」

初級地域公共政策士
（人間健康学群・キャリア形成学科・医療福祉学科社会福祉専攻）〈2023 年度以降入学生対象〉

科目名	資格 必修/選択	単位数	資格プログラムの教育要素	対象学科
国際社会の理解	選択	2	政策的思考法	キャリア・社福・学群
インターンシップ	選択	2	政策基礎としての社会人基礎力	キャリア・社福・学群
現代社会と福祉	選択	2	政策得意分野づくり	キャリア
コミュニティ心理学	選択	2	政策得意分野づくり	キャリア
児童･家庭福祉（子ども家庭福祉）	選択	2	政策得意分野づくり	社福
社会的処方	選択	2	政策得意分野づくり	学群
子ども家庭支援の心理学	選択	2	政策得意分野づくり	学群
ソーシャル・ビジネス演習	必修	1	政策基礎としての社会人基礎力	キャリア・社福・学群
地域公共政策	選択	2	政策的思考法	キャリア・学群
社会と環境	選択	2	政策的思考法	キャリア・学群
ソーシャル・マネジメント原論	選択	2	政策研究の基盤知識	キャリア・学群
ソーシャルビジネス	選択	2	政策研究の基盤知識	キャリア・学群
社会福祉の原理と政策Ⅰ	選択	2	政策的思考法	社福・学群
社会福祉の原理と政策Ⅱ	選択	2	政策的思考法	社福・学群
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	選択	2	政策研究の基盤知識	社福・学群
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	選択	2	政策研究の基盤知識	社福・学群
高齢者福祉	選択	2	政策得意分野づくり	社福・学群

（2）初級地域公共政策士の申請

初級地域公共政策士の申請を希望する学生は、(1) に定める科目を修得後、申請を希望する者が、申請手続きを行う。

V　教　員

教　員　一　覧

学長	高見　茂
副学長	吉川秀樹
	森本恵子
	谷本寛文
キャリア形成学部長	高野拓樹
健康科学部長	吉川秀樹
看護福祉リハビリテーション学部長	吉川秀樹
こども教育学部長	谷本寛文
キャリア形成学科長	金治　宏
健康栄養学科長	原　正美
看護学科長	徳永基与子
福祉リハビリテーション学科長	石井祐理子
心理学科長	礪波朋子
こども教育学科長	智原江美
人間健康学群長	酒井浩二

【キャリア形成学科】

朝比奈英夫
阿部一晴
上田修三
臼井義比古
小澤千晶
大島祥子
金治　宏
呉　鴻
佐藤嘉洋
酒井浩二
高野拓樹
土居淳子
藤村佳子
宮原佑貴子

【健康栄養学科】

岩中伸壮
河嶋伸久
小島菜実絵
小森康加
齊藤曜子
下山亜美
水道裕久
徳田仁子
中木直子
二井麻里亜
西川　潤
西川智文
橋口美智留
橋本理恵
原　正美
舩越達也
森井　孝
森本恵子
吉川秀樹
和井田結佳子

【看護学科】

呉　小玉
岡本華枝
金丸恭子
キット彩乃
茎津智子
貞岡美伸
篠田紀一郎
清水房枝
鈴木紗恵

炭　本　佑　佳
谷　口　俊　恵
徳　永　基与子
戸　田　真　里
中　平　み　わ
西　川　秋　子
西　田　美　紀
西　村　舞　琴
番　所　道　代
細　川　昌　則
堀　井　節　子
前　川　瑞　季
松　山　洸　斗
森　　久美子
森　光　　優
守　口　絵　里
山　下　亜紀子

【心理学科】

今　西　　徹
大　谷　多加志
黒　川　優美子
竹　西　正　典
谷　本　拓　郎
礪　波　朋　子
長　田　陽　一
鳴　岩　伸　生

【福祉リハビリテーション学科
社会福祉専攻】

石　井　祐理子
越　智　紀　子
千　葉　晃　央
浜　内　彩　乃
村　上　貴　栄

【福祉リハビリテーション学科
言語聴覚専攻】

上　田　敬　太
大　橋　良　浩
柿　本　明日香
河　村　民　平
関　　道　子
高　井　小　織
英　　香　里
水　谷　八千代

【福祉リハビリテーション学科
作業療法専攻】

遠　藤　加　菜
岡　山　友　哉
北　山　　淳
西　谷　美智子
森　本　かえで

【こども教育学科】

伊　藤　美　加
小野寺　かれん
河　原　聡　子
河　野　和　清
下　口　美　帆
ストリックランド　ザック
全　　京　和
田　中　慈　子
田　縁　眞　弓
谷　本　寛　文
智　原　江　美
西　野　夕　子
松　本　しのぶ
柳　生　和　代
和　田　幸　子

【人間健康学群】

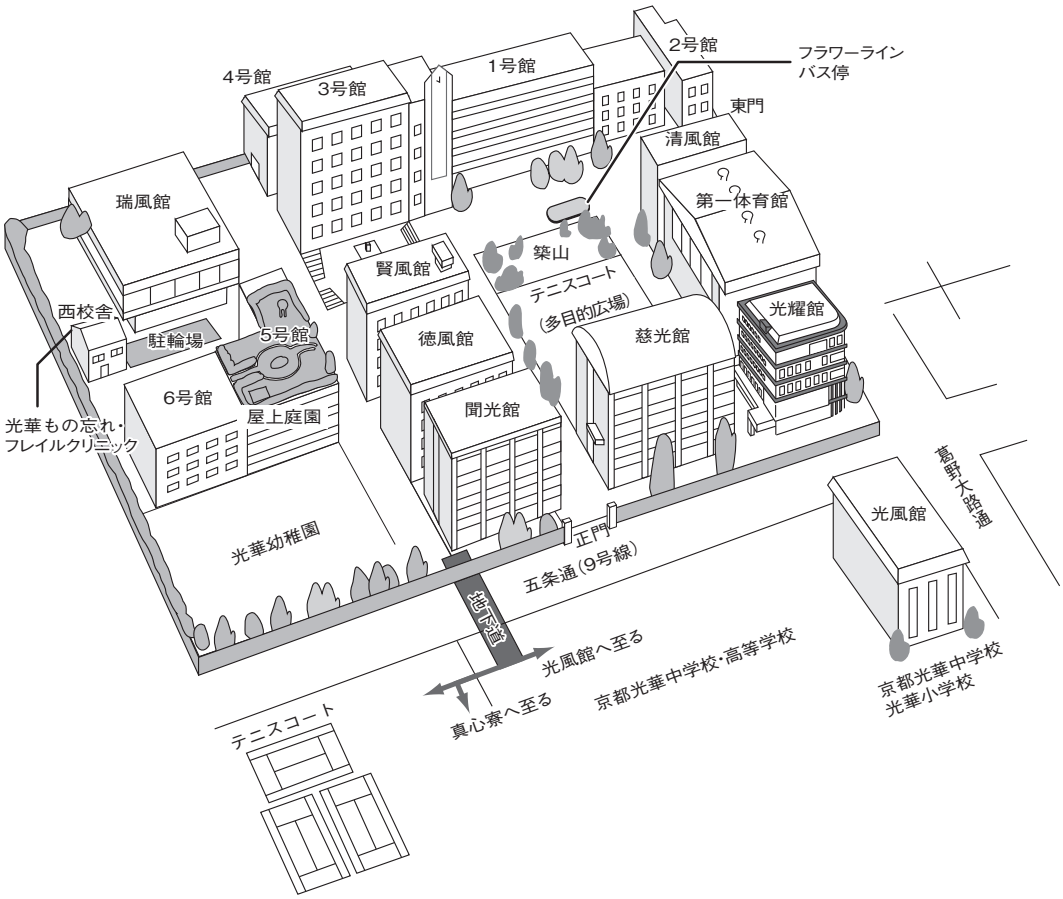
酒　井　浩　二（兼担）
千　葉　晃　央（兼担）
徳　田　仁　子（兼担）
中　木　直　子（兼担）
西　川　　潤（兼担）
松　本　しのぶ（兼担）
吉　川　秀　樹（兼担）

【真宗文化研究所】

太　田　蕗　子

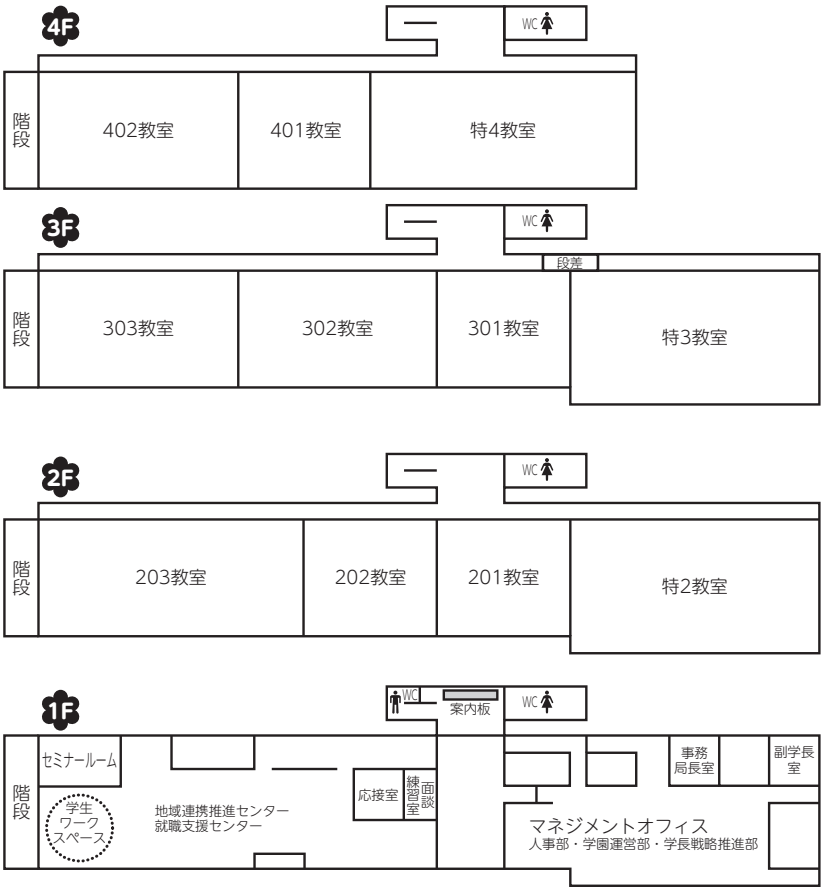
Ⅵ　施　設
校舎建物・教室等配置図

校舎建物配置図

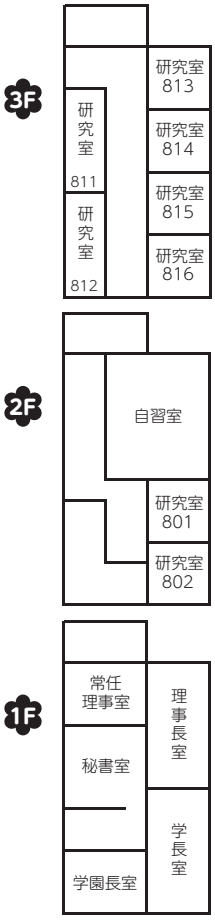


教室等配置図

1号館

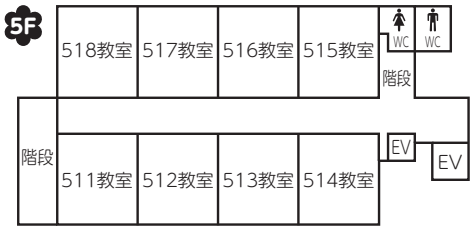


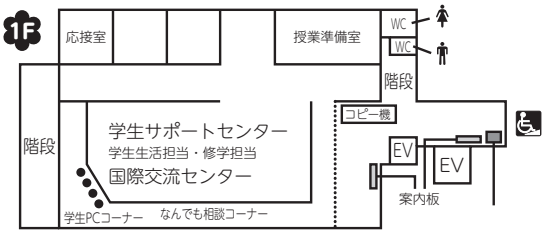
2号館



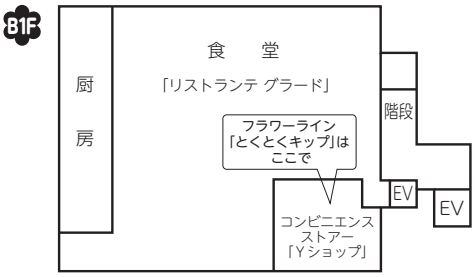
3号館

2F
メディア
ラボ
WC
階段
階段
211教室
212教室
213教室
EV
EV


5F
518教室
517教室
516教室
515教室
WC
WC
階段
階段
511教室
512教室
513教室
514教室
EV
EV


1F
応接室
授業準備室
WC
WC
階段
階段
学生サポートセンター
学生生活担当・修学担当
国際交流センター
学生PCコーナー
なんでも相談コーナー
コピー機
EV
EV
案内板

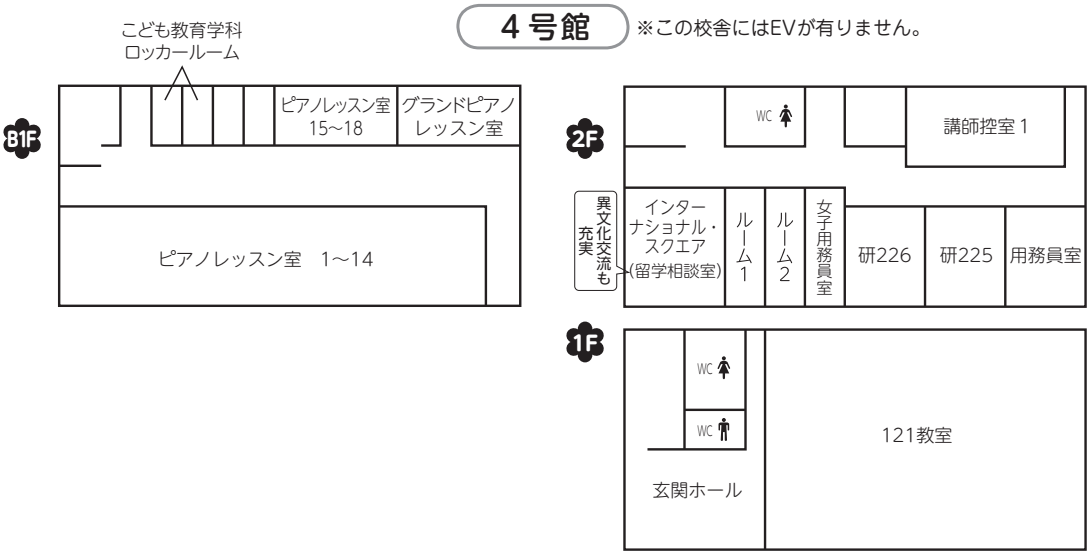
4F
415教室
414教室
WC
階段
階段
411教室
412教室
413教室
EV
EV


B1F
厨
房
食　堂
「リストランテ グラード」
フラワーライン
「とくとくキップ」は
ここで
コンビニエンス
ストアー
「Yショップ」
階段
EV
EV

3F
314教室
313教室
WC
階段
階段
シールド
ルーム
実験器具
設置場所・
データ
解析室
315
演習室
311教室
312教室
EV
EV

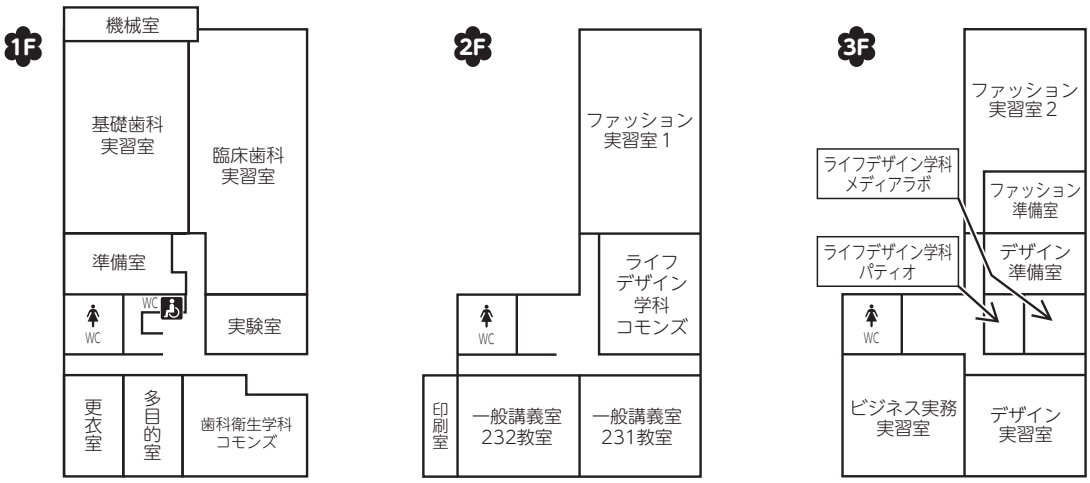
4号館

※この校舎にはEVが有りません。



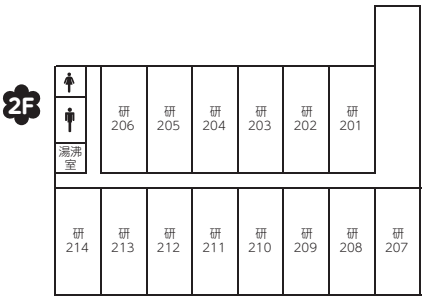
5号館

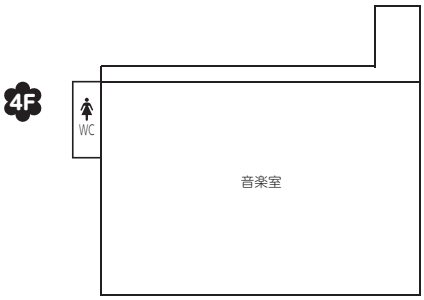
（屋上庭園）「ＨＩＫＡＲＵ　ＣＯＵＲＴ」

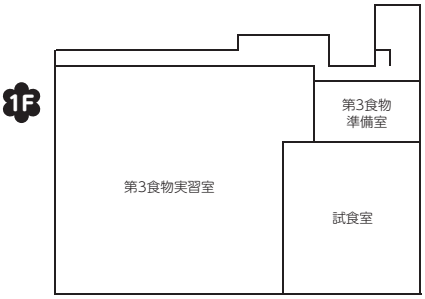


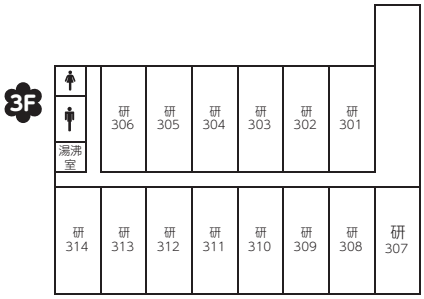
6号館

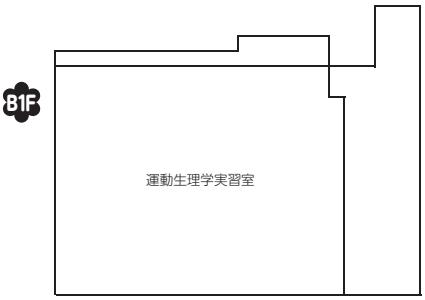
※この校舎にはスロープが有りません。
また、B1F、4FへはEVでは行けません。



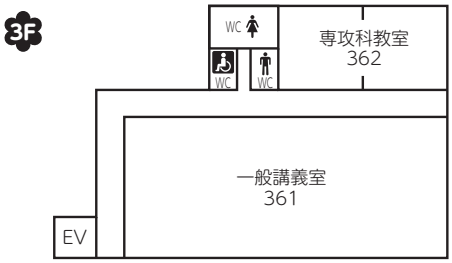


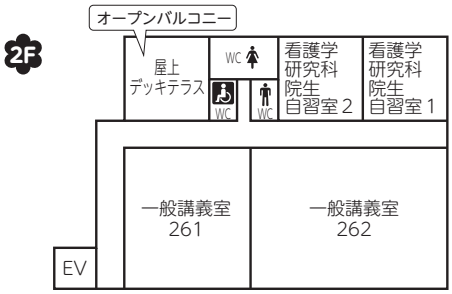


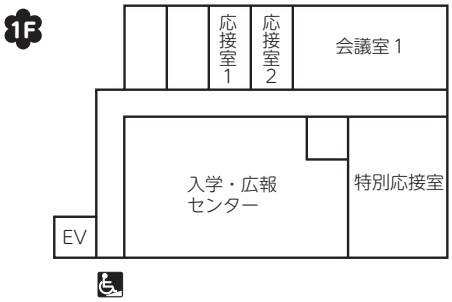




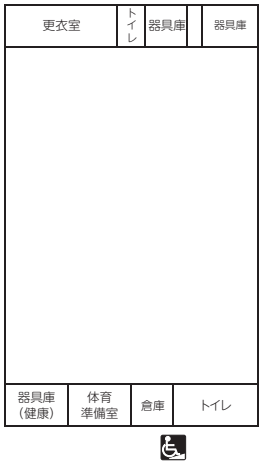
清風館（しょうふうかん）







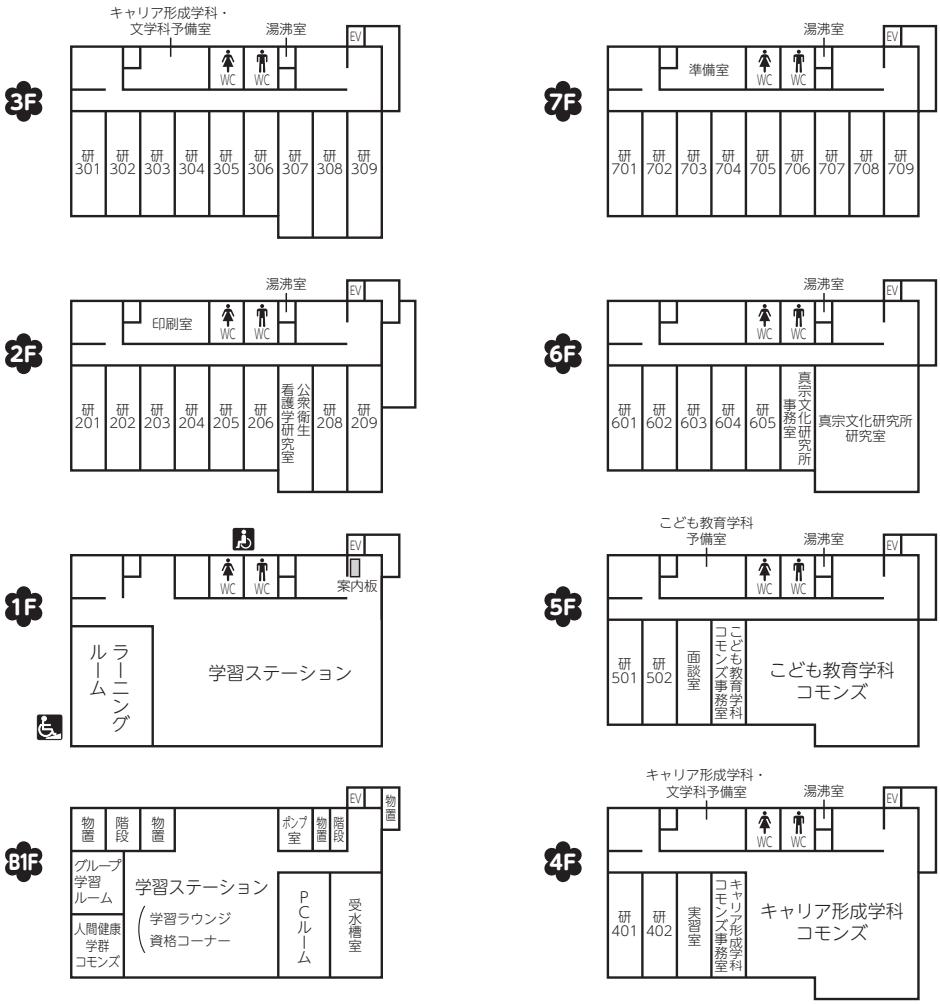
体育館



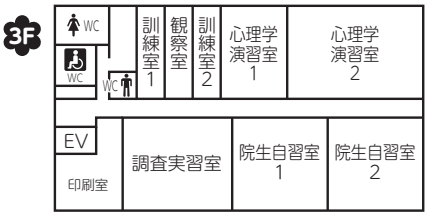
徳風館（とくふうかん）

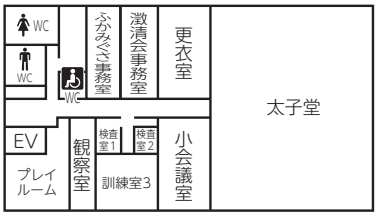
2F
WC
EV
EV
グループ閲覧室
図書館 閲覧室
6F
WC
WC
EV
EV
小講堂
映写室
1F
AV ルーム
WC
WC
EV
EV
案内板
図書館 閲覧室
図書館 事務室
電算室
5F
情報処理準備室
WC
WC
EV
EV
演習室 582
第2 情報処理 実習室
一般 講義室 581
第4 情報処理 実習室
B1F
西倉庫
製本 整理室・F書庫
案内板
C 書庫
B 書庫
A 書庫
4F
会議室
WC
WC
EV
PC コーナー
EV
多目的ルーム
情報システム部
教職・保育職支援センター
第1 情報処理 実習室
B2F
電気室
案内板
機械室
E 書庫
D 書庫
3F
WC
EV
EV
グループ閲覧室
図書館 閲覧室

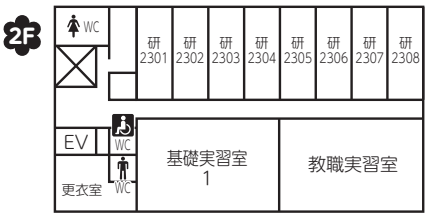
賢風館（げんぷうかん）

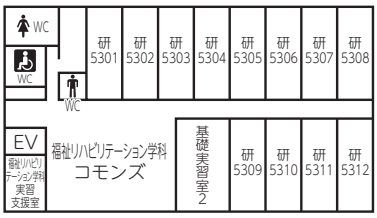

3F
キャリア形成学科・文学科予備室
湯沸室
EV
WC
WC
研301
研302
研303
研304
研305
研306
研307
研308
研309
7F
湯沸室
EV
準備室
WC
WC
研701
研702
研703
研704
研705
研706
研707
研708
研709
2F
湯沸室
EV
印刷室
WC
WC
研201
研202
研203
研204
研205
研206
公衆衛生看護学研究室
研208
研209
6F
湯沸室
EV
WC
WC
研601
研602
研603
研604
研605
真宗文化研究所事務室
真宗文化研究所研究室
1F
EV
WC
WC
案内板
ラーニングルーム
学習ステーション
5F
こども教育学科予備室
湯沸室
EV
WC
WC
研501
研502
面談室
こども教育学科コモンズ事務室
こども教育学科コモンズ
B1F
EV
物置
物置
階段
物置
ポンプ室
物置
階段
グループ学習ルーム
人間健康学群コモンズ
学習ステーション
学習ラウンジ
資格コーナー
PCルーム
受水槽室
4F
キャリア形成学科・文学科予備室
湯沸室
EV
WC
WC
研401
研402
実習室
キャリア形成学科コモンズ事務室
キャリア形成学科コモンズ

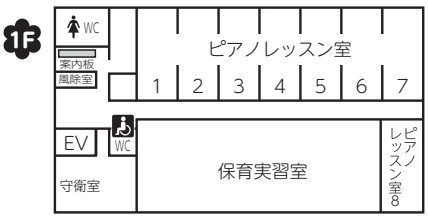
慈光館（じこうかん）

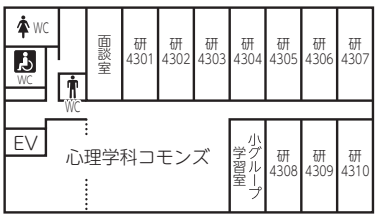

3F
WC
WC
WC
訓練室1
観察室
訓練室2
心理学演習室1
心理学演習室2
EV
印刷室
調査実習室
院生自習室1
院生自習室2

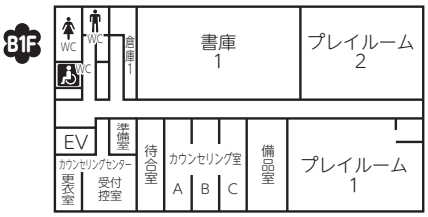

6F
WC
WC
WC
ふかみぐち事務室
澂清会事務室
更衣室
太子堂
EV
プレイルーム
観察室
検査室1
検査室2
訓練室3
小会議室


2F
WC
研2301
研2302
研2303
研2304
研2305
研2306
研2307
研2308
EV
WC
WC
更衣室
基礎実習室1
教職実習室


5F
WC
WC
WC
研5301
研5302
研5303
研5304
研5305
研5306
研5307
研5308
EV
福祉リハビリテーション学科
コモンズ
基礎実習室2
研5309
研5310
研5311
研5312

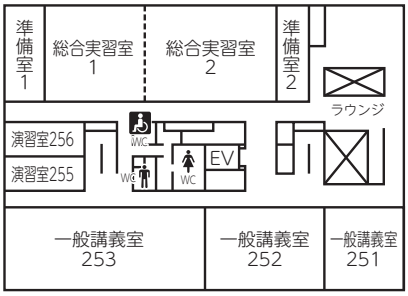

1F
WC
案内板
風除室
ピアノレッスン室
1
2
3
4
5
6
7
EV
WC
守衛室
保育実習室
ピアノレッスン室8


4F
WC
WC
WC
面談室
研4301
研4302
研4303
研4304
研4305
研4306
研4307
EV
心理学科コモンズ
小グループ学習室
研4308
研4309
研4310

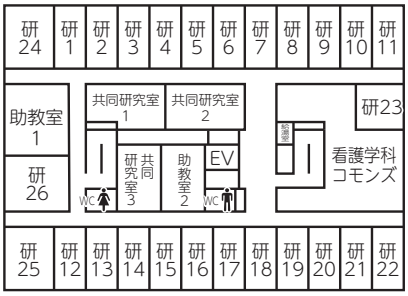

B1F
WC
WC
WC
倉庫1
書庫1
プレイルーム2
EV
カウンセリングセンター
更衣室
受付控室
準備室
待合室
カウンセリング室
A
B
C
備品室
プレイルーム1

聞光館（もんこうかん）

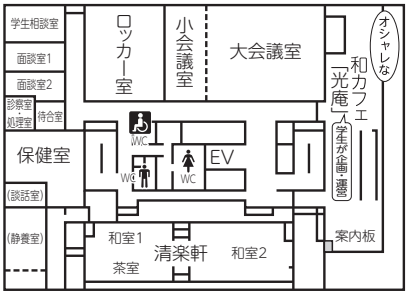
2F



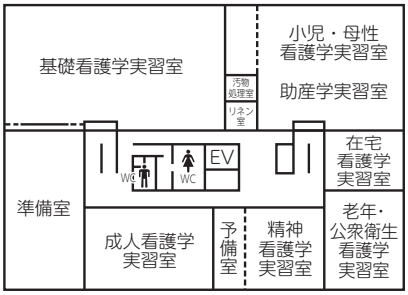
5F



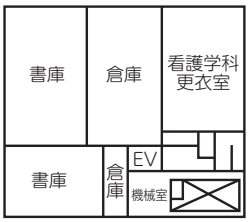
1F



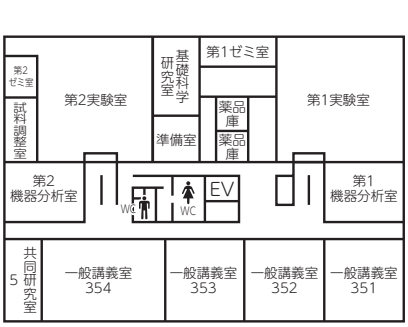
4F



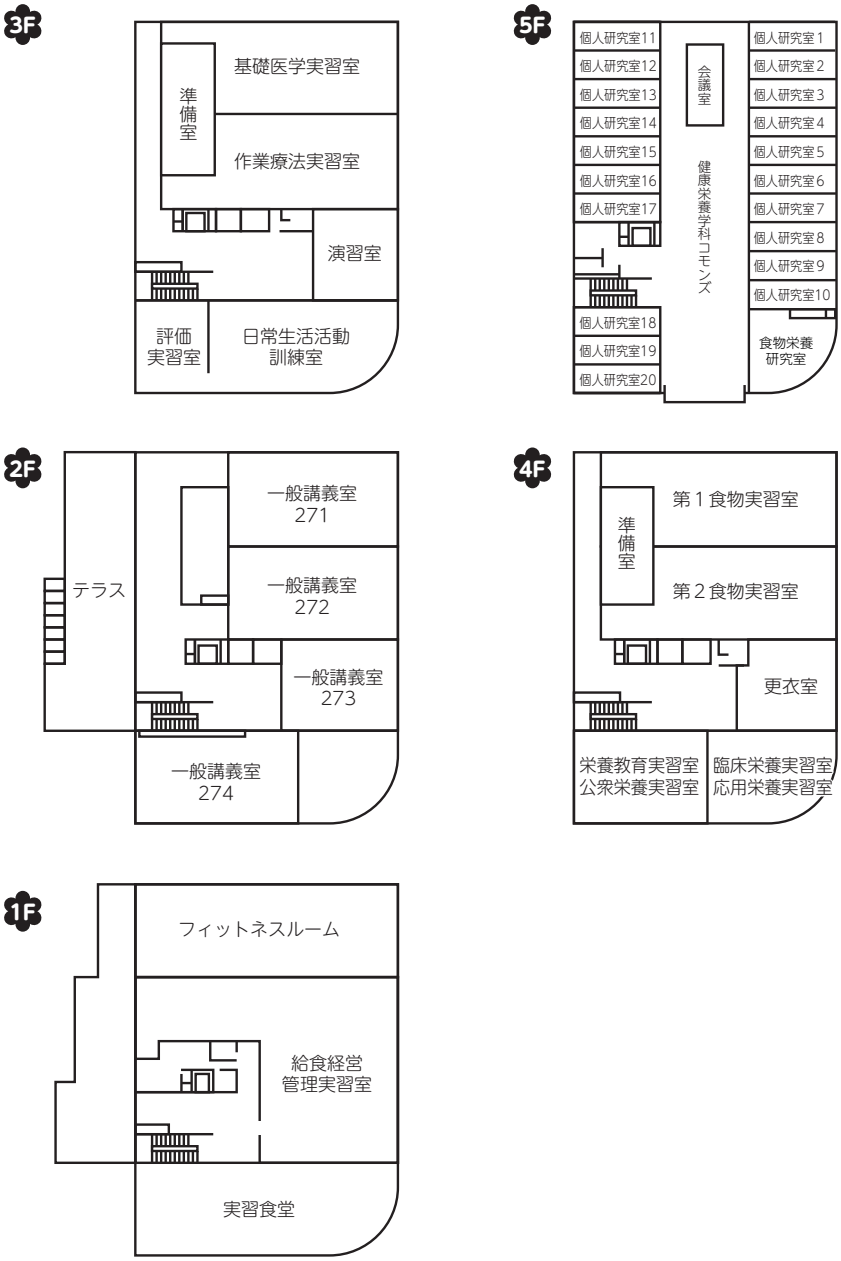
B1F



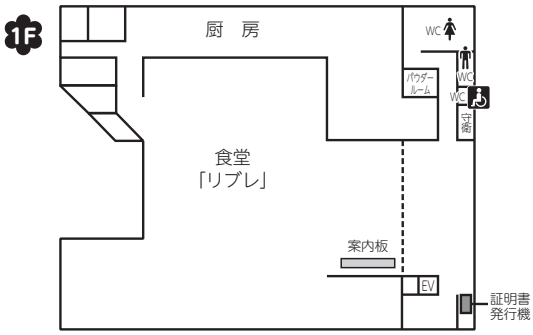
3F

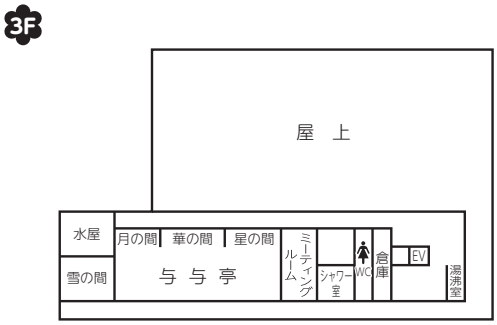


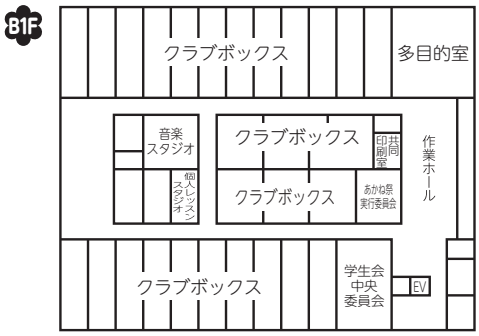
光耀館（こうようかん）

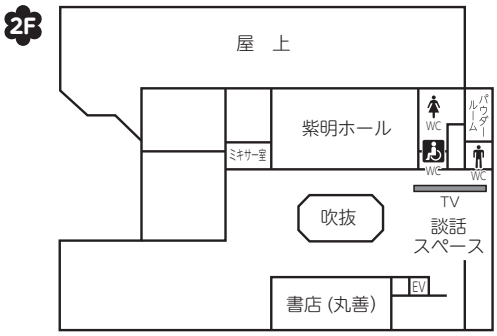

3F
準備室
基礎医学実習室
作業療法実習室
演習室
評価実習室
日常生活活動訓練室
5F
個人研究室11
個人研究室12
個人研究室13
個人研究室14
個人研究室15
個人研究室16
個人研究室17
個人研究室18
個人研究室19
個人研究室20
会議室
健康栄養学科コモンズ
個人研究室1
個人研究室2
個人研究室3
個人研究室4
個人研究室5
個人研究室6
個人研究室7
個人研究室8
個人研究室9
個人研究室10
食物栄養研究室
2F
テラス
一般講義室271
一般講義室272
一般講義室273
一般講義室274
4F
準備室
第１食物実習室
第２食物実習室
更衣室
栄養教育実習室
公衆栄養実習室
臨床栄養実習室
応用栄養実習室
1F
フィットネスルーム
給食経営管理実習室
実習食堂

瑞風館（ずいふうかん）

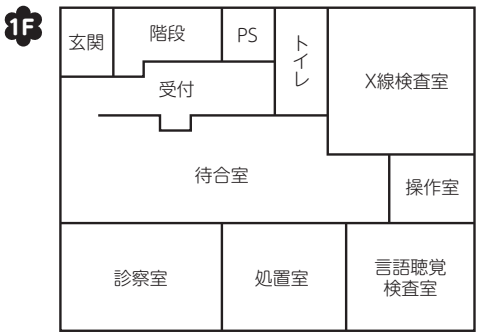


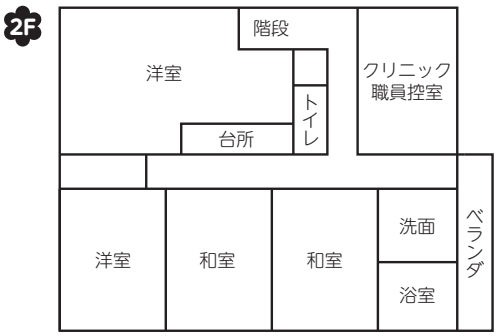






西校舎（にしこうしゃ）

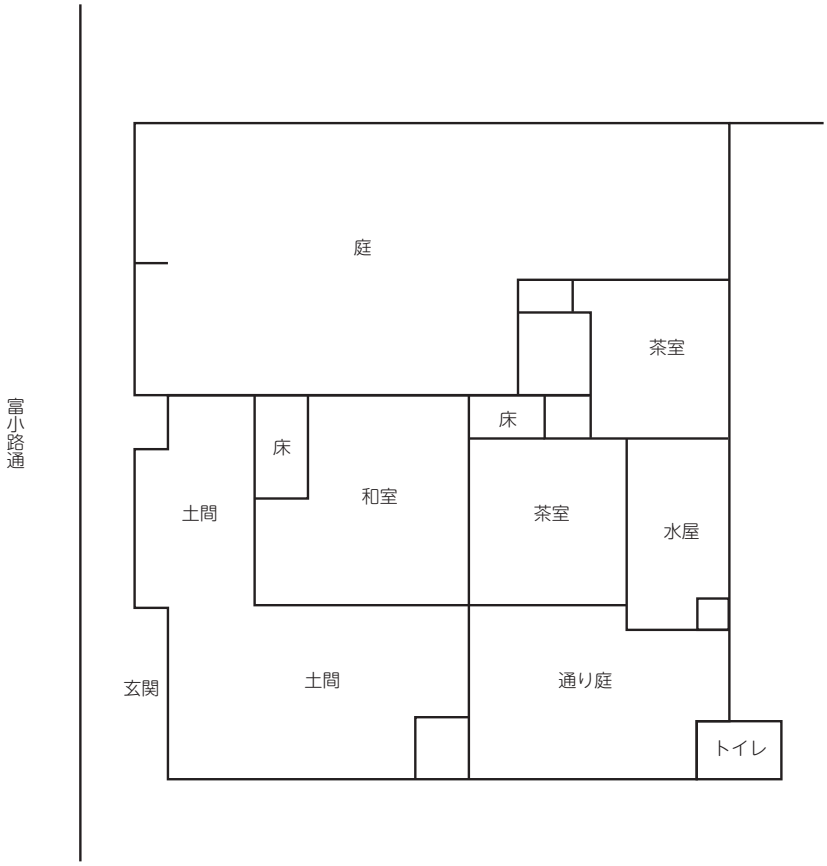




1F：光華もの忘れ・フレイルクリニック

光華女子学園　富小路まちやキャンパス

京都市中京区富小路通御池下る松下町 136 番地 1



京都光華女子大学
京都光華女子大学短期大学部

履修のてびき（2024年度版）

2024年４月１日　発行

〒615−0882
京都市右京区西京極葛野町38

連絡先
【事務局】
学生サポートセンター
修　学　担　当　075-325-5308
学生生活担当　075-325-5321